

Panasonic®

取扱説明書

PTS-RPN0101

PTS-RPV0101

読取 10

日本語・英語活字カラーOCRソフト

革命

COLOR

WIN XP WIN 2000 対応

CD-ROM版



紙資料 → 電子文書
PDF を Word Excel PowerPoint に

高精度な
読み取りエンジン
搭載!!

簡単変換!!

P³
Panasonic
Peripheral
Products

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

はじめに

このたびは、日本語・英語活字カラー OCR ソフト「読み取り革命 Ver.10」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

「読み取り革命 Ver.10」は、活字書体で印刷された原稿を TWAIN デバイス（イメージスキャナー）、デジタルカメラ、カメラ付き携帯電話などから読み取り、編集可能な文字データに変換するソフトウェアです。

個人的または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する以外で、著作権の対象となっている著作物を読み取るには著作権者の承諾が必要となります。

このソフトウェアおよび本書は、本製品の使用許諾書のもとでのみ使用することができます。

このソフトウェアおよび本書を運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - Powered by ABBYY FineReader. ABBYY® FineReader® OCR ©1993-2004 by ABBYY Software House. All rights reserved. ABBYY, FineReader are trademarks of ABBYY Software House.
 - Pentium® は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
 - その他、本書に記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
-
- 本ソフトウェアを無断複製することを禁止します。
 - 本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。
 - 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更する場合があります。

Copyright © 1995-2005 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.

Copyright © 1995-2005 Panasonic Solution Technologies Co., Ltd. All Rights Reserved.

ソフトウェア使用許諾契約書

重要

本ソフトウェアのインストールおよびご使用の前に必ずお読みください。

本契約は、日本語・英語活字カラー OCR ソフト「読取革命 Ver.10」(以下、本プログラムといいます)および本プログラムに関するマニュアル類などの著作物(以下、関連資料といい、これらおよび本プログラムのセットアップ CD-ROM を総称して本製品といいます)の使用許諾に関する契約であり、お客様が以下の内容に同意されることが本製品ご使用の条件となっております。

本プログラムをご使用のコンピューターにインストール、複製、使用することをもって、お客様が下記の条件に同意し、お客様とパナソニック ソリューションテクノロジー株式会社(以下、弊社といいます)との間で本契約が結ばれたものとみなしますので、あらかじめ以下の内容をよくお読みください。

もし、お客様が本契約の内容に同意されない場合は、本製品を使用することができません。この場合、お客様は直ちに本プログラムのインストール作業および使用を中止し複製したものすべてを削除のうえ、ご購入の日から30日以内に、本製品のすべてをご購入いただきました販売店へご返却ください。領収書と引き換えにお支払い済みの代金をお返しいたします。

第1条(使用許諾)

- お客様は、本製品を、日本国内でのみ使用することができます。
- お客様は、本プログラムを1台のコンピューターにインストールして使用することができます。本プログラムをネットワークその他の方法により複数のコンピューターで使用する場合には、使用的コンピューターの台数に応じた本数をご購入いただかなければなりません。また、本プログラムを異なるコンピューター間で共有したり、同時に使用することはできません。
- 本プログラムをお客様ご使用のコンピューターにインストール後、セットアップ CD-ROM はそのバックアップ用となりますので、大切に保管してください。

第2条(使用の制限)

- お客様は、前条に明記されている場合を除き、本製品の複製、変更を行うことはできません。
また、有償、無償を問わず、本製品を第三者に使用させ、もしくは譲渡することはできません。
- お客様は、本プログラムの全部または一部について、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。

第3条(著作権)

本プログラムおよび関連資料の著作権は、弊社または弊社に使用許諾している者(以下、許諾者といいます)が有し、日本国の著作権法および国際条約によって保護されています。お客様は、本製品の購入により、第1条に従い本製品を使用する権利を取得することができますが、その著作権までがお客様に移転するものではありません。

第4条(保証の範囲)

- 本製品に物理的な不具合がある場合、あるいは本プログラムが関連資料に記載されたとおりに動作しない場合、本製品の領収書または購入を証するもの(またはその写し)をご呈示いただければ、お買い上げ後90日間に限り、無償で修理、交換いたします。ただし、不具合が修理または交換で解消できない場合は、本製品に対してお客様が支払い済みの代金をお返しすることで保証の代わりとします。なお、風水害、地震、火災、その他の災害、第三者による行為、事故、誤使用など、不具合の原因が弊社の責に帰さない理由に起因する場合については、当該保証の対象外とします。
- お客様は、本プログラムの変更、改造を行わないでください。お客様の変更、改造により何らかの不具合が生じたとしても、弊社では一切保証いたしません。また、お客様の変更、改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社が責任を負うものではありません。

3. 弊社は、お客様に対し、本条第1項に記載された保証を除き、本製品の機能、性能、品質がお客様の特定の用途、利用目的に適合していることを含むいかなる明示もしくは默示の保証も行いません。
4. ユーザー登録を行われたお客様に、弊社はバージョンアップ等の本製品に関する最新の情報提供サービスを実施いたします。お客様は、別途弊社が定める方法によりユーザー登録を行ってください。
なお、サービスの内容、提供時期・方法・条件などは弊社独自の裁量にゆだねられるものとします。

第5条（問い合わせ回答）

1. 弊社は、お客様から問い合わせがあった本製品の使用上の質問について回答するものとします。ただし、お客様からの質問の受付とその回答は、関連資料記載の松下電器産業株式会社のP3カスタマーサポートセンターが行うものとします。
2. 前項に基づく問い合わせ回答の実施期間は、お客様が本製品を購入された日から1年間とし、その実施時間は、P3カスタマーサポートセンターの通常の営業時間内に限られるものとします。

第6条（優待版の取扱い）

本製品が、弊社指定のソフトウェア製品の優待版として提供されている場合、お客様が弊社指定のソフトウェア製品について既に使用許諾を受けていることが、その使用の条件となります。

第7条（責任の制限）

1. 弊社は、本製品の使用により、もしくは使用できなかったことによりお客様に生じる直接的または間接的に発生するいかなる損害（通常損害、特別損害、結果的損害を問わない）について、一切責任を負わないものとします。ここでいう損害は、事業利益の損失、業務の中断、情報の損失、金銭的な損失、あるいは第三者から請求を受けた損害などを含みますが、これらに限定されません。
2. いかなる場合でも、本契約に基づく弊社の責任は、本製品のご購入に際しお客様が実際に支払った金額を上限とします。
3. 前二項の定めにかかわらず、お客様が消費者契約法第2条第1項（下記注釈参照）で定義される消費者にあたり、弊社に故意または重過失がある場合はこの限りでないものとします。

第8条（輸出規制）

お客様は、米国および日本国の輸出関連法規のすべてを遵守するものとします。

第9条（準拠法）

本契約の成立、効力、解釈および履行については、日本法を準拠法とします。

第10条（契約の終了）

1. お客様は、いかなる場合でも本製品および本製品のすべての複製物を、お客様の責任と費用負担において弊社に返却するか、または破棄することによって、本契約を終了させることができます。
2. お客様が本契約の内容に違反した場合、弊社は本契約を解除し、本プログラムの使用を終了させることができます。その場合、お客様は、本製品および本製品のすべての複製物を、お客様の責任と費用負担において弊社に返却するか、または破棄しなければなりません。

第11条（その他）

本契約書は、お客様が適法に、本製品を使用する権利の許諾を受けたことの証明となりますので、大切に保管してください。

※消費者契約法第2条第1項において、「消費者」とは、個人（事業としてまたは事業のために契約の当事者となる場合におけるものを除く。）をいう、と定義されています。

主な内容物のご確認

ご使用いただく前に、次のものが揃っているかお確かめください。
万一不備な点がございましたら、お買い求めになった販売店までお申し付けください。

- セットアップ CD-ROM ・・・・・・・・ 1枚
- 読み取り革命 Ver.10 取扱説明書（本書） ・・ 1冊

CD-ROM の取り扱い

- CD-ROM の表裏に文字を書いたり、紙を貼ったりしないでください。
データが正常に読み取れなくなります。
- ラベルのない虹色の面は、データが書き込まれている信号面です。
信号面に触れないでください。また、持つときは、指紋や傷がつかないように持ってください。
信号面が汚れると、データが正常に読み取れなくなります。
- 夏季の閉め切った自動車内や長時間直射日光の当たるところ、暖房器などの近くに放置しないでください。
変形し、データが正常に読み取れなくなります。
- 投げたり、曲げたりしないでください。
CD-ROM に傷がついたり、変形したりするとデータが正常に読み取れなくなります。

タイトルと内容

タイトルの下の欄には、この機能についての簡単な説明やどのような場面で使うと有効であるかを記載しています。

操作モード

「読み取り革命」には5つの操作モードがあり、常にいずれかの操作モードになっています。

本文中にモードが指定されている場合は、そのモード以外では、操作することができません。

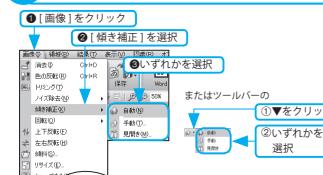
傾き補正

表示されている画像に対してのみ、自動的に傾斜角度を検出、または手動で傾き補正を行います。表示画像が開きページの場合は左右のページごとに自動、または手動で傾きを補正することができます。45度以上傾いている画像は傾き補正できません。画像を[回転]させた後で、傾き補正を実行してください。

(☞「回転」P.133)

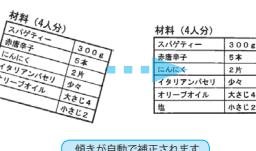
傾き設定モード

1 メニューを選択する



自動傾き補正

2 実行結果



参考先

関連する機能や、詳細な説明が記載されている項目を「☞」の後に紹介します。

補足説明

補足説明や別の操作手順を記載しています。また、本タイトルの操作に関する応用機能などの説明も記載しています。

本文

タイトルの操作を行う基本的な手順を記載しています。

章のタグ

タグの位置は章ごとに違います。

章のタイトル

画像編集集

目次

読み取り革命について	13
読み取り革命の概要	14
画面構成	14
基本操作の流れ	15
その他の主な機能紹介	17
クリップボード OCR	18
フォルダーウォッチャー	18
簡単！ PDF for Office	18
ウィンドウとバーの表示を変更するには	19
操作モード	21
セットアップ	23
インストール	24
アンインストール	27
自動アップデート	30
TWAIN デバイスの設定	33
メーカー diáログを利用する場合	33
TWAIN 専用 diálog を利用する場合	34
基本操作	37
操作手順	38
読み取り革命を起動する	39
かんたんナビで対話しながら処理を行う	40
入門ウィザードで自動認識処理を行う	43
画像を入力する	47
デジカメ入力	47
TWAIN デバイス(スキャナー)入力	49
画像ファイルを開く	50
クリップボード画像の入力	51
画面キャプチャー入力	52
画像を表示・選択する	53
クリックで直接選択する	53
前ページ・次ページで表示する	53
ページ呼出で表示する	54
すべてのページを選択する	55
ページを移動する	56
前へ・次へで移動する	56
ドラッグで移動する	57
画像の表示倍率を変更する	58
指定倍率に変更する	58
一定倍率で拡大・縮小する	58
認識結果と文字画像の連動	59
認識結果から文字画像を表示する	59
文字画像から認識結果を表示する	59

操作モードの切り替え	60
ドラッグモード	60
領域設定モード	61
消しゴムモード	61
作図モード	61
表編集モード	61
画像の表示位置を変える	62
レイアウト認識を行う	63
選択したページ	63
現在のページ	64
選択した領域	64
文字認識を行う	66
画像 / 認識結果ウィンドウを表示する	67
認識結果ウィンドウの表示を切り替える	69
テキスト表示	69
領域表示	70
カラーリアル表示	70
ハイパーチェッカー	70
切り取り・コピー・貼り付けをする	71
画像の切り取り・コピー・貼り付け	71
文字列の切り取り・コピー・貼り付け	72
削除する	73
領域枠を削除する	73
文字列を削除する	74
半角・全角を変換する	75
修正機能で認識結果を編集する	76
一括修正で複数の文字を一度に修正する	76
候補文字修正で1文字ずつ修正する	77
検索する	79
置換する	80
取り消し	81
保存する	82
画像の保存	82
認識結果の保存	83
転送する	84
印刷する	85
画像の印刷	85
認識結果の印刷	86
ページを閉じる	87
終了する	88

応用操作.....	89
領域枠の設定.....	90
領域枠の作成.....	90
領域枠の選択.....	91
領域枠のサイズ変更.....	92
領域枠の統合.....	93
領域枠の削除.....	93
領域枠の属性変更.....	94
認識モードを変更する.....	97
文字の結合をするには.....	98
文字の分離をするには.....	99
2 文字に分離する.....	99
3 文字に分離する.....	100
表を編集する.....	101
自動罫線追加.....	102
見出し認識.....	103
作業ファイルを保存して作業を中断する.....	104
作業ファイルを開いて作業を再開する.....	105
テンプレートで同じ形式のページを認識する.....	106
テンプレートを保存する.....	106
テンプレートを開く.....	107
ページを分割する.....	108
ページを結合する.....	110
一括認識で自動認識する.....	113
[入力] タブの設定.....	114
[画像編集] タブの設定.....	115
[回転] タブの設定.....	116
[傾き補正] タブの設定.....	116
[レイアウト] タブの設定.....	117
[結果保存] タブの設定.....	118
解像度の設定.....	120
フォント設定するには.....	121
読み順序を変更するには.....	122
転送先アプリバーの設定.....	123
転送先アプリケーションの追加.....	123
転送先アプリケーションの変更.....	125
転送先アプリケーションの削除.....	126
画像・認識結果ウィンドウを上下に並べるには.....	127
ツールバーをカスタマイズするには.....	128
ファイル管理革命へ送る.....	130

画像編集	133
領域の範囲指定	134
消去する	135
消去 (領域の内側を消去)	135
トリミング (領域の外側を消去)	136
消しゴム	137
ノイズ除去	138
傾き補正	139
自動傾き補正	139
手動傾き補正	140
見開き補正	141
回転	143
上下反転	144
左右反転	145
傾斜	146
長方形化	147
リサイズ	148
色の反転	149
減色	150
カラーフィルター	151
シャープネス	152
エッジ強調	153
明るさ	154
コントラスト	155
ガンマ補正	156
カラードロップアウト	157
一括画像編集	160
作図	163
ユーザー辞書	167
パターン辞書	168
文字画像から登録	168
認識結果から登録	169
削除する	169
変更する	170
インポートする	171
単語辞書	172
登録する	172
削除する	173
変更する	174
インポートする	175
CSV 出力する	176
専門用語辞書を変更する	177

環境設定	179
環境設定	180
[一般] タブの設定	181
[表示] タブの設定	182
[自動画像補正] タブの設定	183
[認識] タブの設定	185
[認識結果・画像の保存] タブの設定	186
[出力] タブの設定	187
アドインの設定と解除	191
アドインの設定と解除の概要	192
「アドインの設定と解除」ダイアログボックスの詳細	192
基本操作の流れ	192
起動と終了	193
起動する	193
終了する	193
アドインの設定・アドインの解除	194
アドインの設定	194
アドインの解除	195
クリップボード OCR	197
クリップボード OCR の概要	198
「クリップボード OCR」ウィンドウ詳細	198
基本操作の流れ	198
起動と終了	199
起動する	199
終了する	199
文字認識する	200
画面キャプチャー認識	200
クリップボード画像認識	201
出力設定	202
フォルダーウオッチャー	205
フォルダーウオッチャーの概要	206
「フォルダーウオッチャー」ウィンドウ詳細	206
基本操作の流れ	206
起動と終了	207
起動する	207
終了する	207
監視する・監視しない	208
監視する	208
監視しない	208
環境設定	209
[監視設定] タブの設定	210
[ファイル名設定] タブの設定	210
[出力設定] タブの設定	211
[変換設定] タブの設定	211

ツールバー・ステータスバーの表示 / 非表示	213
ツールバーの表示 / 非表示.....	213
ステータスバーの表示 / 非表示	213
簡単！ PDF for Office	215
簡単！ PDF for Office の概要.....	216
「簡単！ PDF for Office」 ウィンドウ詳細	216
基本操作の流れ	216
起動と終了	217
起動する	217
終了する	217
PDF ファイルを変換する	218
トラブルシューティング・FAQ	221
トラブルシューティング	222
インストール	222
起動・画像入力	222
アドインの設定と解除	222
画像	223
認識	223
認識結果編集	224
転送・終了	224
その他	225
FAQ	226
画像の入力	226
画像修正	226
表領域の編集	226
領域枠の設定	226
その他	226
付録	227
エラー・メッセージ	228
仕様	234
動作環境	236
認識対象文字一覧	237
用語解説	239
アフターサービス	241
索引	243

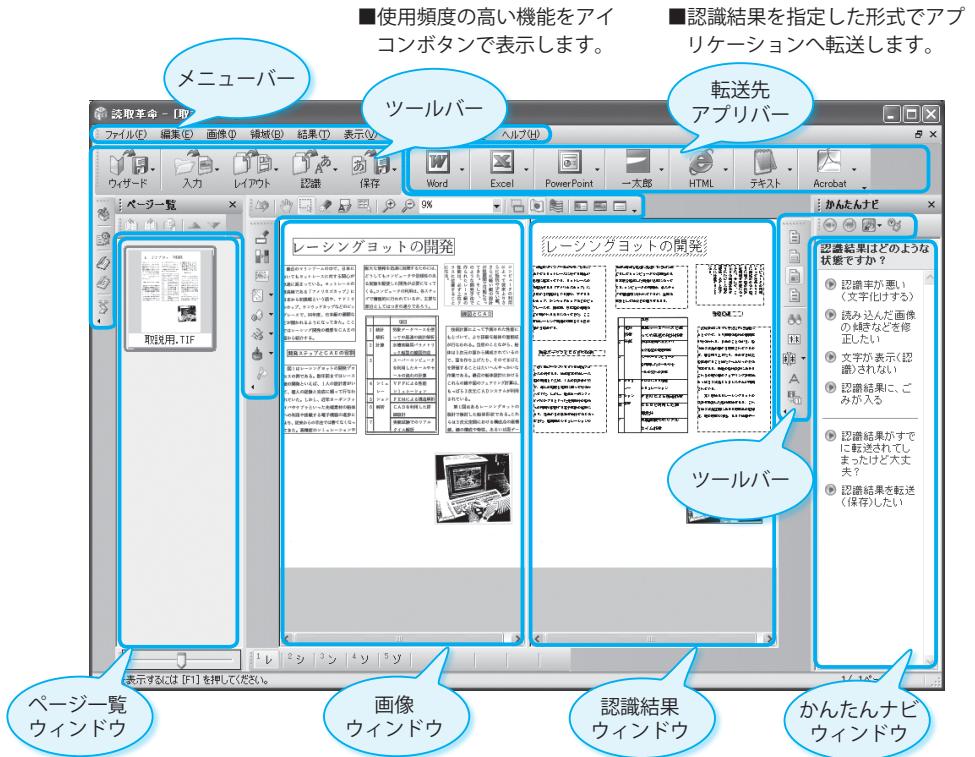
読取革命について

読取革命の概要	14
画面構成	14
基本操作の流れ	15
その他の主な機能紹介	17
クリップボード OCR	18
フォルダーウォッチャー	18
簡単！ PDF for Office	18
ウィンドウとバーの表示を変更するには	19
操作モード	21

読取革命の概要

「読取革命」は活字書体で印刷された原稿を画像入力し、編集可能な文字データに変換するソフトウェアです。ここでは画面構成・基本操作の概要・使われる用語・特長について紹介します。

画面構成



■読み込んだ画像を表示します。■選択した文書の画像を下部のスライダーを移動させると表示倍率が変更します。

■認識結果が表示されます。認識された文字の修正作業を行います。

■対話形式で操作をご案内します。

※ツールバーの詳細については、「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を参照してください。

基本操作の流れ

「読取革命」を起動する

「読取革命」は、Windows の [スタート]-[すべてのプログラム] から選択して起動できるほか、デスクトップ上のアイコンからも起動することができます。また、アドイン設定を行ったアプリケーションから起動することができます。

画像を読み込む

画像ファイルを開くか、TWAIN デバイス（スキャナー）、デジタルカメラ、または、画面キャプチャーやクリップボードなどから画像を読み込みます。
(☞「画像を入力する」P.47)



レイアウト認識をする

入力された画像に対して、文字（日本語・英語）・画像・図形・表・手書きなどの属性を分類し、領域枠を設定します。領域枠は自動で設定することも、手動で設定することもできます。また、選択した領域に対して実行すれば、指定された範囲内だけを認識することもできます。

特長

- ・レイアウト認識には、ページ（画像）全体を認識する [選択したページ]/[現在のページ] のほかに、指定した領域内だけを認識する [選択した領域] があります。
- ・手動で領域枠を設定しても、「属性変更」ダイアログボックス内の [領域属性] が [自動判定] に設定されていれば、領域の属性を自動判定することができます。
- ・[自動罫線追加] 機能で、色分けだけで構成された表も罫線として認識可能です。
- ・領域を設定すると、文字認識を行う順番が自動的に決められますが、任意に変更することもできます。（☞「読取順序を変更するには」P.122）
- ・一度設定した領域に対して、サイズ変更・統合・削除・属性変更を行うことができます。（☞「領域枠の設定」P.90）
- ・領域設定をテンプレートとして保存し、他の同じレイアウトのページを認識するときに利用することができます。
(☞「テンプレートで同じ形式のページを認識する」P.106)

● 領域枠作成 → マウスを使い、ドラッグで枠を囲んで指定します。この枠を領域枠といいます。

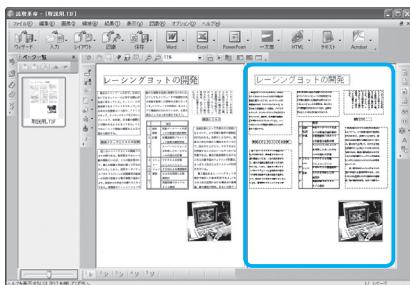
● 属性の設定 → 読み取る文書に合わせて、文字方向、文字種、表、手書き文字、および画像など、領域ごとの設定を行います。この設定を属性といいます。それぞれの設定に合わせて領域枠の色を変えることができます。

※この機能をレイアウト認識といいます。



文字認識をする

設定された領域枠の属性に合わせて文字認識を行います。レイアウト認識を行ってなくとも、文字認識を実行すると、同時にレイアウト認識が実行されます。



特長

- 文字認識には、ページ(画像)全体を認識する[選択したページ]/[現在のページ]と、指定した領域内だけを文字認識する[選択した領域]があります。
- 英文書を認識する場合、英語認識モードにすると高い認識率でスピーディーに認識することができます。
(☞「認識モードを変更する」P.97)

- 新聞の見出しなど、読み取りにくい文字も認識することができます。

この機能を見出し認識といいます。

(☞「見出し認識」P.103)

- 認識結果が確かにない文字(未確定文字※)はテキスト表示では赤色、領域表示・カラーリアル表示・ハイパーチェッカーでは背景が灰色で表示されます。認識結果を印刷すると、テキスト表示では未確定文字は下線付きで印字され、領域表示・カラーリアル表示では背景が灰色で印刷されます。また、ハイパーチェッカーでは印刷できませんので別の表示に変更してから印刷してください。

※未確定文字表示は解除することもできます。

(☞「[一般]タブの設定」P.181)

保存・転送・印刷する

特長

- 認識結果を他のアプリケーションに転送することができます。
(☞「転送する」P.84)

例えば Microsoft Word に転送した認識結果は Microsoft Word の文書として編集作業ができます。

その他、Microsoft Excel・Microsoft PowerPoint・一太郎・ブラウザー・Adobe Reader/Adobe Acrobat・メモ帳などのテキストエディター・クリップボードに転送することができます。

- 原稿のレイアウト・表・罫線・地図や写真などの画像を、そのまま文書に活かすことができます。

原稿のレイアウトを再現させるには、Microsoft Word(doc/rtf)・一太郎(jtd)・Microsoft Excel(xls)

- ・Microsoft PowerPoint(ppt)・Adobe Reader/Adobe Acrobat(pdf)・ブラウザー(htm/xml)の形式で保存します。

※ TXT、CSV 形式で保存した場合はテキストだけが転送されます。

「読み取革命」を終了する

その他の主な機能紹介

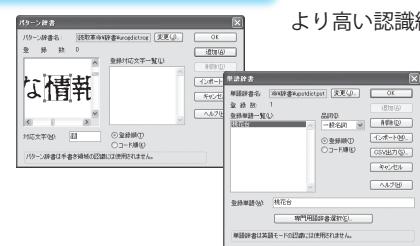
画像編集機能



「読取革命」では入力した画像をOCRに最適な画像に修正するためにさまざまな機能を用意しています。モードを変更することにより、[消しゴム]や[作図]機能が利用できます。また、[画像]メニューからは、画像の状態に応じて下記の機能を選択することができます。

- ・消去
 - ・傾き補正
 - ・傾斜
 - ・減色
 - ・長方形化
 - ・作図
 - ・色の反転
 - ・回転
 - ・リサイズ
 - ・明るさ
 - ・カラーフィルター
 - ・消しゴム
 - ・トリミング
 - ・上下反転
 - ・シャープネス
 - ・コントラスト
 - ・カラードロップアウト
 - ・ノイズ除去
 - ・左右反転
 - ・エッジ強調
 - ・ガンマ補正
 - ・一括画像編集

ユーザー辞書



頻繁に使用する単語や、誤認識しやすい文字画像を辞書に登録することにより、より高い認識結果を得ることができます。

特長

パターン辞書 :

誤認識しやすい文字画像を登録します。

単語辞書 :

認識で頻繁に使用する単語を、辞書種別を指定して辞書ファイルに登録します。

その他の機能・特長

- ・「かんたんナビ」は、対話形式で操作を行い、操作画面、操作案内や質問に対するヘルプが表示されます。期待した認識結果が得られず、操作にお困りの方々のお手伝いをします。
(☞「かんたんナビで対話しながら処理を行う」P.40)
 - ・「入門ウィザード」は、初めてご利用いただく方でも基本操作の流れを簡単に学ぶことができます。
(☞「入門ウィザードで自動認識処理を行う」P.43)
 - ・「一括認識」は、画像読み込みから保存・転送までを一度に設定し、自動的に処理することができます。大量の原稿をスピーディーに処理します。
(☞「一括認識で自動認識する」P.113)
 - ・作業状態を保存することができます。保存を実行した状態をそのまま再現できるので、すぐに作業の続きをを行うことができます。
(☞「作業ファイルを保存して作業を中断する」P.104)
(☞「作業ファイルを開いて作業を再開する」P.105)
 - ・「自動アップデート」で常に最新のファイルをダウンロードできます。
※「自動アップデート」は、インターネットに接続可能な環境に限りご利用いただけます。

クリップボード OCR

機能概要



「クリップボード OCR」は、「読み取り革命」インストール時にインストールされる独立した1つのアプリケーションです。

パソコンのディスプレイ上に表示されている画面を指定して、簡単に文字認識を行うことができます。

テキスト抽出ができなくなった文書ファイルなどから文字を抽出する場合に便利です。

画像入力は以下の2つおりが用意されています。

画面キャプチャー入力：

画面上の指定した範囲を文字認識します。

クリップボード画像：

クリップボードに保存された画像を文字認識します。

フォルダーウォッチャー

機能概要



「フォルダーウォッチャー」は「読み取り革命」インストール時にインストールされる独立した1つのアプリケーションです。

「読み取り革命」を起動することなく、指定したフォルダーに保存した画像ファイルを自動的に文字認識し、出力先フォルダーへ指定ファイル形式で出力します。

簡単！ PDF for Office

機能概要



「簡単！ PDF for Office」は「読み取り革命」インストール時にインストールされる独立した1つのアプリケーションです。

PDFファイルをドラッグ&ドロップして、Word/Excel/テキスト/JPEG/BMP形式のファイルに変換します。

※作成ファイルから「読み取り革命」を選択した場合は、「読み取り革命」が起動し、ファイルが画像変換され「読み取り革命」に読み込まれます。

ウィンドウとバーの表示を変更するには

画像ウィンドウ・認識結果ウィンドウ・ページ一覧ウィンドウ・転送先アプリバー・ツールバーは、下記の方法で表示のオン / オフと形態の変更ができます。

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウ

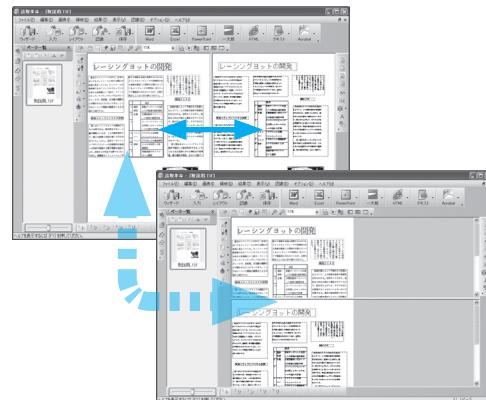
●形態の変更

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウの境界でマウスの左ボタンを押したまま動かすと、ウィンドウの割合を変えることができます。文字認識を実行する前は、認識結果ウィンドウは表示されず、このバーは右端に表示されています。また、右図のようにウィンドウの並びを上下に変えることもできます。

(☞「画像・認識結果ウィンドウを上下に並べるには」P.127)

画像ウィンドウや認識結果ウィンドウだけを表示させることもできます。

(☞「画像 / 認識結果ウィンドウを表示する」P.67)

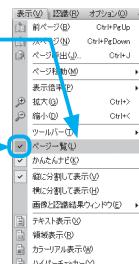


ページ一覧ウィンドウ

●表示のオン / オフ

[ページ一覧] をクリックしてオン / オフ

表示されているときは、チェックマークがついています

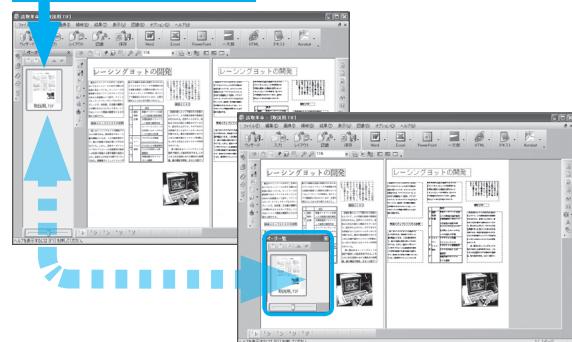


●形態の変更

ページ一覧ウィンドウのタイトルバーでマウスの左ボタンを押したまま動かすと、表示位置を自由に変えることができます。

また、ページ一覧ウィンドウを画面の上下部、左右端に固定することができます。

ページ一覧ウィンドウ



※ページ一覧ウィンドウを画面内に戻すには、ページ一覧ウィンドウのタイトルバーをダブルクリックします。

●表示サイズの変更

ページ一覧ウィンドウのスライダーを移動して、一覧の表示サイズを変更することができます。



転送先アプリバー

認識結果を他のアプリケーションへ転送するツールバーです。

(☞「転送する」P.84)

(☞「転送先アプリバーの設定」P.123)

●形態の変更

転送先アプリバーの上（ボタン以外の場所）でマウスの左ボタンを押したまま動かすと、表示場所を自由に変えることができます。また、画像ウィンドウ、認識結果ウィンドウ上下部、左右端に固定することができます。



●表示のオン / オフ

[転送先アプリバー]をクリックしてオン / オフ

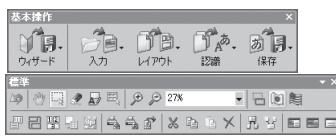
表示されているときは、チェックマークがついています



ツールバー

●種類

基本操作



標準



設定



候補文字修正



●表示のオン / オフ

[ツールバー]を選択

それぞれをクリックしてオン / オフ

表示されているときは、チェックマークがついています

ページ一覧



画像編集



認識結果編集



かんたんナビ

かんたんナビ

各ツールバーに表示されるボタンは表示 / 非表示を変更することができます。

(☞「ツールバーをカスタマイズするには」P.128)

※デフォルトでは表示されていないボタンがあります。

※▼があるボタンは、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されるようになっています。次回同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

ステータスバー

カーソルがメニュー やツールバーのボタン上にあるとき、メニュー やツールバーのボタンの意味、あるいは表示中のページ番号 / 総ページ数をステータスバーに表示します。また、進行状況はプログレスバーで表示し、[中止] ボタンをクリックして処理を中断することができます。

ステータスバー



プログレスバー



操作モード

「読取革命」には[ドラッグモード]・[領域設定モード]・[消しゴムモード]・[作図モード]・[表編集モード]の5つの操作モードがあり、常にいずれかの操作モードになっています。

操作説明内に例えば **（ド ラ グ モ ド）** という記述がある場合は、表記されているモードで操作を行ってください。

現在の操作モードは何？

次の方法で現在の操作モードを確認することができます。

●メニューを表示させて確認



[編集]メニューを開くと現在の操作モードを確認することができます。

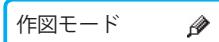
現在の操作モードは、アイコンの背景色で区別されます。

●ツールバーで確認



現在の操作モードは、アイコンの背景色で区別されます。

●画像ウィンドウ上のカーソルの状態で確認

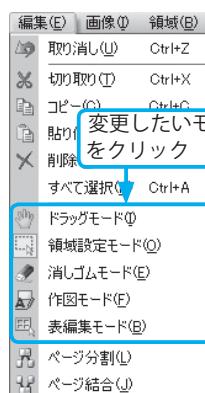


マウスカーソルの形状は、モードごとに変化します。

操作モードを変更するには？

目的の操作に合わせて、操作モードを変更することができます。

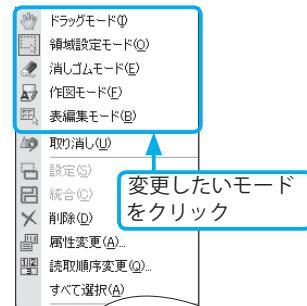
●メニューを表示させて変更



●ツールバーで変更



●右クリックで変更



セットアップ

インストール	24
アンインストール	27
自動アップデート	30
TWAIN デバイスの設定	33
メーカー diáログを利用する場合	33
TWAIN 専用 diáログを利用する場合	34

インストール

「読取革命」をインストール（パソコンに組み込む）します。

※「読取革命」をインストールする前に必ず他のアプリケーションソフトは終了させてください。

※インストールは、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーでログオンして行ってください。

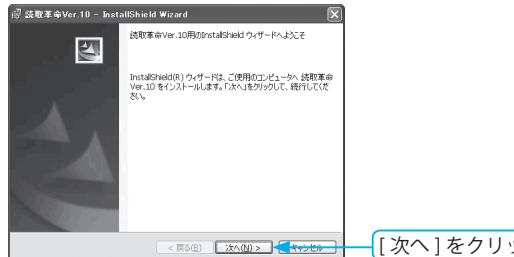
インストールプログラムが開始されない場合

- ①タスクバーの [スタート] ボタンをクリック。
- ②[ファイル名を指定して実行] をクリック。
- ③[D:\\$setup] と入力。（[D:] は CD-ROM ドライブ名で、お使いの環境によって異なります。）
- ④[OK] ボタンをクリック。

※ [ソフトウェア使用許諾契約書] は本書の P.3～P.4 にも記載しています。

1 インストールプログラムを開始する

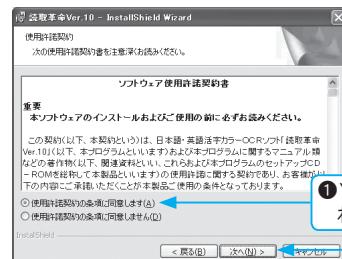
付属のセットアップ CD-ROM をドライブにセットしてください。インストールプログラムは自動的に開始します。



2 [ソフトウェア使用許諾契約書] を確認する

①ソフトウェア使用許諾契約書に同意される場合は [同意します] をクリック

②[次へ] をクリック



※シリアル番号は取扱説明書の最後のページに記載されています。

3 [ユーザ情報] を入力する



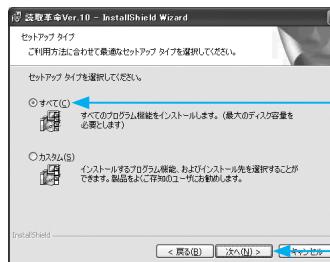
① ユーザ名、所属、シリアル番号を入力してください

② [次へ] をクリック

※シリアル番号を誤って入力した場合は、ダイアログボックスが表示されます。確認の上、再度入力してください。

4 [セットアップタイプ] を選択する

※ [カスタム] を選択すると、インストール先やアプリケーション本体、追加機能を指定できます。



① [すべて] をクリック

② [次へ] をクリック



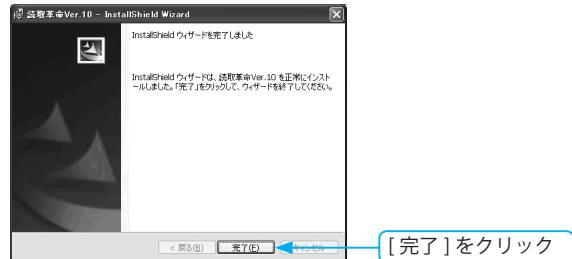
③ [インストール] をクリックするとインストールを開始します

- ・「読み取革命デジカメ監視をスタートアップに登録しない場合は、「読み取革命デジカメ監視をスタートアップに登録する」のチェックボックスをクリックしてオフにしてください。」
- ・「読み取革命」へのショートカットをデスクトップに作成しない場合は、「読み取革命へのショートカットをデスクトップに作成する」のチェックボックスをクリックしてオフにしてください。」
- ・「ユーザー登録へのショートカットをデスクトップに作成しない場合は、「ユーザー登録へのショートカットをデスクトップに作成する」のチェックボックスをクリックしてオフにしてください。」

5

インストール完了

※インストールが完了すると、再起動を行うかどうかの確認のダイアログボックスが表示される場合があります。
[はい]をクリックして、Windowsの再起動を行ってください。



アンインストール

インストールされている「読み取り革命」をアンインストール（パソコンから削除）します。

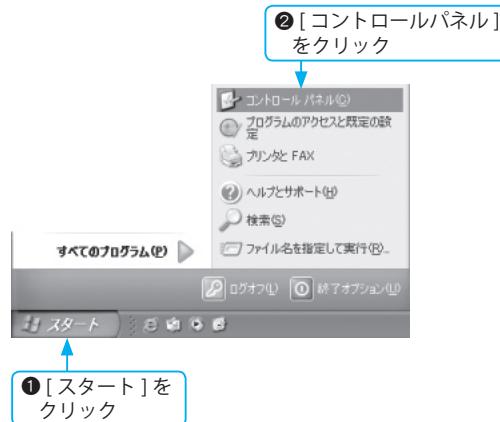
インストールをやりなおす場合は、最初にアンインストールを実行してください。

※アドインの設定を行っているアプリケーションがある場合は、アドインを解除してからアンインストールを行ってください。アドインの解除については、「アドインの設定と解除」P.191を参照してください。

※アンインストールは、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーでログオンして行ってください。

※アンインストールを実行する前に、「読み取り革命」とすべてのアプリケーションを終了してください。

1 コントロールパネルを選択する



2 [プログラムの追加と削除]を開く



※ [プログラムの追加と削除] のダイアログボックスの表示はお使いのOSによって異なります。

3 「読み取革命」を選択する

- ①リストの中から「読み取革命 Ver.10」をクリック



4 「読み取革命」を削除する



5 辞書の削除を確認する

前回使用したパターン辞書と単語辞書の削除について、それぞれ確認ダイアログボックスが表示されます。



パターン辞書を削除する場合は、[はい] をクリック



単語辞書を削除する場合は、[はい] をクリック

※再度インストールを行って、パターン辞書 / 単語辞書を再利用する場合は、[いいえ] を選択してください。

6 アンインストール完了

インストール先のフォルダーが 削除されない場合

インストール先のフォルダー内にお客さまが作成されたファイルがある場合は、この操作ではフォルダーを削除できません。手動でフォルダーの削除を行ってください。

*デフォルトのインストール先フォルダーのパス

(C:\Program Files\Panasonic\YomikakuV10)



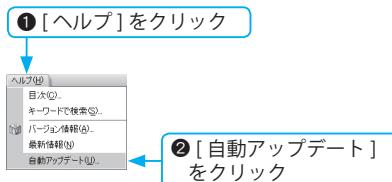
自動アップデート

「読取革命」のインターネット・サイトに接続し、自動でアップデートを行います。

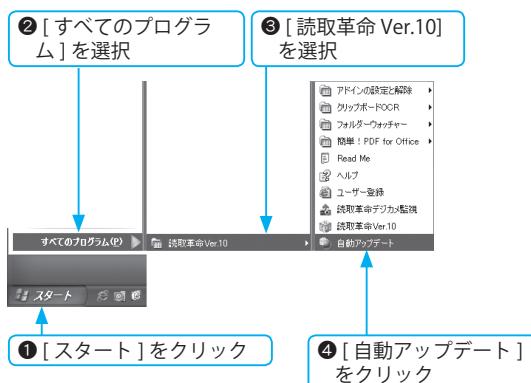
※ 自動アップデートを行うには、あらかじめインターネットをご利用いただける環境が必要となります。

1 自動アップデートを選択する

メニューから



スタートメニューから



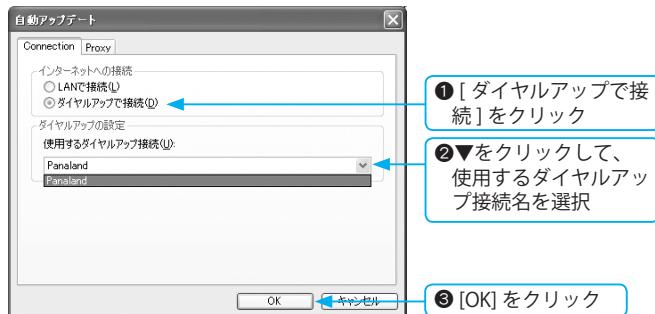
既に手順 2 を行われている場合は、手順 3 を行ってください。

2 インターネット環境を設定する(初回のみ)

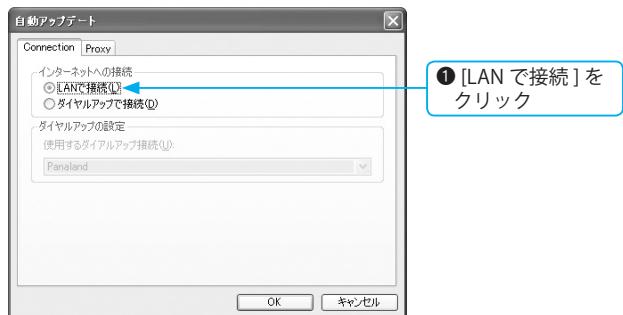


ダイヤルアップ接続の場合

インターネット接続形態がダイヤルアップ方式以外の場合、[LAN で接続] を選択してください。(☞次項「LAN で接続の場合」)



LAN で接続の場合



■ Proxy

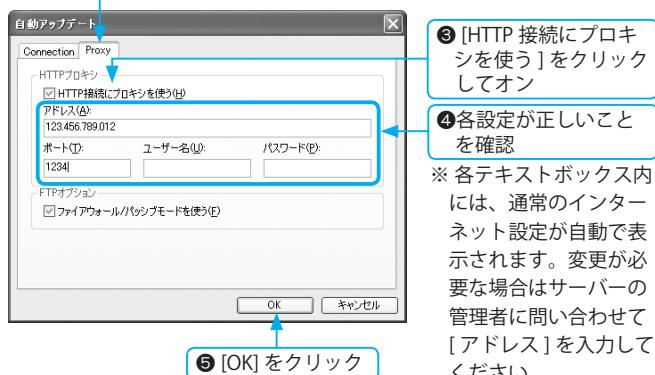
「代理」の意。

企業などの LAN 環境からインターネットにアクセスする場合、直接アクセスせずに、代理としてインターネットの接続をプロキシサーバーが行う。

インターネット接続が Proxy サーバー経由でない場合、手順⑤を行ってください。

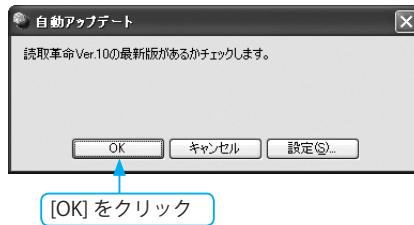
また、Proxy サーバー経由の場合は、続けて手順②以降を行ってください。

② [Proxy] タブをクリック



3

自動アップデートを開始する



エラーメッセージが表示され、 自動アップデートが行えない場合

インターネット接続の設定、または接続するサーバーに問題があると、自動アップデートが正常に行えない場合があります。

インターネットが正常に接続されていることを確認してから、再度「自動アップデート」をお試しください。
また、正常にインターネット接続されているにもかかわらず、問題が解決されない場合は、サポートセンターまでご連絡ください。なお、お問い合わせの際は、表示されるエラーメッセージの番号を合わせてお知らせください。

(☞「アフターサービス」P.241)

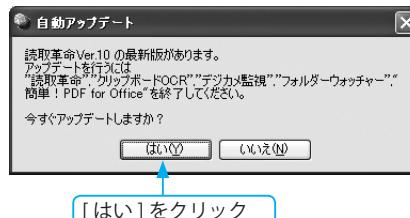
※お急ぎの場合は、「読み取り革命」のホームページから手動でアップデートを行ってください。

(<http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/yomikaku/index.html>)

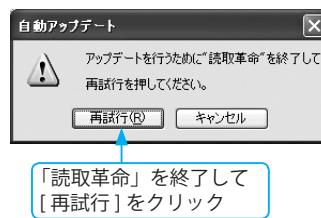
アップデート確認が開始されます



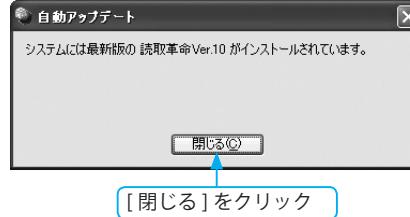
アップデートが必要な場合



※「読み取り革命」を起動したまま自動アップデートを行うと、下記のダイアログボックスが表示されます。



アップデートが必要ない場合



TWAIN デバイスの設定

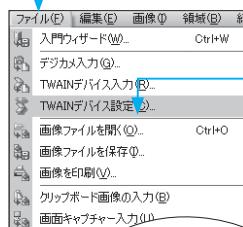
「読み取り革命」は、TWAIN 対応のスキャナーを使用して画像を読み込むことができます。

スキャナー付属の取扱説明書をご確認の上、ドライバーのインストールを行ってください。

ここでは、スキャナーのドライバーがインストールされた環境で、「読み取り革命」をご利用いただくための設定方法を説明します。

1 [TWAIN デバイス設定] を選択する

① [ファイル] をクリック



② [TWAIN デバイス設定] をクリック

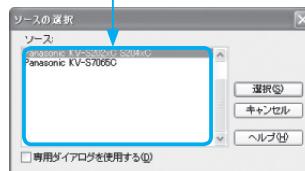
またはツールバーの



ボタンをクリック

2 ドライバーを選択する

リストの中から、TWAIN デバイスのドライバーネームをクリック



3 入力用ダイアログを選択する

メーカーダイアログを利用する場合



② [選択] をクリック

① [専用ダイアログを使用する] をクリックしてオフ

■ ドライバー

パソコンの画面から TWAIN デバイスを動作させるためのソフトです。既に、TWAIN デバイスを使用されている場合は、「読み取り革命」用に改めてインストールする必要はありません。また、一度設定されたドライバーは、「読み取り革命」終了後も記憶されていますので、次回「読み取り革命」を起動したときには、設定の必要はありません。

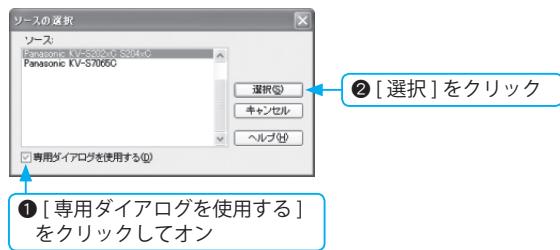
■ ダイアログの表記

TWAIN デバイスマーカーで用意されたドライバーによっては、ダイアログボックスが英語表記となる場合があります。

※ EPSON GT-F500/520/550/570をご利用の場合メーカーダイアログからマルチフォトフィーダーを利用しての連続読み込みは行えません。

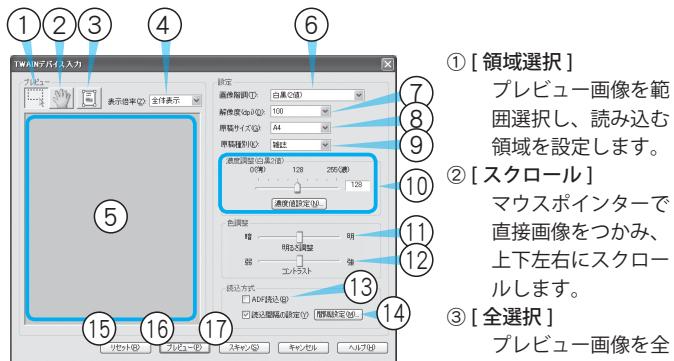
TWAIN 専用ダイアログを利用する場合

「読み取り」には、TWAIN デバイス専用ダイアログが用意されています。 「読み取り」に登録されている TWAIN デバイスであれば、TWAIN 専用ダイアログを利用して、最適な濃度でのスキャンや設定した読み込み間隔での連続スキャンが可能です。



※手順①で選択したドライバー名によっては、チェックボックスが無効となる場合があります。

■ TWAIN 専用ダイアログの詳細



④「專三倍率」

プリビュー画像の表示倍率を設定します

⑤プレビュー ウィンドウ

設定した内容で読み込む原稿をプレビューします

第六章

画像の階調を設定します。設定できる画像階調は、[白黒(2値)]、[グレースケール 16 階調]、[グレースケール 256 階調]、[カラー 256 階調]、[フルカラー] です。

※ 接続されている TWAIN デバイスの種類によって表示される項目は異なります。(設定できる項目はすべて表示されない場合があります)

⑦「解像度」

解像度を設定します。設定できる解像度は [100]、[200]、[300]、[400]、[600]dpi です。

※ 接続されている TWAIN デバイスの種類によって表示される項目は異なります。(設定できる項目はすべて表示されない場合があります)

⑧ [原稿サイズ]

原稿サイズを設定します。設定できる原稿サイズは [A3]、[A4]、[A5]、[A6]、[B4]、[B5]、[B6] のサイズです。

※ 接続されている TWAIN デバイスの種類によって表示される項目は異なります。(設定できる項目はすべて表示されない場合があります)

⑨ [原稿種別]

画像階調が白黒 (2 値) の場合に、原稿の種類にあわせて濃度を調整できます。原稿種別には、[雑誌]、[新聞]、[ワープロ原稿]、[論文]、[マニュアル]、[カタログ]、[その他] があります。各原稿の濃度値は濃度設定ダイアログボックス (濃度値設定ボタンで表示) で変更できます。

※ 接続されている TWAIN デバイスの種類によって濃度変更が有効でない場合があります。その場合は TWAIN デバイスで提供されているメーカー diáログでの濃度値が優先されますので、濃度を調整する場合はメーカー diáログをご使用ください。

⑩ [濃度調整 (白黒 2 値)]/[濃度値設定]

画像階調が白黒 (2 値) の場合に、濃度値を調整できます。スライダーを移動して、画像の濃度値 [0(薄)] ~ 255(濃)] を設定できます。

また、[濃度値設定] ボタンをクリックすると、「濃度設定」ダイアログボックスが表示され、各原稿種別に対する濃度値の調整が行えます。

※ 接続されている TWAIN デバイスの種類によって濃度変更が有効でない場合があります。その場合は TWAIN デバイスで提供されているメーカー diálogでの濃度値が優先されますので、濃度を調整する場合はメーカー diálogをご使用ください。

⑪ [明るさ調整]

画像階調が「白黒 (2 値)」以外の場合に、スライダーを移動して、画像の明るさを調整できます。

⑫ [コントラスト]

画像階調が「白黒 (2 値)」以外の場合に、スライダーを移動して、画像のコントラストを調整できます。

⑬ [ADF 読込]

ADF から原稿を読み込む場合に [ADF 読込] のチェックボックスをクリックしてオンにします。

※ 選択した機種によっては選択できない場合があります。

⑭ [読込間隔の設定]/[間隔設定]

チェックボックスをクリックしてオンにすると、[間隔設定] ボタンが有効になります。

[間隔設定] ボタンをクリックすると、「間隔設定」ダイアログボックスが表示され、読み込み間隔の詳細設定が行えます。ダイアログボックス内の数値は半角数値で入力してください。

⑮ [リセット]

設定を初期値に戻すことができます。

プレビュー画面に、A4 以外の原稿サイズが表示されている場合は、原稿サイズが変更されるので、プレビュー画像が消去されます。

⑯ [プレビュー]

TWAIN デバイスで読み込んだ画像をプレビュー表示します。

⑰ [スキャン]

設定した値で、画像を読み込みます。

基本操作

操作手順	38
読み取りを起動する	39
かんたんナビで対話しながら処理を行う	40
入門ウィザードで自動認識処理を行う	43
画像を入力する	47
デジカメ入力	47
TWAIN デバイス(スキャナー)入力	49
画像ファイルを開く	50
クリップボード画像の入力	51
画面キャプチャー入力	52
画像を表示・選択する	53
クリックで直接選択する	53
前ページ・次ページで表示する	53
ページ呼出で表示する	54
すべてのページを選択する	55
ページを移動する	56
前へ・次へで移動する	56
ドラッグで移動する	57
画像の表示倍率を変更する	58
指定倍率に変更する	58
一定倍率で拡大・縮小する	58
認識結果と文字画像の連動	59
認識結果から文字画像を表示する	59
文字画像から認識結果を表示する	59
操作モードの切り替え	60
ドラッグモード	60
領域設定モード	61
消しゴムモード	61
作図モード	61
表編集モード	61
画像の表示位置を変える	62
レイアウト認識を行う	63
選択したページ	63
現在のページ	64
選択した領域	64
文字認識を行う	66
画像 / 認識結果ウィンドウを表示する	67
認識結果ウィンドウの表示を切り替える	69
テキスト表示	69
領域表示	70
カラーリアル表示	70
ハイパー チェッカー	70
切り取り・コピー・貼り付けをする	71
画像の切り取り・コピー・貼り付け	71
文字列の切り取り・コピー・貼り付け	72
削除する	73
領域枠を削除する	73
文字列を削除する	74
半角・全角を変換する	75
修正機能で認識結果を編集する	76
一括修正で複数の文字を一度に修正する	76
候補文字修正で1文字ずつ修正する	77
検索する	79
置換する	80
取り消し	81
保存する	82
画像の保存	82
認識結果の保存	83
転送する	84
印刷する	85
画像の印刷	85
認識結果の印刷	86
ページを閉じる	87
終了する	88

操作手順

■ は、基本的な操作で、本章の次ページより説明を記載しています。

■ は、必要に応じて行う応用的な操作です。

通常の手順

- 1 起動する
☞ P.39
- 2 画像を入力する
☞ P.47 ~ P.52
■ 画像を編集する
☞ P.133
- 3 レイアウト認識する
☞ P.63 ~ P.65
■ 領域枠の手動設定・変更
☞ P.90 ~ P.96
■ 見出しを認識する
☞ P.103
- 4 文字認識する
☞ P.66
■ 認識結果を編集する
☞ P.72 ~ P.81
☞ P.98 ~ P.100
☞ P.121 ~ P.122
- 5 保存・転送する
☞ P.82 ~ P.84
- 6 印刷する
☞ P.85 ~ P.86
- 7 終了する
☞ P.88

入門ウィザードの手順

- 1 起動する
☞ P.39
- 2 入門ウィザードを選択する
☞ P.43
- 3 画像を入力する
ト TWAIN デバイス ☞ P.44
ト ファイル
ト デジカメ
- 4 画像の処理を行う
ト 画像の回転 ☞ P.45
ト 画像の傾き補正
ト カラーフィルター
- 5 認識の種類を選択する
ト 日本語
ト 英語
- 6 認識結果の出力を選択する
ト ウィンドウへ表示 ☞ P.46
ト アプリケーションへ転送

■ [入門ウィザード]

入門ウィザードのステップにそって設定をするだけで、画像の読み込みから認識結果の出力までを自動で行う機能です。

初めて「読み取り革命」を使用される方は、基本操作の流れを学ぶことができます。

メニューバーから選択する他に、「読み取り革命」を起動後に表示される「読み取り革命へようこそ」ダイアログボックスの[入門ウィザード] ボタンをクリックすると「入門ウィザード」ダイアログボックスを表示することができます。

一括認識の手順

- 1 起動する
☞ P.39
- 2 一括認識を選択する
☞ P.113
- 3 画像を入力する
ト 入力済みの画像を使用する
ト TWAIN デバイス
ト ファイル
ト デジカメ
- 4 画像の編集を行う
ト 画像のノイズ除去
ト カラーフィルター
- 5 画像の回転を行う
☞ P.114
- 6 画像の傾き補正を行う
☞ P.115
- 7 レイアウトを指定する
ト レイアウト認識
ト テンプレート使用
- 8 認識結果の出力を選択する
ト ウィンドウへ表示 ☞ P.116
ト ファイルへ保存
ト アプリケーションへ転送

■ [一括認識]

簡単な設定をするだけで、画像の読み込み、画像編集、レイアウト認識、文字認識、保存(転送)を自動で行う機能です。

読取革命を起動する

「読取革命」は、Windows の [スタート]-[すべてのプログラム] から選択して起動できるほか、デスクトップ上のアイコンからも起動することができます。

また、アドイン設定を行ったアプリケーションから起動することができます。

1 「読取革命」を起動する

スタートメニューから

- ② [すべてのプログラム] を選択



- ① [スタート] をクリック



- ④ [読取革命 Ver.10] をクリック

※ [スタート]-[すべてのプログラム] の表示はお使いのOSによって異なります。

※デスクトップ上のアイコンは、インストール時に、「読取革命へのショートカットをデスクトップに作成する」のチェックボックスをオンにした場合に表示されます。

アドイン対象アプリケーション

- Microsoft Word 2000/2002/2003
 - Microsoft Excel 2000 ※ /2002/2003
 - Microsoft PowerPoint 2000/2002/2003
 - Adobe Acrobat 6/7
- ※ Microsoft Excel 2000 は、SR-1 以上に対応しています。

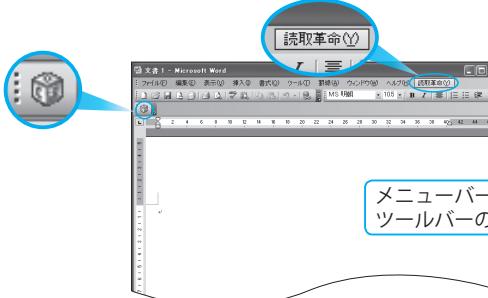
デスクトップ上のアイコンから



- デスクトップ上の「読取革命 Ver.10」のアイコンをダブルクリック

アドイン設定ボタンから

「読取革命」では、アドインの設定と解除を行うことができます。アドインの設定については、「アドインの設定と解除」 P.191 を参照してください。



- メニューバーの「読取革命」か、ツールバーのボタンをクリック

かんたんナビで対話しながら処理を行う

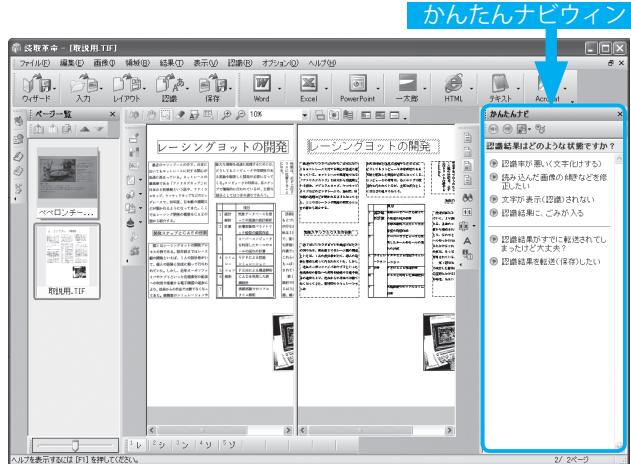
対話形式で操作を案内する「かんたんナビ」をご用意しています。

各質問に答えていけば、「かんたんナビ」が問題解決のための操作をすばやくご案内し、「かんたんナビ」ウィンドウ内から機能を直接実行することもできます。また、ウィンドウ内の関連ヘルプをクリックすると、知りたい項目の該当ヘルプが起動します。

期待した結果が得られず、お困りの際に是非お試しください。

かんたんナビを表示する

初回起動時は、「かんたんナビ」がかんたんナビウィンドウに表示されています。

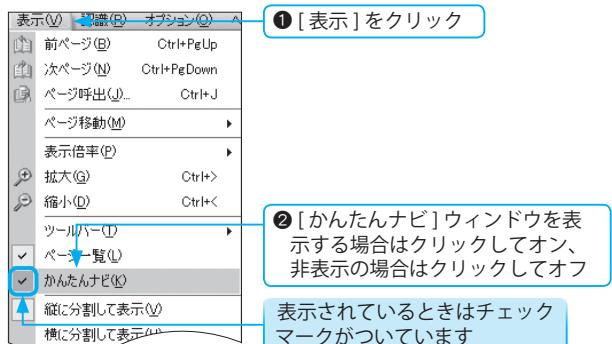


かんたんナビウィンドウ

1 メニューを選択する

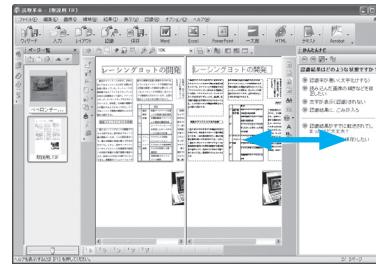
●表示のオン / オフ

かんたんナビは、メニューから[表示/非表示]を切り替えることができます。

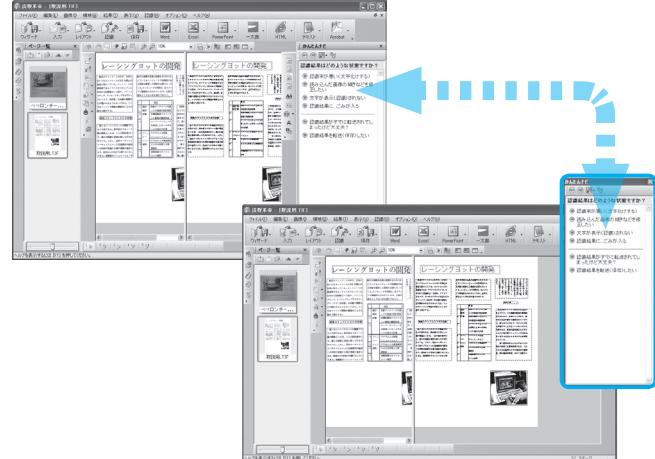


●形態の変更

かんたんナビウィンドウと認識結果ウィンドウの境目のバーの上でマウスの左ボタンを押したまま動かすと、ウィンドウの割合を変えることができます。

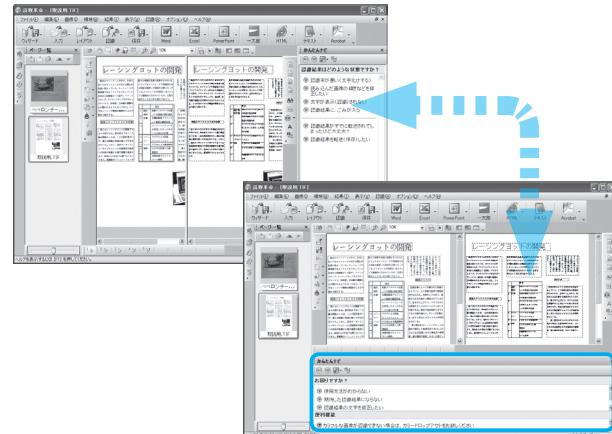


かんたんナビウィンドウのタイトルバーをマウスの左ボタンを押したまま動かすと、読み取り革命のメイン画面から切り離して移動させることができます。



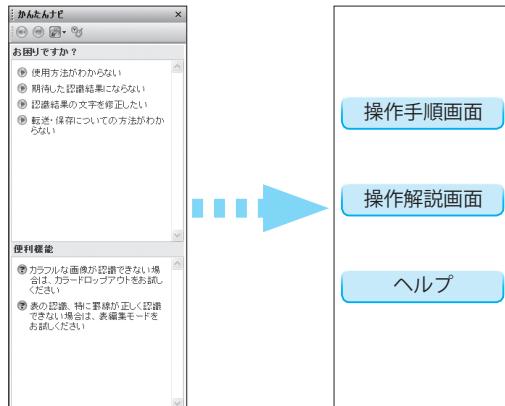
※かんたんナビウィンドウを画面内に戻すには、かんたんナビウィンドウのタイトルバーをダブルクリックします。

かんたんナビウィンドウの並びを上下左右に変更して固定することもできます。



2 項目を選択する

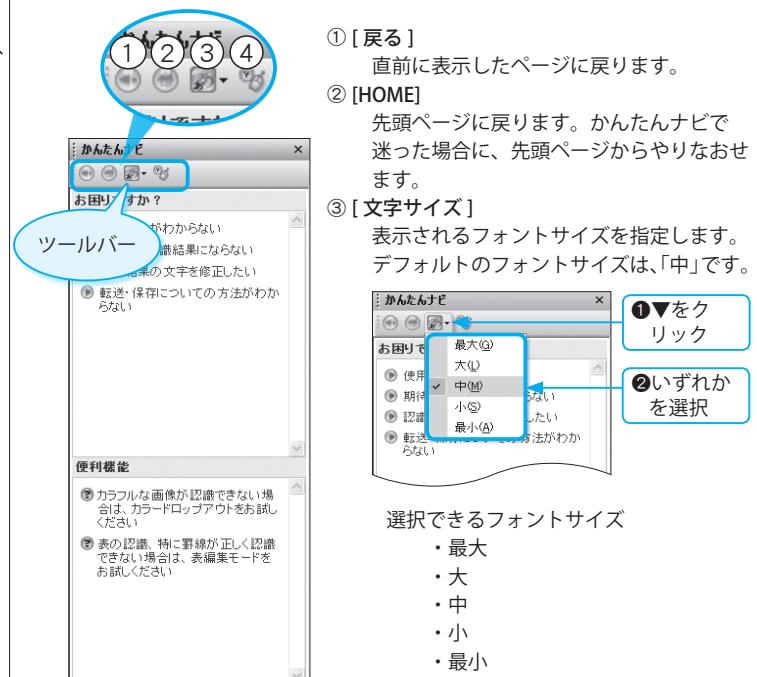
※「かんたんナビ」は、画像入力、レイアウト認識、文字認識後に操作に沿った画面に自動的に切り替わります。(入門ウィザード、または一括認識処理中は除く)



「かんたんナビ」ウィンドウに表示される項目をクリックしていくと、操作手順画面や操作解説画面、またはヘルプが起動して確認したい項目の内容を表示します

■ 「かんたんナビ」 ウィンドウの詳細

※ツールバーの表示/非表示については、「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。



入門ウィザードで自動認識処理を行う

初めて「読み取革命」を使用される方は、「入門ウィザード」で基本操作の流れを学ぶことができます。

「入門ウィザード」を利用するには、メニュー バーやツールバーから選択する以外に、「読み取革命」起動時に表示される「読み取革命へようこそ」ダイアログボックスからも表示することができます。

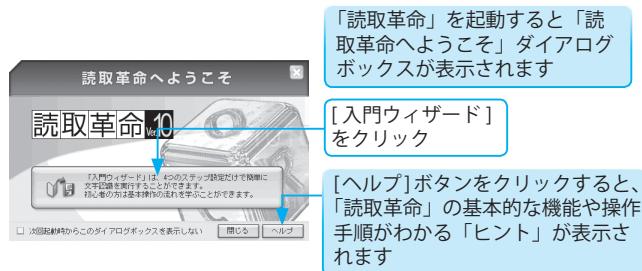
「読み取革命へようこそ」ダイアログ
ボックスを起動しないようにするには
以下の2通りの手順があります。

- ・[次回起動時からこのダイアログを表示しない]をクリックしてオンにする。
- ・[環境設定]の[一般]タブで[起動時に「読み取革命へようこそ」を表示する]のチェックボックスをオフにする。
(☞「[一般]タブの設定」P.181)

※起動時に「読み取革命へようこそ」ダイアログボックスを表示しないよう設定した場合は、ツールバーおよびメニュー バーから「入門ウィザード」を選択して表示してください。

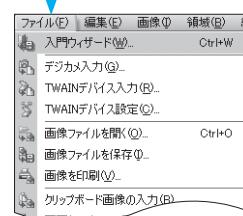
1 入門ウィザードを表示する

「読み取革命へようこそ」ダイアログから表示する



メニュー バーやツールバーから表示する

① [ファイル] をクリック



② [入門ウィザード] をクリック

またはツールバーの



2 文字認識の条件設定を行う

※ここでは、文字認識のための条件を「入門ウィザード」のステップにそつて設定していきます。



ステップ1・・・画像の入力

画像の読み込み方法を選択します。

次の3つの選択肢からいずれか1つを選び、ラジオボタンをクリックしてオンにしてください。

■ TWAIN デバイスから読み込む

[TWAIN デバイスから]を選択すると、ステップ4で認識を実行した後に「TWAIN デバイス入力」ダイアログボックスが表示されます。

(☞「TWAIN デバイス(スキャナー)入力」P.49)

また、[TWAIN デバイス設定]をクリックすると、「ソースの選択」ダイアログボックスが表示され、TWAIN デバイスを選択できます。

(☞「TWAIN デバイスの設定」P.33)

複数ファイルを指定する場合

・離れたファイルを指定する

[Ctrl]キーを押したまま、ファイルを1つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。

・連続したファイルを指定する

選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の始めのファイルをクリックし、[Shift]キーを押したまま、選択したい範囲の最後のファイルをクリックすると、間に挟まれたファイルがすべて選択できます。

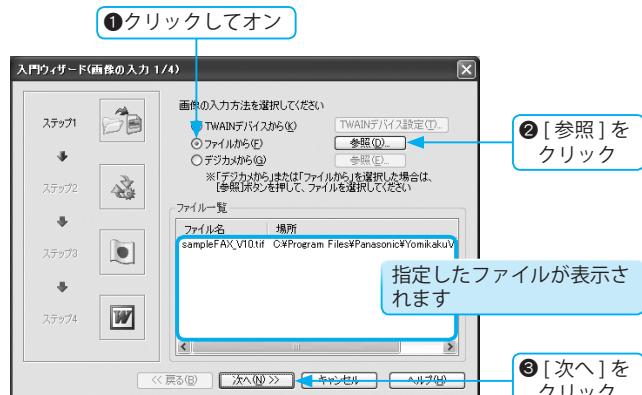
※同じフォルダーの中でだけ複数のファイルを指定することができます。

※各ファイルの合計 999 ページまで読み込むことができます。

■ ファイルから読み込む

[ファイルから]を選択し、[参照]をクリックするとファイル入力ダイアログボックスが表示されます。

(☞「画像ファイルを開く」P.50)

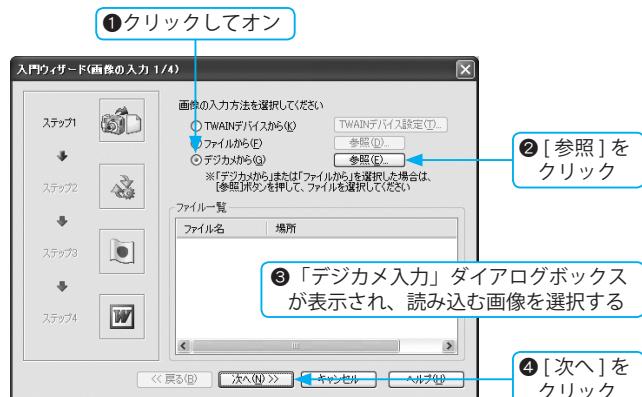


※ Adobe PDF ファイル、または *.xdw/*.xbd 形式のファイルを読み込む場合 (☞「画像ファイルを開く」P.50)

■ デジタルカメラから読み込む

[デジカメから]を選択し、[参照]をクリックすると、デジカメ入力のダイアログボックスが表示されます。

(☞「デジカメ入力」P.47)



ステップ2・・・画像の修正

■画像の回転を行う

画像の回転を設定します。画像の回転を行う必要があれば、チェックボックスをクリックし、さらに次の4つの選択肢からいずれか1つを選び、ラジオボタンをクリックしてオンにしてください。

- ・左90度
- ・180度
- ・右90度
- ・自動判定

■画像の傾き補正を行う

[画像の傾き補正を行う]をクリックしてオンにすると自動で傾き補正が行われます。

■カラーフィルター処理を行う

[画像の傾き補正を行う]をクリックしてオンにすると自動で文字認識に最適な画像処理が行われます。

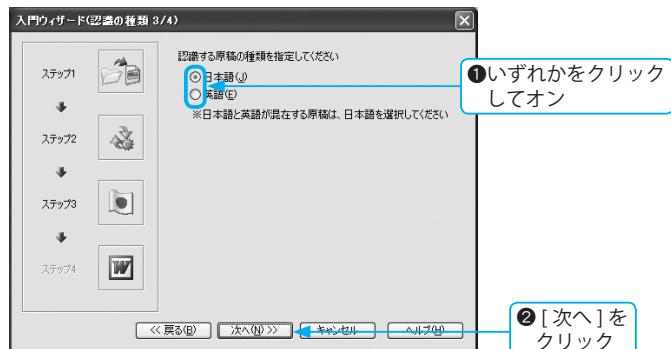
※画像ウィンドウに表示された画像が回転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように回転させてください。



ステップ3・・・認識の種類

認識する原稿の種類を指定します。原稿の種類に合わせて2つの選択肢からいずれか1つを選び、ラジオボタンをクリックしてオンにしてください。

- ・日本語
- ・英語



ステップ4・・・認識結果の出力

選択できる転送ファイル形式の詳細

●レイアウト枠付き文書 / 表罫線 / 画像を編集・表示するには

- Microsoft Word 文書 (*.doc)
- Microsoft Excel 文書 (*.xls)
- Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
- 書式付きファイル (*.rtf)
- 一太郎ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書 / 表罫線 / 画像を編集・表示するには

- Microsoft Word(本文) 文書 (*.doc)
- 一太郎(本文) ファイル (*.jtd)

●文字修飾や段組処理を特定のアプリケーションに依存せずに表示するには

- PDF ファイル (*.pdf)
- [*pdf(透明文字)]

元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

[*pdf(高压縮)]

カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示することができます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

●インターネットのホームページ文書として編集・表示するには

- HTML 文書 (*.htm)
- XML 文書 (*.xml)

●文字だけを編集・表示するには

- テキストファイル (*.txt)
- CSV ファイル (*.csv)

■ページ区切り

• TXT/CSV の場合

ページの切れ目には空白行が挿入されます。

• RTF の場合

ページの切れ目にはページ区切り記号が挿入されます。

認識結果ウィンドウへ表示する、または他のアプリケーションへ転送します。

■認識結果を認識結果ウィンドウへ表示する場合

[認識結果を転送する] のチェックボックスはオフのまま [認識実行] をクリックします。

■認識結果を転送する場合

[認識結果を転送する] のチェックボックスをオンにして、[転送先アプリケーション] から転送先を選択します。



画像を入力する

文字認識をする画像を「読み込みます」。

画像を読み込むには、画像ファイル、TWAIN デバイス（スキャナー）、デジタルカメラ、クリップボード、画面キャプチャーなどの方法があります。

デジタルカメラ撮影ポイント

- ・内臓ストロボはできるだけ発光せずに明るい場所で撮影しましょう。
- ・三脚などを使用して手ぶれしないようにしましょう。
- ・原稿が傾かないように原稿の真上から撮影しましょう。

デジタルカメラから

直接入力するための条件

- ・デジタルカメラが DCF に準拠している。
- ・デジタルカメラ、またはメディアをパソコンに接続したとき、エクスプローラーでリムーバブルディスクと認識される。

デジタルカメラのメディアとは

- ・スマートメディア
- ・メモリースティック
- ・コンパクトフラッシュ
- ・SD カード
- ・マイクロドライブ
- ・xD-Picture Card など

※画像が暗かったり原稿に傾きがあると認識率が低下します。

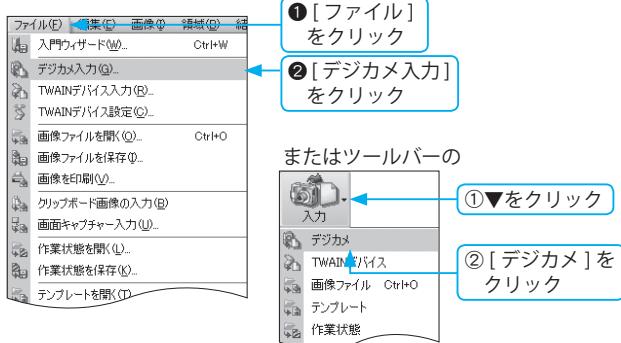
※お使いのデジタルカメラが DCF に準拠しているかはデジタルカメラの製造元に確認してください。また、準拠していない場合は、一旦ハードディスクに画像をコピーして、ファイルから入力してください。

※お使いのパソコンの OS がプリインストール版でない場合は、デジタルカメラとパソコンを USB 接続することができないことがあります。

デジカメ入力

1 [デジカメ入力] を選択する

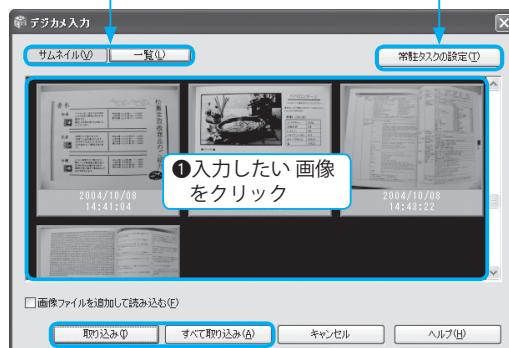
※デジタルカメラをパソコンに接続します



2 読み込む画像を指定する

画像の表示方法が選択できます

【常駐タスクの設定】の詳細については次ページに記載しています

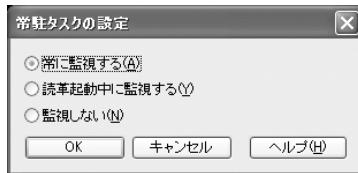


- ①入力したい画像をクリック
- ②選択した画像を読み込みたい場合は、画像を選択し、[取り込み] をクリック
すべての画像を読み込みたい場合は、[すべて取り込み] をクリック

※ FD アダプターを使用して接続した場合など、エクスプローラーでリムーバブルメディアと認識されないものは、常駐タスクで監視することはできません。

■常駐タスクの設定

「読み取り革命」では、デジタルカメラのメディアが接続されたことを常駐タスクで監視することができます。



またはタスクトレイの  をクリック



[常に監視する]

「読み取り革命」が起動していない場合でも、デジタルカメラとパソコンを接続したときに「読み取り革命」が起動し、「デジカメ入力」ダイアログボックスが表示され、画像入力を行うことができます。

[読み取り中に監視する]

「読み取り革命」が起動しているときにデジタルカメラとパソコンを接続した場合、「デジカメ入力」ダイアログボックスが表示され、画像入力を行うことができます。

[監視しない]

常に監視しません。

[終了]

常駐タスクを終了します。

■スタートアップの[読み取り革命デジカメの監視]を追加/削除する

Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザー名でログオンし、以下の設定を行ってください。

[スタートアップに追加する]

(例: WindowsXP の場合)

- ① Windows の [スタート] ボタンをクリック
- ② [すべてのプログラム] - [読み取り革命 Ver.10] - [読み取り革命デジカメ監視] をクリック
- ③ [読み取り革命デジカメ監視] をクリック
- ④ 「スタートアップに登録しますか?」というダイアログボックスの [はい] をクリック



※名称はお使いの OS によって異なる場合があります。

[スタートアップから削除する]

- ① タスクトレイの [読み取り革命デジカメ監視] アイコンをクリック
- ② [終了] をクリック
- ③ 「スタートアップの登録を解除しますか?」というダイアログボックスの [はい] をクリック

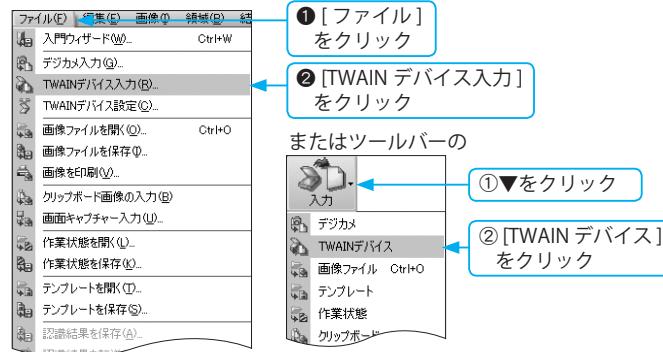


TWAIN デバイス(スキャナー)入力

1 [TWAIN デバイス入力]を選択する

■ TWAIN

パソコン側からスキャナーなどを制御するための手段のうち、業界標準ともいえる仕様です。現在販売されているスキャナーの多くは TWAIN 仕様に準拠しています。



2 読み込みの設定を行う

■ 解像度

画像のきめ細かさや情報量を表現する単位です。画像の情報量はピクセル(画像を構成する点の数)で表します。ドットの数が多いほど、きめ細かく美しい画像となり、ドットの密度を表現する単位として dpi が用いられます。

※原稿をセットするときは、原稿が傾かないように注意して TWAIN デバイスにセットしてください。原稿に傾きがあると認識率が低下します。

※既に「読み取り革命」に画像が読み込まれている場合、TWAIN デバイスから読み込んだ画像は末尾ページ以降に追加されます。

TWAIN デバイスが動作しない場合

ディスプレイに表示されるエラーメッセージをご確認ください。本書記載のエラー・メッセージを参照して該当する項目をご覧ください。

(☞「エラー・メッセージ」P.228)

解像度は 400dpi に設定することをお勧めします

表示されるダイアログボックスは TWAIN デバイスマーカーごとに異なります。操作についてはお手持ちの TWAIN デバイスの取扱説明書を参照してください。

「読み取り革命」独自の専用ダイアログボックスを表示させることもできます。(☞「TWAIN 専用ダイアログを利用する場合」P.34)

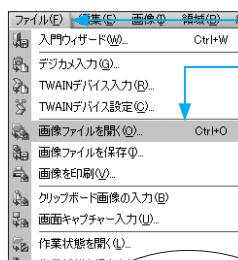
3 読み込みを開始する

読み込みが完了すると、画像ウィンドウに表示されます

※読み込みには、パソコンや TWAIN デバイス(スキャナー)の性能、または設定した解像度によって多少時間がかかる場合があります。

画像ファイルを開く

1 [画像ファイルを開く]を選択する



① [ファイル]をクリック

② [画像ファイルを開く]をクリック

またはツールバーの



①▼をクリック

② [画像ファイル]をクリック

2 読み込む画像ファイルを指定する



①▼をクリックして、画像ファイルのあるフォルダーを選択

③リストの中から読み込むファイル名をクリック

⑤[開く]をクリック

④ここに表示されているファイル名を確認

②▼をクリックして、画像ファイルの種類を選択

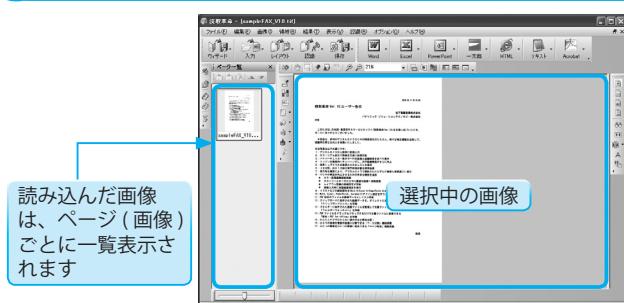
Adobe PDF ファイルを入力するには

Adobe PDF ファイル形式を入力画像として選択するには、お使いのパソコンに対応する Adobe Acrobat または Adobe Reader が別途インストールされている必要があります。これらのアプリケーションがインストールされていない環境では、[ファイルの種類] で Adobe PDF ファイルを選択することはできません。

.xdw/.xbd ファイルを入力するには

.xdw/.xbd 形式のファイルを入力画像として選択するには、お使いのパソコンに富士ゼロックス社 DocuWorks 6 が別途インストールされている必要があります。

3 実行結果



複数ファイルを指定する場合

- 離れたファイルを指定する
[Ctrl] キーを押したまま、ファイルを 1 つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。

連続したファイルを指定する

選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の始めのファイルをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のファイルをクリックすると、間に挟まれたファイルがすべて選択できます。

※既に読み込んでいる画像を残したまま次のページに画像を追加するには、[画像ファイルを追加して読み込む] のチェックボックスをクリックしてオンにします。

Adobe Acrobat ファイルを指定した場合

ステータスバーに「Adobe Acrobat を起動しています」などのメッセージが表示されます。

※ファイルの種類で、Adobe PDF ファイルを選択した場合、解像度を設定することができます。

※複数の画像ファイルを読み込んだ場合、画像ウィンドウには最後に読み込んだ画像が表示されます。

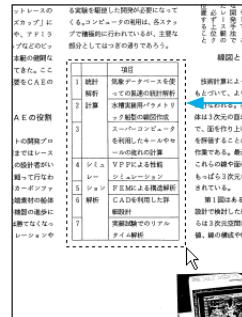
(☞「画像を表示・選択する」P.53)

クリップボード画像の入力

「読み取革命」の画像ウィンドウに表示された画像や、その他のアプリケーションソフトで開いた画像上でコピーや切り取りした画像を取り込むことができます。

1 画像を切り取り（またはコピー）する

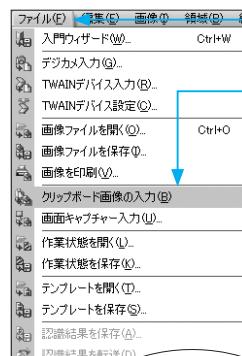
※画像の切り取り・コピーを行う場合
(☞「画像の切り取り・コピー・貼り付け」P.71)



編集したい部分を [切り取り] または [コピー] する

※他のアプリケーションソフトで開いている
画像から切り取り・コピーした画像でもク
リップボード入力が可能です。

2 画像の入力を実行する



① [ファイル] をクリック

② [クリップボード画像の入力] をクリック

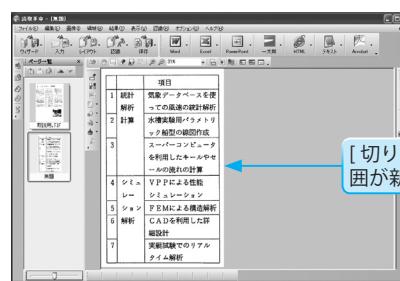
またはツールバーの



① ▼をクリック

② [クリップボード] をクリック

3 実行結果



[切り取り] または [コピー] した範
囲が新規画像として表示されます

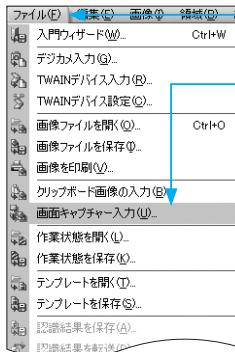
画面キャプチャー入力

ディスプレイに表示されている画像を、範囲指定して、「読み取革命」に取り込むことができます。

Web ページの取り込みを行いたい場合などに便利です。

1

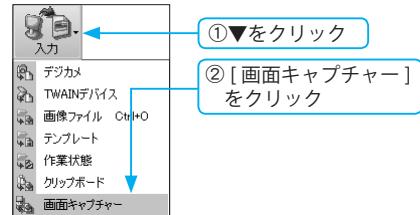
[画面キャプチャー入力]を選択する



① [ファイル]をクリック

② [画面キャプチャー入力]をクリック

またはツールバーの



①▼をクリック

② [画面キャプチャー]をクリック

2

範囲指定する

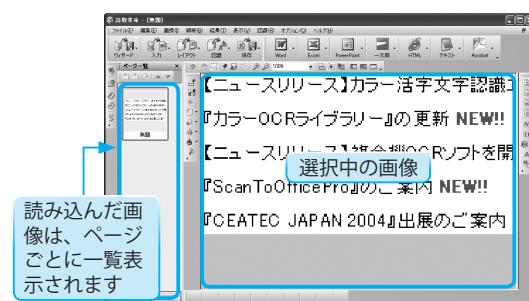
※ [画面キャプチャー入力]が選択されると、「読み取革命」のウィンドウは最小化されます。選択する前に不要なウィンドウはあらかじめ閉じておきましょう。

※ [画面キャプチャー入力]を中止するにはキーボードの[ESC]キーを押します。

※ Windows の [画面のプロパティ] の色数の設定によって、キャプチャーする画像のビット数が変わります。色数が 256 色に設定されている場合は 8 ビットへ、色数が 16 ビット、24 ビット、32 ビットに設定されている場合は 24 ビットの画像になります。

3

実行結果



※ (☞「領域の範囲指定」P.134)

画像を表示・選択する

「読み取り革命」に入力されているページ（画像）を選択して、編集作業を行うことができます。ページはクリック、またはメニューから選択することができます。

クリックで直接選択する

ページ一覧ウィンドウに表示された画像（ページ）をクリックして直接選択します。

1 ページ一覧ウィンドウから選択する

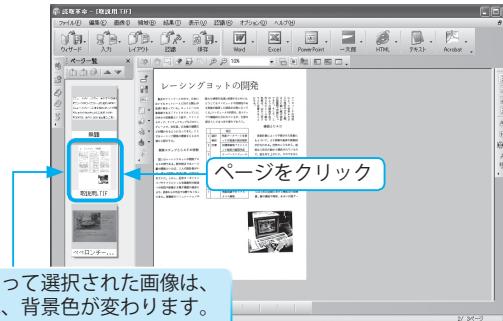
複数ページを指定する場合

・離れたページを指定する

[Ctrl] キーを押したまま、ファイルを 1 つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。

・連続したページを指定する

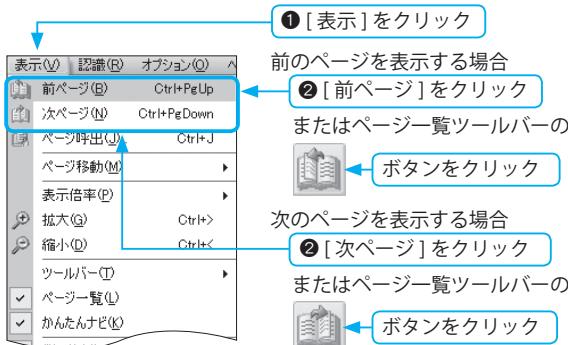
選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の始めのページをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のページをクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。



前ページ・次ページで表示する

現在のページの 1 つ前のページと、次のページを選択することができます。

1 [前ページ] または [次ページ] を選択する



① [表示] をクリック

前のページを表示する場合

② [前ページ] をクリック

またはページ一覧ツールバーの



ボタンをクリック

次のページを表示する場合

② [次ページ] をクリック

またはページ一覧ツールバーの

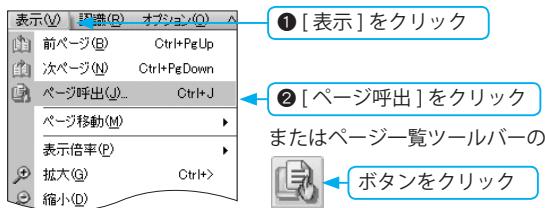


ボタンをクリック

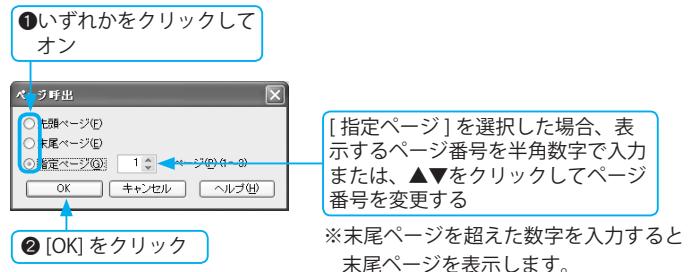
ページ呼出で表示する

ページ番号を指定してページ(画像)を選択します。

1 [ページ呼出] 選択する



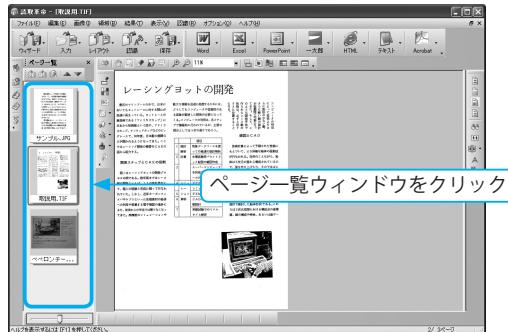
2 ページを指定する



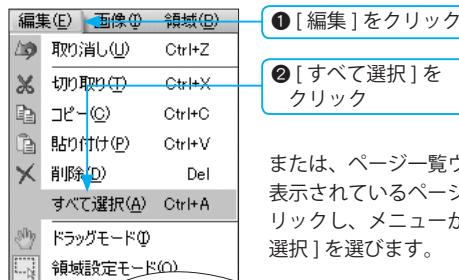
すべてのページを選択する

ページ一覧ウィンドウに表示されているすべてのページ(画像)を一度に選択します。

1 ページ一覧ウィンドウを選択する



2 メニューを選択する



または、ページ一覧ウィンドウに表示されているページの上で右クリックし、メニューから [すべて選択] を選びます。

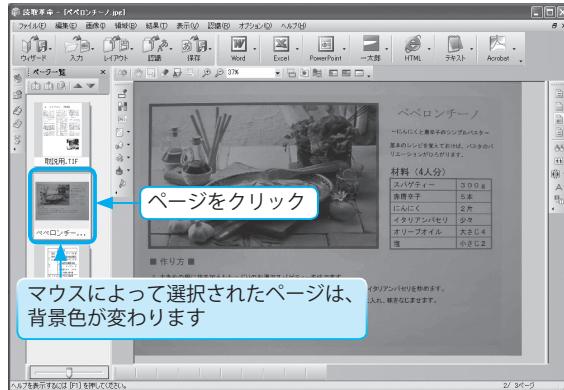
3 実行結果



ページを移動する

ページ一覧ウィンドウに表示されたページ（画像）は、表示順序を入れ替えることができます。

1 移動するページを選択する



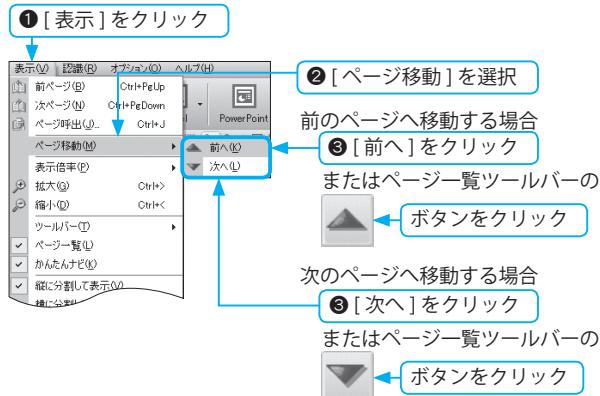
複数ページを指定する場合

- 離れたページを指定する
[Ctrl] キーを押したまま、ページを 1 つずつクリックすると、任意のページが選択されます。
- 連続したページを指定する
選択したいページが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の始めのページをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のページをクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

前へ・次へで移動する

選択したページの表示順序が 1 つずつ移動します。

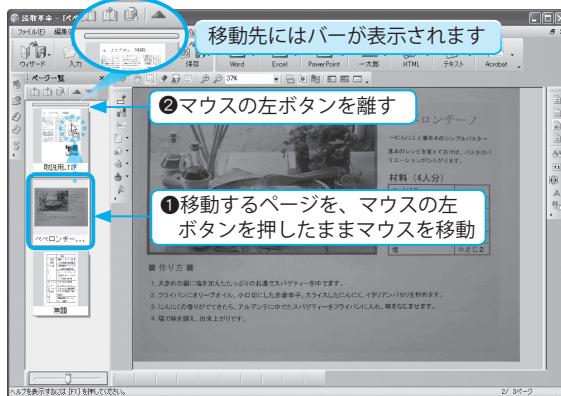
2 [前へ] または [次へ] を選択する



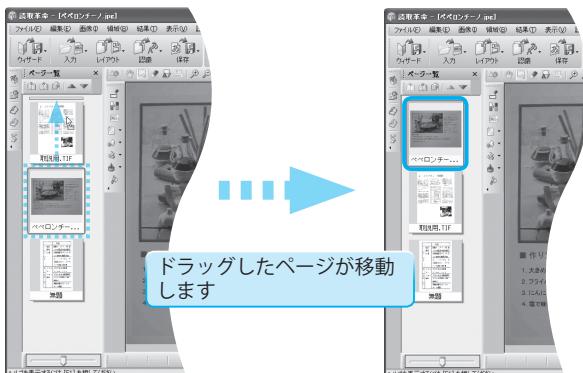
ドラッグで移動する

ドラッグでページを移動します。

2 ページを移動する



3 実行結果



画像の表示倍率を変更する

画像ウィンドウに表示されている画像の表示倍率を変更します。

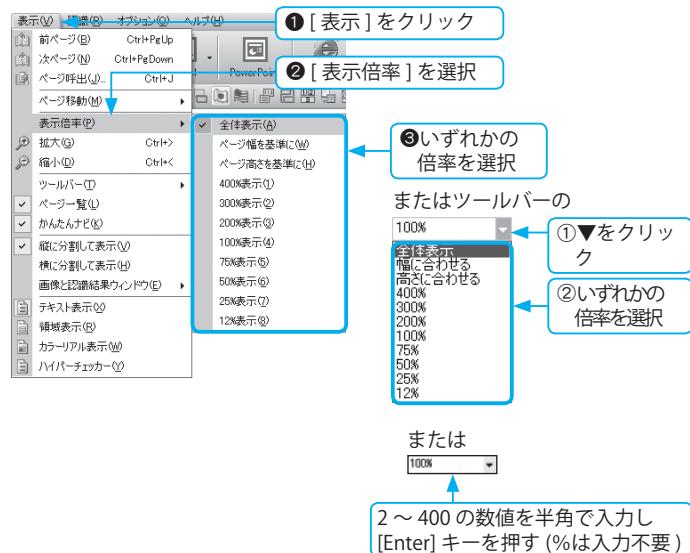
画像のかすれやつぶれの確認、微小な領域を手動で設定する場合などに便利です。

変更方法には、倍率を指定する方法と一定倍率で拡大・縮小する方法の2つがあります。

※表示倍率の変更は、画像データ全体に対して行われます。部分的な変更はできません。

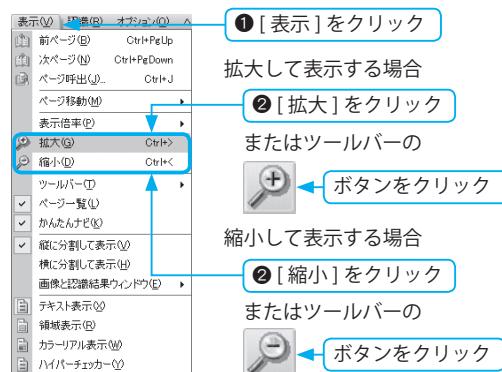
指定倍率に変更する

1 倍率を選択する



一定倍率で拡大・縮小する

1 拡大または縮小を選択する



認識結果と文字画像の連動

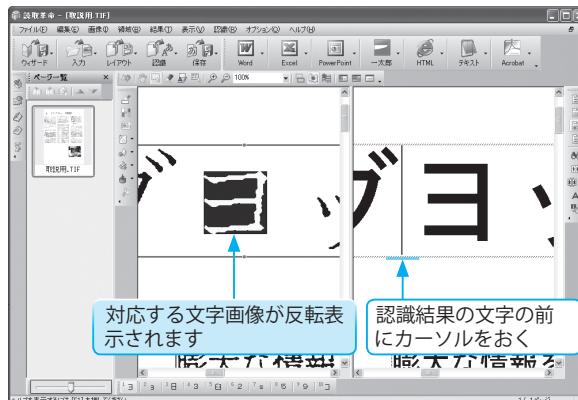
認識結果の文字を選択すると、それに対応する文字画像が反転して表示されます。また、文字画像を選択すると、それに対応する認識結果の文字が反転して表示されます。選択した箇所が互いに文字画像と認識結果のどの部分に該当するかを知るのに便利です。

認識結果から文字画像を表示する

1 認識結果より文字を指定する

画像が見えにくい場合

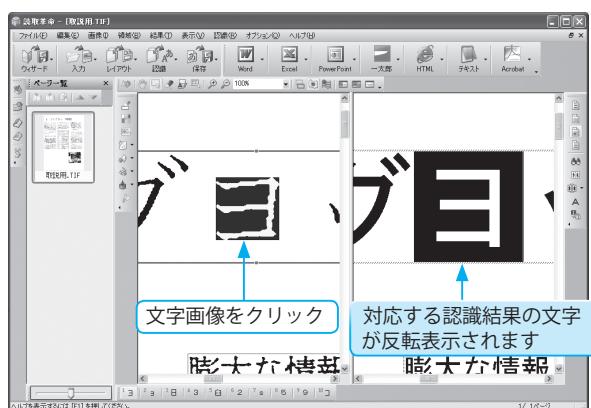
画像ウィンドウの表示倍率を変更して見やすくすることができます。
(☞「画像の表示倍率を変更する」P.58)
(☞「[表示]タブの設定」P.182)



文字画像から認識結果を表示する

領域設定モード

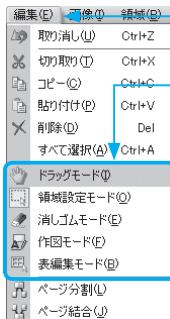
1 文字画像を指定する



操作モードの切り替え

「読み取り革命」の画像ウィンドウには5つの操作モードがあります。使用する機能に応じて操作モードを切り替え作業を行ってください。

1 操作モードを選択する



① [編集]をクリック

画像の表示位置を変更する場合

② [ドラッグモード]をクリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

領域設定を行う場合

② [領域設定モード]をクリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

消しゴムをかける場合

② [消しゴムモード]をクリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

作図を行う場合

② [作図モード]をクリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

表領域の編集を行う場合

② [表編集モード]をクリック

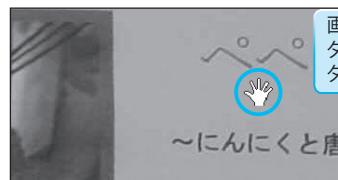
または標準ツールバーの



ボタンをクリック

ドラッグモード

ドラッグモードでは、画像を上下左右にスクロールさせることができます。

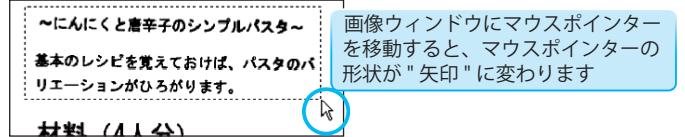


画像ウィンドウにマウスポインターを移動すると、マウスポインターの形状が"手"に変わります

※ ドラッグモードの詳細については「画像の表示位置を変える」P.62 を参照してください。

領域設定モード

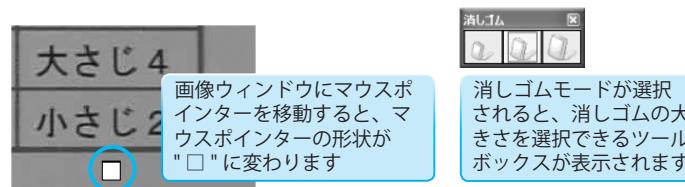
画像の修正操作や、レイアウト枠を選択する場合は領域設定モードで行います。



※領域設定モードの詳細については「領域枠の設定」P.90、「領域の範囲指定」P.134を参照してください。

消しゴムモード

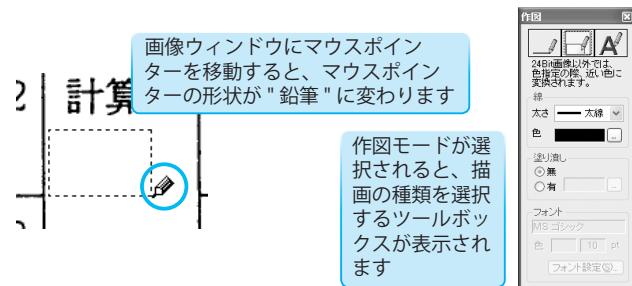
画像内の黒点や汚れを、実際に消しゴムを使うようにして消去することができます。



※消しゴムモードの詳細については「消しゴム」P.137を参照してください。

作図モード

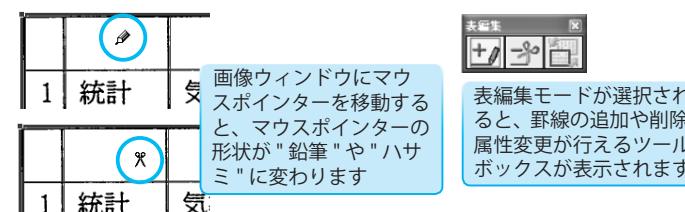
画像領域内に作図を行う場合に選択します。



※作図モードの詳細については「作図」P.163を参照してください。

表編集モード

表領域の詳細設定を行う場合に選択します。罫線の追加や消去、セルごとの属性変更を行うことができます。画像ウィンドウ内に表属性の領域枠がある場合に選択することができます。



※表編集モードの詳細については「表を編集する」P.101を参照してください。

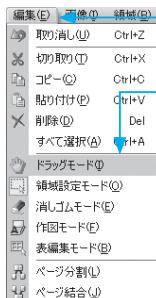
画像の表示位置を変える

ドラッグモードを選択し、マウスポインターが手の形になっているとき、マウスの左ボタンを押したまま上下左右にスクロールすることで画像の移動が行えます。

※画像全体を表示しているときは、スクロールできません。

ドラッグモード

1 メニューを選択する



① [編集] をクリック

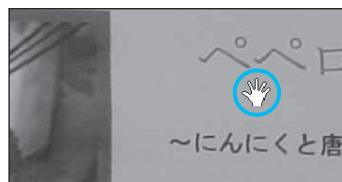
② [ドラッグモード]
をクリック

または標準ツールバーの

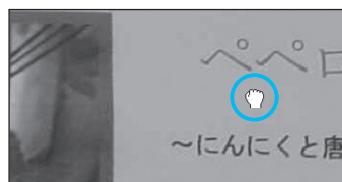


ボタンをクリック

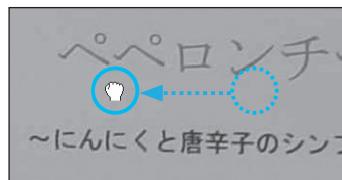
2 画像を動かす



画像ウィンドウにマウスポインターを移動すると、マウスポインターの形状が“手”に変わります



①マウスの左ボタンを押す



②左ボタンを押したまま(グーのまま)画像を動かしたい方向へマウスを動かす



③マウスの左ボタンを離す

レイアウト認識を行う

入力された画像に対して、文字（日本語・英語）・画像・図形・表などの属性を分類し、領域枠の設定を行います。領域枠は自動でも、手動でも設定することができます。

選択したページ

ページ一覧ウィンドウで選択されているページ（画像）に対して、レイアウト認識が実行されます。

1 ページを選択する

複数ページを指定する場合

・離れたページを指定する

[Ctrl] キーを押したまま、ファイルを 1 つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。

・連続したページを指定する

選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の始めのページをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のページをクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

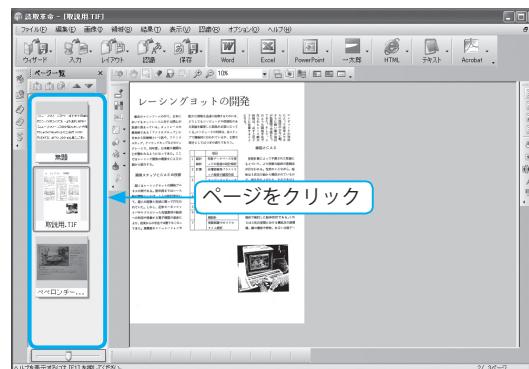
※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されるようになっています。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行することができます。

※文字領域と画像領域が重なっていると正しくレイアウト認識できません。画像領域と重なっている文字領域は、手動で領域を設定することにより認識することができます。

※領域の色と属性の対応は、「環境設定」ダイアログボックスで確認・変更することができます。
(☞「[一般] タブの設定」P.181)

※読み取順序は「環境設定」ダイアログボックスで表示・非表示を設定することができます。

(☞「[一般] タブの設定」P.181)



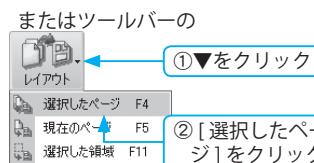
2 [選択したページ] を選択する

① [認識] をクリック



② [レイアウト認識] を選択

③ [選択したページ] をクリック



3 実行結果

ページ一覧ウィンドウで選択されたページがレイアウト認識されます。レイアウト認識後は領域枠が表示され、領域枠は文字や画像・図形・表などの属性ごとに色分けされ、それぞれに読み取順序が設定されます。

※読み取順序は「領域」-[読み取順序変更] で変更することができます。

(☞「読み取順序を変更するには」P.122)

現在のページ

画像ウィンドウに表示されているページ(画像)に対して、レイアウト認識が実行されます。

1

[現在のページ]を選択する

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されるようになっています。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行することができます。

※文字領域と画像領域が重なっていると正しくレイアウト認識できません。
画像領域と重なっている文字領域は、手動で領域を設定することにより認識することができます。

※領域の色と属性の対応は、「環境設定」ダイアログボックスで確認・変更することができます。
(☞「[一般]タブの設定」P.181)

※読み取り順序は「環境設定」ダイアログボックスで表示・非表示を設定することができます。
(☞「[一般]タブの設定」P.181)

① [認識]をクリック



② [レイアウト認識]を選択

③ [現在のページ]をクリック

またはツールバーの



2

実行結果

画像ウィンドウに表示されたページがレイアウト認識され、領域枠が表示されます。領域枠は文字や画像・図形・表などの属性ごとに色分けがなされ、それぞれに読み取り順序が設定されます

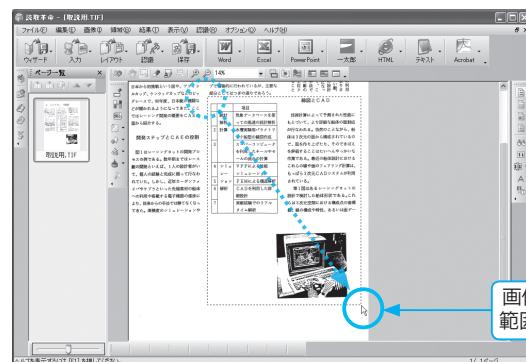
※読み取り順序は「領域」-[読み取り順序変更]で変更することができます。
(☞「読み取り順序を変更するには」P.122)

選択した領域

画像ウィンドウに表示されたページ内で、範囲指定した領域、または選択した1つの領域枠を対象としてレイアウト認識が実行されます。

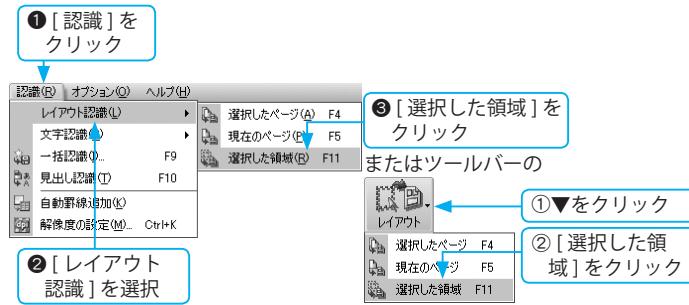
1

範囲指定する



または領域枠を1つ選択する

2 [選択した領域]を選択する

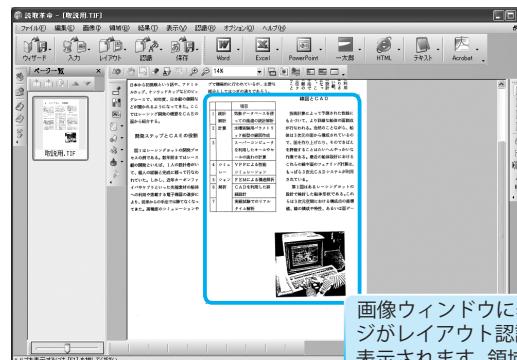


3 実行結果

読み取り順序

指定した範囲内に、すでに領域枠が存在する状態で [選択した領域] を実行した場合、読み取り順序が変更される場合があります。

また、画像ウィンドウに、すでに領域枠が存在し、領域枠を含まない範囲を指定した場合は、読み取り順序の最後に追加されます。



画像ウィンドウに表示されたページがレイアウト認識され、領域枠が表示されます。領域枠は文字や画像・図形・表などの属性ごとに色分けがなされ、それぞれに読み取り順序が設定されます

※読み取り順序は [領域]-[読み取り順序変更] で変更することができます。
(☞「読み取り順序を変更するには」P.122)

文字認識を行う

入力された画像に対して文字領域・表領域内の文字・図形領域を認識します。
ページ一覧ウィンドウで選択されたページ(画像)に対して実行されます。

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されるようになっています。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行することができます。

1 文字認識を実行する

① [認識] をクリック



② [文字認識] を選択

③ いずれかを選択

選択したページ：

ページ一覧ウィンドウで選択されている画像を認識します。

現在のページ：

画像ウィンドウに表示されている画像を認識します。

選択した領域：

選択した領域だけを認識します。

またはツールバーの

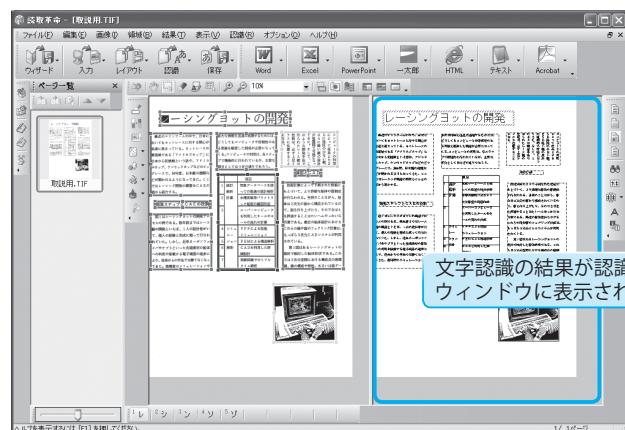


2 実行結果

■認識対象文字サイズ

認識の対象となる文字サイズは、6～60 ポイントです(400dpi の場合)。
文字サイズが認識対象外の場合、正しく認識されないことがあります。

※レイアウト認識、または領域設定が行われていない場合は、自動的にレイアウト認識した後に全領域が文字認識されます。



※認識結果の表示方法は4とおりあります。用途に合わせて表示を切り替え、効率よく操作を行ってください。

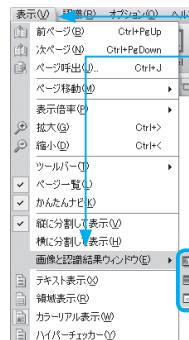
(☞「認識結果ウィンドウの表示を切り替える」P.69)

画像 / 認識結果ウィンドウを表示する

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを任意に切り替えて画面に表示させることができます。

※ただし、認識結果がハイパー・チェック表示の場合は、この機能は無効となります。

1 メニューを選択する



❶ [表示] をクリック

❷ [画像と認識結果ウィンドウ] を選択

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを表示する場合

❸ [画像と認識結果を表示] をクリック

または標準ツールバーの

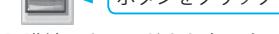


ボタンをクリック

画像ウィンドウを表示する場合

❸ [画像を表示] をクリック

または標準ツールバーの

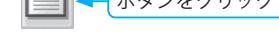


ボタンをクリック

認識結果ウィンドウを表示する場合

❸ [認識結果を表示] をクリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

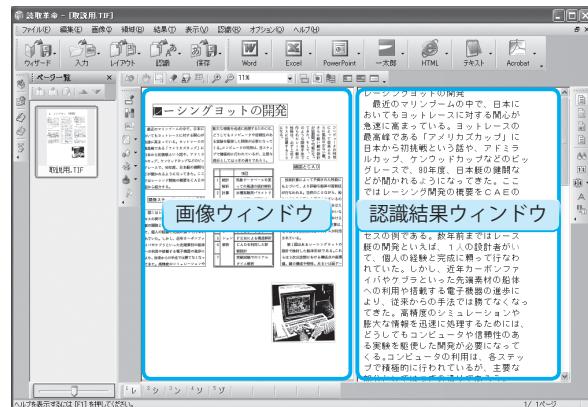
2 実行結果

※認識結果の表示方法は、変更することができます。

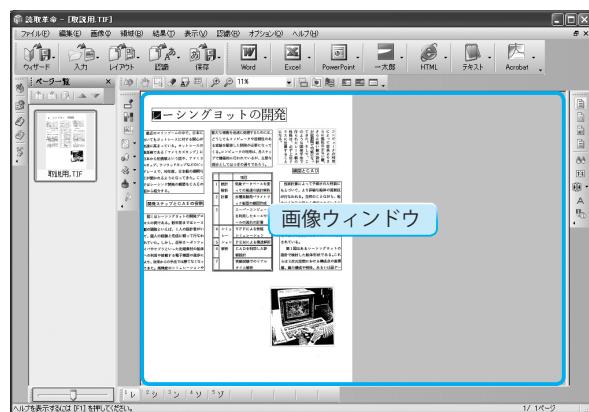
(☞「認識結果ウィンドウの表示を切り替える」P.69)

■ [画像と認識結果を表示] を選択した場合

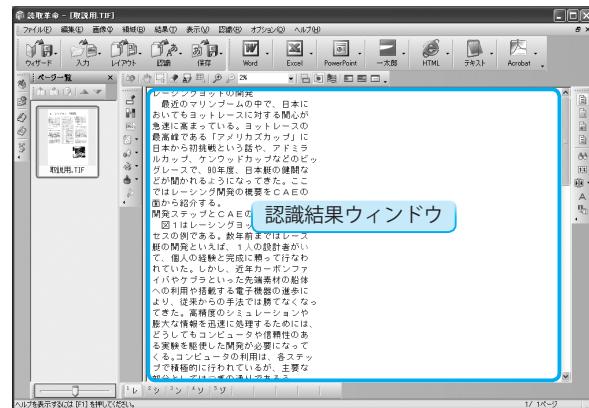
画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを表示します。



■ [画像を表示] を選択した場合
画像ウィンドウだけを表示します。



■ [認識結果を表示] を選択した場合
認識結果ウィンドウだけを表示します。

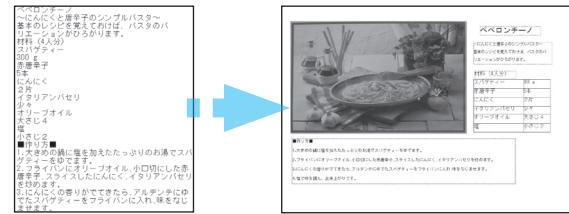


領域表示

※ [領域表示] の場合、認識結果ウインドウの表示倍率は、2～400%まで設定できます。(☞「[表示] タブの設定」P.182)

※ [領域表示] の場合、認識結果文字列のフォント名・サイズ・文字色・行間・文字間を変更することができます。フォントを設定することで認識結果を読み込んだ画像により近付けることができます。(☞「フォント設定するには」P.121)

縦書き・横書きなどのレイアウトが反映されます。
バックグラウンド(背景など)は表示されません。

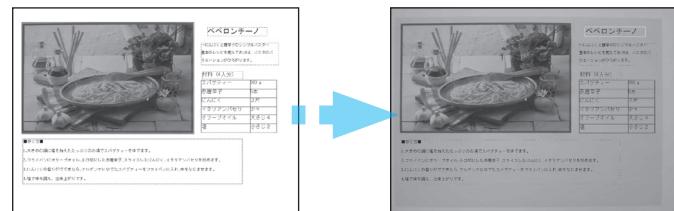


[テキスト表示] から
[領域表示] に変更

カラーリアル表示

縦書き・横書きなどのレイアウトが反映され、カラー画像などではバックグラウンド(背景など)が表示されます。

認識結果を読み込んだ画像に近い形で見ることができます。



[領域表示] から
[カラーリアル表示] に変更

ハイパーチェッカー

画像と認識結果が1行ずつ表示されます。画像と認識結果を比較しながら編集するときに便利です。この表示の場合、改行を入力することはできません。



[カラーリアル表示] から
[ハイパーチェッカー] に変更

※ [カラーリアル表示] の場合、認識結果ウインドウの表示倍率は、2～400%まで設定できます。

(☞「[表示] タブの設定」P.182)

※ [カラーリアル表示] の場合、認識結果文字列のフォント名・サイズ・文字色・行間・文字間を変更することができます。フォントを設定することで認識結果を読み込んだ画像により近付けることができます。

(☞「フォント設定するには」P.121)

※ [ハイパーチェッカー] の場合、認識結果ウインドウの表示倍率は変更できませんが、フォントサイズを変更することにより画面を見やすく調整することができます。

(☞「フォント設定するには」P.121)

(☞「[表示] タブの設定」P.182)

※ [ハイパーチェッカー] の場合、認識結果文字列のフォント名・サイズを変更することができます。

(☞「フォント設定するには」P.121)

切り取り・コピー・貼り付けをする

画像ウィンドウや認識結果ウィンドウに表示された画像や文字列は、切り取り、コピー、貼り付けを行うことができます。

画像の切り取り・コピー・貼り付け

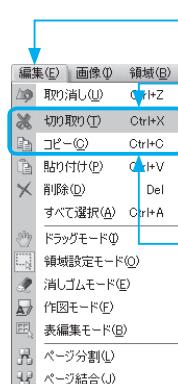
領域設定モード

1 領域を設定する

材料 (4人分)	
スパゲティ	300 g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片

画像ウィンドウ上でマウスの左ボタンを押したまま、画像領域を指定する

2 メニューを選択する



① [編集] をクリック

切り取る場合

② [切り取り] をクリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

コピーする場合

② [コピー] をクリック

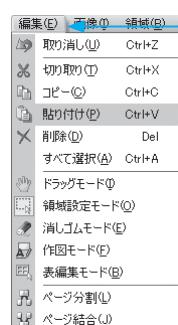
または標準ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。

3 貼り付けを実行する



① [編集] をクリック

② [貼り付け] をクリック

新規画像としてページ一覧ウィンドウに表示されます

切り取りとコピーの違い

■切り取りを選択した場合、指定した領域が切り取られ、クリップボードにコピーされます。

(切り取りの実行結果)

材料 (4人分)	
スパゲティ	300 g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片

■コピーを選択した場合、指定した領域は切り取られず、クリップボードにコピーされます。

(コピーの実行結果)

材料 (4人分)	
スパゲティ	300 g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片

※「読み取革命」以外の画像編集ソフトで切り取り、コピーされたクリップボード画像も「読み取革命」で新規画像として入力することができます。

※「貼り付け」を行った場合、「解像度設定」ダイアログボックスが表示されます。(☞「解像度の設定」P.120)

1 切り取る文字を指定する

「こくと唐辛子のシンプルパスタ～」
「ンシピを覚えておけば、パスタのパ
ンションがひろがります。

認識結果ウインドウにて、コピー、
または切り取りたい文字の前でマ
ウスの左ボタンをクリックしたま
まドラッグする

切り取りとコピーの違い

- 切り取りを選択した場合、選択した文字列が切り取られ、クリップボードにコピーされます。

(切り取りの実行結果)

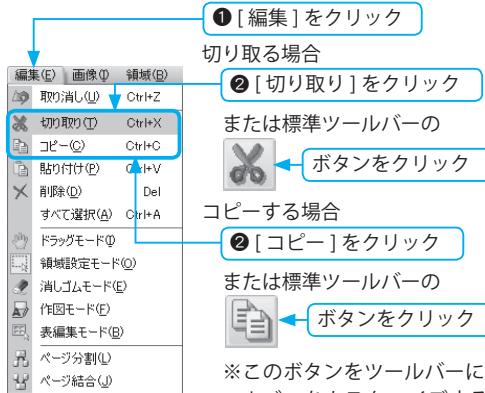
「こくとシンプルパスタ～
ンシピを覚えておけば、唐辛子のパ
ンションがひろがります。

- コピーを選択した場合、選択した文字列は切り取られず、クリップボードにコピーされます。

(コピーの実行結果)

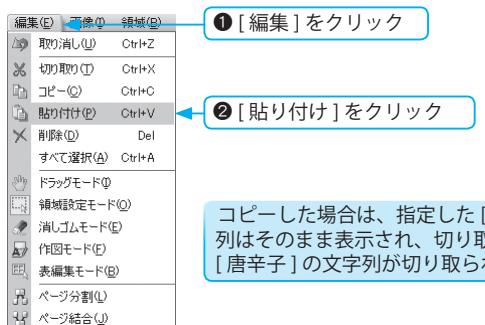
「こくと唐辛子のシンプルパスタ～
ンシピを覚えておけば、唐辛子のパ
ンションがひろがります。

2 文字列を切り取る



※このボタンをツールバーに表示させるには「ツー
ルバーをカスタマイズするには」P.128 を参照し
てください。

3 貼り付け先を選択し、実行する



コピーした場合は、指定した「唐辛子」という文字
列はそのまま表示され、切り取りを行った場合は、
「唐辛子」の文字列が切り取られます

さまざまな文字列の編集方法

各項目に入力された文字列は、対象となる文字列を範囲選択して、以下の方法で編集することができます。

【文字列の削除】

[Delete] キーまたは [BackSpace] キーを押す。

【文字列の切り取り】

メニューバーの [編集] - [切り取り] を選択するか、[Ctrl]+[X] キーを押す。

【文字列のコピー】

メニューバーの [編集] - [コピー] を選択するか、[Ctrl]+[C] キーを押す。

【文字列の貼り付け】

メニューバーの [編集] - [貼り付け] を選択するか、[Ctrl]+[V] キーを押す。

削除する

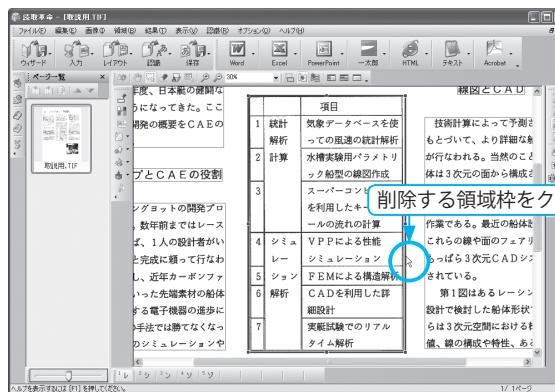
画像ウィンドウに表示された領域枠や、認識結果ウィンドウの文字列を削除します。

※ページ一覧ウィンドウに表示されたページ(画像)を「読み取り革命」から削除するには「ページを閉じる」P.87を参照してください。

領域枠を削除する

(領域設定モード)

1 領域枠を選択する



2 [削除]を選択する

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

① [編集]を
クリック



② [削除]を
クリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには
「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を参
照してください。

③削除対象の領域枠に認識結果がある
場合は確認のダイアログボックスが
表示されます
認識結果が不要な場合は [OK] をク
リックして領域枠を削除します



文字列を削除する

1 削除する文字を指定する

「ごくど唐辛子のシンプルパスタ～」
ノシピを覚えておけば、パスタのバ
ンションがひろがります。

認識結果ウィンドウにて、削除し
たい文字の前でマウスの左ボタン
をクリックしたままドラッグする

2 [削除]を選択する



② [削除]を
クリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツー
ルバーをカスタマイズするには」P.128を参照して
ください。

3 実行結果

「ごくど」のシンプルパスタ～
ノシピを覚えておけば、パスタのバ
ンションがひろがります。

[唐辛子]の文字列が削除されます

半角・全角を変換する

選択された文字列に対して、半角や全角文字に変換することができます。変換対象となる文字列は、アルファベット・数字・記号(一部)・カタカナとなります。

1 文字列を選択する

1. 大きめの鍋に塩を加えたたっ、

2. フライパンにオリーブオイル、小口切にし

3. にんにくの香りがでてきたら、

文字列を選択

2 メニューを選択する



① [結果]をクリック

半角から全角へ変換する場合

② [半角→全角変換]をクリック

または認識結果編集ツールバーの



ボタンをクリック

全角から半角へ変換する場合

② [全角→半角変換]をクリック

または認識結果編集ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには
「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を
参照してください。

3 実行結果

■半角→全角変換を実行した場合

1. 大きめの鍋に塩を加えたたっ、

2. フライパンにオリーブオイル

3. にんにくの香りがでてきたら、

選択された文字列内の対象
文字は全角または半角文字
に変換されます

■全角→半角変換を実行した場合

1. 大きめの鍋に塩を加えたたっ、

2. フライパンにオリーブオイル、小口切にし

3. にんにくの香りがでてきたら、

修正機能で認識結果を編集する

「読み取り革命」には、認識結果の文字列に対して自動で文字を修正する「一括修正」や「候補文字修正」があります。

【一括修正】と【文字列の置換】の違い

■【一括修正】

「読み取り革命」の認識結果を対象にして修正を行います。修正対象の文字画像と認識結果を確認しながら修正することができます。固有名詞や旧字体など、認識結果からだけでは、正しいかどうか判断しにくい文字を含んでいる場合には【一括修正】で修正することをお勧めします。すでに一括修正で修正された文字や、キーボードから直接入力された文字は【一括修正】の対象になりません。【文字列の置換】を行ってください。

■【文字列の置換】

認識結果ウィンドウに表示されている文字列を対象にして、置換を行います。

修正対象から外すには

- ①修正たくない文字画像をクリック
→反転表示されます。
- ②【修正対象からはずす】をクリックまたは、①を行わずに修正たくない文字画像をダブルクリック。
→はずした文字画像はリストから削除されます。

複数画像を選択する場合

- ・離れた画像を指定する
[Ctrl]キーを押したまま画像を1つずつクリックすると任意の画像を複数選択されます。
- ・連続した画像を指定する
初めの画像をクリックし、[Shift]キーを押したまま最後の画像をクリックすると、間に挟まれた画像がすべて選択できます。

一括修正で複数の文字を一度に修正する

形状の似た文字を検索し、一括して修正する機能です。修正作業を効率的に行うことができます。

一括修正の対象は表示しているページのみです。

1

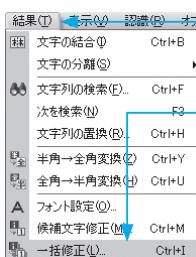
修正したい文字を指定する

レーシングヨットの開発
最近のマリンブームの中
においてもヨットレースに
急速に高まっている。ヨット
最高峰である「アメリカン

認識結果ウィンドウにて、修正したい文字の前にカーソルをおく

2

【一括修正】を選択する



①【結果】をクリック

②【一括修正】をクリック

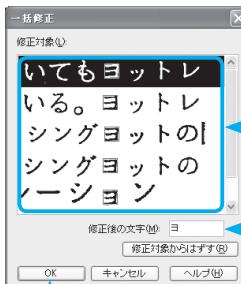
または認識結果編集ツールバーの



ボタンをクリック

3

一括修正を実行する



ここに修正対象の文字画像
が表示されます
□で囲まれているのが修正
対象文字です

①【修正後の文字】に
正しい文字を入力

②【OK】をクリック

候補文字修正で1文字ずつ修正する

「読み取革命」は、1つの文字画像に対して複数の候補文字を選びだし、その中で最も近いと思われる1つを認識結果として表示します。認識結果が正しくないときは、候補文字の一覧を表示させ、その中から正しい文字を選択して修正することができます。

1 修正したい文字を指定する

レーシングヨットの開発
最近のマリンブームの中
おいてもヨットレースは
急速に高まっている。ヨット
最高峰である「アメリカズ

認識結果ウィンドウにて、修正し
たい文字の前にカーソルをおく

2 [候補文字修正]を選択する

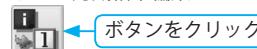


① [結果] を
クリック

② [候補文字修正]
をクリック

または、修正したい文字の左側にマウスカーソルを
当て、ダブルクリック。

または認識結果編集ツールバーの



※このボタンをツールバーに表示させるには「ツー
ルバーをカスタマイズするには」P.128を参照し
てください。

3 正しい文字を設定する

※ [候補文字修正]以外の場所をクリック
すると、表示中の [候補文字修正] は閉
じます。

■ [パターン辞書登録を行う]

このチェックボックスをクリックして
オンにしておくと候補文字修正を行つ
た文字画像と修正文字とを関連づけて、
パターン辞書へ登録します。
(☞「パターン辞書」P.168)

■ [一括修正を行う]

このチェックボックスをクリックして
オンにしておくと候補文字修正が行わ
れる際に、「一括修正」ダイアログボッ
クスが開き、修正対象の文字画像と似た
複数の文字画像の認識結果も一度に修
正することができます。
(☞「一括修正で複数の文字を一度に修
正する」P.76)



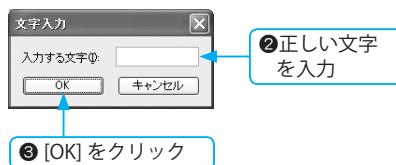
※候補文字の中に正しい文字がない
場合は、次ページを参照してください。

候補文字一覧に正しい文字がない場合

候補文字に正しい文字がない場合は、手動で文字を入力することができます。



① [文字入力]
をクリック



ツールバーから候補文字を選択する場合

認識結果文字列を選択すると、「読み取り革命」ウィンドウ下に候補文字修正のツールバーが表示されます。



※ツールバーに候補文字が最大 10 文字まで表示されます。
正しい文字をクリックして、修正できます。

検索する

指定した文字列を認識結果の中から検索します。

事前に認識結果ウィンドウをクリックしておく必要があります。

1

[文字列の検索]を選択する



① [結果]をクリック

② [文字列の検索]をクリック

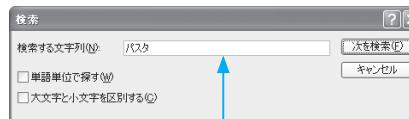
または認識結果編集ツールバーの



ボタンをクリック

2

検索の設定をし、実行する



①検索する文字列を入力

②[次を検索]をクリック

または、[検索]を開く前に文字列を範囲指定しておけば、その文字列が[検索する文字列]に自動的に入力されます。

3

実行結果

ベペロンチーノ
～にんにくと唐辛子のシンプルバスタ～
基本のレシピを覚えておけば、バスタのバリエーションがひろがります。
材料 (4人分)
スパゲティー
300 g
赤唐辛子
5本
にんにく
2片

検索された文字列が反転表示されます
[次を検索]をクリックすると、別の場所にある文字列を検索して反転表示します

■ [単語単位で探す]

このチェックボックスをクリックしてオンにしておくと、入力した文字列と完全に一致する単語のみを検索します。入力した文字列より長い単語は、一部が一致していても検索されません。

例 [該当]と入力した場合

→ [該当事項]は検索されません。

■ [大文字と小文字を区別する]

このチェックボックスをクリックしてオンにしておくと、アルファベットやカタカナの大文字と小文字を区別した検索を行います。

※ [検索]を閉じたあとも、検索する文字列は記憶されています。[結果]メニューの[次を検索]をクリックするか、[F3]キーを押すと検索します。

置換する

指定した文字列を別の文字列に置き換えます。

事前に認識結果ウィンドウをクリックしておく必要があります。

[文字列の置換]と[一括修正]の違い

■ [文字列の置換]

認識結果ウィンドウに表示されている文字列を対象にして、置換を行います。

■ [一括修正]

「読み取革命」の認識結果を対象にして修正を行います。修正対象の文字画像と認識結果を確認しながら修正することができます。固有名詞や旧字体など、認識結果からだけでは、正しいかどうか判断しにくい文字を含んでいる場合には「一括修正」で修正することをお勧めします。

すでに一括修正で修正された文字や、キーボードから直接入力された文字は「一括修正」の対象になりません。
[文字列の置換]を行ってください。

■ [単語単位で探す]

前ページを参照してください。

■ [大文字と小文字を区別する]

前ページを参照してください。

検索する文字列を確認してから置換する場合

① [次を検索]をクリック

② 反転表示されている文字列を置換する場合は「置換して次に」をクリック。
置換しないで次の置換対象文字列を見る場合は「次を検索」をクリック

1

[文字列の置換]を開く



① [結果]をクリック

② [文字列の置換]をクリック

2

置換の設定をし、実行する



① 検索する文字列を入力

または、[置換]を開く前に文字列を範囲指定しておけば、その文字列が「検索する文字列」に自動的に入力されます。

③ [すべて置換]をクリック

② 置換後の文字列を入力

3

実行結果

ペペロンチーノ
～にんにくと唐辛子のシンプルマカロニ～
基本のレシピを覚えておけば、マカロニのバリエーションがひろがります。
材料（4人分）
スパゲティー
300 g
赤唐辛子
5本
にんにく
2片

対象となった文字列がすべて置換されます

取り消し

領域枠の編集や、属性変更、表編集、読み取り順序の変更、画像修正などの操作を取り消して、修正直前の状態に戻すことができます。

※「取り消し」は一部の機能のみ有効です。

1 操作を取り消す



※ 2つ以上前の状態に戻すことはできません。

「取り消し」は直前に行われた修正操作に対してのみ有効です。

保存する

「読み取り革命」に入力した画像は画像ファイルに、また認識結果は対応するアプリケーション形式のファイルに保存することができます。認識結果は単ページだけでなく、複数ページの認識結果も1つのファイルへ保存することができます。

用途に応じてレイアウトの再現が可能な形式や、テキストだけを保存する形式を選択してください。保存できるファイル形式の説明は「用語解説」P.239に記載しています。

画像の保存

選択できる保存ファイル形式

- TIFF ファイル (*.tif) ※
 - TIFF[非圧縮] ファイル (*.tif)
 - BMP ファイル (*.bmp)
 - DCX ファイル (*.dcx)
 - PCX ファイル (*.pcx)
 - JPEG ファイル (*.jpg)

ファイル形式についての説明は、「用語解説」P.239に記載しています。

※カラー画像の場合は、TIFF[JPEG圧縮]で保存されます。白黒画像(2値画像)の場合は、TIFF[G4圧縮]で保存されます。

異なる形式のファイルから入力した複数ページの画像を1つのファイルに保存する場合

TIFF または DCX 形式で保存してください。

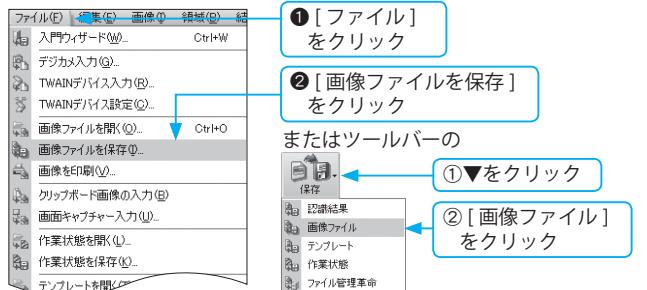
現在表示されているページの

画像だけを保存する場合

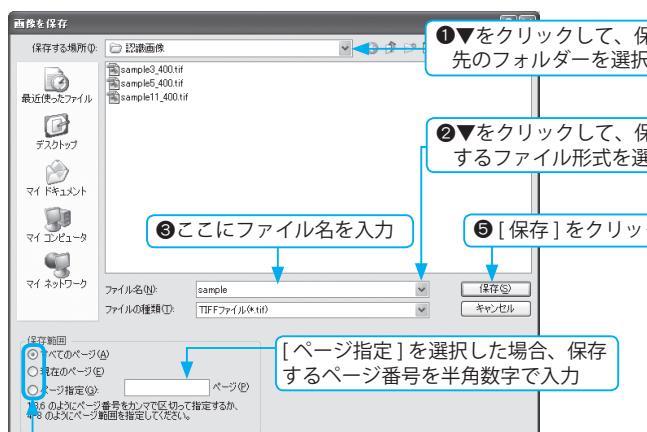
BMP/PCX/JPEG 形式で保存します。この形式で複数ページの保存はできません。複数ページ保存の場合は、ページごとにファイルを作りて保存してください。

※保存先フォルダーに、同名・同形式の
ファイルが存在する場合は、上書き確
認のダイアログボックスが表示されま
す

1 メニューを選択する



2 画像ファイルを保存する



■ 保存範囲

- [すべてのページ]:
ページ一覧ウィンドウに表示されたすべての画像
 - [現在のページ]:
画像ウィンドウに表示された画像
 - [ページ指定]:
指定されたページに該当する画像

認識結果の保存

選択できる保存ファイル形式の詳細

●レイアウト枠付き文書 / 表罫線 / 画像を編集・表示するには

- Microsoft Word 文書 (*.doc)
- Microsoft Excel 文書 (*.xls)
- Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
- 書式付きファイル (*.rtf)
- 一太郎 ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書 / 表罫線 / 画像を編集・表示するには

- Microsoft Word(本文) 文書 (*.doc)
- 一太郎(本文) ファイル (*.jtd)

●文字修飾や段組処理を特定のアプリケーションに依存せずに表示するには

- PDF ファイル (*.pdf)
[*pdf(透明文字)]
元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

[*.pdf(高圧縮)]

カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示することができます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

●インターネットのホームページ文書として編集・表示するには

- HTML 文書 (*.htm)
- XML 文書 (*.xml)

●文字だけを編集・表示するには

- テキストファイル (*.txt)
- CSV ファイル (*.csv)

■ページ区切り

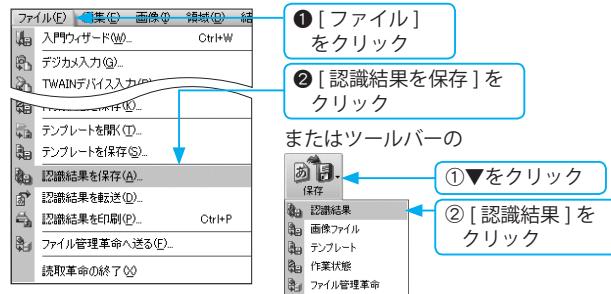
・TXT/CSV の場合

ページの切れ目には空白行が挿入されます。

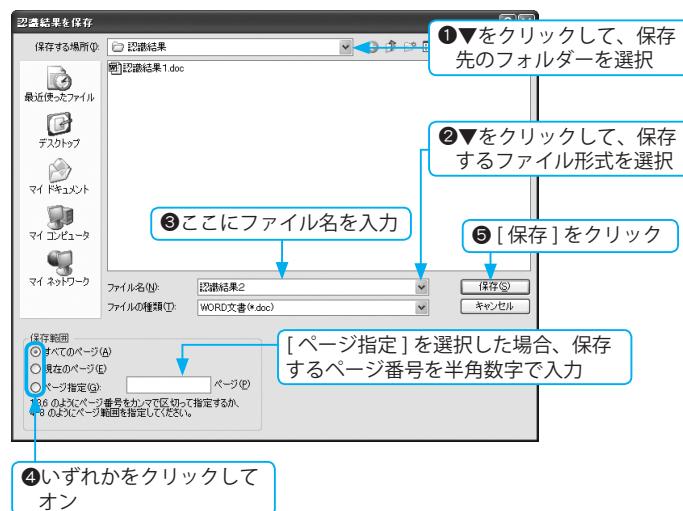
・RTF の場合

ページの切れ目にはページ区切り記号が挿入されます。

1 メニューを選択する



2 保存する



④いずれかをクリックして
オン

■保存範囲

[すべてのページ]:

文字認識を行ったすべてのページの認識結果

[現在のページ]:

画像ウィンドウに表示された認識結果

[ページ指定]:

指定されたページに該当する認識結果

※既に、同名・同形式のファイルが存在する場合は、上書き確認のダイアログボックスが表示されます。

転送する

認識結果を他のアプリケーションに転送します。

転送が完了すると、転送先のアプリケーションが自動で起動し、認識結果のファイルを開きます。

Word 形式、Excel 形式、PowerPoint 形式、RTF 形式、一太郎形式、PDF 形式、HTML 形式、XML 形式で転送すると、画像領域や元のレイアウトを再現することができます。

※アプリケーションがインストールされていない場合、転送はできません。

選択できる転送ファイル形式の詳細

●レイアウト枠付き文書 / 表罫線 / 画像を編集・表示するには

- Microsoft Word 文書 (*.doc)
- Microsoft Excel 文書 (*.xls)
- Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
- 書式付きファイル (*.rtf)
- 一太郎ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書 / 表罫線 / 画像を編集・表示するには

- Microsoft Word(本文) 文書 (*.doc)
- 一太郎(本文) ファイル (*.jtd)

●文字修飾や段組処理を特定のアプリケーションに依存せずに表示するには

- PDF ファイル (*.pdf)
- [*.pdf(透明文字)]

元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

[*.pdf(高圧縮)]

カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示することができます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

●インターネットのホームページ文書として編集・表示するには

- HTML 文書 (*.htm)
- XML 文書 (*.xml)

●文字だけを編集・表示するには

- テキストファイル (*.txt)
- CSV ファイル (*.csv)

■ページ区切り

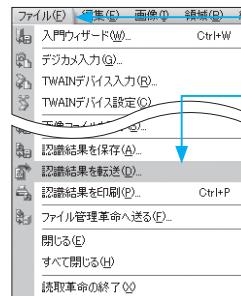
・TXT/CSV の場合

ページの切れ目には空白行が挿入されます。

・RTF の場合

ページの切れ目にはページ区切り記号が挿入されます。

1 メニューを選択する



- ① [ファイル] をクリック

- ② [認識結果を転送] をクリック

または、転送先アプリバーに表示されているアプリケーションのボタンをクリックすると、レイアウト認識・文字認識・転送までを自動で行います。

既に認識が行われている場合は、転送だけを行います。

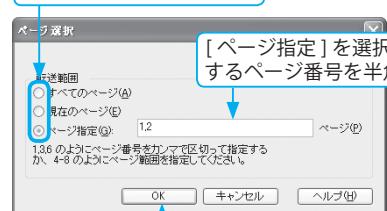
2 転送先アプリケーションを選択する



- ② [OK] をクリック

3 転送するページを選択する

- ① いずれかをクリックしてオン



- ② [OK] をクリック

印刷する

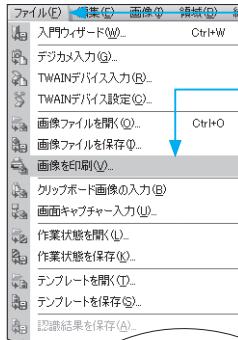
入力した画像や、認識結果は印刷することができます。

認識結果の印刷は認識結果ウィンドウに表示されている内容と同じものが印刷されます。

画像の印刷

ページ一覧ウィンドウに表示されている画像を対象に印刷します。

1 メニューを選択する



① [ファイル] をクリック

② [画像を印刷] をクリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには
「ツールバーをカスタマイズするには」P.128
を参照してください。

2 印刷の設定をする



① ▾をクリックし、使用する
プリンタ名を選択

□ファイルへ出力

③ [OK] をクリック

② いずれかをクリックして
オン

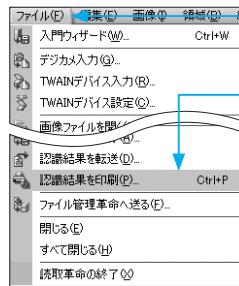
[ページ指定] を選択した場合、印刷
するページ番号を半角数字で入力

※表示モードがハイパーテキストの場合は印刷できません。他の表示モードに切り替えてから印刷を行ってください。

認識結果の印刷

認識結果の印刷は認識結果ウィンドウで表示されている表示と同じように印刷されます。(☞「認識結果ウィンドウの表示を切り替える」P.69)

1 メニューを選択する



① [ファイル]をクリック

② [認識結果を印刷]をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を参照してください。

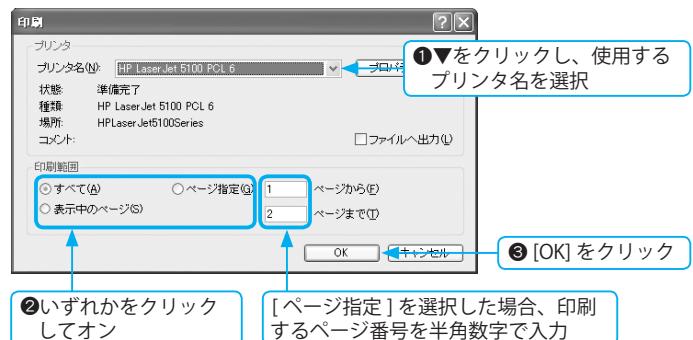
2 印刷の設定をする

未確定文字がある場合

テキスト表示は未確定文字に下線が付いて印刷され、領域表示・カラーリアル表示の場合は、未確定文字の背景が灰色で印刷されます。

(☞「[一般]タブの設定」P.181)

※表示モードがハイパーチェッカーの場合は印刷できません。他の表示モードに切り替えてから印刷を行ってください。



ページを閉じる

任意のページを「読み取り革命」から閉じます。

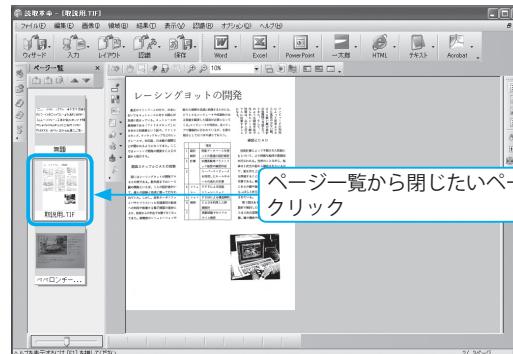
ファイルに保存されていれば、[画像ファイルを開く]を実行することで再び読み込むことができます。

スキャナーやデジタルカメラから直接読み込んだ画像や保存していない修正部分・認識結果は削除されますので、必要があればファイルに保存するか他のアプリケーションへ転送しておいてください。

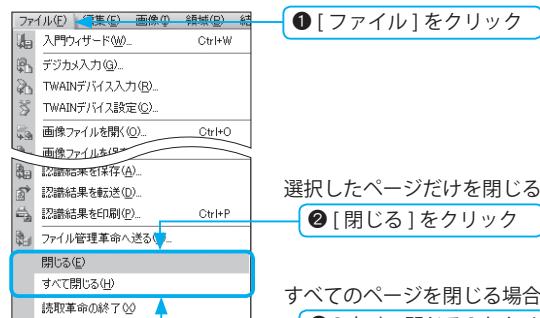
同じファイルから複数読み込んでいる場合

ファイル名は同じですが、「読み取り革命」上では、別ページ扱いとなりますので、ページ表示で選択しているものだけを閉じます。

1 ページを指定する



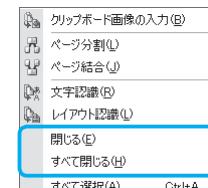
2 [閉じる] または [すべて閉じる] を選択する



すべてのページを閉じる場合

② [すべて閉じる] をクリック

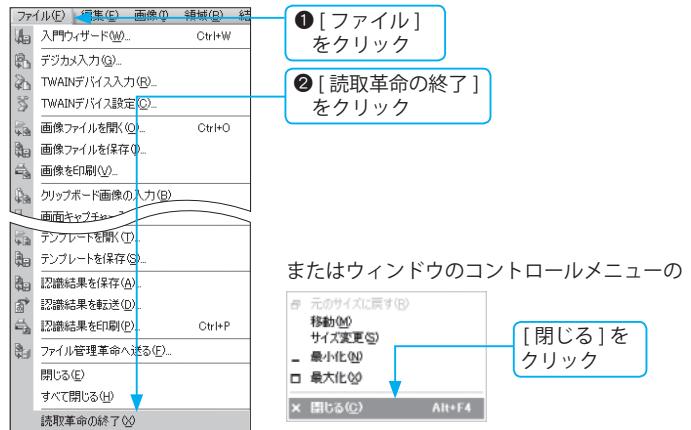
またはページ一覧ウィンドウの任意のページ上でマウスの右ボタンをクリック



終了する

「読み取り革命」を終了します。

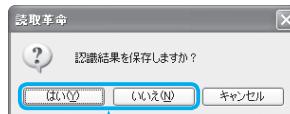
1 メニューを選択する



2 画像・認識結果の保存を確認する

保存確認ダイアログボックスの表示

- 「環境設定」にて表示のオン / オフを設定することができます。(☞「[認識結果・画像の保存] タブの設定」P.186)
- 文字認識を行っていない場合は、認識結果保存の確認ダイアログボックスは表示されません。



保存する場合は [はい] をクリック
保存しない場合は [いいえ] をクリック

応用操作

領域枠の設定	90
領域枠の作成	90
領域枠の選択	91
領域枠のサイズ変更	92
領域枠の統合	93
領域枠の削除	93
領域枠の属性変更	94
認識モードを変更する	97
文字の結合をするには	98
文字の分離をするには	99
2 文字に分離する	99
3 文字に分離する	100
表を編集する	101
自動罫線追加	102
見出し認識	103
作業ファイルを保存して作業を中断する	104
作業ファイルを開いて作業を再開する	105
テンプレートで同じ形式のページを認識する	106
テンプレートを保存する	106
テンプレートを開く	107
ページを分割する	108
ページを結合する	110
一括認識で自動認識する	113
[入力] タブの設定	114
[画像編集] タブの設定	115
[回転] タブの設定	116
[傾き補正] タブの設定	116
[レイアウト] タブの設定	117
[結果保存] タブの設定	118
解像度の設定	120
フォント設定するには	121
読み取り順序を変更するには	122
転送先アプリバーの設定	123
転送先アプリケーションの追加	123
転送先アプリケーションの変更	125
転送先アプリケーションの削除	126
画像・認識結果ウィンドウを上下に並べるには	127
ツールバーをカスタマイズするには	128
ファイル管理革命へ送る	130

領域枠の設定

複雑なレイアウトの原稿は、手動で領域設定を行うことができます。また、誤った認識をした領域枠の属性を変更して、認識実行前に正しい属性に手動で設定します。

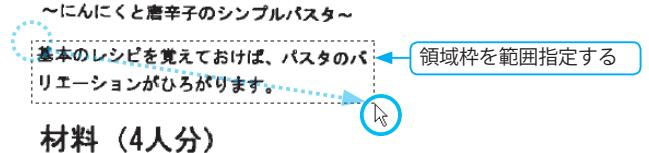
※領域枠とは、認識させる範囲を指定するものです。

領域設定モード

領域枠の作成

認識させる範囲を、範囲指定する要領で作成します。

1 範囲指定する

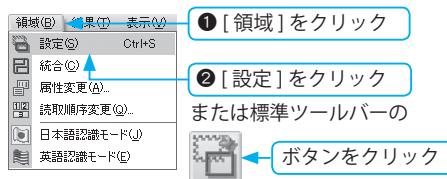


2 領域として確定する

※ここで設定した領域の属性は「属性変更」ダイアログボックスで設定された規定値（領域設定や領域統合を行ったときに用いられる属性）が反映されます。
[領域属性]で[自動判定]が選択されている場合は、属性は自動で判定されます。

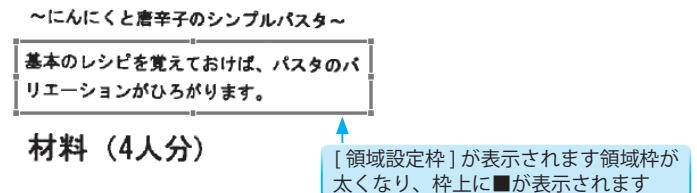
※領域の属性を変更する
(☞「領域枠の属性変更」P.94)

※領域を削除する
(☞「領域枠の削除」P.93)



または、範囲指定をして、画像ウィンドウ上の領域外をクリックします。

3 実行結果



領域枠の選択

領域を確定した後の領域の属性・サイズ変更や、領域を限定した文字認識をさせるには領域を選択しておく必要があります。選択方法には、クリックによる選択と範囲指定による選択の2つがあります。

クリックによる選択

1 クリックで選択する

複数の領域を選択する場合

2つ目以降の領域を選択するには [Shift] キーを押したまま別の領域枠をクリックします。

または、1つのときと同様に、選択したい複数の領域を1つの枠で囲んでください。

すべての領域を一度に選択する場合

画像ウィンドウをクリックして、[編集] メニューの [すべて選択] を実行します。

選択を解除する場合

画像ウィンドウ上の領域外をクリックします。複数の領域を選択していて、1つだけ解除したい場合は、[Shift] キーを押したまま、解除したい領域の内側をクリックします。

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

基本のレシピを覚えておけば、パスタのバリエーションがひろがります。

マウスの左ボタンで領域内をクリック

材料 (4人分)

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

基本のレシピを覚えておけば、パスタのバリエーションがひろがります。

選択されると、領域枠が太くなり、枠上に■が表示されます

材料 (4人分)

範囲指定による選択

1 範囲指定で選択する

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

基本のレシピを覚えておけば、パスタのバリエーションがひろがります。

①マウスの左ボタンを押したまま領域を枠で囲む

材料 (4人分)

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

基本のレシピを覚えておけば、パスタのバリエーションがひろがります。

②マウスの左ボタンを離す

材料 (4人分)

選択されると、領域枠が太くなり、枠上に■が表示されます

領域枠のサイズ変更

指定した領域枠のサイズを変更します。

1 領域を選択する

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

【 基本のレシピを覚えておけば、パスタのバリエーションがひろがります。】

マウスの左ボタンで領域内をクリック

材料 (4人分)

2 サイズ変更の方向を決める

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

【 基本のレシピを覚えておけば、パスタのバリエーションがひろがります。】

枠上の■にマウスポインターを合わせる

材料 (4人分)

マウスポインターの形が変化します

※縦のサイズを変える場合は「上」または「下」の■に

横のサイズを変える場合は「左」または「右」の■に

縦横を同時に変える場合は四隅のいずれかの■に合わせてください。

3 サイズを変える

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

【 基本のレシピを覚えておけば、パスタのバリエーションがひろがります。】

ドラッグ(左ボタンを押したまま動かす)でサイズを変更

材料 (4人分)

※領域サイズ修正は1つの領域に対してのみ行うことができます。

※サイズ変更した領域の認識結果は削除されます。再度、文字認識を実行してください。

※領域枠を移動させるには領域枠の■以外の場所にマウスポインターを合わせ、ドラッグします。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

領域枠の統合

複数の領域枠を1つにまとめます。

1 2つ以上の領域を選択する

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

基本のレシピを覚えておけば、パスタのパリエーションがひろがります。

[Shift]キーを押したまま各領域をクリック
または、領域枠を範囲選択し複数選択

材料（4人分）

2 統合する



① [領域]をクリック

② [統合]をクリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を参照してください。

3 実行結果

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

基本のレシピを覚えておけば、パスタのパリエーションがひろがります。

領域1と領域2が1つの領域に統合されます

材料（4人分）

領域枠の削除

指定した領域枠を削除します。

1 領域を選択する

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

基本のレシピを覚えておけば、パスタのパリエーションがひろがります。

マウスで領域内をクリック

材料（4人分）

2 削除する



① [編集]をクリック

② [削除]をクリック

または、[Delete]キーを押します。

※統合された領域の属性は、選択された領域の先頭の属性になります。統合後の属性は変更することができます。
(☞「領域枠の属性変更」P.94)

※統合された領域の認識結果は削除されます。
再度、文字認識を実行してください。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

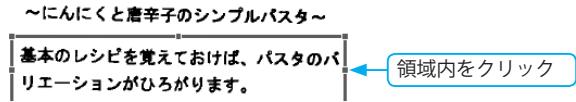
※削除された領域の認識結果は、削除されます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

領域枠の属性変更

指定した領域枠の属性を変更します。

1 領域を選択する



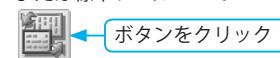
材料 (4人分)

2 [属性変更]を選択する



- ① [領域]をクリック
- ② [属性変更]をクリック

または標準ツールバーの



※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。

3 設定を変更する

※領域の属性を変更せずに、規定値だけを変更したい場合、領域の外側をダブルクリックして [属性変更] を開き、設定を行ってください。

■ [規定値として設定]

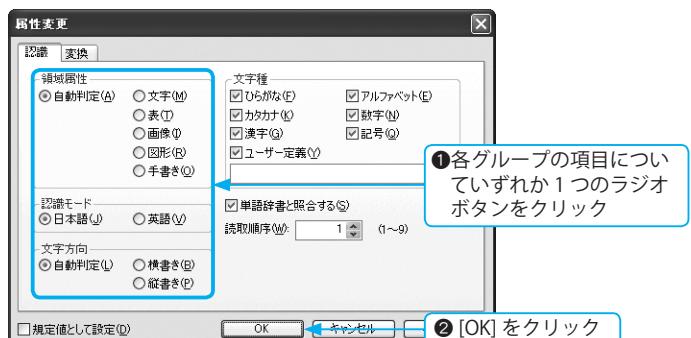
このチェックボックスをクリックし、オンにして設定を終了すると、新しい設定を規定値として登録します。

■ [単語辞書と照合する]

このチェックボックスをクリックしてオンにすると、単語辞書を参照しながら文字認識が行われます。頻繁に出てくる単語を単語辞書に登録しておくと認識率が向上します。

■ [変換]タブ

認識結果のスタイル(改行・空白・全/半角など)の設定を行うことができます。
(☞「[変換]タブの詳細」P.96)



※ [領域属性]-[自動判定]を選択すると、範囲指定した領域の属性が自動判定されます。

■ [認識] タブの詳細



※文字認識の対象は [文字] 、 [表] 領域のみです。

英文書の場合

認識モードを [英語] にしてください。 [英語] を選択していると、英文書専用の文字認識が行われるので [日本語] の場合よりも認識率が向上します。 認識モードを [英語] にした場合、文字種、文字方向は指定することはできません。

日英混合文書の場合

認識モードを [日本語] にしてください。 ※ [自動判定] で手書き文字を [手書き] の属性として認識することはできません。領域の属性を [手書き] に変更して認識してください。

領域属性

領域枠内に何が書かれているのかを限定します。

[自動判定] : [レイアウト認識] で自動判定された領域属性を適用して文字認識を行います。 [自動判定] は、規定値としてのみ有効です。既存の領域の属性を [自動判定] に変更することはできません。

[文字] : 文字領域として、文字認識を行います。

[表] : 表領域として、文字認識を行います。

[画像] : 画像領域になります。文字認識の対象とはなりません。

[図形] : 直線や点、円などで構成されている領域として、認識を行います。

[手書き] : 1 行の手書き文字範囲を選択して、文字認識を行います。 読み込んだ画像に手書き文字が含まれている場合に使用できます。

※ただし、認識可能な文字種は、アルファベット・数字・記号となります。

認識モード

認識する言語を限定します。

[日本語] : 日本語領域として、文字認識を行います。

[英語] : 英語領域として、文字認識を行います。

文字種

認識する文字の種類を限定します。

[ひらがな] : ひらがなの領域として、文字認識を行います。

[カタカナ] : カタカナの領域として、文字認識を行います。

[漢字] : 漢字の領域として、文字認識を行います。

[アルファベット] : アルファベットの領域として、文字認識を行います。

[数字] : 数字の領域として、文字認識を行います。

[記号] : 記号の領域として、文字認識を行います。

[ユーザー定義] : 任意の全角文字を定義して、文字認識を行います。

文字方向

文字が書かれている方向を限定します。

[自動判定] : [レイアウト認識] で自動判定された文字の方向を適用して、文字認識を行います。

[横書き] : 横書きの文書として、文字認識を行います。

[縦書き] : 縦書きの文書として、文字認識を行います。

読み込み順序

選択した領域の文字認識する順序を変更します。

▲▼をクリックして変更するか、数字を入力して読み込み順序を変更します。

※全領域の読み込み順序を変更するには
(☞「読み込み順序変更をするには」P.122)

改行の例

原文

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[行毎]

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[なし]

今日は良い天気だ。散歩にでも行こう。

[自動判定]

今日は良い天気だ。
散歩にでも行こう。

※認識結果ウィンドウの幅が狭いと、見
かけ上、設定とは異なるところで次の
行へ送られることがあります。幅の調
整をしてください。

空白 (先頭) の例

原文 __今日は良い天気だ。
[あり]__今日は良い天気だ。
[なし] 今日は良い天気だ。

空白 (文字間) の例

原文 A_B_C
[あり]A_B_C
[なし]ABC

原稿どおりにしたい場合の設定例

[改行] → 行毎
[空白 (先頭・文字間)] → なし
[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→ 自動判定

文書サイズを小さくしたい場合の設定例

[改行] → なし
[空白 (先頭・文字間)] → なし
[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→ 半角

英文書の設定例

[改行] → 自動判定
[空白 (先頭・文字間)] → なし
[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→ 自動判定

■ [変換] タブの詳細



改行

改行の設定を行います。

[行毎]: 行ごとに改行します。

[なし]: 改行しません。

[自動判定]: 行ごとに改行の必要性を自動判定します。

空白 (先頭)

行頭に空白を挿入する設定を行います。

[あり]: 行頭に空白を挿入します。

[なし]: 行頭に空白を挿入しません。

※英数字領域を認識する場合、[あり] に設定しても行頭に空白は挿入
されません。

空白 (文字間)

文字間に空白を挿入する設定を行います。

[あり]: 文字間に空白を挿入します。

[なし]: 文字間に空白を挿入しません。

アルファベット

アルファベットの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]: アルファベットをすべて全角にします。

[半角]: アルファベットをすべて半角にします。

[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

数字

数字の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]: 数字をすべて全角にします。

[半角]: 数字をすべて半角にします。

[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

記号

記号の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]: 記号をすべて全角にします。

[半角]: 記号をすべて半角にします。

[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

カタカナ

カタカナの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]: カタカナをすべて全角にします。

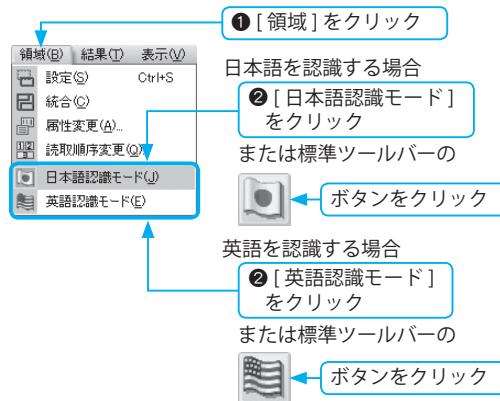
[半角]: カタカナをすべて半角にします。

[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

認識モードを変更する

認識モードには、日本語と英語の2種類があります。文字領域のレイアウト属性は、レイアウト認識前に設定されている認識モードによって決まります。原稿内に日本語が多い場合は、[日本語認識モード]で、また、英語のみの原稿は[英語認識モード]で認識を実行されることをお勧めします。

1 認識モードを選択する



※レイアウト認識後、領域枠を選択して個別に認識モードを変更することができます。(☞「領域枠の属性変更」P.94)

文字の結合をするには

文字認識後、複数の文字列として認識された文字を、1文字として再認識する機能です。

1 文字列を指定する

■作り方■

1. 大きめの鍋に塩を力口えたたこ
2. フライパンにオリーブオイル、

認識結果ウィンドウで、結合したい文字の前でマウスの左ボタンをクリックしたままドラッグ

2 文字の結合を実行する



① [結果] をクリック

② [文字の結合] をクリック

または認識結果編集ツールバーの



ボタンをクリック

3 実行結果

■作り方■

1. 大きめの鍋に塩を加えたたこ
2. フライパンにオリーブオイル、

再認識が実行され、認識結果の文字が入れ替わります

※範囲指定した文字列の中に、改行・空白・
入力文字が含まれる場合は [文字の結合] は実行されません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

文字の分離をするには

文字認識後、1文字として認識された文字列を、複数の文字として再認識する機能です。

2 文字に分離する

1 文字を指定する

りのお湯でスパゲティーをゆく

小口切にした趙辛子、スライ

認識結果ウィンドウにて分離したい文字列を範囲指定する

アルデンテにゆでたスパゲティ

2 文字の分離を実行する

※範囲指定した文字列の中に、改行・空白・
入力文字が含まれる場合は [文字の分離] は実行されません。



3 分離する場所を指定する

分離線の縦 / 横を切り替える場合

[Ctrl] キーを押すごとに縦 / 横を切り替えます。

分離する場所を指定する場合

- ① [矢印] キーを押す。
- ② 分離したい場所で [Enter] キーを押す。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

りのお湯でスパゲティーをゆく

小口切にした趙辛子、スライ

アルデンテにゆでたスパゲティ

① マウスを動かし分離線を移動させる

※マウスのボタンは分離場所が決まってからクリックしてください。

② 分離したい場所でクリック

4 実行結果

りのお湯でスパゲティーをゆく

小口切にした赤唐辛子、スライ

再認識が実行され、認識結果の文字が入れ替わります

アルデンテにゆでたスパゲティ

3 文字に分離する

1 文字を指定する

1. 大きめの鍋に塩を加

2. フライ 認識結果ウインドウにて分離したい
パンに オリーブオ 文字列を範囲指定する

3. にんにくの香りがで

2 文字の分離を実行する

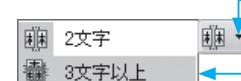
① [結果] をクリック



③ [3 文字以上] をクリック

② [文字の分離] を選択

または認識結果編集ツールバーの



① ▼をクリック

② [3 文字以上] をクリック

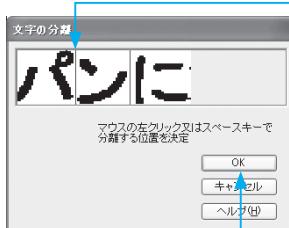
3 分離する場所を指定する

分離線の縦 / 横を切り替える場合

[Ctrl] キーを押すごとに縦 / 横を切り替えます。

分離する場所を指定する場合

① [矢印] キーを押す。
② 分離したい場所で [Enter] キーを押す。



① マウスを動かし分離線を移動させる

※マウスのボタンは分離場所が決まってからクリックしてください。

② 分離したい場所でクリック

③ 分離線が確定し、次の分離線が表示されます
必要な数だけ分離線を確定してください

④ [OK] をクリック

4 実行結果

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

1. 大きめの鍋に塩を加

2. フライ パンに オリーブオ

3. にんにくの香りがで

再認識が実行され、認識結果の文字が入れ替わります

表を編集する

ここでは、認識した表の罫線の追加や削除、セルごとの属性変更ができます。

画像に表のレイアウト枠がない場合、表編集モードは選択できません。

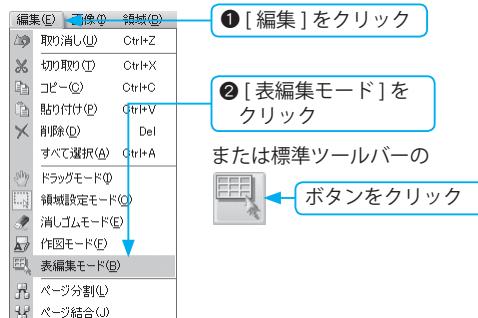
※表を含んだ画像全体をレイアウト認識させるには
(☞「レイアウト認識を行う」P.63)

1 表をレイアウト認識する

表をレイアウト認識するには、次の方法があります。

- ・表を含んだ画像全体を、自動的にレイアウト認識する。
- ・表領域を手動で設定して、属性変更で表に変更する。
- ・指定した領域に対して【罫線の自動挿入】を実行する。
(☞「自動罫線追加」P.102)

2 表編集モードにする



3 表を編集する

※【表編集モード】を終了する場合は、他のモードを選択してください。
(☞「操作モードの切り替え」P.60)

セルの属性変更を行う場合

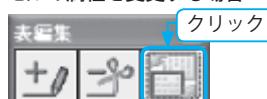
表編集モードの【セルの属性変更】では、[OK][キャンセル]の2つのボタンと【規定値として設定】チェックボックスは使用できません。その他の「属性変更」の方法は「領域枠の属性変更」P.94を参照してください。

■ 罫線を追加する場合



マウスポインターの形状が鉛筆に変わります。罫線を追加したい場所に、鉛筆で線を描くように罫線を追加することができます。

■ セルの属性を変更する場合



セルごとに属性の変更ができます。変更したいセルをクリックしてから属性変更を行ってください。(クリックするとセル背景が水色に変わります)

■ 罫線を削除する場合



マウスポインターの形状がハサミに変わります。削除したい罫線の上をハサミでなぞるようにして罫線の削除ができます。表罫線を削除して複数のセルを1つに結合します。

自動罫線追加

指定した範囲内を、強制的に表領域としてレイアウト認識し、領域内に罫線を自動挿入します。

通常のレイアウト認識で表領域が誤った属性で認識されてしまう場合に利用すると便利です。

※範囲内にすでに領域枠が存在する場合は、表領域として再認識されます。

領域設定モード

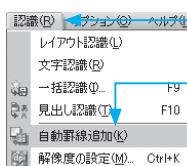
1 領域を指定する

品番	名前	ターゲット層	円/100g	前年比%
TM-1	安藤山巣乳酸菌飲料Keffa	20代以上のOL	51	154.6
TM-2	富山のヨーグルトおなかすこやか	無設定	28	85.1
TM-3	ヨーグルトソースフルーベリー味	30代以上の主婦	105	124.9
TM-4	農村ヨーグルト	無設定	105	101.7
TM-5	元気印チーズキャンディー	園児・児童などの14歳以下の子供	24	112.4

表認識する範囲をドラッグで範囲指定するか、領域枠を選択する

※領域枠をクリックで選択する場合は、1つの領域枠のみ選択できます。

2 [自動罫線追加] を実行する



① [認識] をクリック

② [自動罫線追加] をクリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。

3 実行結果

■ [自動罫線追加] を行った場合

品番	名前	ターゲット層	円/100g	前年比%
TM-1	安藤山巣乳酸菌飲料Keffa	20代以上のOL	51	154.6
TM-2	富山のヨーグルトおなかすこやか	無設定	28	85.1
TM-3	ヨーグルトソースフルーベリー味	30代以上の主婦	105	124.9
TM-4	農村ヨーグルト	無設定	105	101.7
TM-5	元気印チーズキャンディー	園児・児童などの14歳以下の子供	24	112.4

指定した範囲が1つの表領域としてレイアウト認識されます

■参考：通常のレイアウト認識を行った場合

品番	名前	ターゲット層	円/100g	前年比%
TM-1	安藤山巣乳酸菌飲料Keffa	20代以上のOL	51	154.6
TM-2	富山のヨーグルトおなかすこやか	無設定	28	85.1
TM-3	ヨーグルトソースフルーベリー味	30代以上の主婦	105	124.9
TM-4	農村ヨーグルト	無設定	105	101.7
TM-5	元気印チーズキャンディー	園児・児童などの14歳以下の子供	24	112.4

誤った領域枠が設定されます

見出し認識

新聞の見出しなど、文字や文字の背景に模様がはいっている場合、そのままでは、文字認識することができません。「見出し認識」を実行すると、この模様部分を除去して、文字認識します。(背景の模様によっては、除去できない場合があります)

領域設定モード

1 認識したい見出しを選択する



※ (☞「領域枠の選択」P.91)

2 [見出し認識] を実行する



① [認識] をクリック

② [見出し認識] をクリック

またはツールバーの

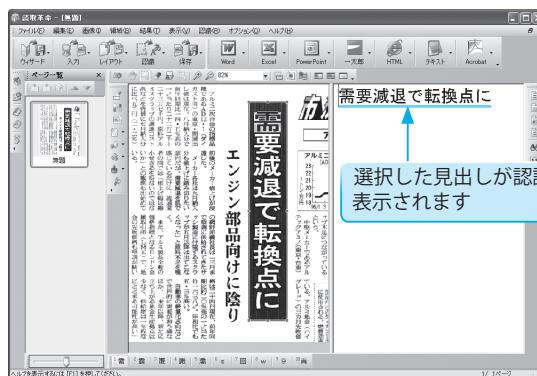


① ▾をクリック

② [見出し認識] をクリック

3 実行結果

※文字のサイズが大きい場合や、見出しの形状によっては正しく認識されない場合があります。

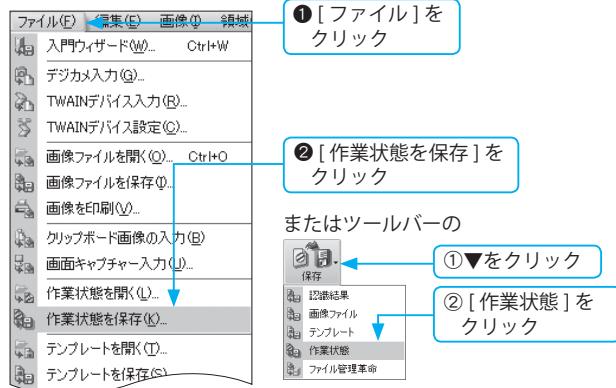


作業ファイルを保存して作業を中断する

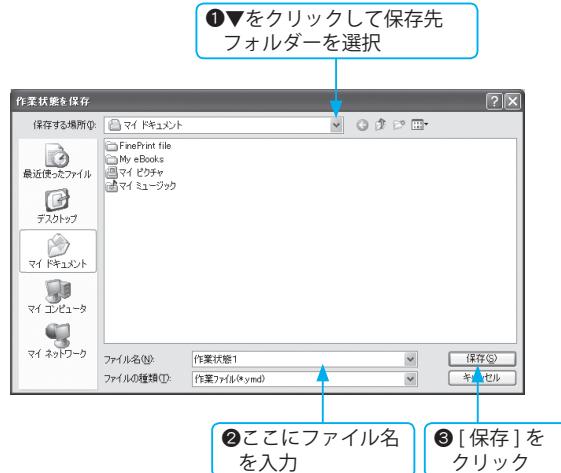
作業の途中で他の画像ファイルの作業を行う、もしくは「読取革命」を終了し、その後、再び作業の続きをしたい場合には、作業状態をファイルに保存しておきます。[作業状態を開く]を実行すると、画像と認識結果が保存しておいた状態で表示され、再び作業の続きをを行うことができます。

(☞「作業ファイルを開いて作業を再開する」P.105)

1 [作業状態を保存]を選択する



2 保存先ファイルを指定する

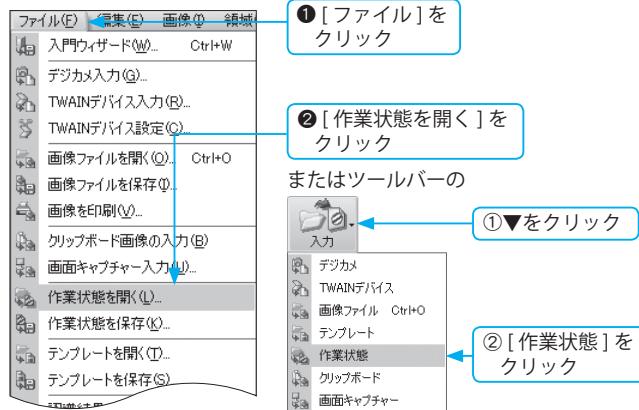


※既に同名のファイルが存在する場合は、上書き確認のダイアログボックスが表示されます。

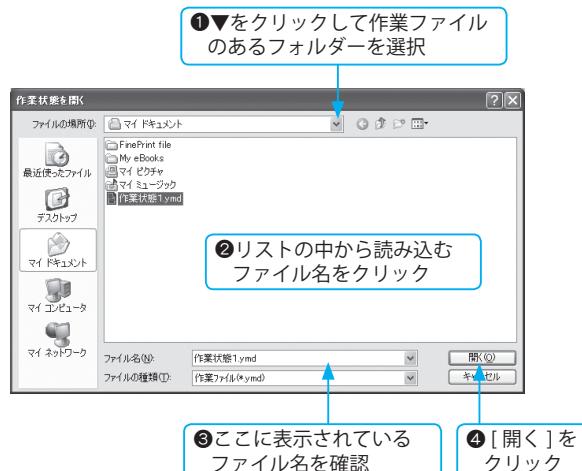
作業ファイルを開いて作業を再開する

作業の途中で保存されたファイルを開くと、画像と認識結果が保存しておいた状態で表示され、再び作業の続きをすることができます。(☞「作業ファイルを保存して作業を中断する」P.104)

1 [作業状態を開く]を選択する



2 作業ファイルを指定する



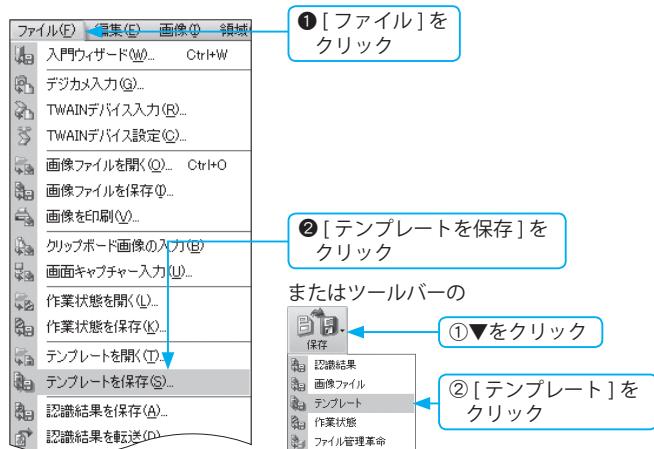
テンプレートで同じ形式のページを認識する

同じレイアウトの原稿を認識する場合には、レイアウト情報（領域の位置・サイズ・属性）をテンプレートとして保存し、繰り返し利用することができます。テンプレートを利用すれば、ページごとのレイアウト認識、または領域設定を行う操作を省略することができます。

※テンプレートは同じ解像度で入力した画像に対して有効となります。

テンプレートを保存する

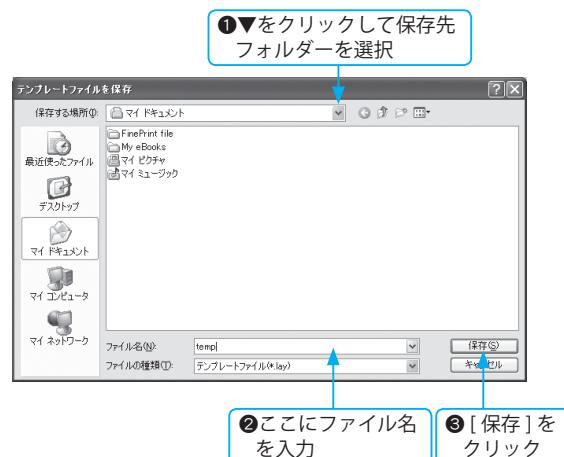
1 [テンプレートを保存]を選択する



テンプレートをつくるには

1 ページ分だけレイアウト認識するか、手動で領域設定を行います。
(☞「レイアウト認識を行う」P.63)
(☞「領域枠の設定」P.90)

2 保存先ファイルを指定する

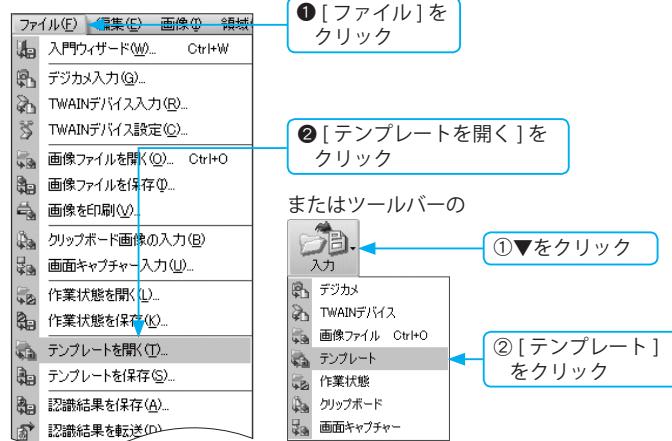


※既に同名のファイルが存在する場合は、上書き確認のダイアログボックスが表示されます。

テンプレートを開く

1

[テンプレートを開く]を選択する



※テンプレートから読み込んだ領域が画像に対してずれている場合は、手動で修正してください。

(☞「領域枠の設定」P.90)

文字認識を実行する前に

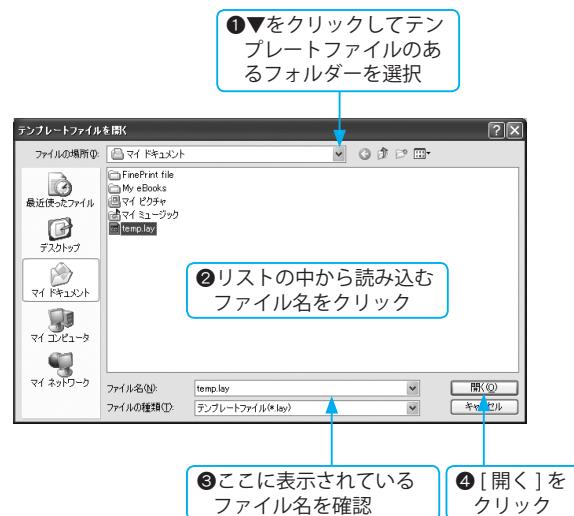
[環境設定]の[認識]タブの設定で、上から2番目の項目[領域設定済みのページをレイアウト認識する]をオフにしておいてください。

オンになっている状態で文字認識を実行すると、自動で領域が再設定され(テンプレートとは関係のない自動判定によるもの)、文字認識が行われます。

(☞「[認識]タブの設定」P.185)

2

開くテンプレートファイルを指定する



ページを分割する

読み込んだ画像を複数ページに分割します。

見開きページの画像を二分割してそれぞれ別ページに分けたいときなどに便利です。

1 メニューを選択する



① [編集] をクリック

② [ページ分割] をクリック

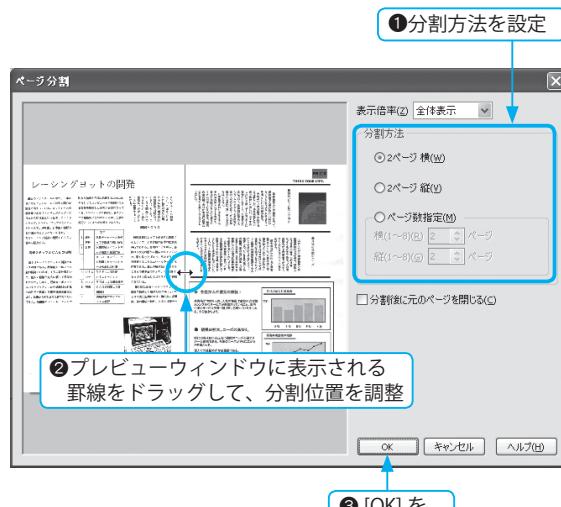
または標準ツールバーの



② [ページ分割] をクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。

2 分割するページを指定する

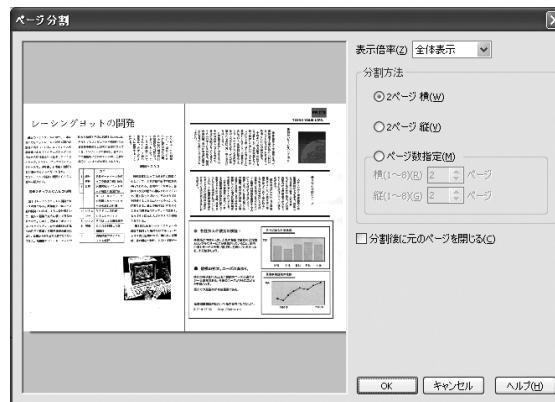


① 分割方法を設定

② プレビューインデウに表示される
罫線をドラッグして、分割位置を調整

③ [OK] を
クリック

■ページ分割 ダイアログボックスの詳細



[表示倍率]：画像の拡大表示、または縮小表示ができます。

分割方法

[2ページ横]：画像を横に2分割にします。

[2ページ縦]：画像を縦に2分割にします。

[ページ数指定]：任意のページ数を指定することができます。

[横]：横に分割するページ数を指定します。▲▼をクリックするか、またはテキストボックスに数値を入力します。1～8までの値が入力できます。

[縦]：縦に分割するページ数を指定します。▲▼をクリックするか、またはテキストボックスに数値を入力します。1～8までの値が入力できます。

[分割後に対象のページを閉じる]：分割後に分割元のページを閉じる場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

3 実行結果

※分割後の画像ファイル名は、末尾に数値番号を連番で付加し、別名となります。



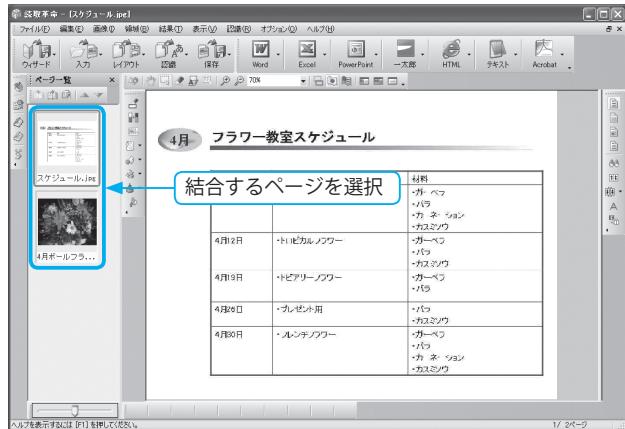
※「分割後に対象のページを閉じる」のチェックボックスがオフの場合は、分割前の画像と分割後の画像が表示されます。

ページを結合する

2つのページ画像を結合して、新しいページ画像を作成することができます。

ページの結合は、同じ解像度の画像を使って行います。

1 結合するページを選択する



2 メニューを選択する



① [編集] を
クリック

② [ページ結合] を
クリック

または標準ツールバーの



[ページ結合] を
クリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。

3 結合方法を指定する



■ページ結合ダイアログボックスの詳細



結合方法

方向

[横]：画像を横方向に結合します。

[縦]：画像を縦方向に結合します。

順番

[A → B]：横方向に結合する場合

左側：画像 A 右側：画像 B

縦方向に結合する場合

上側：画像 A 下側：画像 B

[B → A]：横方向に結合する場合

左側：画像 B 右側：画像 A

縦方向に結合する場合

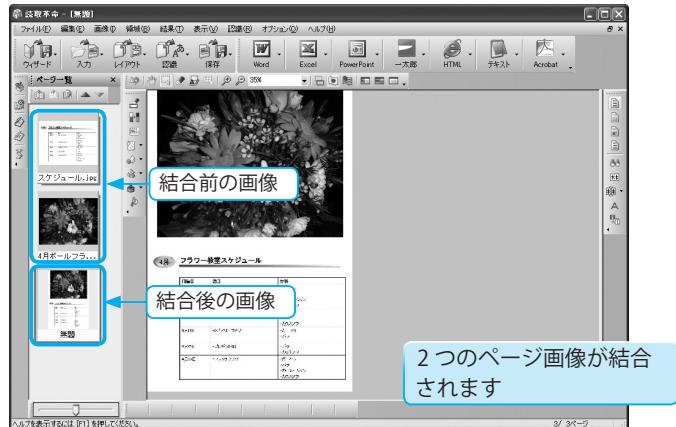
上側：画像 B 下側：画像 A

[結合後に元のページを閉じる]：結合後に結合元のページを閉じる場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

4 実行結果

※結合後の画像ファイル名は、「無題」で表示されます。

※結合後の画像は、元画像の色数にかかわらず、24bit カラーになります。

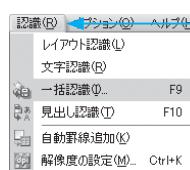


※「結合後に元のページを閉じる」のチェックボックスがオフの場合は、結合前の画像と結合後の画像が表示されます。

一括認識で自動認識する

簡単な設定をするだけで、画像読み込みから画像修正、認識、保存、転送までを自動で行います。
「入門ウィザード」よりも、さらに詳細な設定を行うことができます。

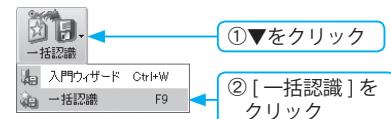
1 [一括認識] を選択する



① [認識] をクリック

② [一括認識] をクリック

またはツールバーの



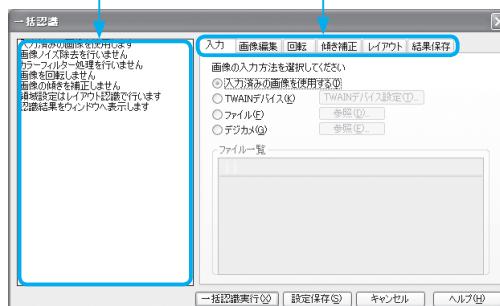
① ▼をクリック

② [一括認識] をクリック

2 各タブを設定し、一括認識を実行します

現在の設定

① タブをクリックして各設定を行う



② [一括認識実行] をクリック

※各タブの詳細については次ページ以降に記載しています。

■ [設定保存]

このボタンをクリックすると、現在の設定を保存してダイアログを閉じます。

[一括認識] は実行されません。

次回、[一括認識] を開くと、保存した設定が有効になります。

[入力]タブの設定

※読み込み可能なページ数は、最大999ページまでです。

画像を読み込む方法を設定します。

次の4つの選択肢からいずれか1つを選び、ラジオボタンをクリックしてオンにしてください。

[入力済みの画像を使用する]

既に「読み取り革命」で開いている画像を使用します。

[TWAINデバイス]

TWAINデバイスから画像を読み込みます。

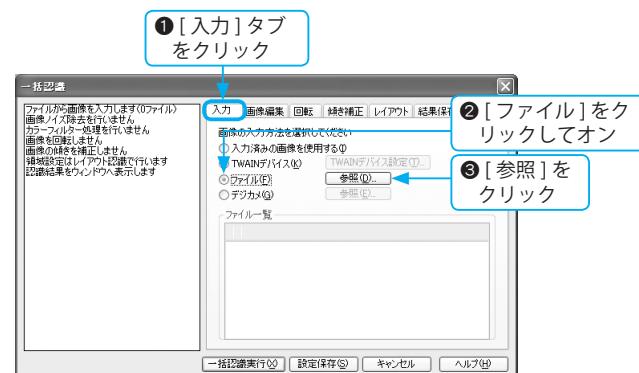
[TWAINデバイス設定]をクリックすると、「ソースの選択」ダイアログボックスが表示され、TWAINデバイスを選択できます。

(☞「TWAINデバイスの設定」P.33)

[ファイル]

ファイルから画像を読み込みます。

以下の手順で設定します。



複数ファイルを指定する場合

・離れたファイルを指定する

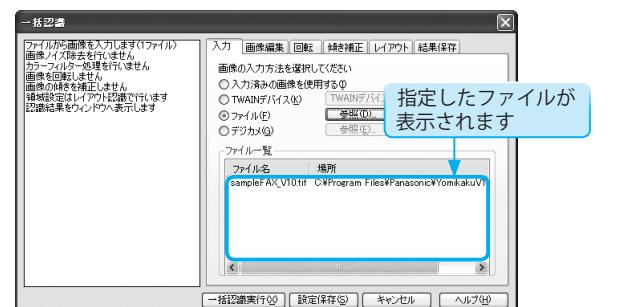
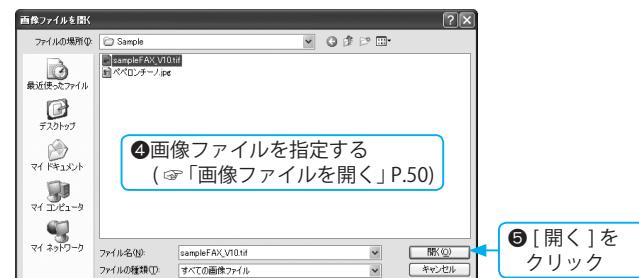
[Ctrl]キーを押したまま、ファイルを1つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。

・連続したファイルを指定する

選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の始めのファイルをクリックし、[Shift]キーを押したまま、選択したい範囲の最後のファイルをクリックすると、間に挟まれたファイルがすべて選択できます。

※同じフォルダーの中でのみ複数のファイルを指定することができます。

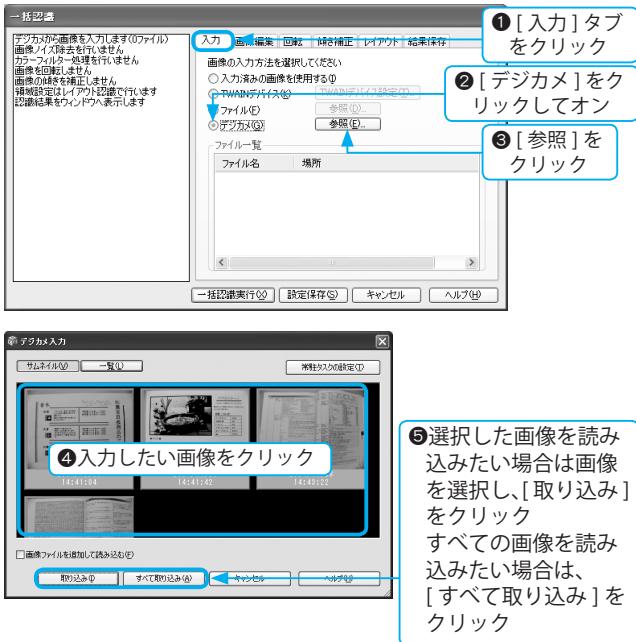
※Adobe PDFファイル、または*.xdw/*.xbd形式のファイルを読み込む場合(☞「画像ファイルを開く」P.50)



[デジカメ]

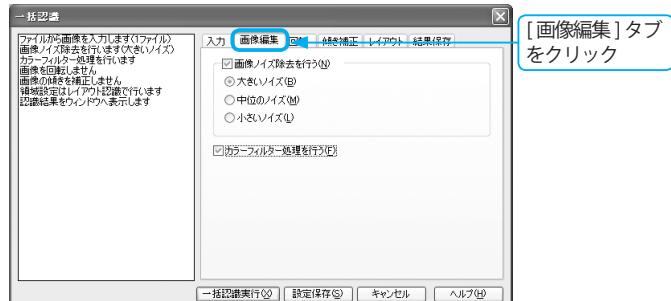
デジタルカメラから画像を読み込みます。

以下の手順で設定します。



[画像編集] タブの設定

ノイズ除去や、カラーフィルターの設定を行います。



[画像ノイズ除去を行う]

ノイズ除去を行う場合は、チェックボックスをクリックして以下の項目を選択してください。

- ・大きいノイズ
- ・中位のノイズ
- ・小さいノイズ

句読点や文字の一部を消さないように、除去するノイズの大きさを選択してください。ノイズの除去により認識率が低下した場合は、ノイズの大きさを小さくしてください。

[カラーフィルター処理を行う]

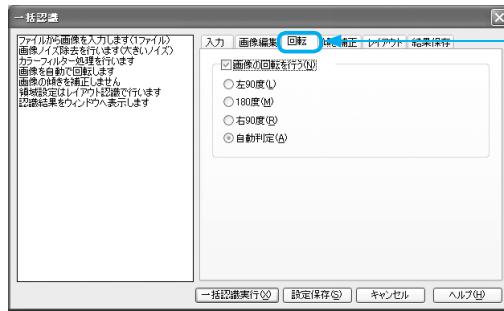
カラーフィルター処理を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

[回転]タブの設定

画像を回転させる設定を行います。

■ [入力済みの画像を使用する]

[入力]タブで、[入力済みの画像を使用する]を選択し、[画像回転]を実行した場合、画像ウィンドウで設定していた領域は消去されます。



回転を行う場合は、チェックボックスをクリックして以下の項目を選択してください。

- 左 90 度
- 180 度
- 右 90 度
- 自動判定

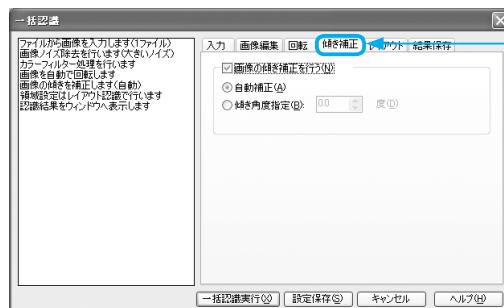
※画像ウィンドウに表示された画像が回転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように回転させてください。

[傾き補正]タブの設定

傾きの補正の設定を行う場合は、チェックボックスをクリックして以下の項目を選択してください。

■ [入力済みの画像を使用する]

[入力]タブで、[入力済みの画像を使用する]を選択し、[傾き補正]を実行した場合、画像ウィンドウで設定していた領域は消去されます。



[自動補正]

自動で傾き角度を検出して補正します。

[傾き角度指定]

指定した傾き角度で補正を行います。

有効角度は -45.0 ~ +45.0 度で、0.1 度刻みで設定できます。

[レイアウト] タブの設定

領域指定の方法を設定します。

2つの選択肢からいずれか1つを選び、ラジオボタンをクリックしてオンにしてください。

[レイアウト認識を行う]

レイアウト認識により、領域を設定します。[領域属性] ボタンをクリックすると、領域属性を変更することができます。

(☞「領域枠の属性変更」P.94)

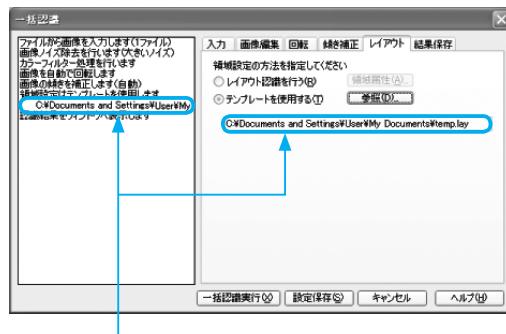
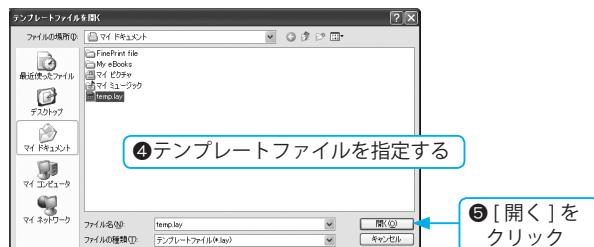
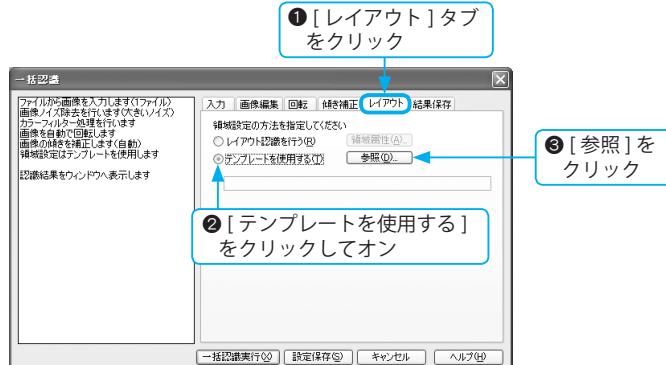
※テンプレート

(☞「テンプレートで同じ形式のページを認識する」P.106)

[テンプレートを使用する]

ファイルに保存しているテンプレートを使用します。

以下の手順で設定します。



[結果保存]タブの設定

認識結果の保存先を設定します。

3つの選択肢からいずれか1つを選び、ラジオボタンをクリックしてオンにしてください。

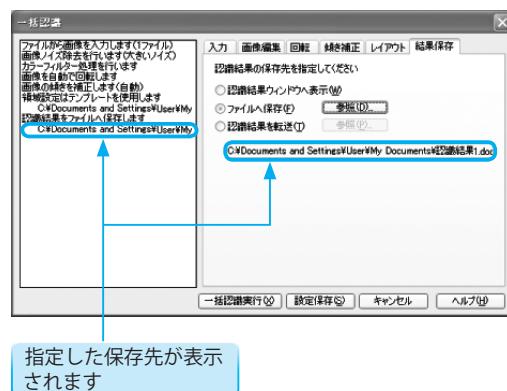
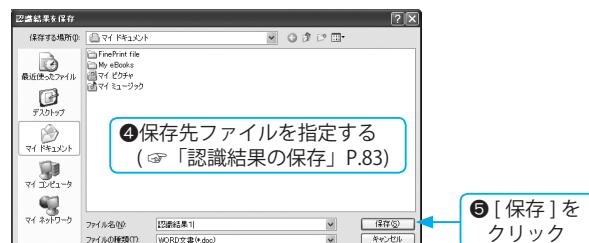
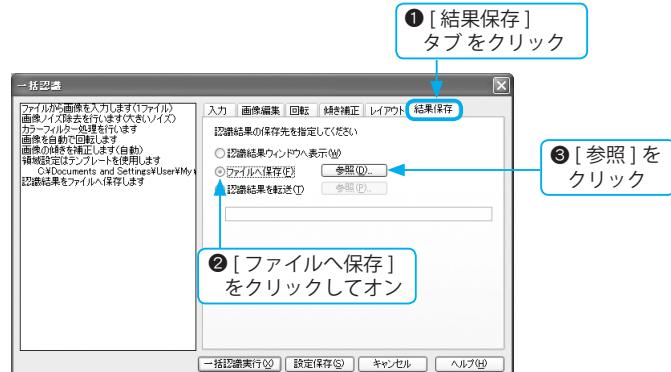
[認識結果ウィンドウへ表示]

認識結果をウィンドウへ表示します。

[ファイルへ保存]

認識結果を指定したファイルへ保存します。

以下の手順で設定します。



選択できる転送ファイル形式の詳細

●レイアウト枠付き文書 / 表罫線 / 画像を編集・表示するには

- Microsoft Word 文書 (*.doc)
- Microsoft Excel 文書 (*.xls)
- Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
- 書式付きファイル (*.rtf)
- 一太郎ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書 / 表罫線 / 画像を編集・表示するには

- Microsoft Word(本文) 文書 (*.doc)
- 一太郎(本文) ファイル (*.jtd)

●文字修飾や段組処理を特定のアプリケーションに依存せずに表示するには

- PDF ファイル (*.pdf)
- [* .pdf(透明文字)]

元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

- [* .pdf(高圧縮)]

カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示することができます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

●インターネットのホームページ文書として編集・表示するには

- HTML 文書 (*.htm)
- XML 文書 (*.xml)

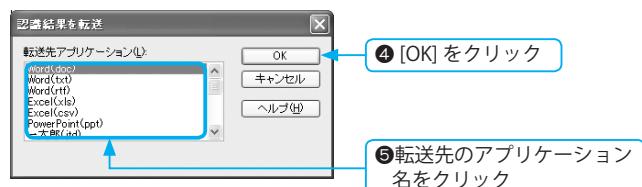
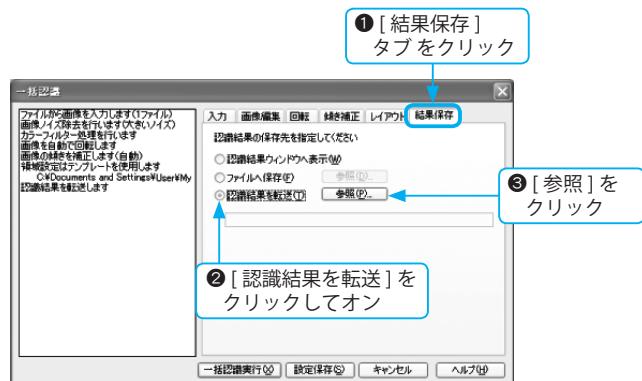
●文字のみを編集・表示するには

- テキストファイル (*.txt)
- CSV ファイル (*.csv)

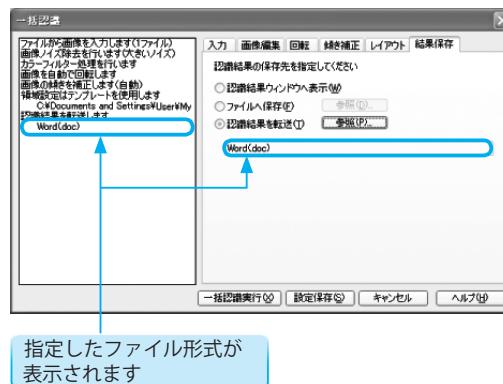
[認識結果を転送]

認識結果を他のアプリケーションへ転送します。

以下の手順で設定します。



※認識結果を転送できるのは、パソコンにインストールされているアプリケーションに限ります。

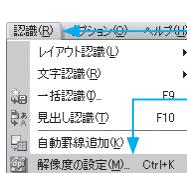


解像度の設定

解像度情報が設定されていない画像ファイルを読み込む場合、画像解像度の設定を行います。

Word 形式 (*.doc)、Excel 形式 (*.xls)、PowerPoint 形式 (*.ppt)、RTF 形式、一太郎形式 (*.jtd)、HTML 形式 (*.htm)、XML 形式 (*.xml) などで出力する場合は、解像度を基準にして文字サイズを決定したり、レイアウトの再現を行います。

1 [解像度設定] を選択する



① [認識] をクリック

② [解像度の設定] をクリック

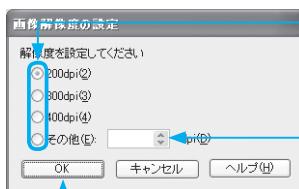
または標準ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。

2 解像度を設定する



① いずれかをクリックしてオン

[その他] を選択した場合、解像度を半角数字で入力
または、▲▼をクリックして解像度を変更する

※解像度有効範囲は 50 ~ 2400dpi です。

② [OK] をクリック

■解像度設定の例：A4 サイズ /400dpi の画像の解像度を変更する



(原稿 A4 サイズ /400dpi)



● 600dpi に設定した場合

A5 に近い用紙サイズで出力されます。



● 300dpi に設定した場合

A3 に近い用紙サイズで出力されます。

※解像度の数値と認識後の保存・転送結果は反比例します。

※解像度が設定されていない画像ファイルを一括認識で読み込んだ場合は、400dpi とみなして処理されます。

フォント設定するには

認識結果ウィンドウで表示する文字のフォント名やサイズ、文字間、行間、文字色の変更ができます。

カラーリアル表示や領域表示にしたときに、より見やすく設定することができます。

※認識結果の表示方法により指定可能なオプションが異なります。また変更された設定は転送するファイル形式により無効となる場合があります。

1 [フォント設定]を選択する



① [結果]をクリック

② [フォント設定]をクリック

または認識結果編集ツールバーの



ボタンをクリック

領域表示・カラーリアル表示で設定した場合

- フォント名は全領域に、その他の設定は選択された領域に反映されます。
- 以下のファイル形式に保存・転送した場合、フォント名以外の設定が反映されます。Word(*.doc)、Excel(*.xls)、PowerPoint(*.ppt)、書式付きファイル(*.rtf)、一太郎(*.jtd)、一太郎(本文)、HTML(*.htm)、XML(*.xml)

各表示方法でのフォント設定について

フォント設定は、各表示方法によって指定可能なオプションが異なります。

■テキスト表示

フォント名・フォントサイズ・文字色を変更して表示することができます。保存・転送した場合は、設定はすべて無効となります。

■領域表示

フォント名・フォントサイズ・文字色・行間・文字間を変更することができます。

■カラーリアル表示

フォント名・フォントサイズ・文字色・行間・文字間を変更することができます。

■ハイパーテッカー

フォント名・フォントサイズを変更して表示することができます。保存・転送した場合は、設定はすべて無効となります。

2 フォントを設定する



①各項目を必要に応じて設定

② [OK]ボタンをクリック

※ [フォント名]や[サイズ]の一覧はお使いのパソコン環境によって異なります。

[フォント名]

フォントを選択・表示します。

[サイズ]

フォントサイズを選択・表示します。

希望のサイズがリストにない場合は、テキストボックスに直接入力することで設定することができます。

[色]

認識結果ウィンドウで選択された文字列の色を選択・表示します。

[行間]

認識結果ウィンドウで選択された文字列の行間を選択・表示します。

[文字間]

認識結果ウィンドウで選択された文字列の文字間を選択・表示します。

読み取り順序を変更するには

各領域には、文字認識をする順番を決める読み取り順序番号が付けられています。

読み取り順序番号はこの操作により変更することができます。

1 [読み取り順序変更] を選択する

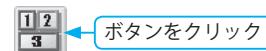


- ① [領域] をクリック
- ② [読み取り順序変更] をクリック

または、領域属性ダイアログボックスからも読み取り順序を変更することができます。

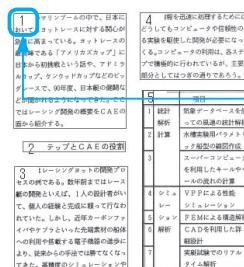
(☞「領域枠の属性変更」P.94)

または標準ツールバーの



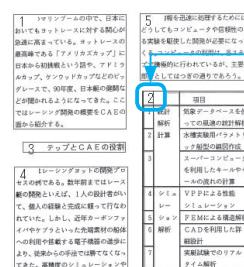
※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。

2 順序変更を行う



- ① 読み取り順序を 1 番にしたい領域の内側をクリック

選択された状態となり、読み取り順序が “1” と表示されます

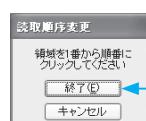


- ② 読み取り順序を 2 番にしたい領域の内側をクリック

選択された状態となり、読み取り順序が “2” と表示されます

- ③ 以降、同様の操作で読み取り順序を変更する

3 終了する



- ④ [終了] をクリック

[読み取り順序変更] を中止する場合

2 通りの手順があります。

- ・変更作業中に [キャンセル] ボタンをクリック。
- ・[終了] をクリックしたあと、[取り消し] の操作を行う。(☞「取り消し」P.81)

※読み取り順序変更操作を終了すると、読み取り順序番号表示が消え、画面は最初の状態に戻ります。常に読み取り番号を表示したい場合は [環境設定] の中で設定を行います。(☞「[一般] タブの設定」P.181)

転送先アプリバーの設定

画像ウィンドウ、または認識結果ウィンドウ上に、認識結果を他のアプリケーションへ転送するボタンがアプリバーで表示されています。転送先アプリバーに、アプリケーションを追加、削除することができます。

また、転送先アプリバーは、対応するアプリケーションがインストールされた場合、次回「読み取革命」起動時に自動的に登録されたり、アプリケーションがアンインストールされると自動的に削除される機能があります。

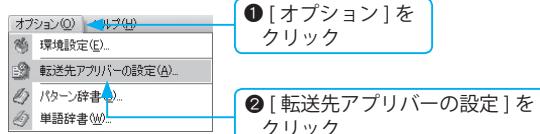
転送先アプリバーに自動表示されるアプリケーション

「読み取革命」起動時に下記のアプリケーションがインストールされていると自動的に転送先アプリバーに登録されます。また、下記のアプリケーションがアンインストールされた場合も自動的に転送先アプリバーから削除されます。

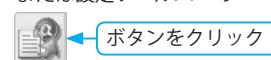
- Microsoft Word(2000/2002/2003)
 - Microsoft Excel(2000/2002/2003)
 - Microsoft PowerPoint(2000/2002/2003)
 - 一太郎(13/2004/2005)
 - Adobe Reader(6/7)/Adobe Acrobat(6/7)
 - Internet Explorer5.0以上、またはNetscape7.0以上(※XMLは非対応)
- ※自動で登録された転送先アプリケーションは削除できません。
- ※上記以外のアプリケーションでも、ファイルを読み込むことができるアプリケーションであれば、右記の設定を行って追加することができます。

※転送先アプリバーに設定できるアプリケーションは20個までです。

1 [転送先アプリバーの設定]を選択する

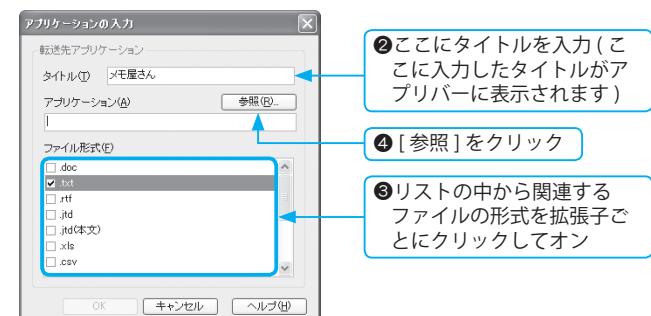
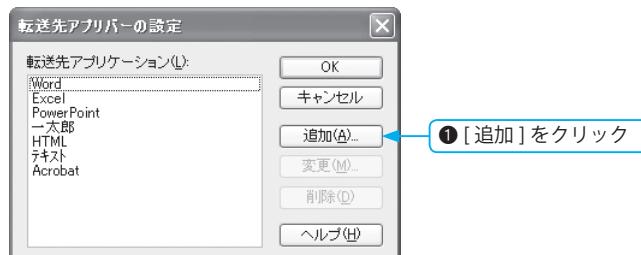


または設定ツールバーの

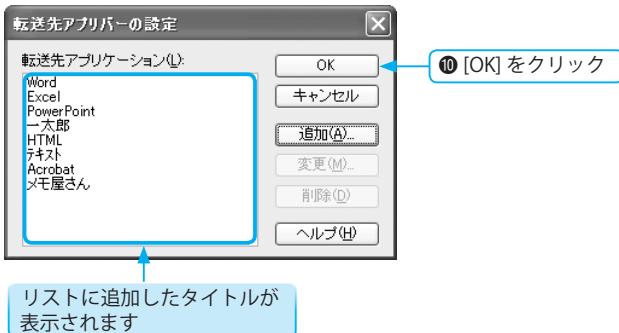
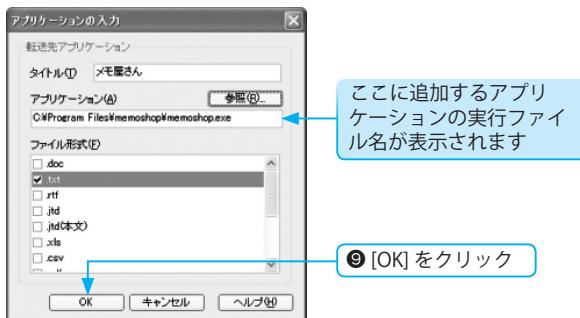
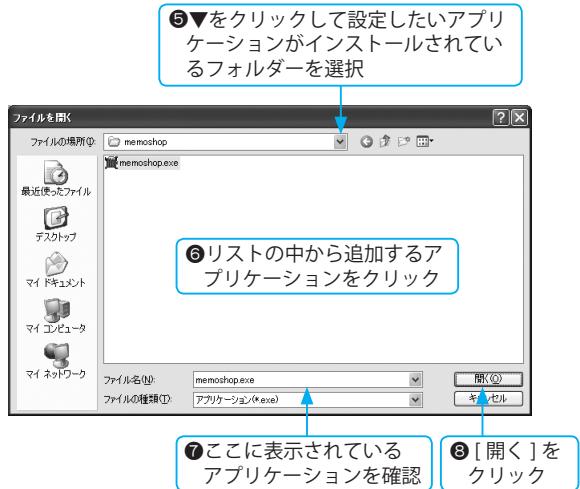


2 各設定をする

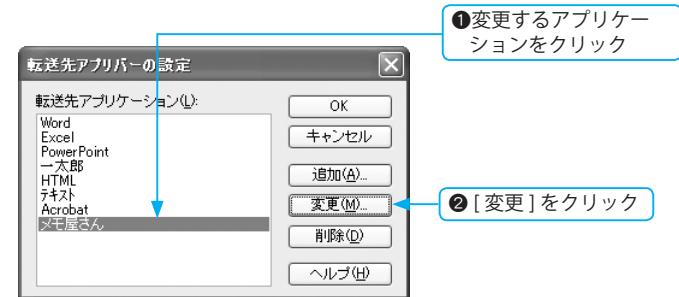
転送先アプリケーションの追加



※続けて複数のアプリケーションを追加する場合は、手順⑤の後に、[追加]をクリックし、手順2以下を繰り返します。



転送先アプリケーションの変更

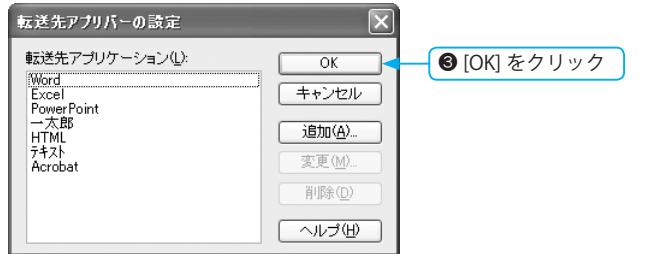
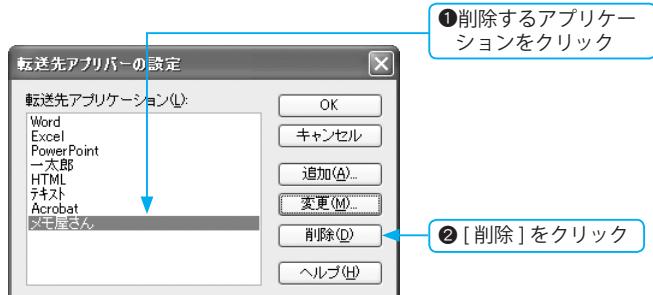


※自動登録されるアプリケーションを選択した場合は、[参照]ボタンが無効となります。



転送先アプリケーションの削除

※自動登録されるアプリケーションを削除することはできません。



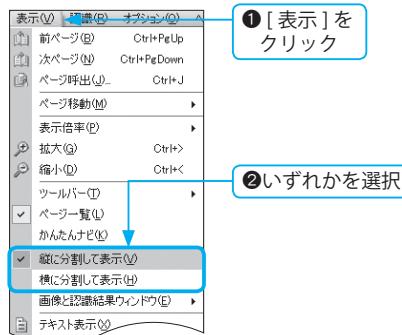
画像・認識結果ウィンドウを上下に並べるには

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを左右に並べるか、上下に並べるかを選択することができます。

作業しやすい形態を選択してください。

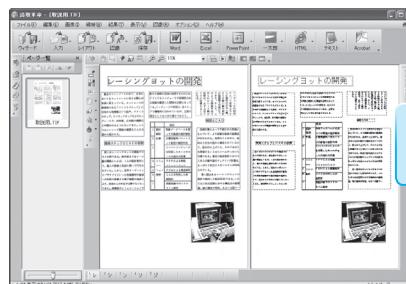
※ハイパーテッカー表示では選択できません。

1 表示形態を選択する



2 実行結果

■ [縦に分割して表示] を選択した場合



■ [横に分割して表示] を選択した場合

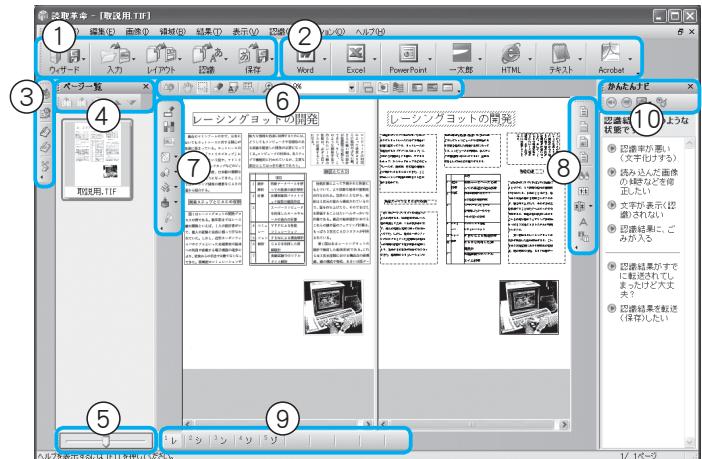


ツールバーをカスタマイズするには

「読み取り革命」では、ツールバーをお好みでカスタマイズすることができます。

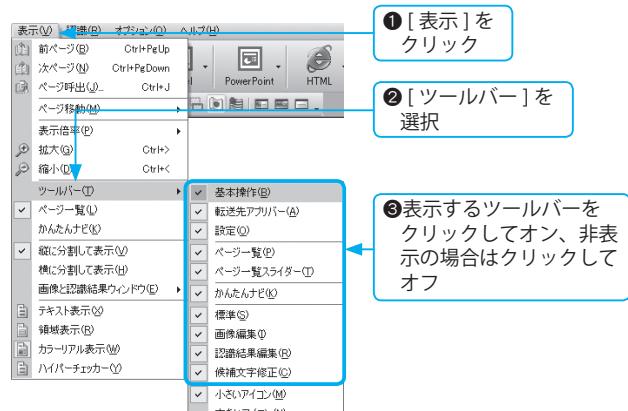
表示するツールバーや、各ツールバーに表示されるボタンの表示/非表示、アイコンの大きさを選択することができます。

各ツールバーの名称



- ① 基本操作
- ② 転送先アプリバー
- ③ 設定
- ④ ページ一覧
- ⑤ ページ一覧スライダー
- ⑥ 標準
- ⑦ 画像編集
- ⑧ 認識結果編集
- ⑨ 標準文字修正
- ⑩ かんたんナビ

ツールバーの表示/非表示



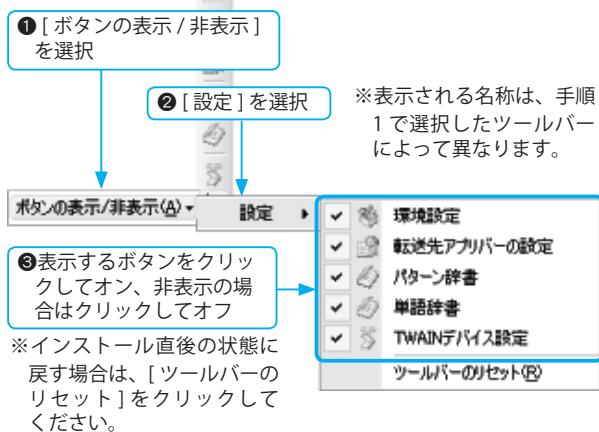
ボタンの表示 / 非表示

1 ツールバーを選択する



ツールバーの右端、または下部に▼ボタンが表示されている場合は表示するボタンの設定を変更することができます

2 各種設定をする



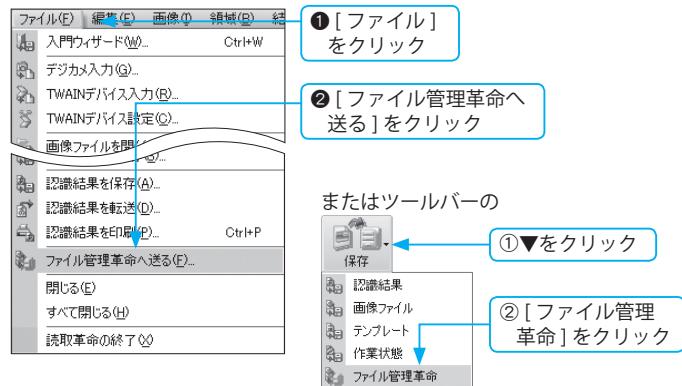
アイコンの大きさを変更する



ファイル管理革命へ送る

「読み込んだ画像を「ファイル管理革命」で管理しているフォルダーに簡単に送ることができます。[ファイル管理革命へ送る]を使用するには、「ファイル管理革命」がインストールされている必要があります。

1 メニューを選択する



2 送り先を指定する

送り先に保存できるファイル形式

- TIFF ファイル (*.tif) ※
- TIFF[非圧縮] ファイル (*.tif)
- BMP ファイル (*.bmp)
- JPEG ファイル (*.jpg, *.jpeg)

ファイル形式についての説明は、「用語解説」P.239 に記載しています。

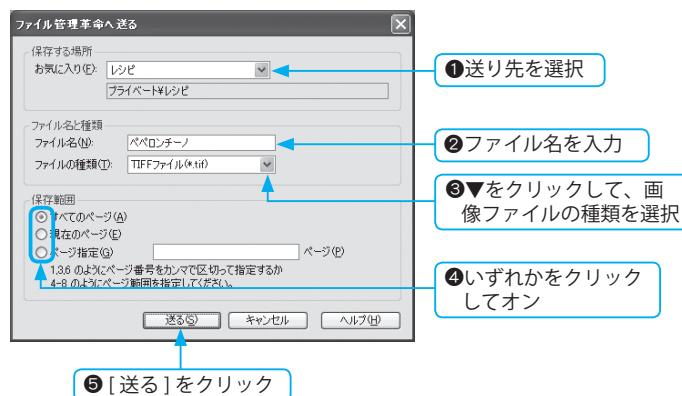
※カラー画像の場合は、TIFF[JPEG 圧縮]で保存されます。白黒画像(2値画像)の場合は、TIFF[G4 圧縮]で保存されます。

異なる形式のファイルから入力した複数ページの画像を1つのファイルで送り先に保存する場合

TIFF を選択してください。

現在表示されているページの画像だけを送り先に保存する場合

BMP/JPEG 形式で保存します。この形式で複数ページの保存はできません。



※ファイルの送り先は、「ファイル管理革命」でお気に入りに追加されたフォルダーになります。

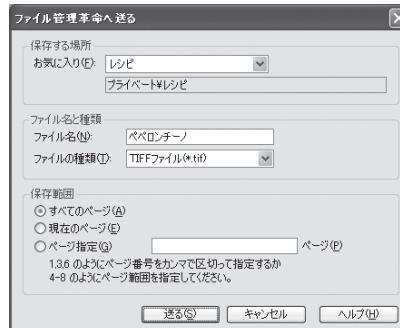
3 実行結果

※認識結果がない画像のテキスト抽出は、行われません。



応用操作

■ファイル管理革命へ送る ダイアログボックスの詳細



保存する場所

「ファイル管理革命」でお気に入りに登録されているフォルダーを保存場所として指定します。

[お気に入り]：お気に入りの一覧を表示します。

ファイル名と種類

[ファイル名]：ファイル名を入力します。

[ファイルの種類]：保存するファイル形式を選択します。

保存範囲

[すべてのページ]：

ページ一覧ウィンドウに表示されたすべての画像を送り先に保存します。

[現在のページ]：

画像ウィンドウに表示された画像を送り先に保存します。

[ページ指定]：

指定されたページに該当する画像を送り先に保存します。

画像編集

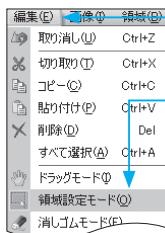
領域の範囲指定	134
消去する	135
消去 (領域の内側を消去)	135
トリミング (領域の外側を消去)	136
消しゴム	137
ノイズ除去	138
傾き補正	139
自動傾き補正	139
手動傾き補正	140
見開き補正	141
回転	143
上下反転	144
左右反転	145
傾斜	146
長方形化	147
リサイズ	148
色の反転	149
減色	150
カラーフィルター	151
シャープネス	152
エッジ強調	153
明るさ	154
コントラスト	155
ガンマ補正	156
カラードロップアウト	157
一括画像編集	160
作図	163

領域の範囲指定

範囲指定をして、画像の部分的な修正（消去・色の反転・トリミング・ノイズ除去・長方形化・カラードロップアウト）を行うことができます。なお、回転・傾き補正・上下反転・左右反転・傾斜・リサイズ・シャープネス・エッジ強調・減色・明るさ・コントラスト・ガンマ補正・カラーフィルターは、画像全体に対して実行されますので、範囲指定は必要ありません。

領域設定モード

1 領域設定モードにする



① [編集] をクリック

② [領域設定モード] をクリック

または標準ツールバーの



ボタンをクリック

2 範囲指定する

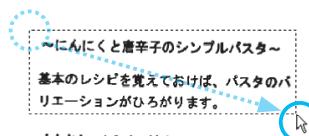
※画像全体を選択したい場合は、画像ウィンドウをクリックして、[編集]メニューの[すべて選択]を実行してください。

～にんにくと唐辛子のシンプルパスタ～

基本のレシピを覚えておけば、パスタのバリエーションがひろがります。

★★★★ (4.1)

①画像ウインドウで、範囲指定したい部分の角にマウスポインターをあわせ、マウスの左ボタンを押す



②左ボタンを押したままマウスを移動させ、範囲指定したい部分を枠で囲む

③マウスの左ボタンを離す

消去する

不要な画像を消去しておくことにより、文字認識の精度が向上します。

画像の消去には、範囲指定した領域の内側を消去する「消去」と、指定範囲の外側を消去する「トリミング」、また、ドラッグされた部分を消去する「消しゴム」が用意されています。

消去（領域の内側を消去）

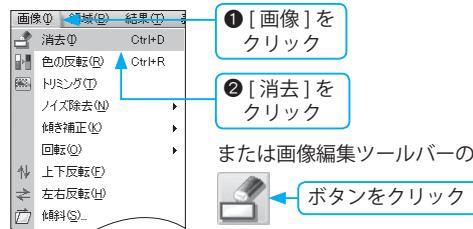
（領域設定モード）

範囲指定した領域の内側を消去します。広範囲の画像を消すことができます。

1 消去する部分を範囲指定する



2 メニューを選択する



3 実行結果



※操作を取り消すには
(☞「取り消し」 P.81)

※範囲指定を行わずに消去を行った場合は、画像全体が消去されます。

トリミング(領域の外側を消去)

領域設定モード

範囲指定した領域だけを残して、それ以外を消去します。ある一部分だけが必要で、他をすべて消去したい場合に便利です。

1 残す部分を範囲指定する

材料(4人分)

スパゲッティー	300 g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片
イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2

必要な領域を範囲指定する

※(☞「領域の範囲指定」P.134)

2 メニューを選択する



① [画像]を
クリック

② [トリミング]を
クリック

または画像編集ツールバーの



ボタンをクリック

3 実行結果

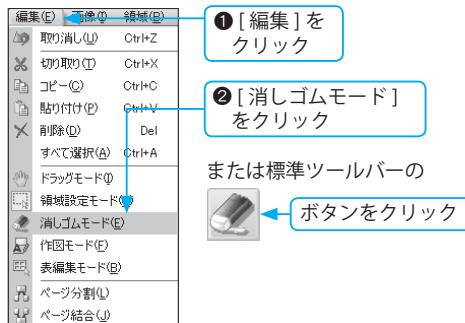
材料(4人分)

範囲指定した部分以外の
画像が消去されます

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

消しゴムで文字を消すように、ドラッグした箇所の画像を消すことができます。消しゴムの大きさには、大・中・小とあります。黒点や汚れなど画像の細かい修正に便利です。

1 メニューを選択する



2 消しゴムの大きさを選択する

※[消しゴムモード]での作業終了後も[消しゴムモード]のままにしておくと、必要な画像の一部まで誤って消してしまおそれがあります。作業が終わったら、その都度他のモードに変更することをお勧めします。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

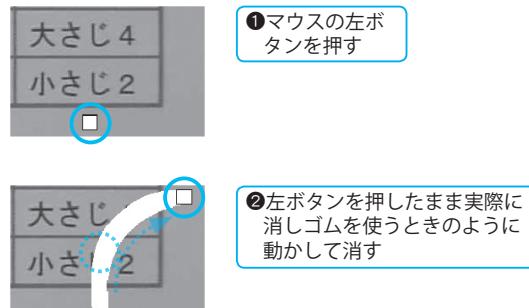
■取り消し

直前に行われた動作にのみ有効です。マウスボタンを一度離して、再びボタンを押すと、別の操作が行われたとみなされます。

例：[消しゴム]で画像☆を消し、左ボタンを一度離してから[消しゴム]で画像★を消して、[取り消し]を実行した場合

画像☆→元の画像には戻りません
画像★→[取り消し]で元の画像に戻ります。

3 消しゴムで消す

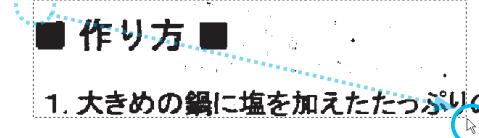


ノイズ除去

白黒画像を編集時、範囲指定された領域内のノイズ（黒点状の汚れ）を除去します。ノイズは、認識率を低下させる大きな原因の1つです。ノイズ除去を行ってから文字認識を実行されることをお勧めします。この機能は白黒画像（2値画像）に対してのみ有効です。

1 ノイズ除去する部分を範囲指定する

領域設定モード



1. 大きめの鍋に塩を加えたたっぷり

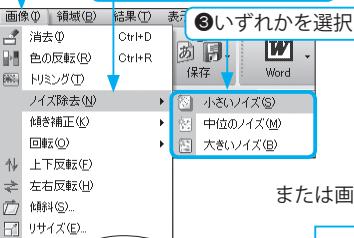
ノイズ除去を行う部分を範囲指定する

※（☞「領域の範囲指定」P.134）

2 除去するノイズの大きさを選択する

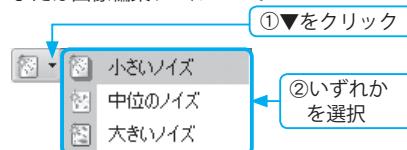
① [画像] をクリック

② [ノイズ除去] を選択



③ いずれかを選択

または画像編集ツールバーの



①▼をクリック

② いずれかを選択

3 実行結果

■ 作り方 ■

1. 大きめの鍋に塩を加えたたっぷり

範囲指定した領域内のノイズ
が除去されます

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されるようになっています。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行することができます。

※文字や表の一部までが除去されてしまった場合は、すぐに[取り消し]を実行し、除去するノイズの大きさを小さくしてから再度除去してください。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

※範囲指定を行わずに実行した場合は、画像全体に対して実行されます。

傾き補正

画像ウィンドウに表示された画像に対して、自動的に傾斜角度を検出し、傾き補正を行います。または手動で傾き補正することができます。

画像が見開きページの場合は、左右のページごとに自動、または手動で傾きを補正することができます。

※ 45 度以上傾いている画像は傾き補正できません。画像を [回転] させた後で、傾き補正を実行してください。
(☞「回転」P.143)

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されるようになっています。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行することができます。

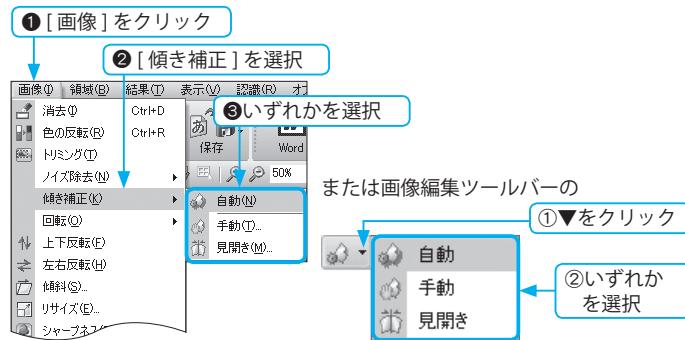
[自動] 傾き補正を中止する場合

実行中にステータスバーの [中止] ボタンをクリックすると [傾き補正] を中止し、補正開始前の状態にもどります。

※メモリー不足が生じた場合「メモリーが足りません。他のアプリケーションを閉じてください」というダイアログボックスが表示されます。
(☞「エラー・メッセージ」P.228)

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

1 メニューを選択する



自動傾き補正

2 実行結果

材料 (4人分)	
スパゲティー	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片
イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2

材料 (4人分)	
スパゲティー	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片
イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2

傾きが自動で補正されます

手動傾き補正

傾き角度調整スライダーを操作することで、画像の傾きを補正することができます。

2 傾きを指定する

■ [表示倍率]

画像の拡大表示、または縮小表示ができます。

■ [グリッド]

[グリッド]のチェックボックスをクリックしてオンになると、グリッド線に画像を合わせて水平な位置を確認することができます。

■ [傾き角度]

[傾き角度] のスライダーを左右に動かし、傾きを補正できます。

または、[-]/[+] ボタンをクリック、[傾き角度] のテキストボックスに直接入力することができます。(-45.0 ~ +45.0 度までの数値)

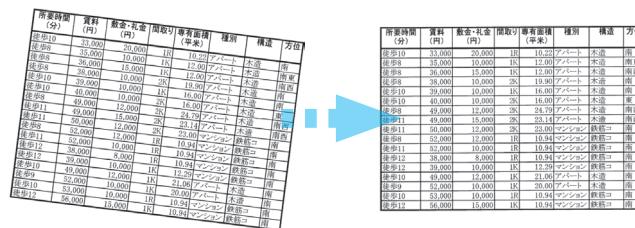


①傾き角度調整スライダーを移動

②「実行」をクリック

3 実行結果

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



設定した角度に補正されます

見開き補正

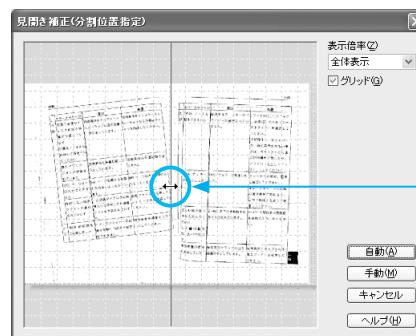
ページの境目を指定し、画像を見開きの形で傾き補正します。[自動]と[手動]の2つが用意されています。

自動補正

ページの境目を指定し、[自動]をクリックすると、左右ページの傾き補正が同時に行われます。

2 [自動]を選択する

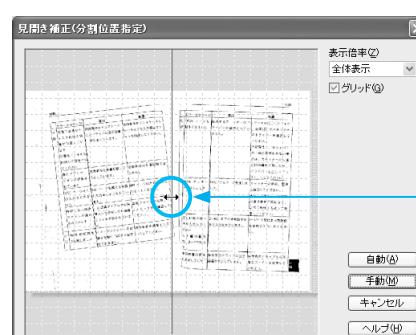
※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



手動補正

ページの境目を指定し、[手動]をクリックすると、左ページから順にマウスで傾きを補正できます。

2 [手動]を選択する



3

マウスで傾きを補正する

■ [表示倍率]

画像の拡大表示、または縮小表示ができます。

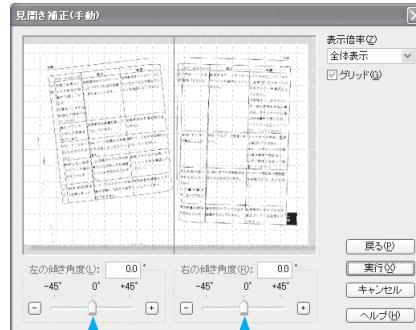
■ [グリッド]

[グリッド]のチェックボックスをクリックしてオンにすると、グリッド線に画像を合わせて水平な位置を確認することができます。

■ [傾き角度]

[傾き角度]のスライダーを左右に動かし、傾きを補正できます。

または、[-]/[+]ボタンをクリック、[傾き角度]のテキストボックスに直接入力することができます。(-45.0 ~ +45.0 度までの数値)



4

実行結果

傾き補正機能だけでは正確な

方向に修正できない場合

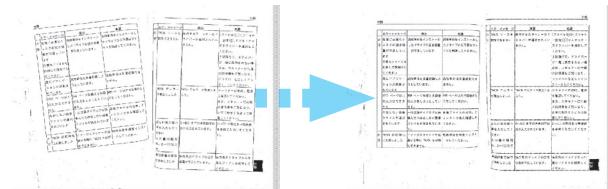
- ①横書き文書を縦方向に読み込んだ場合
 - ②縦書き文書を横方向に読み込んだ場合
- 以上の条件の画像の場合は、補正実行後、[回転]を行ってください。
(☞「回転」P.143)

※操作を取り消すには

(☞「取り消し」P.81)

※ [傾き補正]に失敗した場合「この画像は、傾き補正できません。手動で傾き補正をしてください。」というダイアログボックスが表示されます。

(☞「エラー・メッセージ」P.228)



左右のページがそれぞれ
補正されます

回転

画像ウィンドウに表示された画像の向きを変更します。

認識は画面に表示されている向きで行われます。

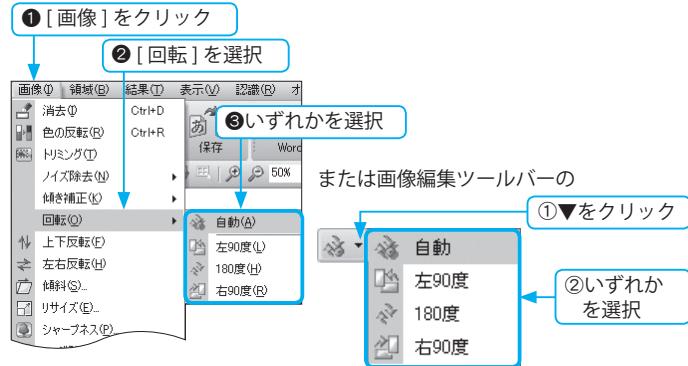
画像ウィンドウに表示された画像が回転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように回転させてください。

1 回転角度を選択する

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されるようになっています。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行することができます。

※画像の回転は、画像全体に対して行われます。部分的な回転はできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



上下反転

画像ウィンドウに表示された画像の向きを上下反転します。

認識は画面に表示されている向きで行われます。

画像ウィンドウに表示された画像が反転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように反転させてください。反転には「上下反転」と、「左右反転」の2つがあります。

1 [上下反転]を選択する



① [画像]をクリック

② [上下反転]をクリック

または画像編集ツールバーの



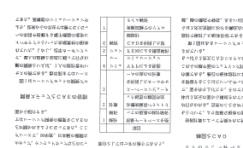
ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を参照してください。

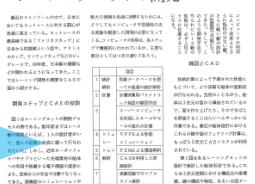
2 実行結果

※画像の上下反転は、画像全体に対して行われます。部分的な反転はできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



レーシングヨットの開発



←→↑↓の間添

画像が上下反転します

左右反転

画像ウィンドウに表示された画像の向きを左右反転します。

認識は画面に表示されている向きで行われます。

画像ウィンドウに表示された画像が反転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように反転させてください。反転には「上下反転」と、「左右反転」の2つとおりが用意されています。

1 [左右反転]を選択する



① [画像]をクリック

② [左右反転]をクリック

または画像編集ツールバーの



※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を参照してください。

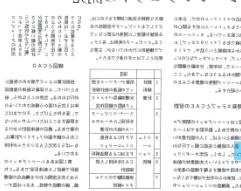
2 実行結果

※画像の左右転は、画像全体に対して行われます。部分的な反転はできません。

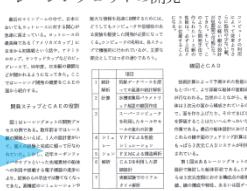
※操作を取り消すには

(☞「取り消し」P.81)

窓枠のイメージバー



レーシングヨットの開発



画像が左右反転します

傾斜

デジタルカメラなどで撮影された傾斜した画像を修正することができます。

1 [傾斜] を選択する



① [画像] をクリック

② [傾斜] をクリック

または画像編集ツールバーの



ボタンをクリック

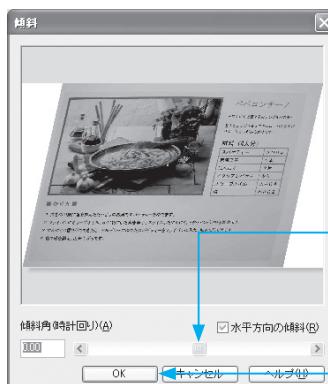
※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。

2 傾斜角を指定する

※画像の傾斜は、画像全体に対して行われます。部分的な傾斜はできません。

■ [水平方向の傾斜]

チェックボックスをクリックして、オンにすると、水平方向に傾斜します。



①スライダーを移動

または、傾斜角のテキストボックスに直接入力することができます。
(-45.0 ~ 45.0 度までの数値)

② [OK] をクリック

3 実行結果

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



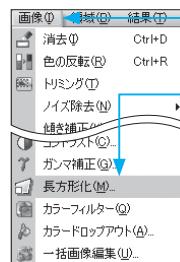
水平方向に傾斜した場合の実行結果

長方形化

画像のひずみを補正することができます。

デジタルカメラで斜めから撮影した画像のひずみを補正するのに便利です。

1 [長方形化]を選択する



※1の手順の前に範囲指定して矩形を設定することもできます。

①[画像]をクリック

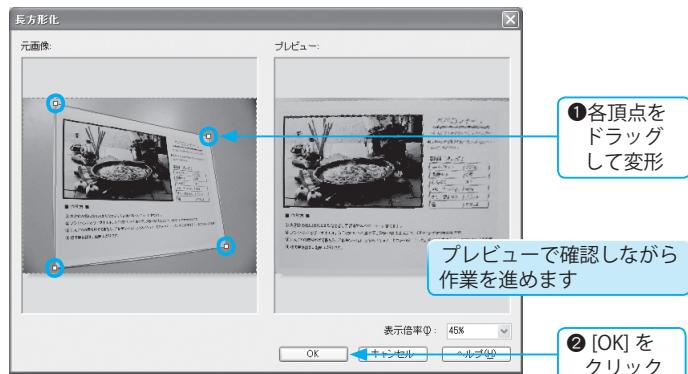
②[長方形化]をクリック

または画像編集ツールバーの



※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を参照してください。

2 矩形を設定する



■[表示倍率]

表示倍率を変更することにより、画像を拡大・縮小することができます。

3 実行結果

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



頂点を移動させることにより元画像のひずみを補正

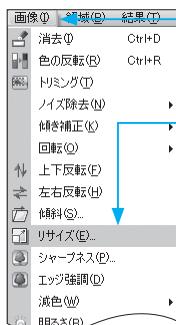
リサイズ

画像のサイズを変更することができます。

認識結果の保存・転送を行う場合、用紙サイズを任意の大きさにしたい場合に便利です。

1

[リサイズ]を選択する



① [画像]をクリック

② [リサイズ]をクリック

または画像編集ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を参照してください。

2

高さと幅を指定する

■ [縦横比を固定]

チェックボックスをクリックして、オンにすると、縦横比を変えずにリサイズすることができます。

※操作を取り消すには

(☞「取り消し」P.81)

①スライダーを移動

または、幅/高さのテキストボックスに直接入力することができます。(1~7136までの数値)



② [OK]をクリック

色の反転

画像全体、または、範囲指定された部分の画像の色を反転させます。

領域設定モード

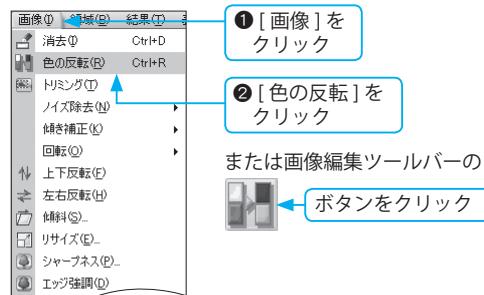
1 色の反転をする部分を範囲指定する



※範囲指定を行わずに実行した場合は、画像全体に対して実行されます。

※ (☞「領域の範囲指定」 P.134)

2 メニューを選択する



3 実行結果



■新聞の見出しを反転する場合

白黒反転している黒の部分がかすれていたり、細かい線のようになっている場合は、色の反転を実行しても、正しく文字認識できないことがあります。色の反転を実行せずに[見出し認識]を行ってみてください。(☞「見出し認識」 P.103)

※操作を取り消すには

(☞「取り消し」 P.81)

減色

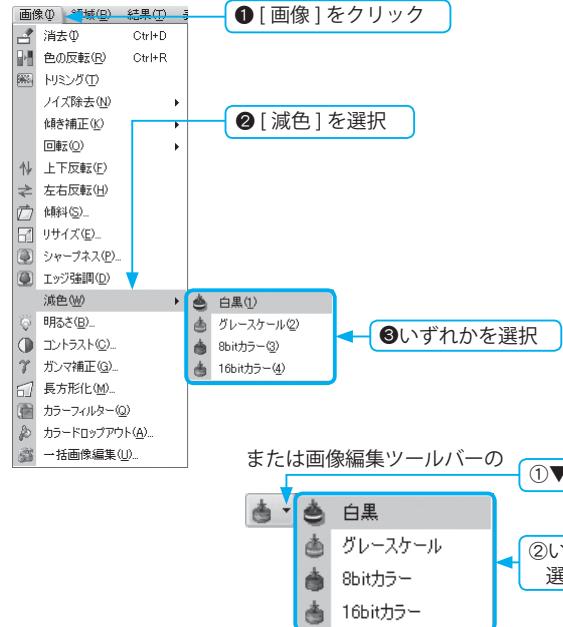
カラー画像やグレースケール画像の色数を減らします。
画像ファイルサイズを小さくするのに便利です。

1 減色したい色数を選択する

※表示されている画像のカラー数以上の色数を指定することはできません。

※画像の減色は、画像全体に対して行われます。部分的な減色はできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



カラーフィルター

カラー画像やグレースケール画像に対して、文字認識に最適な画像修正を「読み取革命」が自動的に判断します。フィルターは以下の5種類から選択されます。

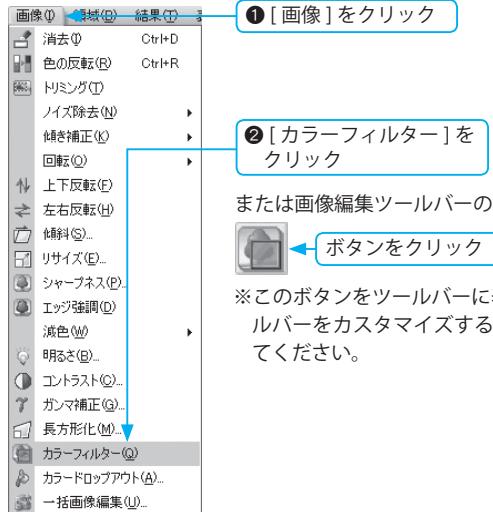
- ・シャープネス
- ・エッジ強調
- ・明るさ
- ・コントラスト
- ・ガンマ補正

※カラーフィルターは、画像全体に対して行われます。部分的なカラーフィルターはできません。

※画像によっては元画像が最適と判断され、画像修正が行われない場合があります。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

1 [カラーフィルター]を選択する



※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を参照してください。

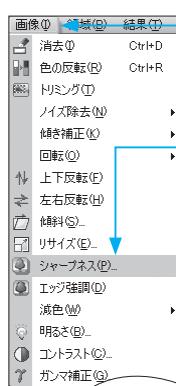
シャープネス

カラー画像やグレースケール画像に対して輪郭補正を行います。

シャープさに欠けた画像の輪郭を補正し、コントラストを上げることで、くっきりさせることができます。

1

[シャープネス]を選択する



① [画像]を
クリック

② [シャープネス]を
クリック

または画像編集ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を参照してください。

2

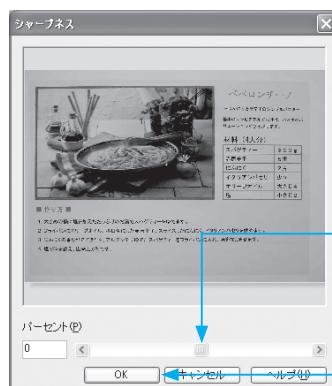
パーセントを指定する

プレビュー画面の表示について

実際の画像を縮小して表示しているため、画像イメージと実行結果とが多少異なる場合があります。

※画像のシャープネスは、画像全体に対して行われます。部分的なシャープネスはできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



①スライダーを移動

または、パーセントのテキストボックスに直接入力することができます。(-100 ~ 100までの数値)

②[OK]をクリック

エッジ強調

カラー画像やグレースケール画像のエッジを強調させます。
文字データの輪郭をはっきりさせ、認識精度を向上させることができます。

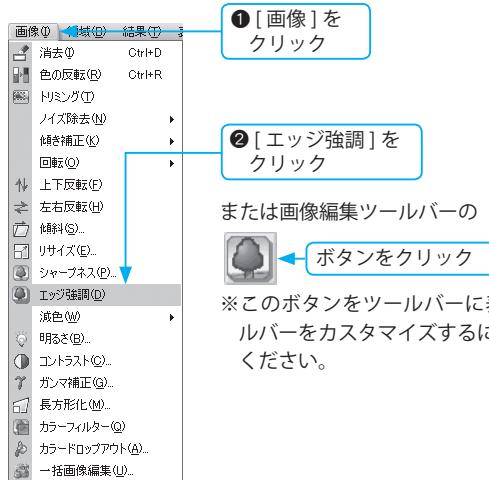
■ [エッジ強調]
あらかじめ用意されたフィルターをかけることにより、エッジや線要素などを抽出します。

※画像のエッジ強調は、画像全体に対して行われます。部分的なエッジ強調はできません。

※認識結果はエッジ強調を行うと削除されます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

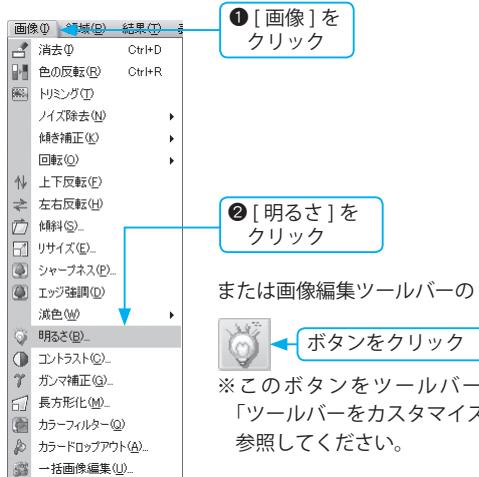
1 [エッジ強調]を選択する



明るさ

カラー画像やグレースケール画像の明るさを変更します。

1 [明るさ]を選択する



または画像編集ツールバーの

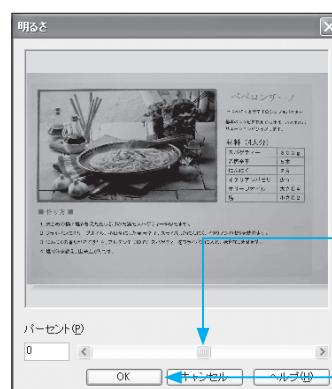


※このボタンをツールバーに表示させるには
「ツールバーをカスタマイズするには」P.128を
参照してください。

2 パーセントを指定する

※画像の明るさは、画像全体に対して行
われます。部分的な明るさ調整はできま
せん。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



①スライダーを移動

または、パーセントのテキストボッ
クスに直接入力することができます。
(-100 ~ 100までの数値)

② [OK]をクリック

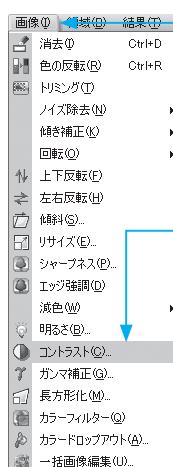
コントラスト

カラー画像やグレースケール画像のコントラストを変更します。

背景と文字のコントラストを強調したいときに便利です。

1

[コントラスト] を選択する



① [画像] をクリック

② [コントラスト] をクリック

または画像編集ツールバーの

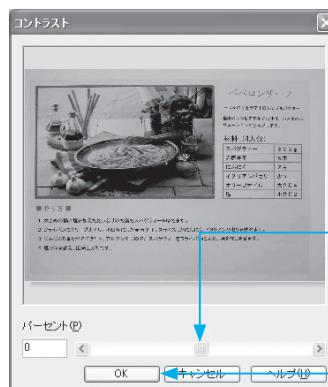


ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。

2

パーセントを指定する



①スライダーを移動

または、パーセントのテキストボックスに直接入力することができます。(-100 ~ 100 までの数値)

② [OK] をクリック

※画像のコントラストは、画像全体に対して行われます。部分的なコントラスト変更はできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

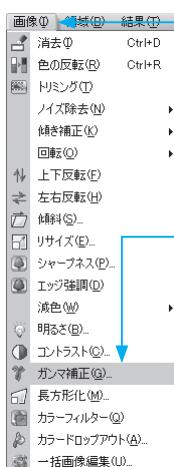
ガンマ補正

カラー画像やグレースケール画像のガンマ値を補正することによって、縞模様のノイズを除去することができます。

1 [ガンマ補正]を選択する

■ [ガンマ補正]

輝度値を描画するときに使用するガンマ定数を変更することによって、ビットマップ内の色の明度を調整します。



① [画像] をクリック

② [ガンマ補正] をクリック

または画像編集ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーをカスタマイズするには」P.128 を参照してください。

2 ガンマ値を指定する

※画像のガンマ補正は、画像全体に対して行われます。部分的なガンマ補正是できません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



①スライダーを移動

または、ガンマのテキストボックスに直接入力することができます。(0.01 ~ 4.99 までの数値)

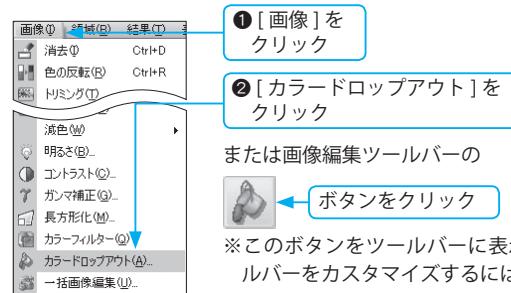
② [OK] をクリック

カラードロップアウト

カラーやグレースケールの画像において、指定した色と、それを基準とした範囲に対して任意の色に置き換えることができます。画像全体と、範囲指定した領域内を対象として色の置き換えを行う2とおりが用意されています。

1 [カラードロップアウト]を選択する

指定した範囲内ののみを対象として[カラードロップアウト]を行う場合は、メニュー選択前に範囲指定を行います。



2 処理する色を指定する

処理する色の指定には、2とおりの方法があります。

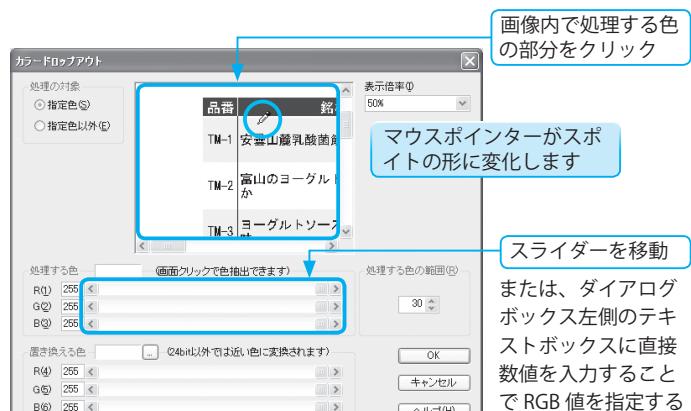
■ RGB

光の3原色をコンピューターで表現する表記法の1つ。

R(赤)、G(緑)、B(青)の組み合わせですべての色が表現できる。

※グレースケール画像の場合、各RGB値はすべて同じ値になります。

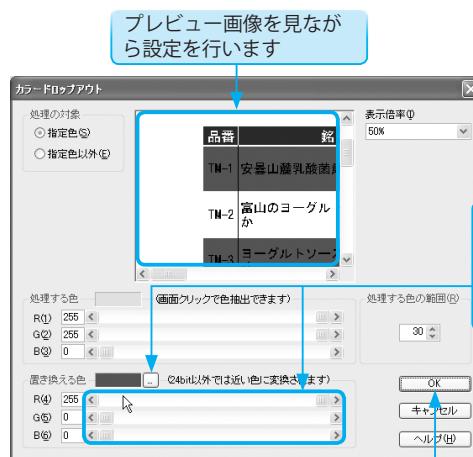
※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



R: 赤色を編集します
G: 緑色を編集します
B: 青色を編集します

※ TWAIN デバイス(スキャナー)やデジタルカメラなどから取り込まれた画像は、色ムラが発生する場合があります。また、画像の保存ファイル形式によっても色ムラが発生します。肉眼では同色に見えても微妙に色が異なってしまうと、設定した色が反映されない場合があります。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)



1 [...] をクリックして「色の設定」ダイアログボックスで色を選択、またはスライダーをドラッグ

または、左側のテキストボックスに直接数値を入力することでRGB値を指定することができます。
0～255までの値を入力してください。

※必要に応じて、その他の設定も行います。(☞次項目)

■カラードロップアウトダイアログボックスの詳細



処理の対象

[指定色]：オンの場合、指定された処理する色を対象に置き換えを行います。

[指定色以外]：オンの場合、指定された処理する色以外を対象に置き換えを行います。

プレビュー：対象となる画像領域を表示します。

処理する色

指定色：現在指定されている処理する色を表示します。

[R]：赤色の割合を設定します。スライダーをドラッグするか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0～255までの値が入力できます。

[G]：緑色の割合を設定します。スライダーをドラッグするか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0～255までの値が入力できます。

[B]：青色の割合を設定します。スライダーをドラッグするか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0～255までの値が入力できます。

置き換える色

対象となる画像が16bit/8bitの場合、設定した色に近い色で置き換える場合があります。

指定色：現在指定されている置き換える色を表示します。

[..]：「色の設定」ダイアログボックスが表示されます。選択した色は、指定色に表示されます。

グレースケール画像の場合は、選択できません。

[R]：赤色の割合を設定します。スライダーをドラッグするか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0～255までの値が入力できます。

[G]：緑色の割合を設定します。スライダーをドラッグするか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0～255までの値が入力できます。

[B]：青色の割合を設定します。スライダーをドラッグするか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0～255までの値が入力できます。

[表示倍率]：プレビュー画像の表示倍率を変更します。

[処理する色の範囲]：置き換えられる色の範囲を設定します。

一括画像編集

ページ一覧ウィンドウに表示されているすべてのページ、または選択したページの画像を一括で自動回転、自動傾き補正できます。複数ページを一度に編集したい場合に便利です。

複数ページを指定する場合

・離れたページを指定する

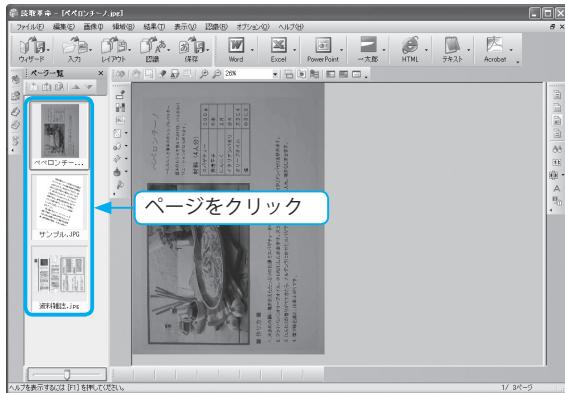
[Ctrl] キーを押したまま、ファイルを 1 つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。

・連続したページを指定する

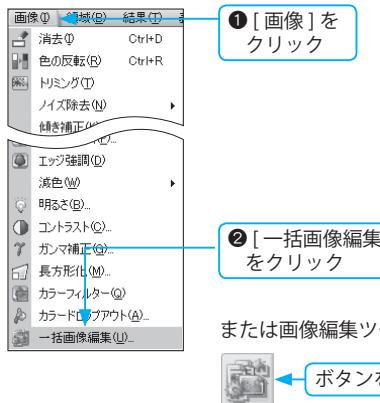
選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の始めのページをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のページをクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

1 ページを選択する

一括画像編集を行うページを選択します。すべてのページを選択する場合は、ページ一覧ウィンドウ内で、いずれかの画像をクリックします。



2 メニューを選択する

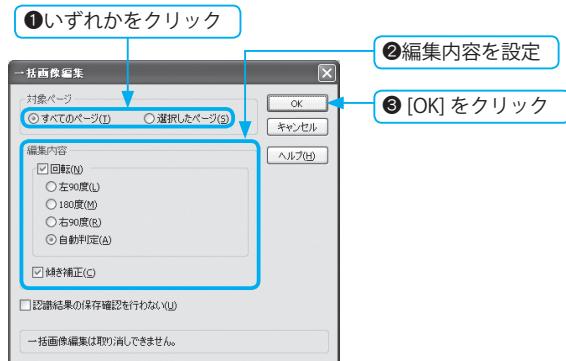


または画像編集ツールバーの

※このボタンをツールバーに表示させるには
「ツールバーをカスタマイズするには」P.128
を参照してください。

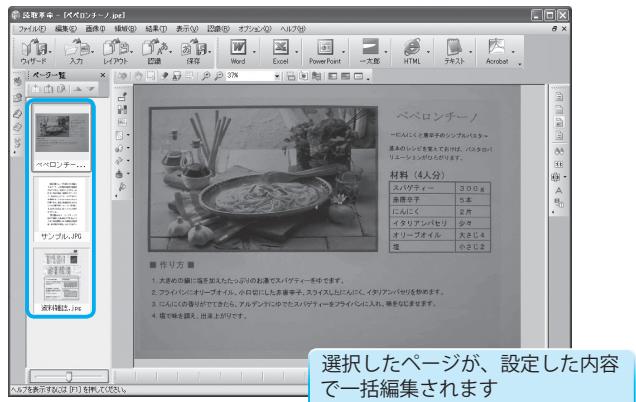
3 編集内容を設定する

※選択したファイルがない場合は、すべてのページに一括画像編集が行われます。

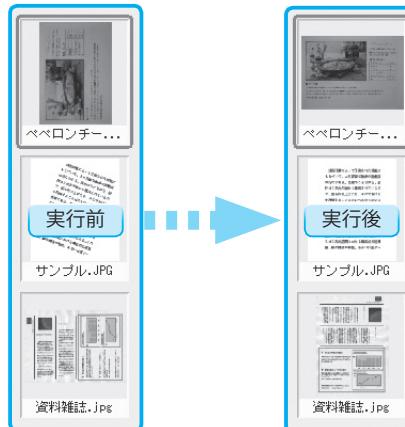


4 実行結果

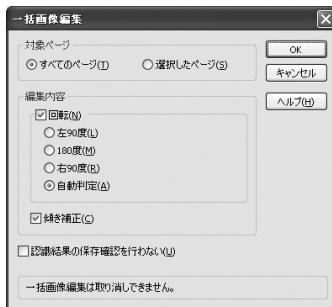
※一括画像編集後の取り消しはできません。



回転の自動判定と傾き補正のチェックボックスをオンにして実行した場合



■一括画像編集 ダイアログボックスの詳細



対象ページ

[すべてのページ]：ページ一覧ウィンドウに表示されているすべての画像を編集します。

[選択したページ]：ページ一覧ウィンドウで選択した画像を編集します。

編集内容

[回転]：回転を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにし、以下の項目を選択します。

- ・左 90 度
- ・180 度
- ・右 90 度
- ・自動判定

[傾き補正]：自動傾き補正を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

[認識結果の保存確認を行わない]：認識結果の保存確認ダイアログボックスを表示しない場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

作図

「読み込まれた画像は、直線・長方形・文字の描画を行うことができます。

かすれた罫線の修正や、罫線のない表領域に罫線を追加する場合に便利です。

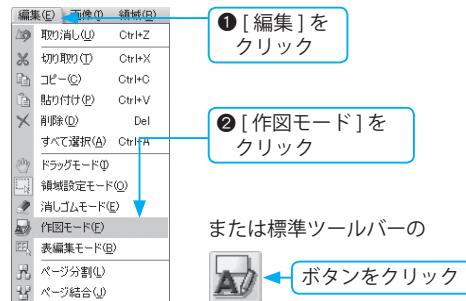
※色の設定は表示されている画像の色数によって反映される色が異なります。

作図モード

※ [作図モード] を終了する場合は、他のモードを選択してください。

(☞「操作モードの切り替え」P.60)

1 [作図] を選択する

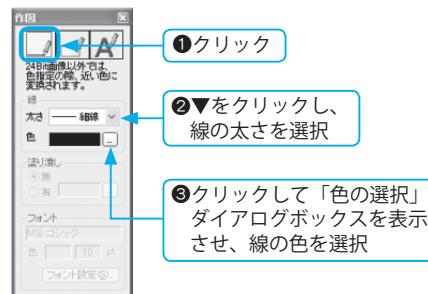


2 描画種別と詳細を設定する

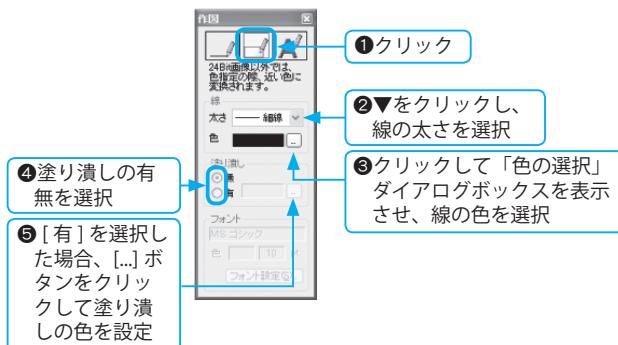
※画像の表示倍率が小さいと、正しく描画されても線が表示されなかったり、破線で表示される場合があります。表示倍率を変更することで正しく表示することができます。

※色の設定は表示されている画像の色数によって反映される色が異なります。

直線を描画する場合



長方形を描画する場合



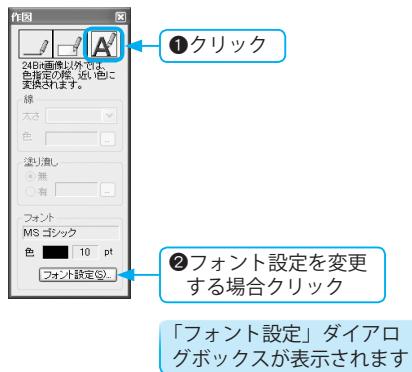
文字を描画する場合

文字描画を行う場合の画像表示倍率

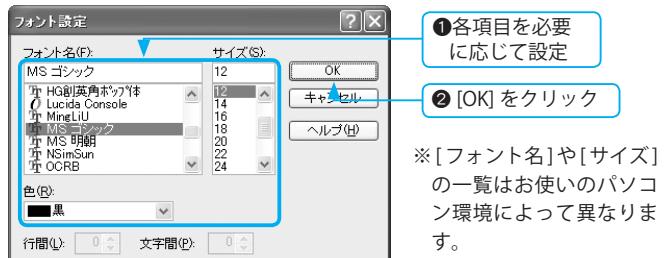
文字描画を行う場合、画像ウィンドウの表示倍率は100%で操作を行ってください。

文字描画は表示倍率が100%の画像に対して指定したフォントサイズで文字描画を行います。

画像ウィンドウの表示倍率が100%でない状態で文字描画を行うと、入力した文字配置と、実際に描画した文字の位置や大きさがズれる場合があります。



■ フォント設定ダイアログボックスの詳細



[フォント名]

フォントを選択・表示します。

[サイズ]

フォントサイズを選択・表示します。

希望のサイズがリストにない場合は、テキストボックスに直接入力することで設定することができます。

[色]

文字列の色を選択・表示します。色の設定は表示されている画像の色数によって反映される色が異なります。

[行間]

設定できません。

[文字間]

設定できません。

3 描画する

各描画の詳細設定を行ったあと、画像ウィンドウ内で描画を行います。対象となる画像が24bit以外の場合、設定した色に近い色に変換されます。

※垂直や水平な直線を描く場合は、[Shift]キーを押したまま手順3の操作を行つてください。

※画像の表示倍率が小さいと、正しく描画されていても線が表示されなかったり、破線で表示される場合があります。表示倍率を変更すると、正しく表示することができます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.81)

文字描画領域のリサイズ

領域枠の線上にマウスポインターを移動させ、マウスポインターが左右矢印の形に変形した状態でドラッグすると、文字描画の領域枠を拡大することができます。
※②の手順で設定した領域枠のサイズよりも小さくすることはできません。

文字描画を行う場合の画像表示倍率

文字描画を行う場合、画像ウィンドウの表示倍率は100%で操作を行つてください。

文字描画は表示倍率が100%の画像に対して指定したフォントサイズで文字描画を行います。

画像ウィンドウの表示倍率が100%でない状態で文字描画を行うと、入力した文字配置と、実際に描画した文字の位置や大きさがずれる場合があります。

直線を描画する場合

所要時間 (分)	賃料 (円)
徒歩 10	33,000
徒歩 8	35,000

①マウスの左ボタンを押す

②マウスの左ボタンを押したまま動かし、線の終点でボタンを離す

直線が描画されます

※[Shift]キーを押したまま画像ウィンドウでドラッグすると垂直、水平線が描画できます。

長方形を描画する場合

所要時間 (分)	賃料 (円)
徒歩 10	33,000
徒歩 8	35,000

①マウスの左ボタンを押す

②マウスの左ボタンを押したまま動かし、任意の箇所でボタンを離す

長方形が描画されます

※塗り潰しの色を設定した場合、長方形内は指定した色で塗りつぶされます。

文字を描画する場合

所要時間 (分)	賃料 (円)
徒歩 10	33,000
徒歩 8	35,000

①マウスの左ボタンを押す

②マウスの左ボタンを押したまま動かし、任意の箇所でボタンを離す

※表示された文字描画領域を取り消す場合は、キーボードの[ESC]キーを押します。

文字入力の領域が表示されます

③文字列を入力

所要時間 (分)	賃料 (円)
徒歩 10 車2分	33,000
徒歩 8	35,000

④文字描画領域以外の部分をクリックして文字描画を確定させる

ユーザー辞書

パターン辞書	168
文字画像から登録	168
認識結果から登録	169
削除する	169
変更する	170
インポートする	171
単語辞書	172
登録する	172
削除する	173
変更する	174
インポートする	175
CSV 出力する	176
専門用語辞書を変更する	177

パターン辞書

パターン辞書は、文字画像と対応文字を関連付ける辞書です。

登録は、文字画像から登録する方法と認識結果から登録する方法があります。

パターン辞書はファイル名を変えて複数登録・追加することができます。

画像文書の書体に応じたパターン辞書を用いることにより認識率を向上させることができます。

※ 1つのパターン辞書ファイルに登録できるのはパターン 10,000 語までです。

登録しても正しく認識できない文字
(例)

- ・類似した文字 0(ゼロ)と O(オー)
- ・大きさが異なる文字 アとア

学習効果の現れにくい文字

句読点などの小さく単純な文字は、画像の劣化やノイズの影響を受けやすいので、登録した画像と他の同じ文字の画像とでは、見た目が異なる場合があります。そのため、すでに登録済みであっても、別の文字として認識することができます。

※ パターン辞書は、英語領域と手書き領域の認識には使用されません。

リストの表示順序を変更するには

- [登録順]：登録した順番で表示
- [コード順]：登録した文字コード数値の順番で表示
- のいずれかのラジオボタンをクリックしてオンにする。

文字画像から登録

1 登録したい文字画像を範囲指定する

膨大な情報を迅
く

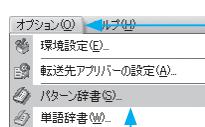
登録したい文字を範囲
指定する

領域設定モード

どうしてもコン

※ (☞「領域の範囲指定」P.134)

2 [パターン辞書]を選択する



① [オプション] をクリック

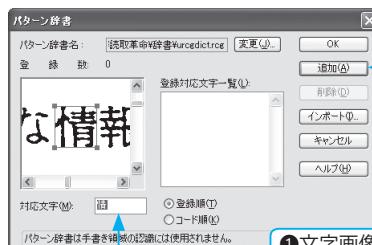
② [パターン辞書] をクリック

または設定ツールバーの



ボタンをクリック

3 登録する



① 文字画像に対応する文字を
[対応文字] に入力

② [追加] をクリック

4 終了する



[OK] をクリック

登録された文字が表示されます

認識結果から登録

1 文字を指定する

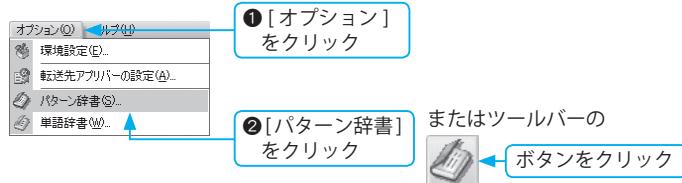
ではレーシング開発の概要面から紹介する。膨大な情報を迅速に処理するとしてもコンピュータによる実験を駆使した開発がくる。コンピュータの利用

①認識結果ウィンドウにて、登録したい文字の前にカーソルをおく

②前ページの[文字画像から登録するには]の手順2~4項を行う

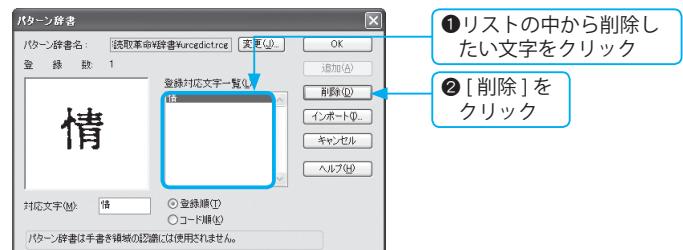
削除する

1 [パターン辞書]を選択する

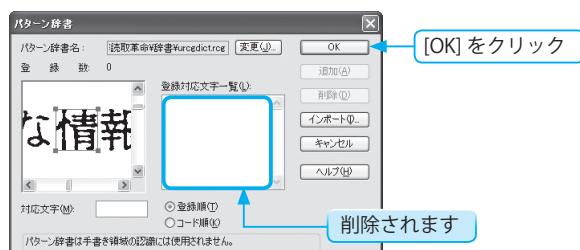


2 削除する

※続けて削除を行う場合、[OK]をクリックする前に、手順2を繰り返します。

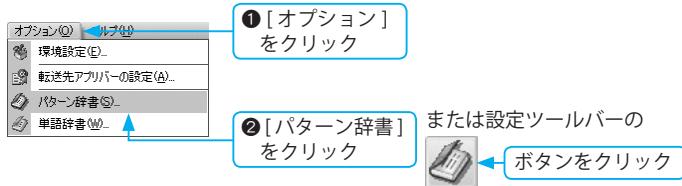


3 終了する

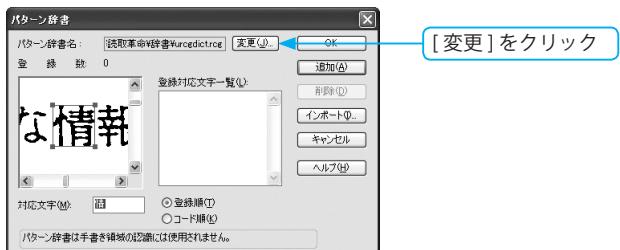


変更する

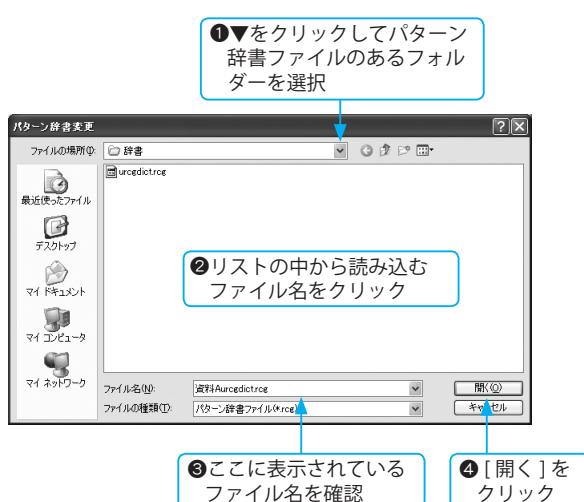
1 [パターン辞書]を選択する



2 パターン辞書を変更する



3 辞書ファイルを指定する



※パターン辞書ファイルを新規に作成したい場合は、[ファイル名]に新たなファイル名を入力して保存します。

パターン辞書ファイルの保存場所 (デフォルトでインストールした場合)

"C:\Documents and Settings\ (ユーザー名)\My Documents\ 読取革命\ 辞書\ \urcgedict.rcg"

※旧バージョンで使用していたパターン辞書ファイルは、インストール時に上記の場所にコピーされます。

インポートする

現在使用しているパターン辞書に別のパターン辞書をインポートします。

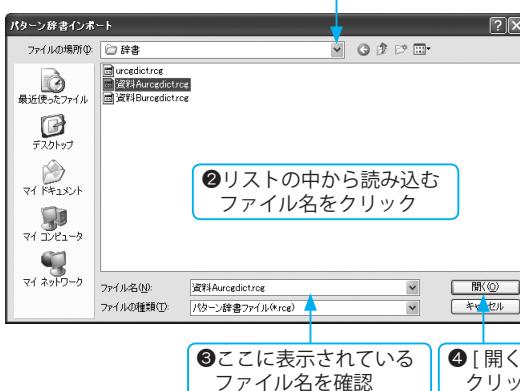
1 [パターン辞書]を選択する



2 パターン辞書をインポートする



3 辞書ファイルを指定する

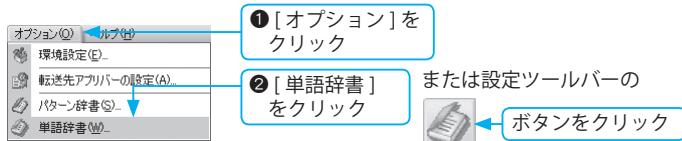


単語辞書

「読み取革命」の文字認識は、1つの文字画像に対して複数の候補文字を返し、その中から日本語の語句として正しいと思われる文字を選び出しています。単語辞書はファイルを変えて複数登録することができます。画像文書の内容に応じた単語辞書を用いることで認識率を向上させることができます。

登録する

1 [単語辞書] を選択する



※単語は現在使用中の単語辞書ファイルに追加されます。

※既に登録されている単語は追加登録されません。

※登録の際、半角文字で入力しても全角文字に変換して登録されます。

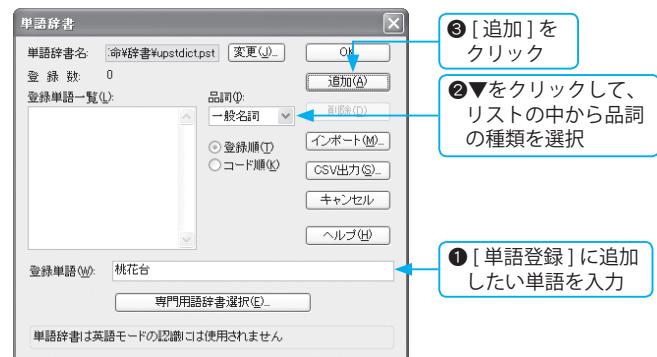
※空白文字は登録されません。

※1つの単語辞書ファイルに登録できる単語数は10,000語までです。

※登録できる単語の長さは20文字までです。

※単語辞書は、英語モードの認識には使用されません。

2 登録する



3 終了する

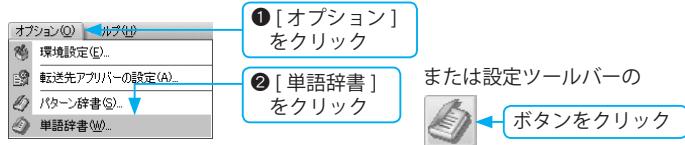


リストの表示順序を変更するには

[登録順]：登録した順番で表示
[コード順]：登録した文字コード数値の順番で表示
のいずれかのラジオボタンをクリックしてオンにする。

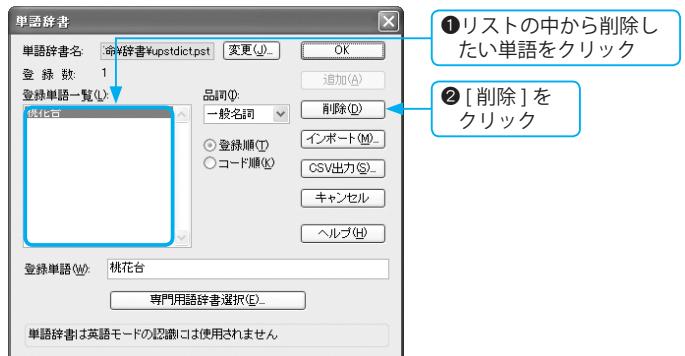
削除する

1 [単語辞書]を選択する

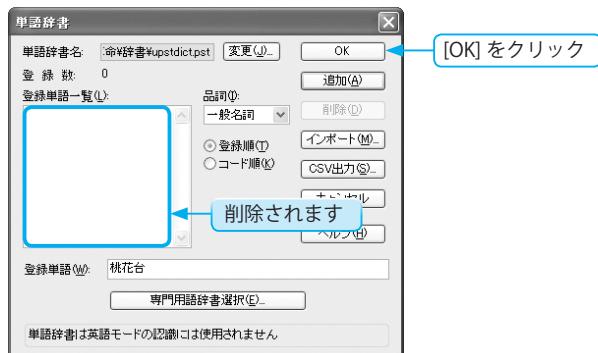


2 削除する

※続けて削除を行う場合、[終了]をクリックする前に、手順2を繰り返します。

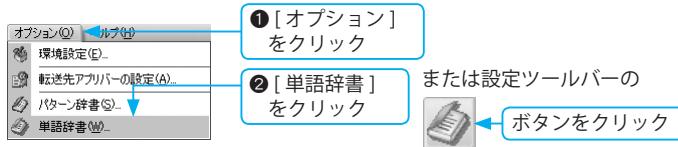


3 終了する

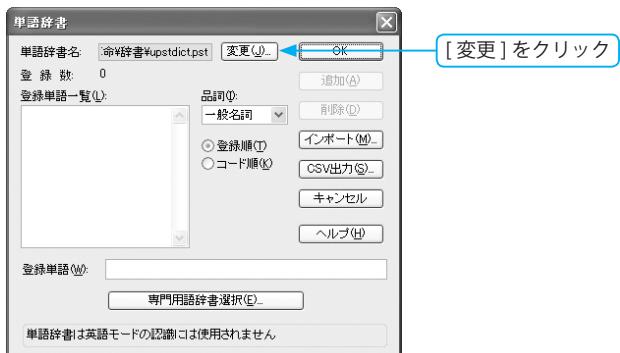


変更する

1 [単語辞書] を選択する



2 単語辞書を変更する



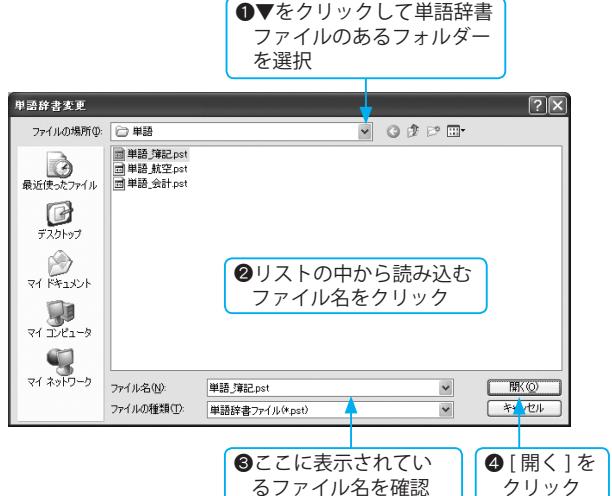
※単語辞書ファイルを新規に作成したい場合は、[ファイル名] に新たなファイル名を入力して保存します。

単語辞書ファイルの保存場所 (デフォルトでインストールした場合)

"C: ¥ Documents and Settings ¥ (ユーザー名) ¥ My Documents ¥ 読取革命 ¥ 辞書 ¥ upstdict.pst"

※旧バージョンで使用していた単語辞書ファイルは、インストール時に上記の場所にコピーされます。

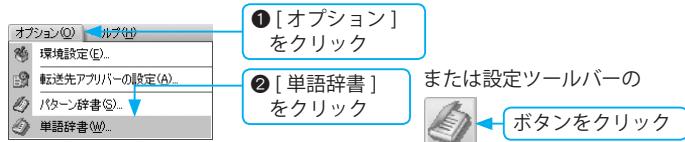
3 辞書ファイルを指定する



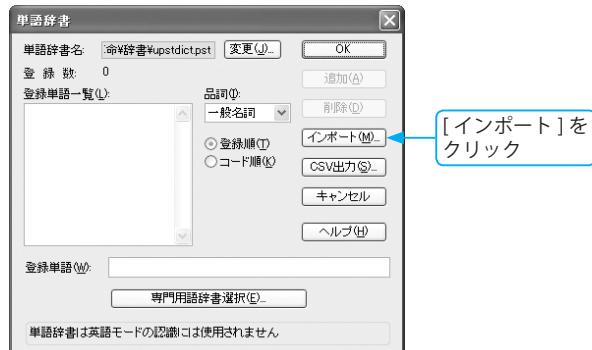
インポートする

現在使用している単語辞書に別の単語辞書や CSV 出力したファイルをインポート(追加)します。

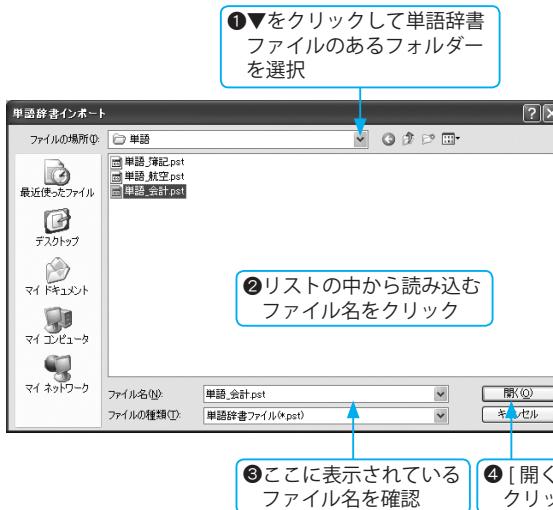
1 [単語辞書]を選択する



2 単語辞書をインポートする



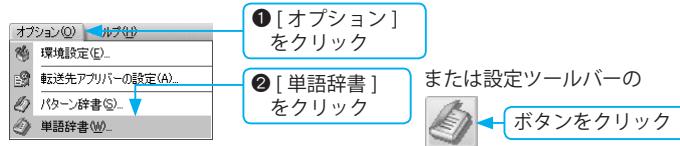
3 辞書ファイルを指定する



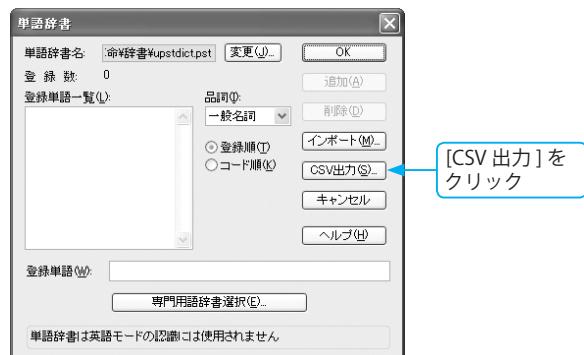
CSV 出力する

現在使用している単語辞書を CSV 出力します。

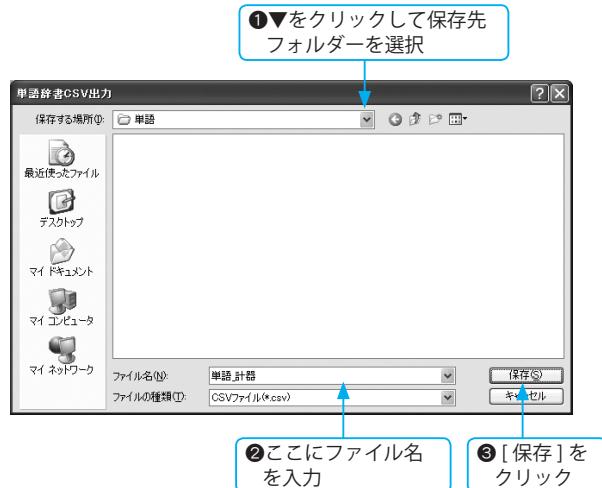
1 [単語辞書] を選択する



2 単語辞書を CSV 出力する



3 保存する



※単語辞書は日本語認識モードの場合に限り使用できます。デフォルトではすべてのジャンルはオフになっています。

辞書の内容

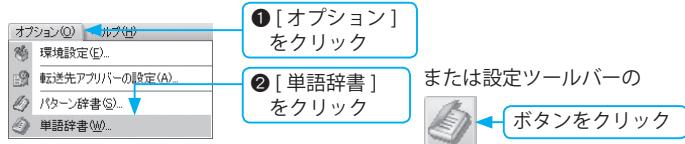
専門用語辞書のジャンルは下記のとおりです。

- CAD
- LAN
- インターネット
- エネルギー
- ガス・ガス設備全般
- テレコミュニケーション
- パソコン・パソコンソフト
- ビジネス
- プラント
- マッキントッシュ
- レーダー
- 医学・薬学
- 化学・有機
- 科学・一般自然科学
- 環境・エコロジー
- 機械・メカトロ
- 気象
- 金属・鉱物
- 金融
- 軍事
- 計測・精密機械
- 建築
- 原子力
- 光学・カメラ・レンズ
- 航空工学・エアロスペース
- 情報工学・一般情報処理
- 生物化学バイオ関連
- 繊維・衣服
- 船舶
- 鉄道
- 電気・電子
- 半導体
- 飛行機・ヘリ
- 物理
- 物流(ロジスティック)
- 米軍軍事規格
- 法律
- 輸入車マニュアル

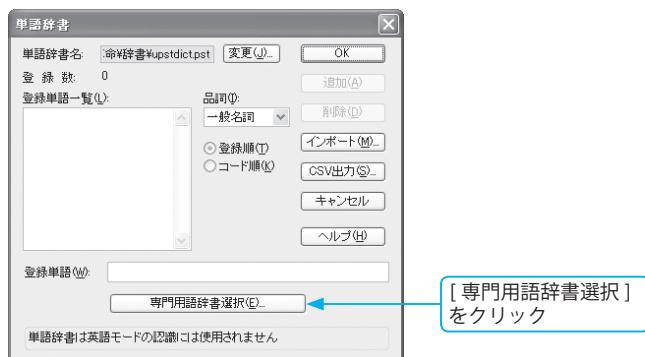
専門用語辞書を変更する

専門用語を追加することにより、使用状況にあわせて後処理の効果を向上させ、文字認識率を向上させます。専門用語辞書は38ジャンル、約61万語です。

1 [単語辞書]を選択する

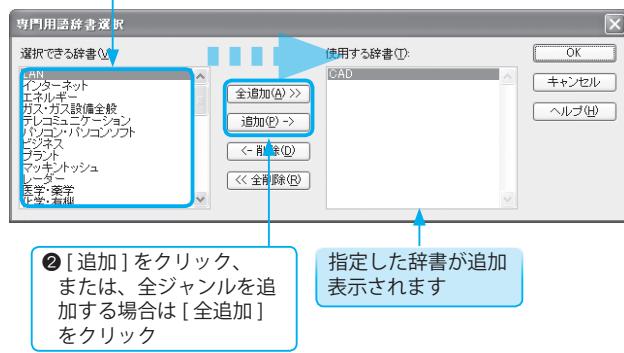


2 [専門用語辞書選択]を開く



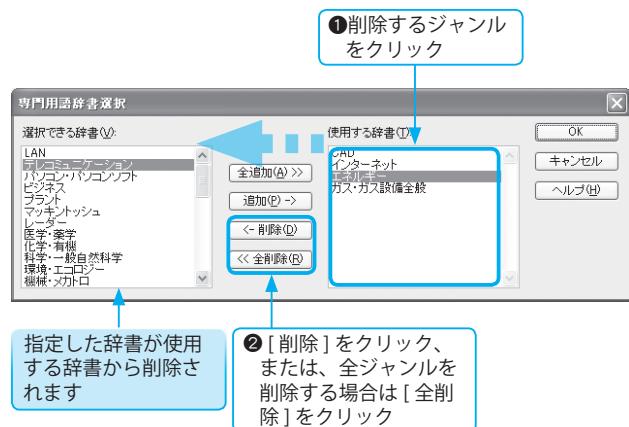
専門用語辞書を追加する

①追加するジャンルをクリック



②[追加]をクリック、または、全ジャンルを追加する場合は[全追加]をクリック

専門用語辞書を削除する



環境設定

環境設定	180
[一般] タブの設定	181
[表示] タブの設定	182
[自動画像補正] タブの設定	183
[認識] タブの設定	185
[認識結果・画像の保存] タブの設定	186
[出力] タブの設定	187

環境設定

環境設定では以下の設定を行うことができます。

- ・読み取り順序の表示
- ・未確定文字の表示
- ・「ようこそ」ダイアログの表示
- ・領域枠の色変更
- ・表示設定
- ・自動画像補正
- ・認識設定
- ・認識終了メッセージの表示
- ・保存確認メッセージの表示
- ・起動時に前回の作業状態を開く設定
- ・出力ファイルのフォント設定
- ・PDF ファイルの画質設定
- ・斜体の反映

1

[環境設定] を選択する



① [オプション] をクリック

② [環境設定] をクリック

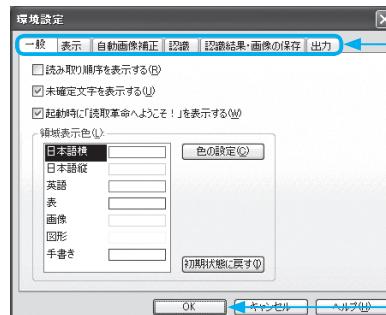
または設定ツールバーの



ボタンをクリック

2

設定を変更する



① 設定を変更するタブをクリック

② 設定完了後 [OK] をクリック

※各タブの詳細については次ページ以降に記載しています。

[一般] タブの設定

[読み取り順序を表示する]

このチェックボックスをクリックしてオンにすると、各領域の左上に読み取り順序番号が、常に表示されます。

[未確定文字を表示する]

このチェックボックスをクリックしてオンにすると、テキスト表示では未確定文字が赤色で表示されます。領域表示・カラーリアル表示・ハイパーテッカーでは未確定文字の背景が灰色で表示されます。誤認識文字を確認するのに便利な機能です。また、印刷すると、テキスト表示では未確定文字に下線が付いて印刷され、領域表示・カラーリアル表示では未確定文字の背景が灰色で印刷されます。(ハイパーテッカーでは印刷はできません。他の表示に変更してから印刷を行ってください)

[起動時に「読み取り順序を表示する】

このチェックボックスをクリックしてオンにすると、「読み取り順序」ダイアログボックスから、「読み取り順序」起動時に「読み取り順序を表示する」を表示する

領域表示色

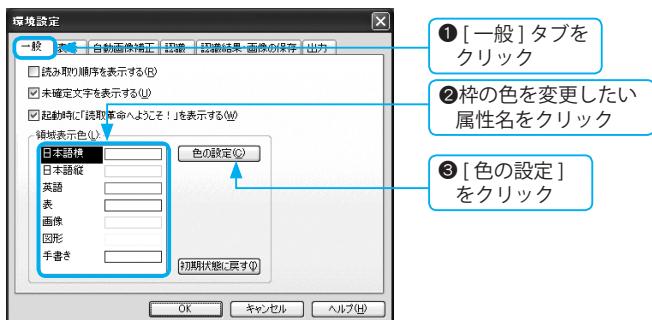
領域枠の色を属性別に変更することができます。

以下の手順で設定します。

領域属性：色を変更したい領域属性をクリックで選択します。

【色の設定】：「色の設定」ダイアログボックスが表示され、変更後の色を選択します。

【初期状態に戻す】：クリックすると、すべての属性の領域枠の色が標準設定に戻ります。



※【色の作成】は使用できません。

⑤ [OK] をクリック

[表示]タブの設定

表示倍率増減幅の具体例

現在の表示倍率が100%で増減幅の設定が10%である場合

[拡大]を1回→110%

[拡大]を2回→120%

[縮小]を1回→90%

[縮小]を2回→80%

任意の倍率に設定したい場合

テキストボックスに半角で整数を入力します。

(有効範囲)

[表示倍率増減幅] → 1~100

[初期表示] → 2~400

[認識後の表示倍率] → 2~400

※画像を拡大/縮小するには

(☞「画像の表示倍率を変更する」P.58)

■[初期表示]

オフのとき→前回画像を開いたときの倍率で表示

■[認識後の表示倍率]

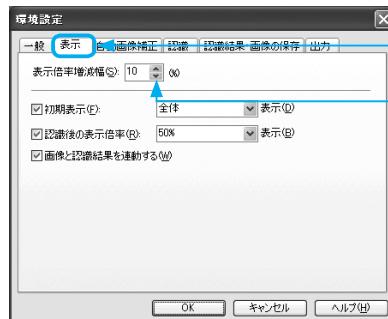
オフのとき→認識前の倍率のまま表示

※認識結果ウィンドウの表示倍率

テキスト表示/ハイバーチェッカーの場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は変更できません。

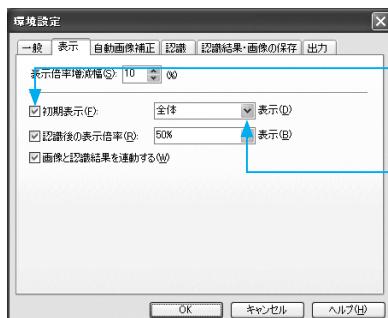
[表示倍率増減幅]

[表示]メニューの[拡大]/[縮小]をクリックした際の表示倍率の増減幅を設定します。



[初期表示]

画像を入力した際の表示倍率を設定します。



[認識後の表示倍率]

文字認識および一括認識を実行した後の画像の表示倍率の設定です。前項の[初期表示]と同様の手順で設定してください。

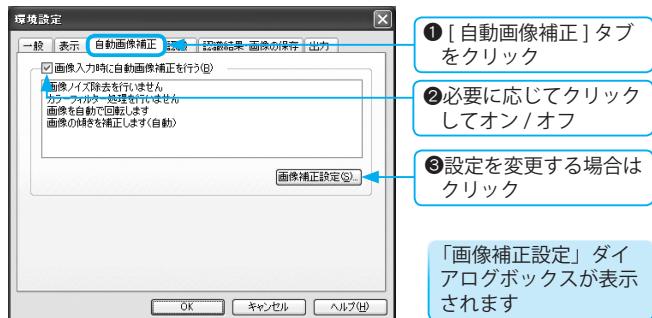
[画像と認識結果を連動する]

このチェックボックスをクリックしてオンにすると、画像と認識結果の表示倍率が連動します。(認識結果ウィンドウが領域表示またはラーリアル表示である場合に限ります)

[自動画像補正]タブの設定

[画像入力時に自動画像補正を行う]

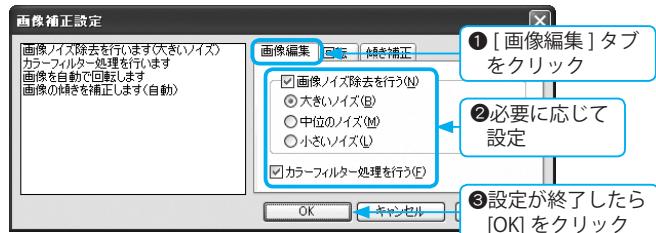
画像入力の際の画像補正（画像編集・回転・傾き補正）を設定します。このチェックボックスをクリックしてオンになると、画像入力後、自動で画像補正が行われます。



■画像補正設定ダイアログボックスの詳細

[画像編集]タブの設定

ノイズ除去やカラーフィルターの設定を行います。



[画像ノイズ除去を行う]

ノイズ除去を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにし、以下の項目を選択してください。

- ・大きいノイズ
- ・中位のノイズ
- ・小さいノイズ

句読点や文字の一部を消さないように、除去するノイズの大きさを選択してください。ノイズの除去により認識率が低下した場合はノイズの大きさを小さくしてください。

[カラーフィルター処理を行う]

カラーフィルター処理を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

[回転] タブの設定

画像を回転させる設定を行います。



回転を行う場合は、チェックボックスをクリックして以下の項目を選択してください。

- ・左 90 度
- ・180 度
- ・右 90 度
- ・自動判定

※画像ウィンドウに表示された画像が回転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように回転させてください。

[傾き補正] タブの設定

傾きの補正の設定を行う場合は、チェックボックスをクリックして以下の項目を選択してください。



[画像の傾き補正を行う]

画像の傾き補正を行う場合は、チェックボックスをクリックして以下の項目を選択してください。

・自動補正

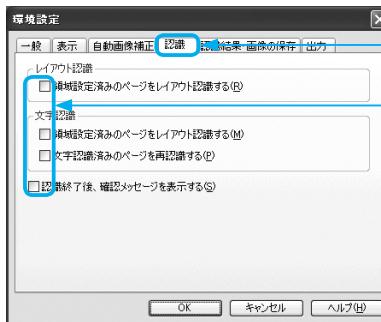
自動で傾き角度を検出して補正します。

・傾き角度指定

指定した傾き角度で補正を行います。

有効角度は -45.0 ~ +45.0 度で、0.1 度刻みで設定できます。

[認識]タブの設定



レイアウト認識

[領域設定済みのページをレイアウト認識する]:

レイアウト認識を実行する際に、領域設定済みのページに対してどのように処理するかを設定します。

- ・チェックあり：領域設定済みのページも含めて、すべてのページをレイアウト認識します。
- ・チェックなし：領域設定を1箇所でも行ったページ→レイアウト認識しません。
領域設定をまったく行っていないページ→レイアウト認識します。

文字認識

[領域設定済みのページをレイアウト認識する]:

文字認識を実行する際に、領域設定済みのページに対してどのように処理するかを設定します。

- ・チェックあり：領域設定済みのページも含めて、すべてのページをレイアウト認識・文字認識します。
- ・チェックなし：領域設定を1箇所でも行ったページ→領域設定を行った箇所のみを文字認識します。
レイアウト認識はしません。
領域設定をまったく行っていないページ→レイアウト認識と文字認識します。

[文字認識済みのページを再認識する]:

文字認識を実行する際に、文字認識済みのページに対してどのように処理するかを設定します。

- ・チェックあり：全領域を再度文字認識します。
- ・チェックなし：文字認識していない領域のみを文字認識します。

[認識終了後、確認ダイアログボックスを表示する]:

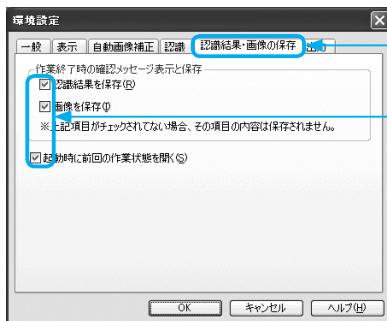
認識処理が完了した後の確認ダイアログボックスの表示/非表示を設定します。

- ・チェックあり：認識終了後、「文字認識が終了しました。」のダイアログボックスが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。



- ・チェックなし：ダイアログボックスは表示されません。

[認識結果・画像の保存] タブの設定



① [認識結果・画像の保存] タブをクリック

② 必要に応じてクリックしてオン/オフ

作業終了時の確認ダイアログボックス表示と保存

[認識結果を保存] :

「読み取り革命」終了時に、認識結果保存確認ダイアログボックスの表示/非表示の設定を行います。

- ・チェックあり：作業を終了して画像を閉じるとき、または他の画像を開くときに「認識結果を保存しますか？」とダイアログボックスを表示します。
- ・チェックなし：保存せずに終了します。

[画像を保存] :

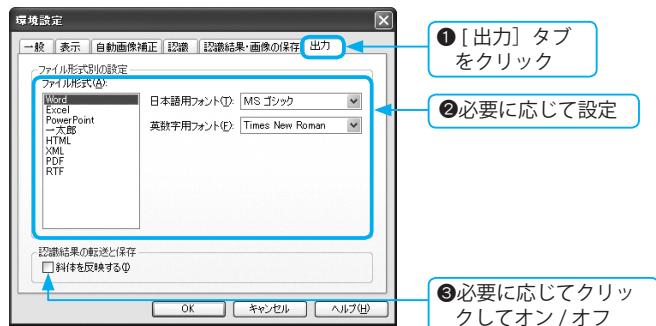
「読み取り革命」終了時に、画像保存確認ダイアログボックスの表示/非表示の設定を行います。

- ・チェックあり：作業を終了して画像を閉じるとき、または他の画像を開くときに「画像を保存しますか？」とダイアログボックスを表示します。
- ・チェックなし：保存せずに終了します。

[起動時に前回の作業状態を開く] :

- ・チェックあり：起動時に前回作業を終了したときの状態の画像・認識結果を表示するので、作業の続きをを行うことができます。
- ・チェックなし：起動時、ウィンドウには何も表示されません。

[出力] タブの設定



選択できるフォント名

[日本語用フォント]

- MS ゴシック
- MS 明朝
- MS P ゴシック
- MS P 明朝

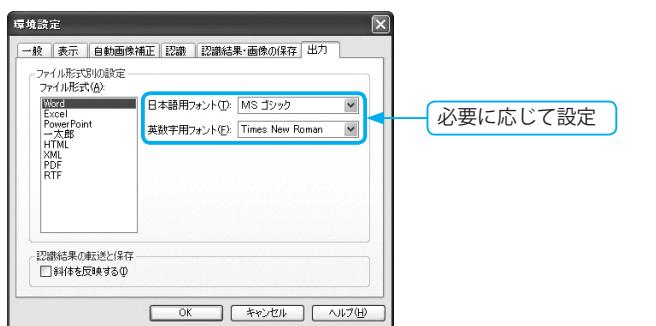
[英数字用フォント]

- MS ゴシック
- MS 明朝
- MS P ゴシック
- MS P 明朝
- Times New Roman
- Arial
- Century

ファイル形式別の設定

ファイル形式を選択して設定を行います。

Word/PowerPoint/ 一太郎を選択した場合



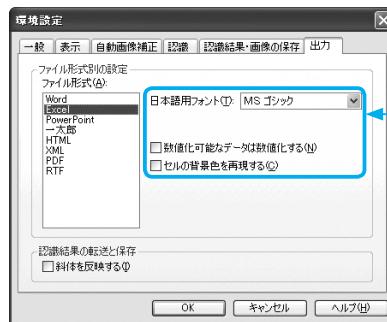
[日本語用フォント] :

日本語用のフォントを選択します。

[英数字用フォント] :

英数字用のフォントを選択します。

Excel を選択した場合



[日本語用フォント] :

日本語用のフォントを選択します。

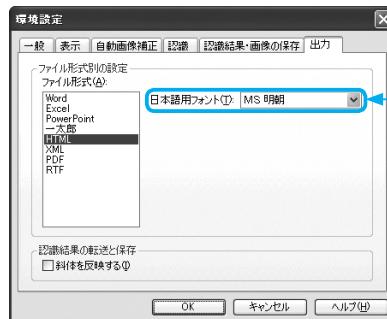
[数値化可能なデータは数値化する] :

Excel 形式に保存・転送したときに、数値としてデータを処理したい場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

[セルの背景色を再現する] :

Excel形式に保存・転送したときに、セルの背景色を再現したい場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

HTML/XML/RTF を選択した場合



[日本語用フォント] :

日本語用のフォントを選択します。

PDFを選択した場合



[日本語用フォント] :

日本語用のフォントを選択します。

画質

[低画質] :

PDF形式で転送、または保存する際に、低画質で転送、または保存します。ファイルサイズを小さくしたい場合にお勧めします。

[標準] :

PDF形式で転送、または保存する際に、標準サイズで転送、または保存します。

[高画質] :

PDF形式で転送、または保存する際に、高画質で転送、または保存します。

[最高画質] :

PDF形式で転送、または保存する際に、最高画質で転送、または保存します。繊細な色調をもつ画像の場合にお勧めします。

※ファイルサイズは4つの中でもっとも大きくなります。

認識結果の転送と保存

[斜体を反映する] :

斜体文字をファイルに反映して認識結果を転送・保存するかを設定します。

- ・チェックあり：認識結果を転送、または保存する場合に、斜体文字がファイルに反映されます。
- ・チェックなし：斜体文字での転送・保存は行いません。

アドインの設定と解除

アドインの設定と解除の概要	192
「アドインの設定と解除」ダイアログボックスの詳細.....	192
基本操作の流れ.....	192
起動と終了	193
起動する	193
終了する	193
アドインの設定・アドインの解除	194
アドインの設定	194
アドインの解除	195

アドインの設定と解除の概要

「アドインの設定と解除」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立した1つのアプリケーションです。

アドイン設定が可能なアプリケーションのメニュー やツールバーに、「読取革命」を起動するボタンを追加、または設定したボタンを解除することができます。

「アドインの設定と解除」ダイアログボックスの詳細



- ① Microsoft Word : Word へのアドインを設定します。
- ② Microsoft Excel : Excel へのアドインを設定します。
- ③ Microsoft PowerPoint : PowerPoint へのアドインを設定します。
- ④ Adobe Acrobat : Acrobat へのアドインを設定します。

※アドイン対象アプリケーションがインストールされていない場合は、チェックボックスが無効化されます。

基本操作の流れ

「アドインの設定を解除」を起動する

アドインを設定する

対象アプリケーションにアドイン設定を行います。

アドインを解除する

対象アプリケーションのアドインを解除します。

起動と終了

「アドインの設定と解除」の起動と終了方法について説明します。

※ Adobe Acrobat のアドインの設定と解除は、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーでログオンして行ってください。

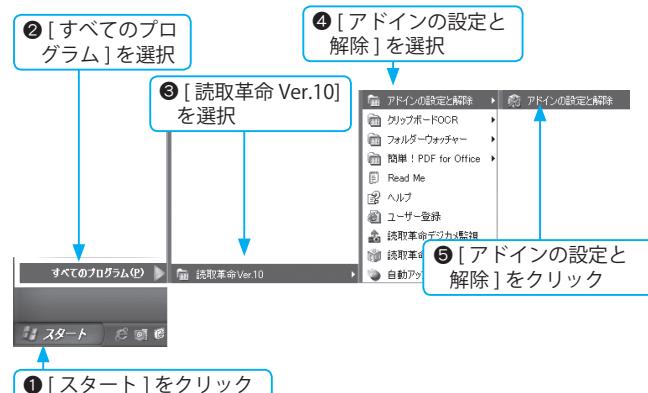
※アドインの設定を実行する前に、設定を行いたいアプリケーションを終了してください。

※「読み取り革命」のアドイン設定はカレントユーザー (OS 起動時にログオンしたユーザー) に限り有効です。

他のユーザーでログオンした場合は別途アドイン設定が必要です。

起動する

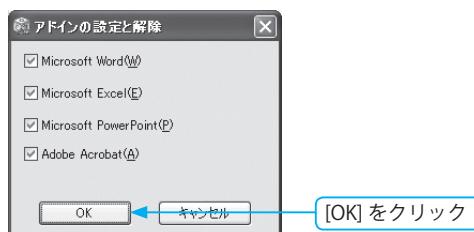
1 メニューを選択する



終了する

1 終了する

[アドインの設定と解除] ダイアログボックスの [OK] をクリックして終了することができます。



アドインの設定・アドインの解除

アドインの設定とアドインの解除方法について説明します。

アドイン対象アプリケーション

- Microsoft Word 2000/2002/2003
- Microsoft Excel 2000 ※ /2002/2003
- Microsoft PowerPoint 2000/2002/2003
- Adobe Acrobat 6/7

※ Microsoft Excel 2000 は、SR-1 以上に対応しています。

※ Microsoft Word/Excel/PowerPoint は、最新のバージョンにアドイン設定されます。Adobe Acrobat は、最後にインストールしたアプリケーションにアドイン設定されます。アドイン設定するバージョンを任意に選択することはできません。

アドインの設定

1 アドイン設定を行う



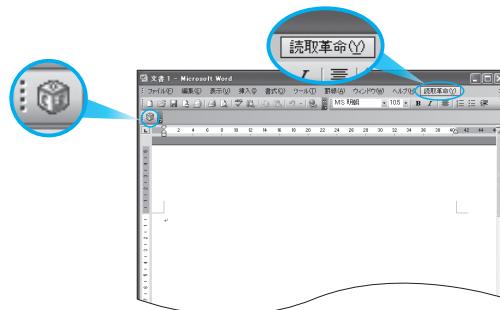
① アドインの設定を行いたいアプリケーションのチェックボックスをクリックしてオン

② [OK] をクリック

指定したアプリケーションにアドイン設定されます

2 実行結果

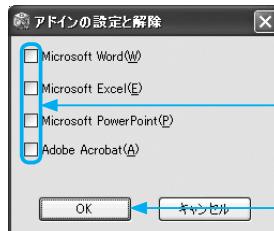
Microsoft Word にアドイン設定した場合



メニューバーの「読み取り革命」か、ツールバーのボタンをクリックして「読み取り革命」を起動することができます

アドインの解除

1 アドインを解除する



①アドインを解除したいアプリケーションのチェックボックスをクリックしてオフ

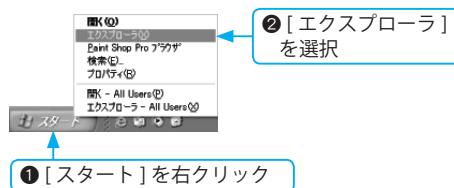
②[OK]をクリック

指定したアプリケーションのアドインが解除されます

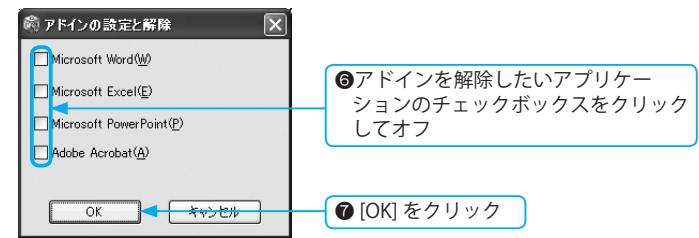
アンインストール後にアドインの設定を解除する場合

アドイン設定の解除を行わずに「読取革命」をアンインストールすると、アドイン設定したアプリケーションに「読取革命」のツールバーが残ります。この場合、以下の手順で「読取革命」のツールバーを解除してください。解除を行うには、「読取革命」のセットアップ CD-ROM を用意し、CD-ROM ドライブへセットしてください。

※「読取革命」のインストールプログラムが起動した場合は、[終了]または[キャンセル]ボタンをクリックし、メッセージにしたがって「読取革命」のインストールプログラムを終了させてください。



①[スタート]を右クリック



指定したアプリケーションのアドインが解除されます

クリップボード OCR

クリップボード OCR の概要	198
「クリップボード OCR」 ウィンドウ詳細	198
基本操作の流れ	198
起動と終了	199
起動する	199
終了する	199
文字認識する	200
画面キャプチャー認識	200
クリップボード画像認識	201
出力設定	202

クリップボード OCR の概要

「クリップボード OCR」は「読み取り革命」インストール時にインストールされる独立した1つのアプリケーションです。「読み取り革命」を起動することなく、パソコンのディスプレイに表示された画面をそのまま文字認識します。※「クリップボード OCR」は日本語・英語文字認識対応です。罫線や図形は認識できません。

「クリップボード OCR」 ウィンドウ詳細



①認識結果ウィンドウ

入力された画像の認識結果を表示・編集します。

② [画面キャプチャー認識]

画面キャプチャーで取り込んだ画像を文字認識します。

③ [クリップボード画像認識]

クリップボードに保存された画像を文字認識します。
クリップボードに画像が保存されていない状態では選択できません。

④ [認識結果をコピー]

認識結果に表示された文字列をクリップボードに保存します。

⑤ [出力設定]

「出力設定」ダイアログボックスを表示して、認識結果を出力する際の詳細を設定します。

⑥ [クリップボードを監視する]

オンの場合、「クリップボード OCR」起動中に、クリップボードに画像が保存されると、自動的に文字認識処理を行います。

⑦ [認識後ウィンドウを最前面に表示する]

オンの場合、文字認識が終了すると「クリップボード OCR」を最前面に表示します。

※ウィンドウが最小化されている場合は無効です。

⑧ [終了]

「クリップボード OCR」を終了します。

基本操作の流れ

「クリップボード OCR」を起動する

ディスプレイ上の画像を取り込む

画面キャプチャーで範囲指定した領域、またはクリップボードに保存された画像が対象となります。

文字認識する

「画面キャプチャー認識」や「クリップボード画像認識」で文字認識処理を行います。

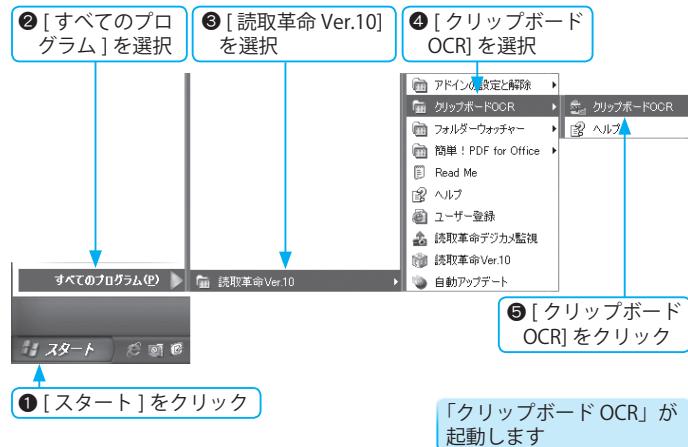
※オプションを設定することによって、さらに効率良く文字認識処理を行うことができます。

起動と終了

「クリップボード OCR」の起動と終了方法について説明します。

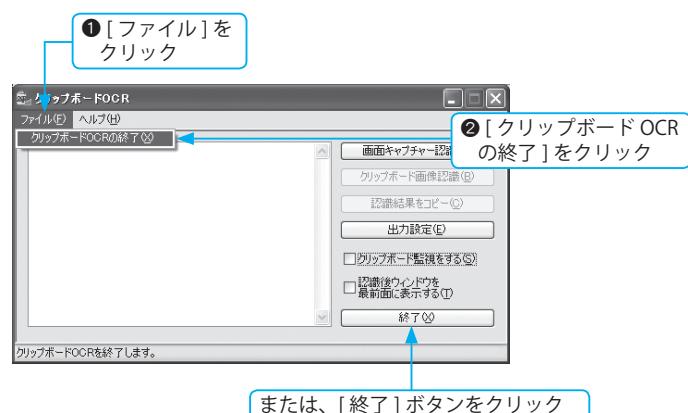
起動する

1 メニューを選択する



終了する

1 メニューを選択する



文字認識する

ディスプレイ上に表示された画像を文字認識します。画像の取り込みは、画面キャプチャーで範囲指定された領域と、クリップボードに保存された画像を対象とする2とおりが用意されています。

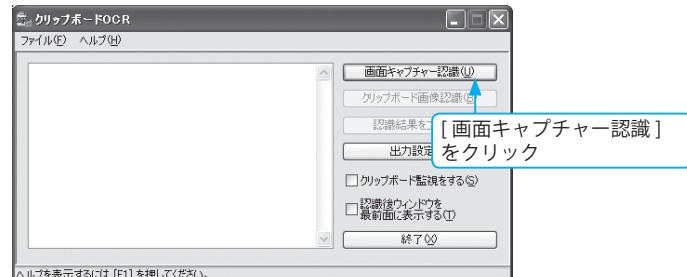
※既に認識結果が表示されている状態で文字認識を行うと、前回の認識結果は削除されます。

画面キャプチャー認識

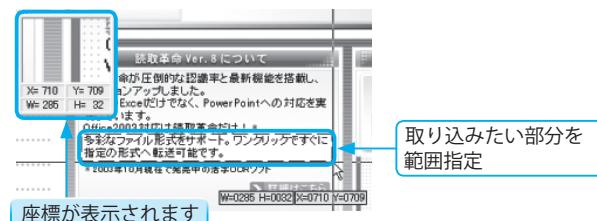
1 [画面キャプチャー認識]を選択する

※ [画面キャプチャー認識]が選択されると、「クリップボードOCR」のウィンドウは最小化されます。選択する前に不要なウィンドウはあらかじめ閉じておきましょう。

※ [画面キャプチャー認識]を中止するには、キーボードの[ESC]キーを押します。



2 範囲指定する



※ (☞「領域の範囲指定」P.134)

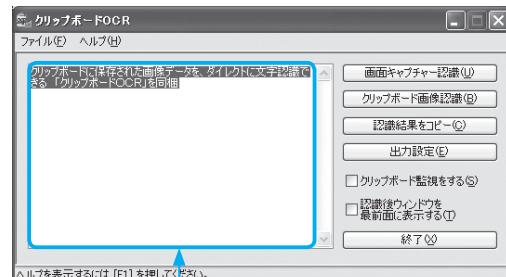
3 実行結果

■認識結果をコピー

認識結果ウィンドウで文字列を選択して[認識結果をコピー]ボタンをクリックすると、選択した文字列がクリップボードに保存されます。

また、文字列を選択していない場合は、認識結果ウィンドウに表示されたすべての文字列がクリップボードに保存されます。

※文字認識後、認識結果文字列は自動的にクリップボードに保存されます。



※認識結果ウィンドウでは文字列の編集を行うことができます。

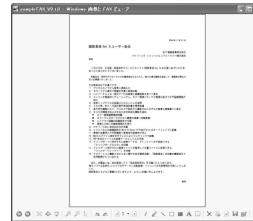
クリップボード画像認識

1 クリップボードに画像を保存する

[PrintScreen] キーがない場合

パソコンの機種によっては、[PrtSc] と表記されている場合があります。

また、[Fn] キーとの組み合わせで [PrtSc] キーが有効になる場合があります。パソコンの取扱説明書をご確認の上、操作を行ってください。



①認識対象となるウィンドウを最前面に表示

②キーボードの [Alt] + [PrintScreen] を押す

ディスプレイ全面をクリップボードに保存する場合は、[PrintScreen] キーを押します。

2 [クリップボード画像認識] を選択する

■クリップボードを監視する

このチェックボックスをオンにすると、「クリップボード OCR」起動中、クリップボードに画像が保存された場合、自動的に文字認識処理を実行します。



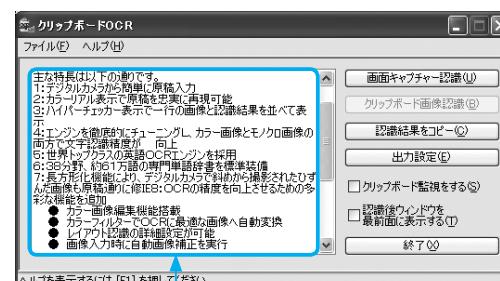
3 実行結果

■認識結果をコピー

認識結果ウィンドウで文字列を選択して「認識結果をコピー」ボタンをクリックすると、選択した文字列がクリップボードに保存されます。

また、文字列を選択していない場合は、認識結果ウィンドウに表示されたすべての文字列がクリップボードに保存されます。

※文字認識後、認識結果文字列は自動的にクリップボードに保存されます。

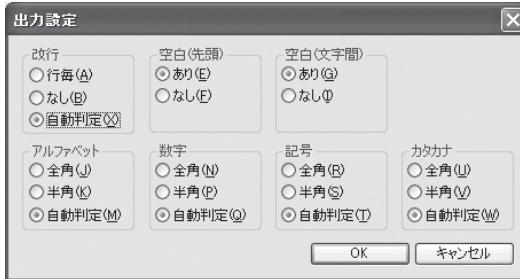


※認識結果ウィンドウでは文字列の編集を行うことができます。

出力設定

「クリップボード OCR」では「読み取り革命」同様に、文字認識を行う際に、事前に出力内容を設定することができます。

■出力設定 ダイアログボックスの詳細



改行の例

原文

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[行毎]

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[なし]

今日は良い天気だ。散歩にでも行こう。

[自動判定]

今日は良い天気だ。
散歩にでも行こう。

※認識結果ウィンドウの幅が狭いと、見
かけ上、設定とは異なるところで次の
行へ送られることがあります。幅の調
整をしてください。

空白(先頭)の例

原文 __今日は良い天気だ。
[あり] __今日は良い天気だ。
[なし] 今日は良い天気だ。

空白(文字間)の例

原文 A_B_C
[あり] A_B_C
[なし] ABC

改行

改行の設定を行います。

[行毎] : 行ごとに改行します。

[なし] : 改行しません。

[自動判定] : 行ごとに改行の必要性を自動判定します。

空白(先頭)

行頭に空白を挿入する設定を行います。

[あり] : 行頭に空白を挿入します。

[なし] : 行頭に空白を挿入しません。

※英数字領域を認識する場合、[あり]に設定しても行頭に空白は挿入
されません。

空白(文字間)

文字間に空白を挿入する設定を行います。

[あり] : 文字間に空白を挿入します。

[なし] : 文字間に空白を挿入しません。

アルファベット

アルファベットの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角] : アルファベットをすべて全角にします。

[半角] : アルファベットをすべて半角にします。

[自動判定] : 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

数字

数字の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角] : 数字をすべて全角にします。

[半角] : 数字をすべて半角にします。

[自動判定] : 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

原稿どおりにしたい場合の設定例

- [改行] → 行毎
- [空白 (先頭・文字間)] → なし
- [アルファベット・数字・記号・カタカナ] → 自動判定

文書サイズを小さくしたい場合の設定例

- [改行] → なし
- [空白 (先頭・文字間)] → なし
- [アルファベット・数字・記号・カタカナ] → 半角

英文書の設定例

- [改行] → 自動判定
- [空白 (先頭・文字間)] → なし
- [アルファベット・数字・記号・カタカナ] → 自動判定

記号

- 記号の表示を全角 / 半角に設定します。
- [全角] : 記号をすべて全角にします。
 - [半角] : 記号をすべて半角にします。
 - [自動判定] : 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

カタカナ

- カタカナの表示を全角 / 半角に設定します。
- [全角] : カタカナをすべて全角にします。
 - [半角] : カタカナをすべて半角にします。
 - [自動判定] : 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

フォルダーウオッチャー

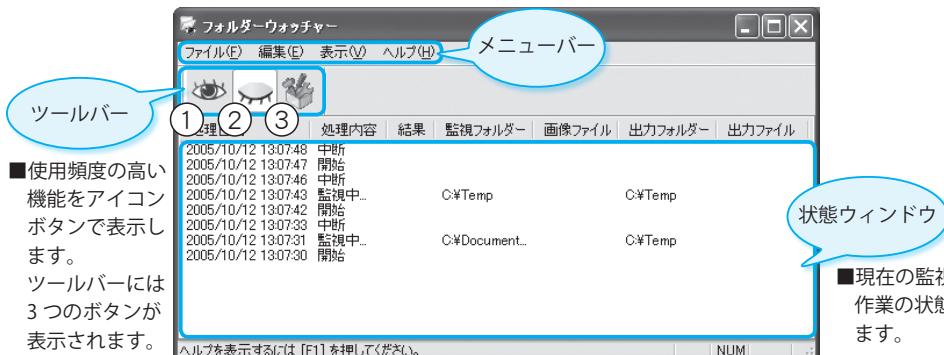
フォルダーウオッチャーの概要	206
「フォルダーウオッチャー」 ウィンドウ詳細	206
基本操作の流れ	206
起動と終了	207
起動する	207
終了する	207
監視する・監視しない	208
監視する	208
監視しない	208
環境設定	209
[監視設定] タブの設定	210
[ファイル名設定] タブの設定	210
[出力設定] タブの設定	211
[変換設定] タブの設定	211
ツールバー・ステータスバーの表示 / 非表示	213
ツールバーの表示 / 非表示	213
ステータスバーの表示 / 非表示	213

フォルダーウオッチャーの概要

「フォルダーウオッチャー」は「読取革命」インストール時にインストールされる独立した1つのアプリケーションです。

「読取革命」を起動することなく、指定したフォルダーに入力された画像ファイルを自動的に文字認識し、出力先フォルダーへ指定ファイル形式で出力します。

「フォルダーウオッチャー」 ウィンドウ詳細



■ 使用頻度の高い機能をアイコンボタンで表示します。ツールバーには3つのボタンが表示されます。

- ① [監視する]
指定したフォルダーの監視を行います。
- ② [監視しない]
指定したフォルダーの監視を中止します。
- ③ [環境設定]
「環境設定」ダイアログボックスを表示します。
フォルダーの監視中は選択できません。

■ 現在の監視、または作業の状態を表示します。

基本操作の流れ

「フォルダーウオッチャー」を起動する

監視・出力フォルダーを設定する

監視フォルダー・出力フォルダーの設定を行うと、指定したフォルダーの監視を開始します。設定変更の場合や、初回起動時は「環境設定」ダイアログボックスで変更します。

監視フォルダーに画像ファイルを保存する

監視中に、監視フォルダーへ対応する画像ファイルが保存されると、文字認識を自動で行います。監視を開始すると、作業状態は状態ウィンドウに表示されます。

出力フォルダーに認識結果が保存される

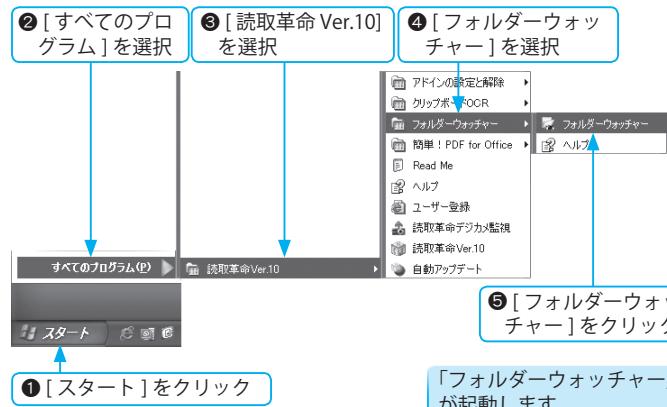
文字認識結果が出力フォルダーに保存されます。

起動と終了

「フォルダーウオッチャー」の起動と終了方法について説明します。

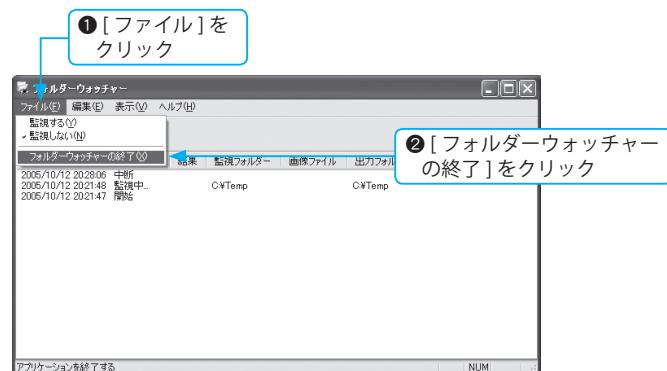
起動する

1 メニューを選択する



終了する

1 メニューを選択する



監視する・監視しない

画像ファイルの入力状況を監視、または中止します。

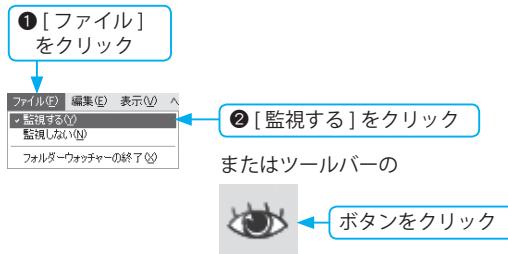
監視フォルダーとして指定されたフォルダーに新しく画像ファイルが保存された場合、文字認識を開始します。また、監視は任意に中止することができます。

監視対象画像ファイル形式

- TIFF ファイル (*.tif)
※モノクロ 2 値の非圧縮形式、G3 形式、G4 形式に対応
- BMP ファイル (*.bmp)
※モノクロ 2 値の非圧縮形式に対応
- ペイントブラシファイル (*.dcx, *.pcx)
- JPEG ファイル (*.jpg)
- Kodak 形式ファイル (*.fpx, *.pcd)
- FAX 形式ファイル (*.fxs, *.ica)
- Icon および Cursor ファイル (*.ico, *.cur, *.ani)
- Macintosh Pict ファイル (*.pct)
- Windows メタファイル (*.wmf, *.emf)
- Windows クリップボード (*.clp)
- Windows AVI ファイル (*.avi)
- XpicMap ファイル (*.xpm)
- Interchange File Format ファイル (*.iff)
- Portable Bitmap Utilities ファイル (*.pbm)
- Dr. Halo ファイル (*.cut)
- Photoshop 3.0 ファイル (*.psd)
- Portable Network Graphics ファイル (*.png)
- Truevision TARGA ファイル (*.tga)
- Encapsulated PostScript ファイル (*.eps)
- Sun Raster (*.ras)
- WordPerfect (*.wpg)
- X window Dump (*.xwd)
- XBit Map (*.xbm)
- Flic Animation (*.flc)
- Silicon Graphics Image (*.sgi)
- IntergraphRLE (*.itg)

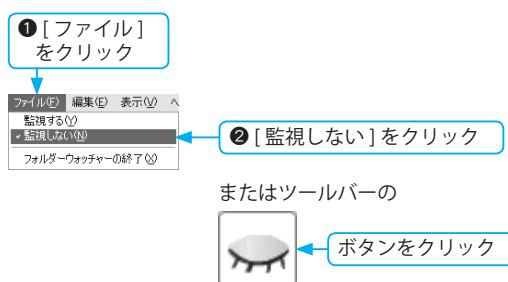
監視する

1 [監視する] を選択する



監視しない

1 [監視しない] を選択する



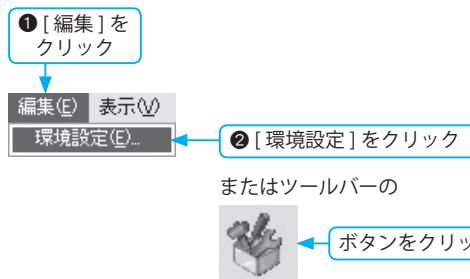
環境設定

環境設定では用途に応じて「フォルダーウォッチャー」の環境を変更することができます。

「フォルダーウォッチャー」の初回起動時は、「環境設定」ダイアログボックスが自動的に表示されます。

※フォルダー監視中に「環境設定」を変更することはできません。フォルダー監視を中止して各項目を変更してください。

1 [環境設定]を選択する



2 設定を変更する



※各タブの詳細については次ページ以降に記載しています。

[監視設定] タブの設定

選択できる出力形式の詳細

●レイアウト枠付き文書 / 表罫線 / 画像を編集・表示するには

- Microsoft Word 文書 (*.doc)
- Microsoft Excel 文書 (*.xls)
- Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
- 書式付きファイル (*.rtf)
- 一太郎ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書 / 表罫線 / 画像を編集・表示するには

- 一太郎 (本文) ファイル (*.jtd)

●文字修飾や段組処理を特定のアプリケーションに依存せずに表示するには

- PDF ファイル (*.pdf)
- [*.pdf(透明文字)]

元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

[*.pdf(高圧縮)]

カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示することができます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

●インターネットのホームページ文書として編集・表示するには

- HTML 文書 (*.htm)
- XML 文書 (*.xml)

●文字だけを編集・表示するには

- テキストファイル (*.txt)
- CSV ファイル (*.csv)



[監視フォルダー]

監視するフォルダーを、[参照] ボタンをクリックして設定します。

[出力フォルダー] が未入力の場合、[監視フォルダー] で設定したフォルダーのパスが自動的に [出力フォルダー] に入力されます。

[出力フォルダー]

認識結果を出力するフォルダーを、[参照] ボタンをクリックして設定します。

[出力形式]

認識結果を出力するファイル形式を指定します。

[フォルダー監視間隔]

フォルダー監視を行う間隔を秒単位で指定します。(1~60までの半角数値)

[オートスタート]

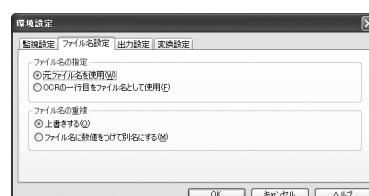
フォルダーウォッチャー起動時にフォルダー監視を開始するか指定します。起動時から監視を行う場合は、チェックボックスをクリックして、オンにします。

[コンバート後、画像ファイルを監視フォルダーから削除する]

認識処理後、認識された画像ファイルが自動的に削除されます。

認識後も画像ファイルを保存したい場合は、チェックボックスをクリックして、オフにしてください。

[ファイル名設定] タブの設定



ファイル名の指定

[元ファイル名を使用]:

出力フォルダーに認識結果を保存する場合、認識対象となる画像ファイルと同じファイル名で、出力フォルダーに保存されます。

[OCRの一行目をファイル名として使用]:

出力フォルダーに認識結果を保存する場合、認識結果の一行目文字列をファイル名とし、出力フォルダーに保存されます。

ファイルの重複

[上書きする]:

出力フォルダーに重複したファイルが存在する場合、上書き保存します。

[ファイル名に数値をつけて別名にする]:

出力フォルダーに重複したファイルが存在する場合、末尾に数値番号を追加し、新規ファイルとして保存します。

[出力設定] タブの設定



斜体文字が反映されるファイル形式

- RTF 形式
- DOC 形式 (Word)
- XLS 形式 (Excel)
- PPT 形式 (PowerPoint)
- JTD 形式 (一太郎)
- HTML 形式
- XML 形式
- PDF 形式

改行の例

原文

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[行毎]

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[なし]

今日は良い天気だ。散歩にでも行こう。

[自動判定]

今日は良い天気だ。
散歩にでも行こう。

※認識結果ウィンドウの幅が狭いと、見かけ上、設定とは異なるところで次の行へ送られることがあります。幅の調整をしてください。

空白(先頭)の例

原文 _今日は良い天気だ。

[あり]_今日は良い天気だ。

[なし]今日は良い天気だ。

認識結果の保存

[斜体を反映する]:

斜体文字を認識した場合、斜体文字を保存するファイルに反映させます。

PDF ファイルの保存

[低画質]:

PDF 形式で保存する際に、低画質で保存します。
ファイルサイズを小さくしたい場合にお勧めします。

[標準]:

PDF 形式で保存する際に、標準画質で保存します。

[高画質]:

PDF 形式で保存する際に、高画質で保存します。

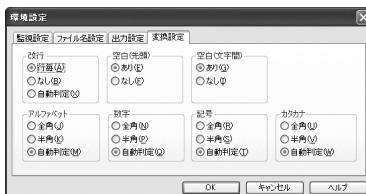
[最高画質]:

PDF 形式で保存する際に、最高画質で保存します。

繊細な色調をもつ画像の場合にお勧めします。

ファイルサイズは 4 つの中でもっとも大きくなります。

[変換設定] タブの設定



改行

改行の設定を行います。

[行毎]: 行ごとに改行します。

[なし]: 改行しません。

[自動判定]: 行ごとに改行の必要性を自動判定します。

空白(先頭)

行頭に空白を挿入する設定を行います。

[あり]: 行頭に空白を挿入します。

[なし]: 行頭に空白を挿入しません。

※英数字領域を認識する場合、[あり]に設定しても行頭に空白は挿入されません。

空白(文字間)の例

原文 A_B_C
[あり]A_B_C
[なし]ABC

原稿どおりにしたい場合の設定例

[改行]→行毎
[空白(先頭・文字間)]→なし
[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→自動判定

文書サイズを小さくしたい場合の設定例

[改行]→なし
[空白(先頭・文字間)]→なし
[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→半角

英文書の設定例

[改行]→自動判定
[空白(先頭・文字間)]→なし
[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→自動判定

空白(文字間)

文字間に空白を挿入する設定を行います。

[あり]: 文字間に空白を挿入します。
[なし]: 文字間に空白を挿入しません。

アルファベット

アルファベットの表示を全角/半角に設定します。

[全角]: アルファベットをすべて全角にします。
[半角]: アルファベットをすべて半角にします。
[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

数字

数字の表示を全角/半角に設定します。

[全角]: 数字をすべて全角にします。
[半角]: 数字をすべて半角にします。
[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

記号

記号の表示を全角/半角に設定します。

[全角]: 記号をすべて全角にします。
[半角]: 記号をすべて半角にします。
[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

カタカナ

カタカナの表示を全角/半角に設定します。

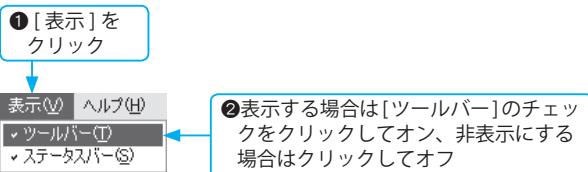
[全角]: カタカナをすべて全角にします。
[半角]: カタカナをすべて半角にします。
[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

ツールバー・ステータスバーの表示 / 非表示

ツールバーやステータスバーの表示 / 非表示を選択することができます。

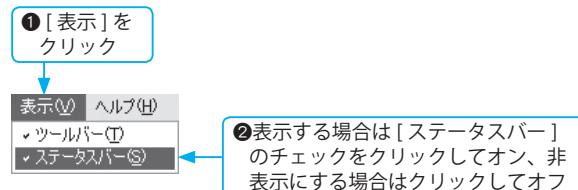
ツールバーの表示 / 非表示

1 表示または非表示にする



ステータスバーの表示 / 非表示

1 表示または非表示にする



簡単！ PDF for Office

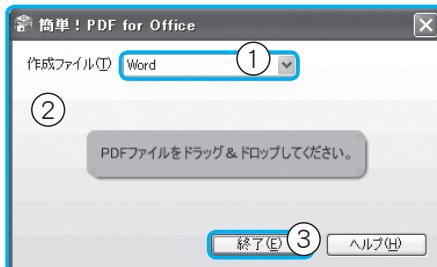
簡単！ PDF for Office の概要.....	216
「簡単！ PDF for Office」 ウィンドウ詳細	216
基本操作の流れ	216
起動と終了	217
起動する	217
終了する	217
PDF ファイルを変換する	218

簡単！PDF for Office の概要

「簡単！PDF for Office」は「読み取革命」インストール時にインストールされる独立した1つのアプリケーションです。

PDFファイルをドラッグ & ドロップして、Word・Excel・テキスト・JPEG・BMP形式のファイルに変換します。
※作成ファイルから[読み取革命]を選択した場合は、「読み取革命」が起動し、ファイルが画像変換され「読み取革命」に読み込まれます。

「簡単！PDF for Office」 ウィンドウ詳細



① [作成ファイル]

変換するファイル形式を選択します。

選択できるファイル形式：Word/Excel/ テキスト /JPEG/BMP/ 読み取革命

② [ドラッグ & ドロップ領域]

この領域にPDFファイルをドラッグ & ドロップします。

③ [終了]

「簡単！PDF for Office」を終了します。

基本操作の流れ

「簡単！PDF for Office」を起動する

ファイル形式を選択する

[作成ファイル]のリストから変換したいファイル形式を選択します。

PDFファイルをドラッグ & ドロップする

ファイル変換処理を行います。

指定したファイル形式で作成・保存される

変換前のPDFファイルが置かれているフォルダー内にPDFファイルと同名のフォルダーが自動的に作成され、その階下に変換処理後のファイルを作成します。

起動と終了

「簡単！ PDF for Office」の起動と終了方法について説明します。

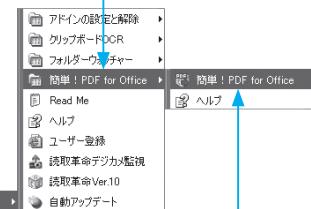
起動する

1 メニューを選択する

- ② [すべてのプログラム] を選択
③ [読み取革命 Ver.10] を選択
④ [簡単！ PDF for Office] を選択

すべてのプログラム(P) 読取革命Ver.10

- ① [スタート] をクリック



- ⑤ [簡単！ PDF for Office] をクリック

「簡単！ PDF for Office」が起動します

終了する

1 [終了] を選択する



PDF ファイルを変換する

PDF ファイルをドラッグ & ドロップして、指定したファイル形式に変換します。
また、TIFF ファイルに変換し、「読み取革命」に表示します。

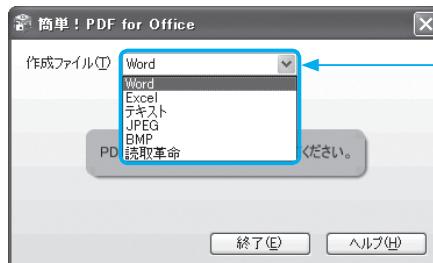
変換できるファイル形式

- Microsoft Word (*.doc)
- Microsoft Excel (*.xls)
- テキスト (*.txt)
- JPEG (*.jpg)
- BMP (*.bmp)
- 読み取革命

[作成ファイル] リストから「読み取革命」を選択した場合の PDF ファイルは、一度 TIFF ファイルへ変換され、「読み取革命」に転送され読み込まれます。

1

ファイル形式を選択する

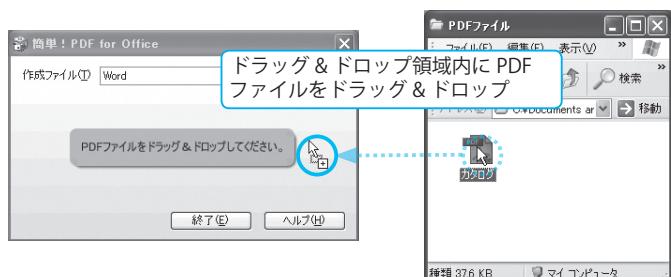


2

PDF ファイルをドラッグ & ドロップする

複数ファイル選択で、PDF ファイル以外のファイルが混在している場合

PDF ファイル以外のファイルがドラッグ & ドロップされた場合は、処理対象外として処理を行わず、PDF ファイルだけが変換されます。



※複数の PDF ファイルを選択して、ドラッグ & ドロップすることができます。

3 実行結果

ファイル名の重複

出力フォルダーに同名のファイルが存在する場合、末尾に数値番号を付加したファイルが作成されます。

複数ページ構成の PDF ファイルを JPEG/BMP 形式に変換した場合

1 ページごとに 1 画像ファイルを生成します。ファイル名は、末尾に数値番号を連番で付加し、別名となります。

※ Word/Excel/ テキスト形式に変換する
と、選択した形式を使用する外部アプ
リケーションが起動し、作成されたファ
イルを開きます。

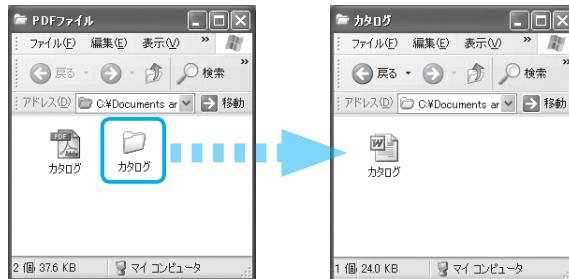
読み取革命 形式に変換した場合

読み取革命形式に変換すると、TIFF ファイ
ルを自動的に作成して、読み取革命へ送り
ます。

複数ページ構成の PDF ファイル、また
は複数の PDF ファイルの場合は、1 つ
の TIFF ファイル「簡単！ PDF.tif(連番)」
として作成し、読み取革命へ送ります。

※作成された TIFF ファイルは、
"C:\Documents and Settings\ (ユー
ザーネーム)\My Documents\ 読み取革命\
簡単！ PDF.tif" に格納されます。

出力フォルダーに同名のファイルが存在
する場合は、末尾に数値番号を付加した
ファイルが作成されます。



変換前の PDF ファイルが置かれているフォルダー内に PDF ファイ
ルと同名のフォルダーが自動的に作成され、その配下に変換処理後
のファイルが作成されます

トラブルシューティング・FAQ

トラブルシューティング	222
インストール	222
起動・画像入力	222
アドインの設定と解除	222
画像	223
認識	223
認識結果編集	224
転送・終了	224
その他	225
FAQ	226
画像の入力	226
画像修正	226
表領域の編集	226
領域枠の設定	226
その他	226

トラブルシューティング

インストール

● 「正しいシリアル番号を入力してください」と表示されます。

【原因】入力したシリアル番号が間違っているか、シリアル番号の入力に全角と半角文字が混在していると思われます。

【対策】シリアル番号を確認し、半角で再入力してください。シリアル番号は取扱説明書（本書）の最後のページに記載されています。

● 「読み取り革命」がインストールできません。

【原因】パソコンのCD-ROMドライブが正常に動作していない可能性があります。

【対策】お使いのパソコンのハードディスクに十分な空き容量がある場合は、「読み取り革命」のセットアップCD-ROM内のファイルをハードディスクにすべてコピーしてからインストールをお試しください。

コピー先フォルダー内のsetup.exeをダブルクリックしてインストールを開始することができます。

起動・画像入力

● 「辞書の読み込みに失敗しました」と表示されます。

【原因1】「読み取り革命」が正しくインストールされていない可能性があります。

【対策1】「読み取り革命」を再度インストールしてください。（☞「インストール」P.24）

【原因2】辞書ファイルが壊れている可能性があります。

【対策2】以下の辞書ファイルを削除し、「読み取り革命」を再起動してください。

• upstdict.pst • urcgdict.rcg

● 起動時に前回の作業状態が表示されます。新規に始めるにはどうしたらよいですか？

【原因】[起動時に前回の作業状態を開く]のチェックボックスがオンになっています。

【対策】起動時に新規の状態で始めたい場合、以下の設定を行ってください。

① [オプション]メニューの[環境設定]をクリック

② [認識結果・画像の保存]タブをクリック（☞「[認識結果・画像の保存]タブの設定」P.186）

③ [起動時に前回の作業状態を開く]のチェックボックスをクリックしてオフにする

④ [OK]ボタンをクリック

● 起動すると、1.2秒経ってWindowsの例外処理が発生します。

【原因】ウィルスチェックなどの常駐ソフトが起動されています。（ウィルスチェックなどの常駐ソフトが起動していると、「読み取り革命」が起動できない場合があります）

【対策】常駐ソフトを終了し、「読み取り革命」を起動してください。

● Adobe PDFファイルが読み込めません。

【原因】お使いのパソコンに、対応するAdobe Acrobat、またはAdobe Readerのいずれかがインストールされていません。

【対策】Adobe PDFファイルを「読み取り革命」に読み込むには、対応するAdobe Acrobat、またはAdobe Readerを別途インストールする必要があります。各アプリケーションの詳細はAdobe Systems社のWebサイトでご確認ください。

アドインの設定と解除

● アドイン設定できるアプリケーションは？

次のアプリケーションにアドイン設定することができます。

- Microsoft Word 2000/2002/2003
- Microsoft Excel 2000 ※ /2002/2003
- Microsoft PowerPoint 2000/2002/2003
- Adobe Acrobat 6/7

※ Microsoft Excel 2000 は、SR-1以上に対応しています。

● 読取革命のアンインストール後に、アドインの設定を解除することができますか？

アンインストール後でも、アドインの設定を解除することができます。詳細は、「アンインストール後にアドインの設定を解除する場合」P.192を参考にして解除を行ってください。

● Microsoft Word/Excel/PowerPoint/Adobe Acrobat のバージョンが複数存在している環境で、アドイン設定されるバージョンは？

Microsoft Word/Excel/PowerPoint では、最新バージョンにアドイン設定されます。

Adobe Acrobat では、インストール日時の新しいものにアドイン設定されます。

アドイン設定されるバージョンを任意に選択することはできません。

画像

● 自動で傾き補正できません。

【原因】画像によっては、自動傾き補正できない場合があります。

【対策】スキャナーやデジタルカメラから画像を再入力する場合は、画像が傾かないように注意して入力しなおしてください。また、手動で傾き補正を行いたい場合は、[画像]メニューの[傾き補正]から[手動]を選択します。
「一括認識」の場合は[傾き補正]タブ-[傾き角度指定]ラジオボタンをオンにし、数値を入力してください。
(☞「[傾き補正]タブの設定」P.116)、(☞「傾き補正」P.139)

● カラーフィルターが実行されません。

【原因】現在の状態が文字認識に最適と判断しています。

【対策】現在の画像状態が認識に最適と判断した場合、カラーフィルターは実行されません。

● 作図モードで色を設定したが設定色が黒か白になってしまい、反映されません。

【原因】編集している画像が白黒画像(2値画像)です。

【対策】表示されている画像が白黒画像(2値画像)の場合、白か黒以外設定できません。
表示する画像の色数によって、設定できる色が異なります。

● カラードロップアウトで色を設定したが反映されません。

【原因1】RGB値が異なるため。

【対策1】TWAINデバイス(スキャナー)やデジタルカメラなどから読み込まれた画像は、色ムラが発生する場合があります。また、画像の保存ファイル形式によっても色ムラが発生します。肉眼では同色に見えても微妙に色が異なってしまうと、設定した色が反映されません。

本機能は、色ムラの少ない部分や、画面キャプチャーで入力された画像を対象とすることをお勧めします。

【原因2】表示されている画像のカラー数を超えているため。

【対策2】表示されている画像のカラー数を超えて設定された場合、一番近いRGB値の色へ自動的に変更されます。
すべての色に対応するには、画像が24bitのカラー画像である必要があります。

認識

● 手動で領域を設定し、文字認識を実行したところ、領域を自動で設定しなおされました。

【原因】[領域設定済みのページをレイアウト認識する]チェックボックスがオンになっています。この設定では、領域の設定を解除し、新たに自動で領域を設定しなおしてから、文字認識を行います。

【対策】領域の設定を変えたくない場合、以下の設定を行ってください。

- ① [オプション]メニューの[環境設定]をクリック
- ② [認識]タブをクリック(☞「[認識]タブの設定」P.185)
- ③ [領域設定済みのページをレイアウト認識する]のチェックボックスをクリックしてオフにする
([文字認識]の項目のみ、または「レイアウト認識」と「文字認識」の2項目)
- ④ [OK]ボタンをクリック

●再度、文字認識を実行すると認識結果が変わってしまいます。

【原因】[領域設定済みのページをレイアウト認識する]のチェックボックスがオンになっています。文字認識を実行すると、レイアウト認識と文字認識をやりなおしますので、画像を修正していれば領域設定と認識結果は変わります。

【対策】領域設定や認識結果を変えたくない場合、以下の設定を行ってください。

- ① [オプション] メニューの [環境設定] をクリック
- ② [認識] タブをクリック (☞「[認識] タブの設定」P.185)
- ③ [領域設定済みのページをレイアウト認識する] のチェックボックスをクリックしてオフにする
([文字認識] の方の項目のみ、または 2 項目とも)
- ④ [OK] ボタンをクリック

●文字認識を実行後、画像や領域を修正して再び文字認識したら、認識結果が変わりませんでした。

【原因】[文字認識済みのページを再度認識する]のチェックボックスがオフになっています。

【対策】一度文字認識をさせた画像を再認識させたい場合、以下の設定を行ってください。

- ① [オプション] メニューの [環境設定] をクリック
- ② [認識] タブをクリック (☞「[認識] タブの設定」P.185)
- ③ [文字認識済みのページを再度認識する] のチェックボックスをクリックしてオンにする
- ④ [OK] ボタンをクリック

●認識率が悪いです。

【原因 1】解像度が低い(200dpi 以下)場合は、認識率が低下します。

【対策 1】「読み取革命」は、解像度 400dpi を推奨しています。TWAIN デバイス(スキャナー)で読み込む際に、400dpi を基準として解像度を変更し、再度認識をお試しください。

【原因 2】画像がかずれていたり、文字がつぶれている可能性があります。

【対策 2】濃度設定などを変更し、TWAIN デバイス(スキャナー)で読み込んでから、再度認識をお試しください。

【原因 3】新聞や雑誌などで背景色と文字色が近いものは文字認識率が低下します。

【対策 3】コントラストなど、画像の色調整を行うことにより認識率が上がる場合があります。

認識結果編集

●2文字を1文字として認識していたので、「候補文字修正」を開き、「文字入力」に2文字入力したところ、「1文字入力してください」とダイアログボックスが表示され、修正することができません。

【原因】[候補文字修正] の [文字入力] では 2 文字以上の入力はできません。

【対策】[一括修正] では 1 文字を 2 文字に修正することができます。修正したい文字の前にカーソルを置き [一括修正] を開いて [修正後の文字] に正しい文字を入力してください。 (☞「一括修正で複数の文字を一度に修正する」P.76) または、文字の分離(2 文字)を行ってください。 (☞「文字の分離をするには」P.99)

●「読み取革命」旧バージョンのパターン辞書は使えますか？

使用できます。パターン辞書変更 (☞「変更する」P.170)、またはパターン辞書のインポート (☞「インポートする」P.171) で以前のバージョンの urcgdict.rcg を指定してください。

転送・終了

●どのようなアプリケーションに転送できますか？

本書 P.235 に記載しています。また、メモ帳などのテキストエディターまた、クリップボードを経由して認識結果を他のアプリケーションへ転送することもできます。

●転送したいアプリケーションのアイコンがありません。

「読み取革命」起動時に、転送先アプリバーに登録されていないアプリケーションを追加したい場合は、[オプション] メニューの [転送先アプリバーの設定] で、ご希望のアプリケーションを追加してください。
(☞「転送先アプリバーの設定」P.123)

●終了時に保存確認のダイアログボックスを表示しないようにできますか？

【原因】[認識結果を保存]・[画像を保存]のチェックボックスがオンになっています。

【対策】保存確認のダイアログボックスが必要ない場合、以下の設定を行ってください。

- ① [オプション]メニューの[環境設定]をクリック
- ② [認識結果・画像の保存]タブをクリック (☞「[認識結果・画像の保存]タブの設定」P.186)
- ③ [認識結果を保存]・[画像を保存]のチェックボックスをクリックしてオフにする
- ④ [OK]ボタンをクリック

●転送後、文字などの周りにできる枠(テキストボックス)をつけないようにできますか？

Microsoft Word(本文)ファイル(*.doc)、一太郎(本文)ファイル(*.jtd)形式を選択すると、文字属性の枠(テキストボックス)なしで転送することができます。本文以外の転送形式では、枠は元画像のレイアウトを再現させるためのものですので、枠をはずすことはできません。レイアウトの再現が不要で、文字のみの認識結果が必要な場合は、テキスト形式、またはCSV形式を選択してください。

●Acrobatに転送後、転送先で保存ができません。

転送先のアプリケーションが[Adobe Reader]の場合は、読み込み専用ですので保存できません。転送先での保存が必要な場合は、Adobe Systems社の[Adobe Acrobat]をインストールし、転送先アプリケーションに指定してください。

●図形領域が正しく転送・保存できません。

【原因】図形領域の対象画像は連続した面や線が濃い単色で描画された線画です。写真など線画以外の画像は正しく転送・保存できない場合があります。

【対策】図形認識の対象に適さない領域は、画像属性に変更して、転送・保存してください。

●認識結果ウィンドウ内で、認識結果が斜体文字として表示されません。

【原因】斜体文字は認識結果ウィンドウ内で反映されません。

【対策】斜体文字は転送、または保存したアプリケーションウィンドウ内で反映されます。

[環境設定]-[出力]タブ-[斜体を反映する]をオンにし、認識結果を転送、または保存してください。(☞「[出力]タブの設定」P.187)

その他

●動作確認済みのTWAINデバイスを教えてください。

本書P.236に記載しています。また、「読み取り革命」のホームページに、動作確認済みのTWAINデバイスの最新情報を記載しています。(http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/yomikaku/index.html)

●使用可能なスキャナーは？

TWAIN対応のスキャナーであれば基本的に問題ありません。掲載している機種は動作確認済みのものです。

●ダイアログボックスが表示され「読み取り革命」が強制的に終了します。

【原因】「読み取り革命」または、パソコンの動作環境に問題があります。

【対策】以下の内容をP3カスタマーサポートセンターへご連絡ください。(☞「アフターサービス」P.241)

- ・現象および頻度(どのようになるかをできるだけ詳しく、また毎回発生するのか)
- ・Windowsの種類とバージョン(2000 Professional / XP Home Edition / XP Professional)
- ・現象が発生する直前に行った操作(できるだけ詳しく)
- ・設定(領域属性・高度な設定など)
- ・ページ違反が出るモジュール名とアドレス([詳細]ボタンで表示)
- ・特定の画像で現象が発生するか(画像データがあれば、お問い合わせの際に送付してください)

●シリアル番号がわかりません。

シリアル番号は取扱説明書(本書)の最後のページに記載されています。

●デジカメ監視の常駐を外したい。

Administratorまたはコンピューターの管理者権限を持つユーザー名でログオンし、以下の設定を行ってください。

- ①タスクトレイの[読み取り革命デジカメ監視]アイコンをクリック
- ②[終了]をクリック
- ③「スタートアップの登録を解除しますか?」というダイアログボックスの[はい]をクリック

FAQ

画像の入力

- 原稿はオリジナル（原本）を使いましょう。
FAXで受け取ったものや、何度もコピーしたものは、にじんで認識しにくい文字になっています。
- 原稿が傾かないようにスキャナーにセットし、プレビューで傾きを確認しましょう。
- 暗い原稿は、濃度を明るめに設定しましょう。
- 解像度は400dpiに設定することをお勧めします。
- デジタルカメラを使用する場合は、明るい場所で手ぶれや傾きがないように三脚などを使用して撮影しましょう。
(☞「基本操作」P.37)

画像修正

- 傾いている画像は[傾き補正]を行いましょう。
[傾き補正]では、-45.0～+45.0度の間で補正が行われます。それ以上傾いている画像は[回転]を行ってから、[傾き補正]を実行してください。
- 複数ページの画像を一括で[回転]、[傾き補正]する場合は、[一括画像編集]を実行しましょう。
(☞「一括画像編集」P.160)
- 汚れている画像は[ノイズ除去]できれいにしましょう。
- 必要のない画像は消去しましょう。
必要なない画像を残したまでは、認識処理に余計な時間がかかるうえ、認識結果の編集も煩雑になります。
- ルビのついている文字はルビを消しましょう。
ルビがついていると、ルビも含めて1つの文字として認識してしまいます。
- 黒地に白の文字で書かれている画像は、[色の反転]を行いましょう。
- 網掛けをしている文字は、その部分に対して[ノイズ除去]を行って、網掛けを除去しましょう。
(☞「画像編集」P.133)

表領域の編集

- 表領域の罫線が正しく認識されない場合は、[表編集]で罫線を追加・削除することができます。また、[自動罫線追加]を利用すると、選択した領域を表領域として強制的に認識させることができ、セルの色の違いを認識して自動的に罫線を挿入します。誤認識される表領域は、[作図]で、あらかじめ画像に直線や長方形を追加しておくと便利です。
(☞「表を編集する」P.101、「自動罫線追加」P.102、「作図」P.163)

領域枠の設定

- 領域枠の属性は正しく設定しましょう。
表領域を文字領域と設定していたり、横書きを縦書きと設定していたりすると、正しく認識することができません。
- 日本語文書と英文書の領域を分けましょう。
英文書を認識する場合は、英語認識モードにした方が速く正確に認識できます。
- 罫線を含む文書は、罫線をはずすように領域を設定するか、表領域として設定しましょう。
罫線を含んだまま文字領域として設定すると、罫線を文字の一部として認識してしまう場合があります。

その他

- 新聞の見出しが、[見出し認識]を行いましょう。そのまま[文字認識]を行うと、見出しの背景に模様が使用されている場合、誤認識の原因となります。
(☞「見出し認識」P.103)
- 誤認識の多い文字はパターン辞書に登録しましょう。
(☞「パターン辞書」P.168)
- よく出てくる固有名詞や旧漢字の単語は単語辞書に登録しましょう。
(☞「単語辞書」P.172)

付録

エラー・メッセージ	228
仕様	234
動作環境	236
認識対象文字一覧	237
用語解説	239
アフターサービス	241
索引	243

エラー・メッセージ

エラーメッセージが表示された場合は、下記の表をご覧になり、対策を実行してください。対策を実行しても解決しない場合は、パナソニック P3 カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。(☞「アフターサービス」P.241)

■読み取革命 エラー・メッセージ

メッセージ	原因	対策
英数	-100 ~ 100までの値を入力してください。	シャープネス、明るさ、コントラストのいずれかで、範囲が正しく設定されていません。
	-45.0 ~ 45.0までの値を入力してください。	一括認識ダイアログの傾き補正、画像の手動傾き補正、画像の手動見開き補正、自動画像補正の傾き補正、または傾斜ダイアログの傾斜角のいずれかで、角度の範囲が正しく設定されていません。
	0.01 ~ 4.99までの値を入力してください。	ガンマ補正ダイアログで、範囲が正しく設定されていません。
	1 ~ 7136までの値を入力してください。	リサイズの値が正しく設定されていません。
	1 ~ 8までの値を入力してください。	ページ数の値が正しく設定されていません。
	1文字入力してください。	2文字以上の文字を入力しようとしています。
	20文字以内で入力してください。	入力文字数が20文字を超えています。
	50 ~ 2400までの整数を入力してください。	解像度の範囲が正しく設定されていません。
	100文字以内で入力してください。	101文字以上の文字を入力しようとしています。
	1000ページ以上の入力はできません。	1000ページを以上の画像を入力しようとしています。
あ行	OLEの初期化に失敗しました。OLEライブラリーのバージョンが正しいことを確認してください。	「読み取革命」の動作に必要な環境が整っていません。
	TWAINデバイスが正しく接続されているか、確認してください。	TWAINでエラーが発生しました。
	アクセス権限がないため、アプリケーションを起動できません。	作業フォルダーに対してアクセス権限がないユーザーで起動しようとしています。
	印刷範囲が正しくありません。	印刷範囲が正しく設定されていません。
	お気に入りがありません。	「ファイル管理革命」にお気に入りが存在しません。
か行	解像度が異なるため、結合できません。	指定した2つの画像ファイルの解像度が異なります。
	画像が大きすぎます。	最大サイズ(A4版/600dpi)より大きな画像を読み込もうとしています。
	画像が小さいか、極端に細長いため分割できません。	画像が小さいか、極端に細長いため分割できません。
	画像が入力されていません。	入力済みの画像ファイルがありません。
	画像ファイルが選択されていません。	一括認識ダイアログの画像入力、または入門ウィザードの画像入力で画像ファイルが選択されていません。
	画像ファイルが見つかりません。	選択された画像ファイルが存在しません。

メッセージ		原因	対策
か 行	画面の色の設定を High Color(16 ビット) 以上に設定してください。	画面の色の設定が High Color(16 ビット) 未満に設定されています。	コントロールパネルの画面のプロパティから、画面の色の設定を High Color(16 ビット) 以上の色に変更してください。
	関連づけられたアプリケーションがありません。	指定されたアプリケーションが見つかりません。	指定されたアプリケーションが正しくインストールされているか確認してください。またメモリー不足の場合があります。不要なアプリケーションを終了してから再実行してください。
	罫線が密集しているため認識できません。	表の罫線間隔が狭いために文字認識できません。1cm 中に 20 本以上の罫線が存在するとみなした場合に表示されます。	表領域を複数の表領域に分割して認識してください。表領域を分割してもこのメッセージが表示される場合は、その表領域の文字認識はできません。
	罫線を追加できません。セルの行数または列数の上限を超えるました。	表の行数または列数が上限 98 を超えました。	表の行数または列数を 98 以内にしてください。
	現在の起動モードでは実行できません。	OS が WindowsXP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスの [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオンにした状態で「読み取革命」を起動しようとしました。	OS が WindowsXP で、「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスの [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオフにして「読み取革命」を起動してください。
	この画像は傾きが補正できません。手動で傾き補正をしてください。	領域が複雑なため、画像の傾きを補正することができます。	手動で傾きを補正してください。TWAIN デバイスから画像を入力した場合、画像が傾かないように注意して、画像を再入力してください。
	この形式の画像は読みません。	スキャナーの色設定が 16bit、または 48bit で設定されています。	スキャナーの色設定を 16bit、48bit 以外に設定してください。
	この形式の画像ファイルは読みません。	画像ファイルが壊れているか、または、本ソフトウェアで対応していない形式の画像ファイルを読み込もうとしています。	対応している画像ファイルを読み込んでください。
	この形式のテンプレートは読みません。	本ソフトウェアで対応していない形式のテンプレートを読み込もうとしています。	本ソフトウェアで作成したテンプレートを読み込んでください。
	この文字は登録できません。	ユーザー辞書に登録しようとした文字列に非 JIS コードの文字や記号、または空白が含まれています。	非 JIS コードの文字や記号、空白は入力しないでください。
さ 行	作業用ファイルの保存に失敗しました。不要なファイルを削除してください。	「読み取革命」をインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	「読み取革命」をインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。
	作業用ファイルの読み込みに失敗しました。	作業用ファイルに異常があります。	「読み取革命」を再起動してください。
	辞書が見つかりません。	インストールされた専門用語辞書が、何らかの原因で破棄されてしまいました。	「読み取革命」を再度インストールしてください。
	辞書選択に失敗しました。	選択したファイルが辞書ファイルでないか、または、辞書ファイルに異常があります。	異なるファイルを選択するか、または、選択したファイルを削除してください。
	辞書の読み込みに失敗しました。	辞書ファイルに異常があります。	「読み取革命」を再度インストールしてください。
	システム単語辞書またはユーザー単語辞書に登録済みです。	登録済みの単語を再び登録しようとしています。	同じ単語を登録することはできません。
	指定されたファイルは既に存在します。	「ファイル管理革命」に同じ名前のファイルが既に登録されています。	別の名前を指定して、保存してください。
	指定したアプリケーションへの転送に失敗しました。	指定したアプリケーションの転送中にエラーが発生しました。	指定されたアプリケーションが、正しくインストールされているか確認してください。また、メモリー不足からエラーメッセージが表示される場合があります。不要なアプリケーションを終了し再実行してください。

メッセージ		原因	対策
さ 行	指定のアプリケーションは既に登録されています。	登録しようとしているアプリケーションは既に登録済みです。	アプリケーションの保存先パスを確認してください。
	自動表記線追加に失敗しました。	表が複雑すぎます。	選択範囲を小さくして、再度、実行してください。
	修正後の文字が入力されていません。	「一括修正」ダイアログボックスの「修正後の文字」テキストボックスに文字を入力していません。	「修正後の文字」テキストボックスに修正後の文字を入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
	常駐タスクの設定保存に失敗しました。	読み取り革命デジカメ監視の登録に失敗しました。	本ソフトウェアを再インストールしてください。
	初期化に失敗しました。	実行環境の初期化に失敗しました。	本ソフトウェアを再インストールしてください。
	処理に必要なディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除して再実行してください。	「読み取り革命」をインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	「読み取り革命」をインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。
	既にアプリケーションが起動されています。	「読み取り革命」を多重起動しようとしています。	「読み取り革命」は多重起動できません。
た 行	正しい値を入力してください。 入力値の範囲は、2～400%です。	ページ表示の範囲が正しくありません。	ページ表示の範囲を正しく設定してください。
	単語辞書の保存に失敗しました。	「読み取り革命」をインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	「読み取り革命」をインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。
	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。	「読み取り革命」をインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	「読み取り革命」をインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。また、フォルダーウォッチャーの場合は、出力フォルダーに指定されているドライブから不要なファイルを削除してください。
	データを転送できませんでした。	他のアプリケーションソフトがクリップボードを使用中のため、認識結果の転送ができませんでした。	実行中の他のアプリケーションを閉じたあとで再実行してください。
	転送先アプリケーションに21個以上の登録はできません。 下記の登録を削除しました。	転送先アプリケーションに、21個以上登録しようとしています。	転送先アプリケーションの登録を、20個以内にしてください。
	転送先アプリケーションを指定してください。	一括認識ダイアログの結果保存で転送先アプリケーションが指定されていません。	転送先アプリケーションを指定するか、結果保存の方法を変更してください。
	転送先アプリケーションを登録してください。	「転送先アプリバーの設定」ダイアログボックスで、登録アプリケーションが0の状態で[OK]ボタンを押しました。	転送先アプリケーションを手動で登録してください。
	転送範囲が正しくありません。	転送範囲が正しく設定されていません。	転送範囲を正しく設定してください。
	テンプレートが見つかりません。	指定したテンプレートが見つかりません。	テンプレートの名前、フォルダーネームを確認してください。
	テンプレートを指定してください。	一括認識ダイアログのレイアウトでテンプレートファイルが指定されていません。	テンプレートファイルを指定するか、レイアウトの方法を変更してください。
な 行	認識結果の保存に失敗しました。	指定した形式の保存中にエラーが発生しました。	指定されたアプリケーションが、正しくインストールされているか確認してください。 また、メモリー不足からエラーメッセージが表示される場合があります。不要なアプリケーションを終了してから再実行してください。
	認識した領域がないので文字入力できません。	認識した領域がない場合、文字入力ができません。	認識を行ったあと、文字入力を行ってください。
	認識結果がないため、印刷できません。	認識結果の印刷指定ページに認識結果がないため印刷できません。	認識を行ったあと、認識結果の印刷を行ってください。
	認識できません。	認識対象領域内に文字以外の画像が含まれています。または、手書き文字認識に指定した領域が大きすぎます。	正しく文字領域を設定して認識を行ってください。または、手書き文字認識に指定した領域を小さくして再度認識してください。

メッセージ	原因	対策
は 行	パターン辞書の保存に失敗しました。	「読み取り革命」をインストールしたドライブの空き容量が不足しています。
	表が複雑なため認識できません。	表の構造が複雑すぎるために認識できません。
	ファイル管理革命がインストールされていません。	「ファイル管理革命」をインストール後、再度実行してください。
	ファイルの保存に失敗しました。	保存先のドライブの空き容量が不足しています。
	ファイルの読み込みに失敗しました。	ファイルに異常があります。
	ファイル名には次の文字は使えません。 ¥/:*?"<>	「¥/:*?"<> 」は使用できません。
	ブラウザーの起動に失敗しました。	WWW ブラウザーが正常にインストールされていません。
	分離線の上限を超えるました。 100 個以内にしてください。	文字の分離線の上限 100 個を超えるました。
	ページ数が 1000 ページ以上になるため、実行できません。	実行後のページ数が 1000 ページ以上になります。
	ヘルプファイルが見つかりません。	ヘルプファイルが見つらなかつたため、ヘルプの起動に失敗しました。
ま 行	保存するファイル名を指定してください。	一括認識ダイアログの結果保存で保存するファイル名が指定されていません。
	保存範囲が正しくありません。	画像ファイル、または認識結果保存で、保存範囲に存在しないページ番号を設定しています。
	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。	処理を実行するための十分なメモリーがありません。
や 行	文字が多すぎます。	文字が多すぎるため認識できません。
	文字サイズが大きすぎます。	パターン辞書に登録できる文字画像サイズの上限を超えてます。 または、文字の分離・結合しようとしている文字画像サイズが大きすぎます。
	ユーザー辞書登録数の上限を超えました。	1 つのユーザー辞書に登録できるパターン数、または単語数の上限を超えました。 ユーザー辞書登録数の上限は、単語辞書が 10,000、パターン辞書は 10,000 です。
ら 行	ユーザー定義文字中に認識できない文字があります。	認識できない文字を指定しているため、登録できません。
	領域が複雑なためレイアウトが認識できません。	領域が複雑なためレイアウトが自動認識できません。
	領域中に画像データがありません。	一括認識、または入門ウィザード実行の際に、領域のない画像が含まれています。

■アドインの設定と解除 エラー・メッセージ

メッセージ		原因	対策
英数	Acrobat アドインを設定または解除できません。 管理者ユーザー (Administrator) で行ってください。	Acrobat のアドイン設定と解除は、制限ユーザーでは行えません。	管理者ユーザーで再度実行してください。
	Microsoft Excel の起動に失敗しました。	お使いの環境が不安定な状態になっている可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	Microsoft PowerPoint の起動に失敗しました。	お使いの環境が不安定な状態になっている可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	Microsoft Word の起動に失敗しました。	お使いの環境が不安定な状態になっている可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	OLE の初期化に失敗しました。 OLE ライブラリーのバージョンが正しいことを確認してください。	「アドインの設定と解除」の動作に必要な環境が整っていません。	本ソフトウェアを再インストールしてください。
さ 行	既にアプリケーションが起動されています。	「アドインの設定と解除」を多重起動しようとしています。	「アドインの設定と解除」は多重起動できません。
や 行	読取革命が見つかりません。	「読取革命」が起動できませんでした。	本ソフトウェアを再インストールしてください。
	読取革命の起動に失敗しました。	「読取革命」が起動できませんでした。	本ソフトウェアを再インストールしてください。
	読取革命の情報が見つかりません。	「読取革命」が起動できませんでした。	本ソフトウェアを再インストールしてください。

■クリップボード OCR エラー・メッセージ

メッセージ		原因	対策
さ 行	既にアプリケーションが起動されています。	「クリップボード OCR」を多重起動しようとしています。	「クリップボード OCR」は多重起動できません。
は 行	ブラウザーの起動に失敗しました。	WWW ブラウザーが正常にインストールされていません。	WWW ブラウザーをインストールしてください。
	ヘルプファイルが見つかりません。	ヘルプファイルが見つらなかつたため、ヘルプの起動に失敗しました。	本ソフトウェアを再インストールしてください。

■フォルダーウォッチャー エラー・メッセージ

メッセージ		原因	対策
あ 行	アクセス権限がないため、アプリケーションを起動できません。	作業フォルダーに対してアクセス権限がないユーザーで起動しようとしています。	アクセス権限を追加するか、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーで実行してください。
か 行	監視フォルダーに指定されたパスが見つかりません。	監視フォルダーに指定されたフォルダーが見つかりません。	「環境設定」で存在するフォルダーを指定してください。
	監視フォルダーに指定されたフォルダーへの書き込み権限がありません。 アクセス権の取得については管理者に相談してください。	制限ユーザーで、監視フォルダーに書き込み不可のフォルダーを指定しました。	書き込み可能なフォルダーを指定してください。
	監視フォルダーのパスが長すぎます。	指定可能なパスの長さを超えています。	指定可能な長さの範囲で指定してください。
	監視フォルダーを指定してください。	監視フォルダーが指定されていません。	「環境設定」で監視フォルダーを指定してください。

メッセージ		原因	対策
さ 行	既にアプリケーションが起動されています。 実行中にエラーが発生しています。 確認してください。 出力フォルダーに指定されたパスが見つかりません。 出力フォルダーに指定されたフォルダーへの書き込み権限がありません。 アクセス権の取得については管理者に相談してください。 出力フォルダーのパスが長すぎます。 出力フォルダーを指定してください。 前回実行中にエラーが発生しています。 確認してください。	「フォルダーウォッチャー」を多重起動しようとしています。 認識処理中に問題が発生し、処理を中止しました。 出力フォルダーに指定されたフォルダーが存在しません。 制限ユーザーで、出力フォルダーに書き込み不可のフォルダーを指定しました。	「フォルダーウォッチャー」は多重起動できません。 状態ウィンドウに表示されるログを確認し、問題を解決してください。 「環境設定」で、存在するフォルダーを指定してください。 書き込み可能なフォルダーを指定してください。 指定可能な長さの範囲で指定してください。 「環境設定」で出力フォルダーを指定してください。 状態ウィンドウに表示されるログを確認し、問題を解決してください。
た 行	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。 ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。 監視を中断しました。	「読み取り革命」をインストールしたドライブの空き容量が不足しています。 空き容量が不足したため、監視処理を中止しました。	「読み取り革命」をインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。 また、フォルダーウォッチャーの場合は、出力フォルダーに指定されているドライブから不要なファイルを削除してください。 出力フォルダーに指定されているドライブから不要なファイルを削除してください。
は 行	フォルダー監視間隔には1～60までの数字を指定してください。 フォルダー監視間隔を指定してください。 ヘルプファイルが見つかりません。	フォルダー監視間隔に1～60以外の数値、または文字列が指定されています。 フォルダー監視間隔が指定されていません。 ヘルプファイルが見つらなかつたため、ヘルプの起動に失敗しました。	1～60までの半角数字を入力してください。 「環境設定」で、フォルダー監視間隔を指定してください。 本ソフトウェアを再インストールしてください。
ま 行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。 メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。 監視を中断しました。	処理を実行するために十分なメモリーがありません。 メモリー不足のため監視処理を中止しました。	不要なアプリケーションを終了してから、再度実行してください。 この操作で解決しない場合は、仮想メモリーを拡大するか、メモリーを増設してください。 (Windowsやご使用のパソコンの説明書を参照してください。)

入力画像	解像度	50 ~ 2,400dpi(400dpi を推奨)																																																																																
	原稿サイズ	・最大 A4 版 (600dpi の場合) 　・最大 A3 版 (400dpi の場合)																																																																																
	ファイル書式	<ul style="list-style-type: none"> ・TIFF 形式 (非圧縮 /G3/G4/JPEG/Exif/PackBits)(*.tif/*.tiff) ・ペイントブラシファイル (*.dcx/*.pcx) ・Kodak 形式 (*.fpx/*.pcd) ・Icon および Cursor ファイル (*.ico/*.cur/*.ani) ・Windows メタファイル (*.wmf/*.emf) ・XpicMap (*.xpm) ・Windows AVI (*.avi) ・Dr. Halo (*.cut) ・Portable Network Graphics (*.png) ・Encapsulated PostScript (*.eps) ・WordPerfect (*.wpg) ・XBit Map (*.xbm) ・Silicon Graphics Image (*.sgi) ・Adobe PDF ファイル (*.pdf) ≈ 1 ・Graphic Interchange Format (*.gif) ・DocuWorks バインダー文書 (*.xbd) ≈ 2 <p>※ 1 : Adobe PDF ファイルを入力する場合は、別途、対応する Adobe Acrobat または Adobe Reader をインストールする必要があります。</p> <p>※ 2 : *.xdw/*.xbd ファイルを入力する場合は、別途、富士ゼロックス社の DocuWorks 6 をインストールする必要があります。</p>																																																																																
画像編集	<ul style="list-style-type: none"> ・消去 ・傾き補正 ・シャープネス ・長方形化 ・消しゴム 	<ul style="list-style-type: none"> ・色の反転 ・回転 ・エッジ強調 ・カラーフィルター ・トリミング ・上下反転 ・減色 ・カラードロップアウト ・ノイズ除去 ・左右反転 ・明るさ ・コントラスト ・カット ・傾斜 ・リサイズ ・ガントマ補正 ・一括画像編集 ・作図 																																																																																
日本語 文字認識	対象書体	マルチフォント (明朝体, ゴシック体, 教科書体, ワープロ体, 新聞文字 など)																																																																																
	対象文字種	約 4,000 字 英字, 数字, ひらがな, カタカナ, 記号, 第 1 水準漢字, 第 2 水準漢字の一部 (551 字), ギリシャ文字の一部 (ユーザー登録も可)																																																																																
	対象文字 サイズ	6 ~ 60 ポイント (400dpi の場合)																																																																																
	単語辞書	約 140,000 語 (ユーザー登録も可能)																																																																																
	専門用語辞書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">ジャンル</th> <th style="text-align: center;">単語数</th> <th style="text-align: center;">ジャンル</th> <th style="text-align: center;">単語数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CAD</td> <td>1,342 語</td> <td>軍事</td> <td>22,500 語</td> </tr> <tr> <td>LAN</td> <td>3,077 語</td> <td>計測・精密機械</td> <td>1,996 語</td> </tr> <tr> <td>インターネット</td> <td>942 語</td> <td>建築</td> <td>11,239 語</td> </tr> <tr> <td>エネルギー</td> <td>3,153 語</td> <td>原子力</td> <td>3,717 語</td> </tr> <tr> <td>ガス・ガス設備全般</td> <td>8,753 語</td> <td>光学・カメラ・レンズ</td> <td>2,631 語</td> </tr> <tr> <td>テレコミュニケーション</td> <td>7,458 語</td> <td>航空工学・エアロスペース</td> <td>71,672 語</td> </tr> <tr> <td>パソコン・パソコンソフト</td> <td>4,430 語</td> <td>情報工学・一般情報処理</td> <td>52,227 語</td> </tr> <tr> <td>ビジネス</td> <td>48,912 語</td> <td>生物化学・バイオ関連</td> <td>18,214 語</td> </tr> <tr> <td>プラント</td> <td>20,505 語</td> <td>繊維・衣服</td> <td>3,310 語</td> </tr> <tr> <td>マッキントッシュ</td> <td>1,414 語</td> <td>船舶</td> <td>9,239 語</td> </tr> <tr> <td>レーダー</td> <td>893 語</td> <td>鉄道</td> <td>1,320 語</td> </tr> <tr> <td>医学・薬学</td> <td>199,992 語</td> <td>電気・電子</td> <td>22,507 語</td> </tr> <tr> <td>化学・有機</td> <td>11,046 語</td> <td>半導体</td> <td>3,092 語</td> </tr> <tr> <td>科学・一般自然科学</td> <td>19,370 語</td> <td>飛行機・ヘリ</td> <td>4,618 語</td> </tr> <tr> <td>環境・エコロジー</td> <td>2,814 語</td> <td>物理</td> <td>3,140 語</td> </tr> <tr> <td>機械・メカトロ</td> <td>20,431 語</td> <td>物流 (ロジステック)</td> <td>2,275 語</td> </tr> <tr> <td>気象</td> <td>1,491 語</td> <td>米軍事規格</td> <td>10,898 語</td> </tr> <tr> <td>金属・鉱物</td> <td>5,066 語</td> <td>法律</td> <td>4,503 語</td> </tr> <tr> <td>金融</td> <td>2,357 語</td> <td>輸入車マニュアル</td> <td>3,323 語</td> </tr> </tbody> </table>	ジャンル	単語数	ジャンル	単語数	CAD	1,342 語	軍事	22,500 語	LAN	3,077 語	計測・精密機械	1,996 語	インターネット	942 語	建築	11,239 語	エネルギー	3,153 語	原子力	3,717 語	ガス・ガス設備全般	8,753 語	光学・カメラ・レンズ	2,631 語	テレコミュニケーション	7,458 語	航空工学・エアロスペース	71,672 語	パソコン・パソコンソフト	4,430 語	情報工学・一般情報処理	52,227 語	ビジネス	48,912 語	生物化学・バイオ関連	18,214 語	プラント	20,505 語	繊維・衣服	3,310 語	マッキントッシュ	1,414 語	船舶	9,239 語	レーダー	893 語	鉄道	1,320 語	医学・薬学	199,992 語	電気・電子	22,507 語	化学・有機	11,046 語	半導体	3,092 語	科学・一般自然科学	19,370 語	飛行機・ヘリ	4,618 語	環境・エコロジー	2,814 語	物理	3,140 語	機械・メカトロ	20,431 語	物流 (ロジステック)	2,275 語	気象	1,491 語	米軍事規格	10,898 語	金属・鉱物	5,066 語	法律	4,503 語	金融	2,357 語	輸入車マニュアル	3,323 語
ジャンル	単語数	ジャンル	単語数																																																																															
CAD	1,342 語	軍事	22,500 語																																																																															
LAN	3,077 語	計測・精密機械	1,996 語																																																																															
インターネット	942 語	建築	11,239 語																																																																															
エネルギー	3,153 語	原子力	3,717 語																																																																															
ガス・ガス設備全般	8,753 語	光学・カメラ・レンズ	2,631 語																																																																															
テレコミュニケーション	7,458 語	航空工学・エアロスペース	71,672 語																																																																															
パソコン・パソコンソフト	4,430 語	情報工学・一般情報処理	52,227 語																																																																															
ビジネス	48,912 語	生物化学・バイオ関連	18,214 語																																																																															
プラント	20,505 語	繊維・衣服	3,310 語																																																																															
マッキントッシュ	1,414 語	船舶	9,239 語																																																																															
レーダー	893 語	鉄道	1,320 語																																																																															
医学・薬学	199,992 語	電気・電子	22,507 語																																																																															
化学・有機	11,046 語	半導体	3,092 語																																																																															
科学・一般自然科学	19,370 語	飛行機・ヘリ	4,618 語																																																																															
環境・エコロジー	2,814 語	物理	3,140 語																																																																															
機械・メカトロ	20,431 語	物流 (ロジステック)	2,275 語																																																																															
気象	1,491 語	米軍事規格	10,898 語																																																																															
金属・鉱物	5,066 語	法律	4,503 語																																																																															
金融	2,357 語	輸入車マニュアル	3,323 語																																																																															
英語 文字認識	対象書体	マルチフォント (Century, Helvetica, Courier など斜体も可)																																																																																
	対象文字種	101 字 英字, 数字, 記号																																																																																
	対象文字 サイズ	6 ~ 60 ポイント (400dpi の場合)																																																																																
レイアウト認識	対象文書	印刷文書																																																																																
	抽出する領域	文字領域 (縦書き / 横書きを自動判定), 表領域, 図形, 画像																																																																																
表認識	対象とする表	縦罫線と横罫線からなる表																																																																																
	対象線種	実線類, 点線類, 破線類, 鎮線類																																																																																
	行列の最大値	98 行 × 98 列 (セル数 = 9,604 個)																																																																																

図形認識	対象とする 画像	連続した面、および線が濃い単色で描画された線画
	対象線種	直線、ベジェ曲線、円弧
	出力色	各輪郭線の内部、および各中心線ごとに1色
	線幅	線幅の出力は1種類(線幅の再現は行わない)
認識結果 出力形式	転送	Microsoft Word(2000 / 2002 / 2003) Microsoft Excel(2000 / 2002 / 2003) Microsoft PowerPoint(2000 / 2002 / 2003) 一太郎(13 / 2004 / 2005) Adobe Reader(6 / 7)、Adobe Acrobat(6 / 7) Internet Explorer5.0以上 Netscape Navigator7.0以上(XMLは非対応) メモ帳などのテキストエディター その他(クリップボードに出力)
	クリップボーダー経由	Windowsに対応したアプリケーション
	ファイル書式	TXT, CSV, RTF, JTD(一太郎13/2004/2005), DOC(Word2000/2002/2003) XLS(Excel2000/2002/2003), PPT(PowerPoint2000/2002/2003), HTML, XML, PDF
	画像出力形式	ファイル書式 ・BMP形式 ・PCX形式 ・TIFF形式(非圧縮/G4/JPEG) ・DCX形式 ・JPEG形式
アドイン対象 アプリケーション		・Microsoft Word(2000 / 2002 / 2003) ・Microsoft Excel(2000※ / 2002 / 2003) ・Microsoft PowerPoint(2000 / 2002 / 2003) ・Adobe Acrobat(6 / 7) ※ Microsoft Excel 2000は、SR-1以上に対応しています。
その他	機能	・文字列の検索 ・文字列の置換 ・文字列の全角→半角変換 ・文字列の半角→全角変換 ・文字列の置換 ・作図 ・自動罫線追加

スキャナー・ デジタルカメラ (当社における 動作確認状況)	<p>▶スキャナー (TWAIN 対応機種)</p> <p>松下電器 KV-2026C / 2046C / 7065CN</p> <p>キヤノン CanoScan 9950F / 9950FV / 8200F / 8400F / 8400FV / 5200F / 9900F / 3000F / LiDE500F / LiDE500FV / LiDE60 / LiDE80 / LiDE40 / 8000F / 5000F / 5000 / 5400F / LiDE50 / LiDE30 / LiDE20 / D2400UF / D2400U / D1230U / D646U / D1250UF / D1250U2 / N1240U / N676U, PIXUS MP900 / 790 / 770 / 730 / 370</p> <p>エプソン CC-600PX, ES-2200 / 6000 / 10000G, GT-7200U / 7300U / 7400U / 8200U / 8300UF / 8400UF / 8500WIN / 9300UF / 9400UF / 9700F / 9800F, GT-F500* / 520* / 550* / 570* / 600, GT-X700 / 750 / 800, PM-A850 *メーカーダイアログから、マルチフォトフィーダを利用してもの連続読み込みは行えません。</p> <p>日本 HP HP PSC 1315 / 2355 / 2450, HP Photosmart 2710, HP Officejet 7210</p> <p>Lexmark X2250 / 5270 / 6170</p> <p>ブラザー MFC-410CN / 5840CN, DCP-1000J</p>
デジタルカメラ	<p>▶デジタルカメラ</p> <p>松下電器 Lumix DMC- LC1/LC5 / LC20 / LC33 / LC40 / LC43 / LC70 / F1 / F7 / FZ1 / FZ2 / FZ3 / FZ10 / FZ20 / FX1 / FX2 / FX5 / FX7 / FX8 , D-snap SV-AS10</p> <p>キヤノン IXY Digital 200 / 200a / 30a / 300a / 320 / 400 / 450 / 500 / 55 / L, Power Shot A20 / A30 / A40 / A60 / A70 / A80 / A85 / A95 / A100 / A200 / A300 / A400 / G2 / G3 / G5 / G6 / Pro1 / S1 IS / S40 / S45 / S50 / S60 / S70</p> <p>カシオ QV-3500EX / 2400UX / R4 / R40, GV-20, EXILIM EX-P600 / S2 / S3 / S20 / Z3 / Z40 / Z500</p> <p>リコー Caplio 400Gwide / GX / RR1 / RX</p> <p>エプソン CP-920Z, PhotoPC Link L-300 / L-400</p> <p>コダック DCS Pro 14n, EasyShare LS743 Zoom</p> <p>コニカ Revio C2, Digital Revio KD-310Z / 400Z / 500Z / 510Z, DiMAGE A1 / F200 / F300 / G400 / G530 / G600 / Xg / Xt / X20 / X50 / Z1</p> <p>ミノルタ</p> <p>富士写真 FinePix4500plus / 4800Z / 6800Z / 30i / 50i / A202 / A203 / A210 / A303 / A310 / A330 / A340 / A345 / E510 / E550 / F401 / F402 / F410 / F420 / F440 / F450 / F601 / F610 / F700 / F710 / F810 / M603 / S304 / S602 / S5000 / S7000 / S2Pro, BIGJOB DS270HD</p> <p>三洋電機 DSC-SX560 / MZ1 / MZ2 / MZ3 / AZ1 / AZ3 / J1 / J2 / J4 / S1 / S3 / S4, DMX-C1 / C4</p>
	<p>※各機種の対応 OS は製造元へお問い合わせください。</p> <p>※上記以外の機種についても、順次確認予定です。</p> <p>なお、最新の動作確認機種につきましては、「読み取革命」のホームページをご覧ください。 (http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/yomikaku/index.html)</p>

動作環境

コンピューター本体	Pentium III以上のCPUを搭載したパソコンコンピューター (インストール時にCD-ROMドライブが必須)
基本ソフトウェア	Windows 2000 Professional 日本語版, Windows XP Home Edition 日本語版, Windows XP Professional 日本語版
最小稼動メモリー	128MB(256MB以上を推奨)
ハードディスク	240MB以上の空き容量
ディスプレイ	800×600以上(1024×768以上を推奨)、High Color(16ビット)以上

認識対象文字一覧

► 日本語文字認識

英字 52 字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

数字 10 字

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

ひらがな 82 字

ああいいうええおかがきくげけこござじしずせぜそぞただぢぢつづてとどなにぬねのはばひびひふふふへべへほほぼまみむめもややゆゆよよりりるれろわぬゑをん

カタカナ 85 字

アアイイウウェエオオカガキグケケゴサザシスズセゼソゾタダチヂツツヅテデトドナニヌネノハバ
パヒビビフブブヘベベホボポマミムメモヤヤユヨヨラリルレロワキエランヴ

ギリシャ文字（一部） 32字

Γ Θ Λ Ξ Π Σ Υ Φ Ψ Ω

α β γ δ ε ζ η θ ι λ μ ν ε π ρ σ τ υ φ χ ψ ω

JIS 記号の一部 151 字

1 2 3 4 5 6 7 8 9

JIS 第一水準漢字 2,965 字

亞哩娃阿哀愛始逢葵茜蘿惡握渥旭葦芑蘚梓压斡宛姐虻飴絢鮎或粟裕安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉因夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胄萎藜衣謂違遺医并亥域育郁磯一毫溢逸稻茨芋觸允印咽員因姻引飲淫胤蔭院陰隱韻吐右宇烏羽迁雨卯鶴窺丑碓白渦噓噴鬱蔚鰐姥厥浦瓜閼蹲云運雲往餉叡當嬰影曳矣永泳洩瑛盈穎頤英衛詠銳液疫益駢也悅謁越閻榎厭圓壘奄宴近掩援沿演炎焰煙猿猿綠艷苑蘆遠鉛鷺塗於污甥凹央與往忬押旺橫歐殿王翁襖鸞鳴黃岡冲荻億屋憶膽桶牡乙僕卸恩溫穩音下化佢何伽佃佳可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂禍禾稼箇花芍荷華菓蝦課陣喧貲迦過霞蚊俄哦我牙画臥芽蛾賀雅餓驚介會解回塊壞廻快怪悔恢懷戒拐改韁晦械海界界皆絆芥蟹開階貝凱効外亥害崖慨概淮碍蓋街該鎧駭涅鑿蛙垣柿蛎鈎釣嚇各廓扒撐格核殼獲確獲覺角赫較郭閣隔革学岳某額頭掛笠櫻糧梶鴻割喝恰括活渴滑葛褐轄且鰣叶枕桦株兜甯蒲金鑑嚙鴨枯茅萱薯汎刈瓦乾侃冠寒刊勤勸卷喚堪蟻完官實干幹患感憤憾換敢柑桓棺款歡汎漠潤灌環甘監看竿管簡綴缶肝軀莞諫貫還鑑閑閨陷韓館丸含岸巖玩癌眼岩覩鷹雁頤頤願企伎危惡器基嬉岐希幾忌揮旗既期棋棄機帰氣汽畿祈季稀紀微規記責起軋驛飢騎鬼鬼偽儀妓宜戲技擬欺儀疑祇義議誼掬菊鞠吉吃喫桔橋詰砧杵却客腳虎虐丘仇休及吸宮弓急救朽求汲泣父究容窮笈級糾給牛生居曰拒拏拳業虛許距鋸鉛禦漁亨享京供俠儻競共協匡卿叫喬境峽強彊怯恐恭抉教橋況狂狹蟠胸脅興蒿鄉饗譽饗驚凝曉業局曲極玉桐杆僅勻巾鉢斤欣欽琴禁禽筋繁芒蘆衿襟禁近金銀九鉢久句勾狗致矩軀駢駢具患虞喰空側寓遇隅串櫛釧層屈掘窟沓靴轡壅能隈衆栗乘纁斂君薰訓群軍郡卦契祁係傾刑兄啓圭圭型契形徑惠慶慧揚揭攜啟景桂溪畠稽系經繼繫野茅荊蚩計詣警輕頽鴉芸迎鯨劇戰擊激斂荷傑欠決潔穴結血訣月件俟倦健兼券劍喧圍堅嫌建憲懸拳捲檢權牽犬獻研硯絹具肩見謙賢軒遣鍵驗驗歲元原巖幻弦減源玄現絃舷言諺限乎個古呼固姑孤己庫弧戶故枯湖狐糊替股胡菰虎誇跨鈔顧鼓五互伍午吳吾娘後御梧櫓湖碁語誤護酶乞鯉交佼候倅光公功勳勾厚口向后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘恒慌抗拘控攻克昂晃更杔校梗構江洪浩港溝甲皇硬稿糠紅絃綱耕考肯肱腔膏荒行衡講貢購郊鄰鈸鉛鋼閣降項香高鴻剛劫号合壕掠豪轟翹克刻告国穀酷鴉黑獄灑腰餕忽惚骨泊込此頃今困坤墾婚悔懇昏昆艮根瘤混痕紹良魂些佐又唆嵯左差查沙瑳砂許鎖坐生座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歲濟采犀碎若祭斎細菜裁載際剤在材罪財汎坂阪柳着咲崎磅礪鷺作削乍擗乍蒴柵窄策索錯櫻鮭筐匙冊刷察攝撮擦札殺薩雜臯鯖錯鉤鮫皿晒參山慘撤散桟燐燐珊瑚算纂蚕讚賛酸餐斬暫残仕仔伺使刺司史嗣四土始姪姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止死氏鄉祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試詰賚資賜雌鯉齒事似侍兒字寺慈持時次滋治爾璽垂磁示而耳自時辞汐鹿式識鳴竺軸秉素七叱執失嫉室悉湿漆疾質美蔀篋像柴芝屢蕊縞舍寫射捨放斜煮社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌錫若寂弱惹主取守手朱狩珠種腫酒首儒受呪授樹綏需囚收周宗就州修繕習舟菟衆襲譬跋輯迴酉酬集醜配住充十從戎柔汁汎獸縱重銃叔夙宿祝縮虛墾熟出術述俊峻春瞬竣舜駿准循柄徇淳準潤盾純巡遵醇順初所暑署者庶緒署書薯諸助叙女序徐怨鋤除傷償勝匠升召商唱嘗獎妥姐宵将小少尚庄府廠彰承招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵沼消涉湘燒焦照症省硝礁祥称章笑紹菖蔔蕉衝嘗証詔詳象賞錠鍾鐘障鞘上丈丞乘冗剝城場壤壤當情擾杖淨置豐穢蒸讓饗錠囑埴飾拭植燭織職色触食辱夙伸信侵唇姪寢審心慎振新晋森樸浸深申疹真神秦紳臣芯薪親詮身辛進針震人仁刀屢千尋甚尽賢罰迅陣勒荀譯須酢回厨廻吹垂伸推水吹唾粹袁衰遂醉錐雖隨瑞崇嵩數趣趨搬据衫相官頤雀雀澄擣世瀨畠是凜制勢姓征性成政整星晴棲栖正清性生盛精聖聲製西誠誓請逝世青靜齊税脆隻席惜戚斥昔析石積籍續育責赤跡蹟碩切拙接摸折設芻節說雪絕舌蟬仙先占宣專尖川戰扇撰栓栴泉淺洗染潛煎煽旋穿箭線織羨腺脢船薦詮賤踐選遷錢銘鮮前善漸然全禪繕膳帷贈塑帽指曾楚楚疏疎袒祖粗素組蘇訴阻遜鼠僧創双叢倉喪壯

奏爽宋屢匝忽想搜挿搔操早曹巵榼槽漕燥争瘦相窓糟綜聰草莊葬蒼藻裝走送遭鎗霜騷像增憎藏貳造促側則即息捉束測足速俗屬賊族統卒袖其削存孫尊損村遜他多太太訖唾墮妥惰打杠舵槳陀馳騷体堆对耐岱帶待急態戴替泰滯胎腿苔袋貳退遠隊黛鯛代台大第醍題鷹淹蘿犬啄宅托𠀤拓沵灌琢託鐸濁諾葺廄哨只叩但達辰奪脫翼堅辿棚谷裡鰐樽誰丹單嘆坦探且歎淡湛炭短端筆綻耽胆蛋誕鍛団壇彈斷暖壇段男談值知地弛恆智池痴稚置致蜘遲馳築畜竹筑蓄逐秩室茶嫡着中仲宙忠抽疊柱注衷袁註酌鑄駐鴻猪猪苧著貯丁兆潤喋寵帖帳弔張彥徵懲挑嘲朝潮牒町眺聰脹腸蝶調諜超跳銚長頂鳥勸𠀤直朕沈珍賁鎮陳津墜椎槌追鎗痛通塚栴拘靣漬柘杜蒼綴鰐椿漬坪壺襦紳爪呑釣鶴亭低停偵刹貞呈提定帝底庭廷弟悌抵挺提梯汀碇禎程綱船訂諦躋邇鄭釤鼎泥摘擢敵滴的笛適鎗溺哲徹轍迭鎧典填天展店添纏甜貼転顛点伝殿澱田電霓吐堵塗妬徒斗杜渡登菟賄賭途都鍛砾研努度土奴怒倒党冬凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭東桃榜棟盜淘湯沸燈當痘等答筒糖統到董蕩藤討擔豆踏逃透鎗陶頭攏閻衝動同堂導憧撞洞瞳童荀道銅峠鴇匿得德流特督禿毒獨詭析椽凸突般屆鳶苦寅酉瀝嶺中惇敦汎豚遁頓吞暈量純余那內乍仄難謎難捺鍋楂牽繩南楠軟難汝二尼式迹匱匱肉虹廿日乳入如尿菲任妊忍認濡禡祢寧貓熱年念捻燃燃點乃迺之埜囊惄濃納能脳膾農覲蚤巴把播霸杷波簪破婆罵芭馬俳舜排排敗杯盜牌背肺輩配倍培媒煤模煤殞買壳賄陪這蠅秤矧萩伯剥柏博泊白箔舶薄迫曝漠爆縛莫駁麦函箱箇奢肇苦爐蟠嘴烟昌八鉢澆發醜髮伐罰拔箇閻鳴嘶培蛤隼伴判半反叛帆搬班板汎沉班犯班畔繁般藩販範采煥頰飯挽晚番盤簪蕃蛮卑否妃庇彼悲屏批斐比疚皮碑秘紳罷肥被誹避非飛幡簸尾微杜昆眉羨美鼻衿裨匹正彫膝菱萎肘弼必畢筆逼槌姬媛紐百謬俵標水漂瓢票表評鷗廟捕病草苗錨鈷蛭鱈品彬斌汎瀕貧資頻敏瓶不付埠夫婦富布府怖扶數斧普浮父符腐膚美譜負賦赴阜附侮撫舞武舞蕪部封楓楓葛落伏副復幅服福腹複渡弗卑弘拂惑物附分吻噴噴憤焚奮粉糞霧文間丙內兵幣幣平弊柄並蔽閉陞米貢僻壁僻碧別脣蔻箇偏審片篇編返遍便勉婉弁鞭保舖圃捕步甫輔穗慕墓慕戊暮母簿苦倣俸包呆報奉宝峰峯崩抱抱放方朋泡烹抱縫胞芳萌蓬蜂褒訪豐邦鉀飽鳳鵬乏亡傍坊妨幅忙房望最ヨリ棒冒紡肪謀貌貪鉀防吠頃北僕ト墨撲朴牧睦鈔勃沒治堀幌奔本翻凡益摩磨麻理妹昧枚每哩模幕膜枕鮪枉鱗枊亦俣抹未沫迄尙繭磨万慢滿漫蔓味未魅已箕呻密蜜湊藐稔脈妙民眠務夢無牟矛霧鶴棕娘冥名命明盟迷銘鳴姪牝免棉綿面麵摸模茂妄孟毛猛盲網耗蒙儲木默目柰勿勿尤戾矜貴問悶紋門匁也治夜爺耶野弥矢厄役約葉訖躍靖柳鞍鑑偷愈油癒輸輸唯佑優男友有幽悠憂捐有袖湧涌猶猷由祐誘遊邑郵雄融夕予余与誉輿預傭幼妖容庸揚搖擁曜楊様洋溶熔用窯羊耀葉蓉要謠誦逕陽養慾抑欲沃浴翌翼淀羅螺裸來萊賴雷洛絡落酪亂卯嵐欄濫藍蘭覽利吏履李梨理琉璃裏裡離陸律率立簪掠掠劉流溜琉疏粒隆竜龍侶旅虜了亮僚尚凌寮料梁涼猶療稜糧良諒遼量領力綠倫厘林淋燧琳臨輪鱗鱗瑠墨累類令伶例冷利領嶺怜玲礼苓鈴隸零靈麗齡曆歷列劣烈裂廉心憐漣糠練聯蓮連鍊呂魯魯櫓炉賂路露旁婁廊弄樓榔浪漏牢狼筆老聾蟬郎六麓祿肋錄論倭和話歪賄脇惑鷺互亘鰐詫藁蕨椀湾碗腕

JIS 第二水準漢字 JIS 第 2 水準 551 字

►英語文字認識

英字 52 字

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

数字 10 字

0123456789

記号 39字

!"#\$%&'()*+,-./;:<=?@[\]^_{}~£¥§«¬°±»

ADF	Auto Document Feeder の略。原稿を自動的に連続して読み込むことができる装置。	FPX	Hewlett-Packard 社、Eastman Kodak 社、Live Picture 社、Microsoft 社が共同で開発した Flash Pix という画像ファイル形式のひとつ。複数の解像度のデータを 1 つのファイルに持ち、出力に応じて適切な解像度で表示をすることができる。
ANI	アニメーションのカーソルファイルに与えられる拡張子。	GIF	Graphics Interchange Format の略。CompuServe 社で開発された画像形式。256 色までの画像を保存することができる。
AVI	Audio Video Interleaved Format の略。RIFF 仕様を採用したサウンドや動画のための Windows マルチメディアファイル形式。	HTML	Hyper Text Markup Language の略。文章の中に画像や音声、動画にリンクを持たせ、クリックすることで関連項目を表示することができる。インターネットのブラウザーで閲覧することができる。
BMP	画像ファイルの書式のひとつ(ビットマップ)。画像ファイルを扱うアプリケーションソフトの多くが対応している。	ICA	IBM によって開発されたファイル形式。「読み取革命」では MO:DCA 形式 CCITT Group3 または Group4 画像の IOCA ファイルと MO:DCA なしの形式に対応している。
CLP	Windows のクリップボードの内容を保存したファイル形式。	ICO	アイコンファイルに与えられる拡張子。
CSV	表計算ソフトで使用するファイル書式。Microsoft Excel や Lotus1-2-3 などで使用できる。	IFF	コモドール社製のアミガシステムとファイルのやりとりをする場合に使用される形式。グラフィックス以外に音声の保存も可能。
CUT	Dr.Halo ファイル形式の 1 つで、デバイス非依存型の画像ファイル。	ITG	Intergraph 社の ITG で単色のビットマップ形式で保存される。
CUR	カーソルファイルに与えられる拡張子。	JPEG	Joint Photographic Coding Experts Group の略。カラー静止画像の圧縮方式の国際規格。フルカラー画像のファイルサイズを小さく抑えるためによく用いられる。「読み取革命」では、JTIF/JFIF/ プログレッシブ JPEG/Exif 形式の読み込みが可能。
DCF	Design rule for Camera File system の略。日本電子工業振興協会の規格。デジタルカメラ、および関連機器における画像ファイル、画像に関するファイルの記録、再生など取り扱いに関する仕様。	JTD	ワープロ・ソフトで使用するファイル書式。一太郎で使用できる。
DCX	米 Zsoft 社が開発した複数ページ対応のビットマップファイルフォーマット。PC 用のビットマップアプリケーションの多くが対応している。	PBM	Portable Bitmap Utilities で定義されている 3 つのファイル形式のひとつ。pbm はモノクロファイル形式となる。
DOC	ワープロソフトで使用するファイル書式。Microsoft Word で使用できる。	PCD	Eastman Kodak 社と Philips 社が共同で開発した PhotoCD という CD-ROM の規格。写真画像をデジタルデータとして収録することができる。
EMF	EMF(Enhanced Meta File) は図や絵などクリップアートを保存する画像ファイル形式。	PCT	Macintosh で一般的な画像ファイル形式。QuickDraw で使用される。
EPS	EPS(Encapsulated PostScript file) は、解像度の低いディスプレイでの表示用データを内部に持った PostScript ファイル形式。		
FXS	画像ファイル形式のひとつ。Delrina 社によって開発された FAX 形式の画像フォーマット。		
FLC	Autodesk 社のソフトウェアで使用される動画ファイル形式。		

PCX

米 Zsoft 社が開発したビットマップファイルフォーマット。海外で幅広く使用されている画像ファイルの書式の 1 つ。PC 用のビットマップアプリケーションの多くが対応している。

PDF

Portable Document Format の略。Adobe Systems 社が開発し、特定のプラットフォームに依存せずに表示することができる。

PNG

Portable Network Graphics の略。GIF 形式よりも多くの色数が扱え、圧縮してもデータの損失がない。現在 WEB 上で使われる GIF や JPEG に代わるものと言われている。

PPT

プレゼンテーションソフトで使用するファイル書式。Microsoft PowerPoint で使用できる。

Proxy

「代理」の意。
企業などの LAN 環境からインターネットにアクセスする場合、直接アクセスせずに、代理としてインターネットの接続をプロキシサーバーが行う。

PSD

Adobe Systems 社の Adobe Photoshop で作成されたファイル形式。

RAS

SUN Raster 形式で、UNIX ではごく一般的に使用されるファイル形式。

RGB

光の 3 原色をコンピューターで表現する表記法の 1 つ。R(赤)、G(緑)、B(青) の組み合わせですべての色が表現できる。

RTF

Rich Text Format の略。文字サイズなどの文字属性を含む文書情報を記述したファイル書式。Microsoft Word、ワープロ・ソフトなどで使用できる。

SGI

Silicon Graphics 社のワークステーションで作成された RGB 形式のファイル。

TGA

Truevision 社のグラフィックボードで使用されていた画像形式。TGA は Targa のビットマップ形式ファイル。

TIFF

Tag Image File Format の略。この書式ではファイルを圧縮して保存することができる。複数の圧縮形式に対応しているが、「読取革命」では G3、G4 圧縮、非圧縮、Exif、PackBits の形式の読み込み、非圧縮、JPEG 圧縮および G4 の保存に対応している。

TWAIN

Tool Without An Interesting Name の略。このシステムをパソコンに組み込むことで、TWAIN デバイス (イメージスキャナー)、デジタルカメラなどを使用することができる。

TXT

文字データを扱うための基本的なファイル書式 (テキスト)。ワープロ・ソフトなど、文字を扱うアプリケーションソフトで使用される。

WMF

WMF(Windows Meta File) は図や絵などクリップアートを保存する画像ファイル形式。

WPG

コーレル社の Draw 系ソフトやワードプロセッサーで使用されるファイル形式。

XBD

富士ゼロックス社の DocuWorks バインダー文書。「読取革命」は DocuWorks 6 に対応している。

XBM

MIT で開発された X Windows システムで使用されるカーソルとアイコン用のファイル形式。

XDW

富士ゼロックス社の DocuWorks 文書。「読取革命」は DocuWorks 6 に対応している。

XLS

表計算ソフトで使用するファイル書式。Microsoft Excel で使用できる。

XML

eXtensible Markup Language の略。文字、画像、動画、音を統合管理し、統一した操作性で処理するための形式。

XPM

X Windows システムで使用される X PixMap 形式。メモ帳などで表示できる。

XWD

X Windows システムで画面上のウィンドウの内容を保存するファイル形式。

チェックボックス

オプション項目の選択や非選択を決めるボックス。

ラジオボタン

グループの中から 1 つの項目を選択するボタン。

アフターサービス

本製品に対するご意見、ご質問は、下記にお問い合わせください。
お問い合わせに対するご返答に多少時間を頂戴する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

名称	P3 カスタマーサポートセンター 電話・FAXによるお問い合わせ窓口です。
TEL	03-3436-1888
FAX	03-3436-1889
受付時間	月曜日～金曜日（土日・祝日を除きます） 10:00～12:00、12:45～17:00

お願い

お問い合わせの際は、ご質問内容と併せて、次ページの「サポート依頼書」の項目を弊社窓口までお知らせ願います。

【サポート依頼書】

整理番号： —

お問い合わせ日	年 月 日	品番	PTS-RPN0101
お買い上げ日	年 月 日		PTS-RPV0101
お名前 姓 名			ユーザー登録カード 送付済未
ご住所 (ご連絡先)	ご自宅 〒 TEL () FAX () 勤務先 〒 会社名： TEL () FAX ()		
販売店名			
パソコン	メーカー名：	メモリー：	
	機種名：	ハードディスク容量：	
	型番：		
スキャナー / デジタルカメラ	メーカー名：	型番：	
	機種名：	ドライバーのバージョン：	
OS	Windows: 2000 Professional / XP Home Edition / XP Professional		
どのような状況になりましたか？(できるだけ詳しくお書きください)			

*本用紙はコピーしてご使用ください。

【英数字】

2 文字	99
3 文字以上	100
TWAIN 専用ダイアログ	34
TWAIN デバイス設定	33
TWAIN デバイス入力	49

【あ行】

明るさ	154
アドインの設定と解除	192
アンインストール	27
一括画像編集	160
一括修正	76
一括認識	113
インストール	24
英語認識モード	97
エッジ強調	153

【か行】

解像度の設定	120
回転	143
拡大	58
画像ウィンドウ	19
画像ファイルを開く	50
画像ファイルを保存	82
画像を印刷	85
傾き補正	139
画面キャプチャー入力	52
画面構成	14
カラードロップアウト	157
カラーフィルター	151
カラーリアル表示	69, 70
環境設定	180, 209
監視しない	208
監視する	208
簡単！PDF for Office	216
かんたんナビ	40
ガンマ補正	156
起動	39
切り取り	71, 72
クリップボード OCR	198
クリップボード画像の入力	51
傾斜	146
消しゴムモード	60, 61, 137
現在のページ	64, 66
減色	150
候補文字修正	77
コピー	71, 72
コントラスト	155

【さ行】

作業状態を開く	105
作業状態を保存	104
削除	73, 74, 93
作図	160, 163
作図モード	60, 61
左右反転	145

自動アップデート	30
自動傾き補正	139
自動罫線追加	102
次ページ	53
シャープネス	152
縮小	58
手動傾き補正	140
消去	135
上下反転	144
ステータスバー	20, 213
設定	90
全角→半角変換	75
選択したページ	63, 66
選択した領域	65, 66
専門用語辞書	177
操作モード	21, 60
属性変更	94

【た行】

縦に分割して表示	127
単語辞書	172
長方形化	147
ツールバー	20, 128, 129, 213
次へ	56
テキスト表示	69
デジカメ入力	47
転送先アドバイザー	20
転送先アドバイザーの設定	123
テンプレートを開く	107
テンプレートを保存	106
統合	93
閉じる	87
ドライバー	33
ドラッグモード	60, 62
トリミング	136

【な行】

日本語認識モード	97
入門ウィザード	43
認識結果ウィンドウ	19
認識結果を印刷	86
認識結果を転送	84
認識結果を保存	83
ノイズ除去	138

【は行】

ハイパーテックター	69, 70
パターン辞書	168
貼り付け	71, 72
半角→全角変換	75
表編集モード	60, 61, 101
ファイル管理革命へ送る	130
フォルダーウォッチャー	18, 206, 216
フォント設定	121
ページ一覧ウィンドウ	19
ページ移動	56
ページ表示	53, 58
ページ呼出	54
ページを結合する	110
ページを分割する	108

【ま行】

前へ	56
前ページ	53
見出し認識	103
見開き補正	141
メーカー diáログ	33
文字認識	66
文字の結合	98
文字の分離	99
文字列の検索	79
文字列の置換	80

【や行】

横に分割して表示	127
読取革命の終了	88
読取順序変更	122

【ら行】

リサイズ	148
領域設定モード	60, 61, 134
領域表示	69, 70
領域枠	90
レイアウト認識	63